

2011年度 社会貢献活動実績調査結果
〔別冊〕

東日本大震災関連フォローアップ調査
事例集

2012年10月

(一社)日本経済団体連合会
社会貢献推進委員会
1% (ワンパーセント) クラブ

目 次

東日本大震災関連フォローアップ調査 事例集

1. インデックス	1
2. 具体的な事例（個表）〔社名五十音順〕	15
(1) あ行	15
(2) か行	43
(3) さ行	59
(4) た行	87
(5) な行	112
(6) は行	127
(7) ま行	153
(8) や・ら・わ行	178
(9) 社名非公表事例	187

東日本大震災関連フォローアップ調査 事例集（回答社数：201社）

(1) 掲載事例

経団連ならびに1%クラブでは2012年5月～8月に、経団連会員企業、1%（ワンパーセント）クラブ法人会員などを対象に「2011年度社会貢献実績活動調査」を実施した。

その一環として、東日本大震災フォローアップ調査を行い、2011年10月の「東日本大震災における被災者・被災地支援アンケート」（※）に引き続き、会員企業・グループがその後に実施している支援活動事例を収集した。

具体的には、2011年10月以降に実施している(2011年10月以前からの継続案件を含む)、震災関連支援活動について、特徴的な事例として各社・グループが提出した事例を掲載。

特に、1年以上継続して行う支援活動を優先的に収集。

(2) 事例の公表内容（項目分類をはじめ記載内容は、基本的に各社からの回答を尊重）

- ① 会社名（回答いただいた企業名）
実施主体がグループ企業の場合は、事業名または活動の概要に社名を記載
- ② 事例名
- ③ 無償／有償支援
支援先から対価を受け取らない（もしくは廉価で行う）支援活動の場合「無償・廉価」、事業活動の一環として有償で行う支援活動の場合「有償」と分類
- ④ 本業／本業以外支援
本業に関連した支援活動（自社製品の提供等）の場合「本業に関連」、本業に関連しない支援活動（義援金の寄付等）の場合「本業に関連しない」と分類
- ⑤ 実施活動時期
活動時期について、該当する期間に●印を付した（長期にわたる場合は複数に●印）
- ⑥ 活動分野
復興に向けたテーマを大きく7つに分類し、該当する項目に●印を付した（複数の分野に該当する場合もある）
- ⑦ 実施活動地域、具体的地域
- ⑧ プログラムの連携先
- ⑨ 活動の概要、効果
- ⑩ 事例に関する連絡先

(3) 掲載事例数

201社から377事例が寄せられ、了解を得た195社・365事例を掲載。

※ 本事例集は経団連のHPに掲載。

URL…<http://www.keidanren.or.jp/policy/2012/070.html>

※ 2011年10月実施のアンケート結果については、「東日本大震災における経済界の被災者・被災地支援活動に関する報告書」（経団連HPに掲載）参照。

URL…<http://www.keidanren.or.jp/policy/2012/011.html>

1. インデックス [社名五十音順]

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・ 教育支援	次世代育成・ 心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
1	愛知製鋼(株)	トヨタグループ 15 社による被災地復興支援ボランティア	●			●				●			
2	愛知製鋼(株)	物品収集ボランティア	●			●				●			
3	愛知製鋼(株)	給与天引きによる募金活動	●			●				●			
4	旭硝子(株)	ガラスパワーキャンペーン	●		●		●						●
5	旭硝子(株)	AGCエレクトロニクスによる仮設住居者を対象としたコンサートイベントの開催	●			●	●		●				
6	アサヒビール(株)	ボランティア派遣		●		●	●						
7	朝日航洋(株)	震災復旧・復興のための調査活動		●	●		●						●
8	朝日生命保険相互会社	東日本大震災 被災地支援「東北支援地産マルシェ」開催				●							●
9	(株)朝日ネット	会員からの月々の継続的な義援金		●	●								●
10	アジア航測(株)	東日本大震災における炊き出しボランティア	●			●	●						
11	味の素(株)	“食卓からニッポンを元気に「食べるって楽しい！」”プロジェクト(1)		●	●		●						
12	味の素(株)	“食卓からニッポンを元気に「食べるって楽しい！」”プロジェクト(2)		●	●		●						
13	味の素(株)	“食卓からニッポンを元気に「食べるって楽しい！」”プロジェクト(3)		●	●		●						
14	アステラス製薬(株)	仮設住宅への花卉寄贈							●				
15	アズビル(株)	モバイル版緊急通報サービス		●	●				●	●			
16	アフラック	”We are One Family”活動	●		●			●					
17	アフラック	「アヒルさんからの贈り物」企画	●		●			●	●				
18	安藤建設(株)	気仙沼地域スポーツ支援活動	●			●			●	●			●
19	安藤建設(株)	第 4 回 気仙沼ボランティア活動 気仙沼の子どもたち“100 の瞳”招待プロジェクト「繋」	●		●			●					
20	アンリツ(株)	通信網や産業復興のための物資提供、修理サポート	●		●								●
21	イオン(株)	従業員による被災地でのボランティア活動	●			●	●						
22	伊藤忠エネクス(株)	地方自治体への寄付	●			●							●
23	伊藤忠エネクス(株)	災害復興ボランティア活動	●			●	●						
24	伊藤忠エネクス(株)	太陽光発電システム寄贈		●	●		●	●					
25	伊藤忠商事(株)	伊藤忠記念財団による株主の皆様とともに『子どもの本 100 冊助成』	●			●		●	●	●	●		
26	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	震災ボランティア活動(遠野まごころネットプログラム)	●			●	●						●

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
27	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	食のライフライン復興支援	●		●						●			
28	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	社員による震災復興ボランティア活動	●			●								●
29	岩谷産業(株)	社員による震災復興ボランティア活動	●			●					●			
30	SMK(株)	遊休機械を被災地事業者へ提供	●		●			●						
31	SMBCコンシューマーファイナンス(株)	金融啓発講座の開催	●		●		●		●					
32	SMBCコンシューマーファイナンス(株)	子ども向けの金融啓発イベント実施	●		●		●		●					
33	SMBCコンシューマーファイナンス(株)	復興イベントへの参加をつうじた交流	●		●		●					●		
34	SMBC日興証券(株)	個人向け復興国債の販売	●		●									●
35	SMBC日興証券(株)	新入社員による社会貢献活動研修	●			●		●						
36	SGホールディングス(株)	救援物資輸送の実施と現地被災者の採用	●	●	●			●				●		●
37	SGホールディングス(株)	車両や遊具の提供	●		●		●			●		●		●
38	SGホールディングス(株)	ボランティアバスツアーの催行		●	●									●
39	NECフィールディング(株)	NECグループ「TOMONI プロジェクト」	●		●		●	●						
40	NECフィールディング(株)	歩くパトロールボランティア(「エアアイ・フィールドパトロールチーム」による活動)	●		●		●							
41	NECフィールディング(株)	(公財)「オイスカ」が実施している「海岸林再生プロジェクト」への協賛	●			●	●	●						
42	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	石巻地域におけるI T 等ボランティア	●			●	●		●	●	●			
43	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	東北復興新生支援室による支援(1)「未来の種プロジェクト～南三陸 森・里・海ものがたり～」	●		●			●						
44	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	東北復興新生支援室による支援(2)フォトパネルを活用したコミュニティ支援	●		●		●						●	
45	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	東北復興新生支援室による支援(3)防災・街づくりに向けた教育分野の取組み	●		●				●					
46	(株)エフエム東京	Love & Hope～ヒューマンケアプロジェクト (レギュラー番組:JFN3 8 局ネット)			●				●	●				
47	(株)エフエム東京	ヒューマンコンシャス募金 及び 猪苗代湖ズ楽曲ダウンロード募金		●										
48	王子製紙(株)	北海道チャリティゲーム in Tomakomai	●			●								●
49	王子製紙(株)	王子ネピア(株)によるティッシュ及び紙パルプ加工品、ならびに紙おむつの製造、加工ならびに売買	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●
50	大阪ガス(株)	「3.11 from KANSAI ～まだまだこれから～」(おもてなしプロジェクト VOL.1)	●			●							●	
51	大阪ガス(株)	「第1回 御堂筋東北復興支援バザー」	●			●		●			●		●	●

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・ 教育支援	次世代育成・ 心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
52	大阪ガス(株)	「ともしび子ども劇場」への招待(おもてなしプロジェクト VOL.2)	●			●			●			●	●
53	(株)大林組	災害廃棄物処理業務(巨理処理区)		●	●			●					
54	(株)大林組	新入社員の災害支援ボランティア参加	●			●							●
55	沖電気工業(株)	OKI「蕨文化彩」での「東北物産展」開催	●			●		●					
56	沖電気工業(株)	竹とんぼ作成&あやつり人形鑑賞会	●			●		●	●				
57	沖電気工業(株)	OKI・丸紅・みずほ・明治安田 災害復興ボランティアプロジェクト	●			●							●
58	(株)奥村組	ボランティア派遣	●			●							●
59	(株)奥村組	被災地域の仮設住宅等での炊き出し	●			●	●						●
60	花王(株)	みちのく復興事業パートナーズ	●		●	●		●			●		
61	花王(株)	ARTS for HOPE	●			●	●	●	●				
62	花王(株)	スマイルとうほくプロジェクト	●		●		●		●				
63	カシオ計算機(株)	「命の授業」	●			●	●	●	●	●		●	
64	カシオ計算機(株)	被災地支援ボランティア	●			●							
65	鹿島建設(株)	災害廃棄物処理業務等のプロジェクト		●	●		●	●					●
66	鹿島建設(株)	震災直後の応急復旧から復旧工事、復興に向けての各プロジェクト展開		●	●		●	●					●
67	兼松(株)	社員ボランティア活動	●			●	●						
68	川崎汽船(株)	生活救済物資の海上輸送	●		●								●
69	川崎重工業(株)	がれき破碎設備の無償貸与	●		●								●
70	川崎重工業(株)	がれき焼却処理設備の提供		●	●								●
71	川崎重工業(株)	土壌洗浄実証実験			●								●
72	キャノン(株)	福島キャノンによる福島コミュニティサポート	●		●		●						
73	キャノンマーケティングジャパン(株)	未来につなぐふるさとプロジェクト 震災支援	●		●		●	●	●	●	●		●
74	キャノンマーケティングジャパン(株)	みんなの笑顔プロジェクト ~Smile for the Future~	●		●		●		●				
75	共同印刷(株)	物産展・企業マルシェの実施	●			●							●
76	キリンホールディングス(株)	キリングroupによる復興応援 キリン絆プロジェクト 3つの幹の活動	●			●	●	●	●	●	●		●
77	キリンホールディングス(株)	キリングroupによるキリン絆グループ震災復興ボランティア	●			●	●						
78	キリンホールディングス(株)	キリングroupによるキリン絆募金	●			●	●	●	●	●	●		
79	(株)クボタ	宮城県農業高等学校への実習支援と同校生との協働活動	●		●			●					
80	(株)クボタ	「農園コミュニティ」作りを核とした被災者支援	●		●		●		●				

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・ 教育支援	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
81	(株)クボタ	特別枠を設けた被災地高校生の採用	●		●			●						
82	グンゼ(株)	「がんばろう！東北」キャンペーン	●		●				●	●				
83	グンゼ(株)	株主による「東日本大震災被災者支援」	●			●			●	●	●			
84	KDDI(株)	社員の被災地ボランティア活動への支援	●			●	●			●	●			
85	KDDI(株)	被災地の雇用創出			●		●							
86	KDDI(株)	被災地における受験生支援の実施	●		●				●					
87	(株)高速	水産加工業復興支援活動	●		●									●
88	コーエーテックホールディングス(株)	東日本大震災 被災地における「コミュニティFM放送局」支援	●			●	●							
89	コニカミノルタホールディングス(株)	被災者支援のための社宅無償提供	●			●								●
90	コニカミノルタホールディングス(株)	コニカミノルタエムジー(株)による医療用機器の無償提供・無償貸与	●		●		●							
91	コマツ	建設機械の無償貸与、サービス・レンタル・販売業務の体制強化	●		●			●						
92	コマツ	建設機械オペレーターの育成と被災者の就労支援	●		●			●						●
93	コマツ	仮設ハウスの無償貸与	●		●		●			●				
94	サッポロホールディングス(株)	教育支援「コロボスクールへの支援」	●			●			●					
95	サノフィ・アベンティス(株)	sa Japan 災害救援ボランティア	●			●	●							
96	サノフィ・アベンティス(株)	「ARTS for HOPE」への賛同	●			●				●				
97	サントリーホールディングス(株)	漁業復興支援資金の提供	●				●							
98	サントリーホールディングス(株)	「サントリー東北子ども応援プロジェクト」における奨学金設立など	●				●		●					
99	(株)三陽商会	COAT FOR JAPAN「希望」	●		●							●		
100	(株)三陽商会	山田町高校プロジェクト	●		●		●		●					
101	JXホールディングス(株)	JXグループ復興支援ボランティア活動	●			●				●	●	●		●
102	JXホールディングス(株)	JX童話集「童話の花束」による被災地支援活動	●	●		●			●	●				
103	(株)ジェイテクト	トヨタグループ災害Vネット 被災地復興支援活動ボランティア	●			●	●			●				
104	J. フロント リテイリング(株)	「JCV子どもの笑顔プロジェクト」支援の寄付や被災地訪問で子ども達に笑顔を届ける活動	●	●	●		●	●	●	●	●	●		
105	(株)資生堂	ビューティー支援活動	●		●		●			●	●			●
106	シチズンホールディングス(株)	「ARTS for HOPE」への支援	●			●	●			●		●		
107	シチズンホールディングス(株)	小中学校への楽器提供	●			●			●	●				

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
108	シティグループ・ジャパン・ホールディングス(株)	カフェテリア・チャリティ・プログラム- 食べて被災地を支援		●		●			●					
109	シティグループ・ジャパン・ホールディングス(株)	気仙沼 大島 ランフェスタ を支援		●		●	●	●						
110	シティグループ・ジャパン・ホールディングス(株)	福島の子どもをリフレッシュキャンプへご招待		●		●			●					
111	シャープ(株)	被災地の子どもたちを元気づける教育支援活動	●			●			●	●				
112	シャープ(株)	被災地内外での震災復興支援ボランティアへの参画	●			●	●	●	●	●			●	
113	シャープ(株)	被災地の福祉作業所製品の職域販売	●			●		●			●			
114	(株)商船三井	冷凍コンテナの寄贈	●		●			●						
115	昭和産業(株)	当社製品の提供(1)	●		●				●					
116	昭和産業(株)	当社商品の提供(2)	●		●		●							
117	昭和電工(株)	福島・会津企業マルシェ	●			●	●							
118	(株)新生銀行	ボランティアツアーの開催	●			●	●			●				●
119	(株)新生銀行	義援金及び支援物資の提供	●			●	●							
120	(株)新生銀行	仮設住宅への街灯設置	●			●	●							
121	新日本製鐵(株)	鉄鋼製品等の提供を通じた災害に強いまちづくり支援		●	●		●	●						
122	住友化学(株)	被災地応援マルシェ(物産展)の開催	●			●								
123	住友化学(株)	社員ボランティアによる仮設住宅入居者への機能性インナーウェア配布	●		●									●
124	住友化学(株)	被災地での理科実験教室開催	●		●				●	●				
125	住友商事(株)	住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
126	住友商事(株)	住友商事東北(株)による省エネ型水耕栽培工場整備	●		●			●						
127	住友商事(株)	住友商事東北(株)による気仙沼水産加工復興支援プロジェクト	●			●		●						
128	住友スリーエム(株)	東北プロジェクト部の新設		●	●			●						
129	住友林業(株)	仮設カフェ「りくカフェ」の立ち上げ協力	●		●		●							
130	セイコーエプソン(株)	社会貢献学会写真復元プロジェクト「あなたの思い出守り隊」への協力	●		●					●				●
131	積水化学工業(株)	東日本大震災 ライフライン復旧プロジェクト		●	●									●
132	積水化学工業(株)	「エスロンパイプ」の売上高の一部を寄付	●		●									
133	積水ハウス(株)	(株)インサイトによる「ミナ DE カオウヤ」プロジェクト					●	●	●	●	●	●	●	●
134	積水ハウス(株)	積水ハウスマッチングプログラム ももかき育英会基金							●	●	●		●	●

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援・産業再生	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
135	積水ハウス(株)	震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI ～まだまだ、これから～」					●	●	●	●	●	●	●	
136	(株)セブン&アイ・ホールディングス	仮設住宅居住者への生活物資供給	●	●	●								●	●
137	(株)セブン&アイ・ホールディングス	計画的避難区域福島県飯舘村の復興支援企画	●		●		●							
138	(株)セブン&アイ・ホールディングス	「子どもたちへくあしたの本>プロジェクト」への協賛と協力	●		●		●			●				
139	全日本空輸(株)	「ANAこころの森」	●			●	●							
140	全日本空輸(株)	(公財)オイスカ「海岸林再生プロジェクト」への支援	●			●								
141	全日本空輸(株)	ボーイング 787 復興応援フライト	●		●		●							
142	ソニー(株)	RESTART JAPAN 支援プロジェクト	●		●		●	●	●	●		●	●	
143	ソニー(株)	EYEESEE 東北	●		●		●	●	●	●		●		
144	ソフトバンク(株)	「チャリティホワイト」の実施	●		●							●		
145	ソフトバンク(株)	復興支援ソフトバンク商品券	●		●		●							
146	ソフトバンク(株)	東北 3 県の物産販売支援	●		●		●							
147	(株)損害保険ジャパン	被災地への継続的支援も含めた「NKS Jボランティアデー」の開催	●			●	●				●	●		
148	(株)損害保険ジャパン	人形劇を通じた心のケア	●			●				●				
149	(株)損害保険ジャパン	復興に取り組むNPO団体のサポート役として社員を業務派遣	●		●		●					●		
150	第一三共(株)	健康情報冊子の製作協力	●		●									●
151	第一三共(株)	ミュージカルへの協賛	●			●				●				
152	第一生命保険(株)	社員ボランティアの参加	●			●	●							
153	(株)大気社	畑のガレキ撤去ボランティア参加	●			●	●							
154	大成建設(株)	街中通 WAY クーポンラリーの実施	●			●	●							
155	大日本印刷(株)	社員食堂や社内売店で「東北応援フェア」を実施		●	●		●	●						
156	大日本印刷(株)	本業で培った技術・ノウハウを用いた継続的な支援活動	●	●	●	●	●	●						
157	大日本印刷(株)	東北三都市巡回展と連携した作品鑑賞ワークショップの開催	●		●			●						
158	大日本住友製薬(株)	スマイル応援プロジェクトへの参加	●		●	●		●						
159	大日本住友製薬(株)	気仙沼・大島すこやかプロジェクト	●		●		●	●						
160	大日本住友製薬(株)	宮城・福島すこやかプロジェクト	●		●							●		
161	(株)大和証券グループ本社	大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2012	●		●		●	●			●	●		
162	(株)大和証券グループ本社	第 24 回(第 2 回)災害時ボランティア活動助成	●			●	●	●	●	●	●	●	●	

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・ 教育支援	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
163	(株)大和証券グループ本社	大和日英基金による東北スコラシップ	●			●			●					
164	大和ハウス工業(株)	緑のカーテン設置活動の支援	●		●		●							●
165	大和ハウス工業(株)	日曜大工プロジェクト	●		●		●							
166	大和ハウス工業(株)	メンタルコミットロボット「パロ」の貸与	●		●					●				
167	(株)タクマ	仮設焼却炉建設工事		●	●			●						
168	武田薬品工業(株)	「日本を元気に・復興支援」による復興ステージにおける支援活動	●		●		●	●	●	●	●	●	●	
169	武田薬品工業(株)	復興支援を目的としたイベントの開催	●			●		●						
170	武田薬品工業(株)	コレクティブ・アクションへの参加	●			●	●							
171	(株)筑邦銀行	店頭募金や寄付金付き定期預金の実施	●		●	●								●
172	中外製薬(株)	復興情報フリーペーパー「わわ新聞」の発行支援	●			●	●							
173	蝶理(株)	被災者への風鈴提供	●			●				●				
174	(株)テレビ朝日	ドラえもん募金「東日本大震災から1年」	●		●									●
175	(株)テレビ東京	テレビ東京7チャンまつりへの避難家族招待	●		●			●						
176	(株)テレビ東京	番組へのお年寄り避難者招待	●		●					●				
177	電源開発(株)	(株)ジェイベックのコンポスト技術を活かしたコミュニティ形成支援事業	●			●	●							
178	(株)デンソー	デンソーはあとふる基金からの被災地支援プログラム実施	●			●		●			●			
179	(株)デンソー	社員食堂での喫食寄付システム(ハートフルメニュー)開始	●			●		●						
180	(株)デンソー	収集ベルマークの被災地寄贈	●			●		●						
181	(株)電通	NPOのためのコミュニケーション力支援プロジェクト「伝えるコツ」	●		●		●	●				●		
182	東海ゴム工業(株)	東海ゴムチャリティーコンサート「あしなが育英会東日本・津波遺児支援」	●			●						●		
183	(株)東海理化電機製作所	社員による復興支援ボランティア活動	●			●	●	●						
184	東京海上日動火災保険(株)	「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」への支援				●	●	●						
185	東京トヨペット(株)	社員ボランティアの派遣	●			●	●							
186	東京トヨペット(株)	避難者向けイベント開催の支援	●			●				●				●
187	(株)東芝	宮城県石巻市・南三陸町で新入社員による復興支援活動	●			●		●						
188	(株)東芝	福島県南相馬市における太陽光発電事業への出資			●		●	●						
189	(株)東芝	東芝東日本大震災奨学基金(継続)	●			●		●						
190	東洋建設(株)	被災地農水産品の配布	●			●								●

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
191	TOTO(株)	TOTOグループ募金による復興支援活動	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
192	凸版印刷(株)	ホンのちよつとしあわせはこぶ「ブックワゴン」	●		●		●		●	●	●			
193	豊田合成(株)	スポーツ支援	●			●			●					
194	豊田合成(株)	TGフェスティバル 東日本復興支援コーナー	●			●								●
195	トヨタ自動車(株)	ものづくりの拠点を東北に(トヨタグループ3社統合, トヨタ東日本学園設立)	●		●			●	●					
196	トヨタ自動車(株)	「ココロハコブプロジェクト」の実施	●			●			●	●	●		●	
197	トヨタ自動車(株)	NPOとの協働による支援活動	●			●			●	●				
198	(株)豊田自動織機	トヨタグループ災害V(ボランティア)ネット被災地支援	●			●								●
199	(株)豊田自動織機	小学校でのミニコンサート開催	●			●			●					
200	豊田通商(株)	社内報奨金の復興支援募金への充当制度	●			●						●		
201	トヨタ紡織(株)	酔仙酒造(株)の支援	●			●		●						
202	(株)ニコン	中学生フォトブックプロジェクト	●		●				●	●				
203	西松建設(株)	ひまわりプロジェクト(東日本大震災復興・環境緑化支援民間プロジェクト)	●			●								
204	日産自動車(株)	NGOシャンティ国際ボランティア会「いわてを走る移動図書館プロジェクト」に車両を寄贈	●		●				●	●				
205	日清オイリオグループ(株)	ボランティア活性化のための社内広報紙における啓蒙活動	●			●								●
206	日清紡ホールディングス(株)	被災地復興支援金の拠出	●			●								●
207	(株)NIPPO	平成24年度新入社員震災支援活動	●			●				●				
208	(株)日本アクセス	ミールリング/食品による支援		●	●			●						
209	日本興亜損害保険(株)	被災地産オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト	●		●			●						
210	日本興亜損害保険(株)	東北復興支援プロジェクト「未来を育む学びin東北」	●			●			●					
211	日本航空(株)	「東北コットンプロジェクト」への参加				●		●						
212	日本航空(株)	JAL折り紙ヒコーキ教室の開催		●	●				●	●				
213	日本コカ・コーラ(株)	The International Coastal Cleanup in Sendai	●			●								
214	日本生命保険(相)	宮城県七ヶ浜の市民劇団のミュージカル公演に対し日生劇場を無償貸与	●			●								
215	日本生命保険(相)	被災地域の子ども向け人形劇・クラシックコンサートの開催	●			●			●	●				
216	日本生命保険(相)	被災地域の子ども向け森林体験教室の開催	●			●			●	●				
217	日本電気(株)	亘理町コミュニティ再生支援プロジェクト		●	●			●			●			
218	日本電気(株)	NECグループ「TOMONI」プロジェクト(復興支援に向けた社会貢献活動)	●		●	●	●	●	●		●			

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・ 教育支援	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
219	日本電信電話(株)	東北復興推進室による本格復旧に向けた取り組み(NTT東日本)		●	●									●
220	日本電信電話(株)	社員ボランティア活動支援(NTTコミュニケーションズ)	●			●	●	●						●
221	日本電波塔(株)	三陸大船渡 さんままつり	●					●						
222	日本道路(株)	震災遺児・孤児支援のための社員募金実施	●			●			●					
223	日本道路(株)	東北3県物産の社内販売	●			●	●							
224	日本郵船(株)	東日本大震災被災地ボランティア	●			●						●		
225	日本郵船(株)	希望の烽火プロジェクト 東北漁業支援・冷凍コンテナ提供	●		●		●							
226	日本郵船(株)	飛鳥Ⅱ 東北復興応援クルーズ	●	●	●		●							●
227	日本ユニシス(株)	震災復興支援チャリティコンサート	●			●	●			●			●	
228	(株)野村総合研究所	Book for the future		●		●			●					
229	(株)野村総合研究所	中古PC寄贈		●	●				●					
230	(株)野村総合研究所	義援金の寄付		●		●								●
231	野村ホールディングス(株)	チャリティコンサートの開催	●			●			●					
232	野村ホールディングス(株)	野村アセットマネジメントによる東日本復興支援債券ファンド 1105		●	●		●	●	●	●	●	●		
233	野村ホールディングス(株)	野村グループによるさくら植樹プロジェクト	●			●	●			●				
234	パナソニック(株)	復興教育事業への社員ボランティア派遣		●		●			●					
235	パナソニック(株)	社員プロボノの派遣		●		●		●						
236	パナソニック(株)	被災地支援次世代育成プログラム		●		●			●					
237	(株)パンダイナムコホールディングス	東日本大震災被災地の子どもを対象にしたイベント開催	●		●		●							
238	バンドー化学(株)	給食施設での東北産の食材の採用のほか東北地方の物産品の斡旋		●		●		●						
239	阪和興業(株)	阪和育英会を通じた被災地学生支援	●			●			●					
240	阪和興業(株)	日本貿易会主催による東日本大震災震災孤児・遺児支援寄付金	●						●					
241	BASFジャパン(株)	「こころに笑顔」プロジェクト	●		●	●			●	●				
242	BASFジャパン(株)	「子ども実験教室」の開催	●		●				●					
243	BASFジャパン(株)	「オペラ白虎」関連プログラム支援	●		●	●			●					
244	東日本旅客鉄道(株)	東日本大震災の復興に向けた義援金の寄付	●		●									
245	東日本旅客鉄道(株)	東北地方の観光振興と復興支援		●	●			●						
246	東日本旅客鉄道(株)	地域支援産直市等の開催		●	●			●						

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・ 教育支援	次世代育成・ 心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
247	日立化成工業(株)	仮設住宅への緑のカーテン設置支援	●			●						●	
248	日立化成工業(株)	医療診断装置および試薬の寄付	●		●							●	
249	日立化成工業(株)	被災地域海底採取土壌の重金属類含有量測定業務受託	●		●								●
250	(株)日立国際電気	グループ会社との連携による震災復興プログラム	●	●	●		●						●
251	(株)日立国際電気	グループ会社との連携による被災地復興支援ボランティア活動の継続実施	●		●		●		●	●			●
252	(株)日立国際電気	福島ひまわり里親プロジェクトへの参画	●		●		●	●		●			
253	(株)日立システムズ	福島県へのコンタクトセンター新設			●		●						
254	(株)日立製作所	県外避難者への社宅の提供	●		●		●					●	
255	(株)日立製作所	復興支援イベントの実施	●		●		●	●					
256	(株)日立ハイテクノロジーズ	テレビ会議システムの提供	●		●		●	●	●				
257	ヒューリック(株)	ボランティア支援制度の創設	●		●		●						
258	ヒューリック(株)	あしなが育英会への寄付	●		●			●	●				
259	(株)ファミリーマート	被災地ボランティア・ツアーへの支援		●	●		●						
260	フィリップ モリス ジャパン(株)	Doorway to Smiles ～いしのまきカフェ「 」～	●		●		●	●	●				
261	フィリップ モリス ジャパン(株)	ワークショップ「気持ちのキセキ」の展開	●		●				●				
262	富士ゼロックス(株)	復興支援NGOへのプリントサービス支援および複合機貸与支援	●		●		●						
263	富士ゼロックス(株)	ボランティア活動を通じた復旧・復興支援			●		●						
264	富士通(株)	農業・漁業の復興支援「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施		●	●		●						
265	富士通(株)	復興支援の連携協力基本協定書締結	●		●		●						
266	富士通(株)	創立記念日支給品を東北地方銘菓とする購買活動による復興支援		●	●		●						
267	(株)フジテレビジョン	被災地支援「子どもおうえんプロジェクト」	●		●		●	●	●	●			
268	(株)フジテレビジョン	みちのく合衆国～いつでもNIPPON応援団！～	●		●		●	●	●				
269	(株)フジテレビジョン	ソーシャルムービー「JAPAN IN A DAY」製作		●	●		●						●
270	富士電機(株)	放射線量計の校正・試験拠点の開設		●	●		●	●					
271	富士フイルム(株)	写真救済プロジェクト	●		●		●		●		●		
272	富士フイルム(株)	富士フイルムRIファーマー(株)による放射線への対応	●		●						●		●
273	富士屋ホテル(株)	結婚式開催支援「絆ウェディング」	●		●				●				
274	(株)ブリヂストン	東日本大震災復興支援ボランティア活動	●		●		●						

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
275	(株)ブリヂストン	「こっちゃ来たらいいべえbyブリヂストン」	●			●							●	
276	(株)ブリヂストン	「夢のつばさプロジェクト」	●			●						●		
277	(株)ベネッセホールディングス	教材等の提供	●		●				●	●		●		
278	(株)ベネッセホールディングス	しまじろう、コラシヨの被災地訪問	●		●		●		●	●				
279	(株)ベネッセホールディングス	ベネッセグループボランティア活動	●		●		●		●					
280	ポッシュ(株)	東松島市への支援活動「ドイツのサンタがやって来た!」「ボランティア活動・交流会」	●			●			●	●				
281	ポッシュ(株)	「世界に羽ばたこう! サッカー教室 in 東松島」	●			●			●					
282	ポッシュ(株)	「ドイツの豊かな音楽に触れる秋のタペシュアウトガルト室内管弦楽団 東松島市公演」	●			●			●	●				
283	本田技研工業(株)	被災地の小学校におけるASIMO特別授業の実施	●		●				●					
284	本田技研工業(株)	ビーチクリーン活動	●		●			●						
285	本田技研工業(株)	復興支援・住宅エコポイント制度への参画	●		●			●						
286	前田建設工業(株)	前田建設工業企業ボランティア活動	●			●	●			●				
287	前田建設工業(株)	海岸林再生プロジェクト10ヶ年計画	●			●	●					●		
288	マツダ(株)	国内販売点お客さま満足度アンケートご回答1件につき50円を寄付	●		●				●					
289	マツダ(株)	環境イベントで被災地のカーボンオフセットクレジット購入を通じ支援	●		●	●								●
290	マツダ(株)	マツダ財団を通じた事業助成	●			●			●					
291	丸紅(株)	東日本大震災復興支援・丸紅グループボランティアプロジェクト	●			●								●
292	丸紅(株)	新入社員総合職 東北復興支援研修	●			●								●
293	丸紅(株)	「ありがとう七ヶ浜・海まつり」に対する運営協力および機材寄贈	●			●								●
294	(株)みずほフィナンシャルグループ	被災地での社員のボランティア活動	●			●								
295	三井化学(株)	次世代育成活動「ふしぎ探検隊」	●		●		●		●					
296	三井化学(株)	当社開発品「熱遮断フィルム」の仮設住宅への貼付け	●		●									●
297	(株)三井住友銀行	継続的な被災地でのボランティア活動、県外避難者との交流活動	●			●	●		●	●	●	●	●	
298	(株)三井住友銀行	三井住友銀行ボランティア基金内特別募金「東日本大震災支援募金」	●			●								
299	(株)三井住友銀行	三井住友銀行チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」	●			●			●	●	●	●	●	
300	三井生命保険(株)	被災地ボランティア	●			●								
301	三井物産(株)	三井物産環境基金 東日本大震災復興助成	●			●	●	●	●	●		●		●

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援・産業再生	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
302	三井物産(株)	役員被災地ボランティアの継続	●			●				●				
303	三井物産(株)	「東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金」への寄付	●			●			●					
304	三井不動産株式会社	笑顔をここから！復興支援プロジェクト	●		●			●	●	●	●			
305	三井不動産株式会社	LIGHT UP NIPPON への協賛	●			●	●			●				
306	(株)三越伊勢丹ホールディングス	(株)三越伊勢丹による KISS THE HEART #1			●		●		●	●	●	●	●	
307	(株)三越伊勢丹ホールディングス	(株)仙台三越による石巻三越移転再オープン			●		●							
308	(株)三越伊勢丹ホールディングス	(株)仙台三越による社員ボランティア				●	●		●	●				
309	三菱化学(株)	南三陸町歌津漁協の報告書作成支援	●		●									●
310	三菱地所(株)	東北食材を用いた新メニュー開発・販売促進	●			●								●
311	三菱地所(株)	被災地の宅地の異物除去	●			●	●							
312	三菱地所(株)	被災地小学生と家族の招待				●							●	
313	三菱自動車工業(株)	東日本大震災チャリティライブ	●			●			●		●			
314	三菱自動車工業(株)	東日本大震災被災地でのボランティア活動	●			●	●		●					
315	三菱重工業(株)	ビヨンド・トゥモローへの支援(冠奨学金)	●			●			●					
316	三菱重工業(株)	被災地の子どもたちへの支援	●			●			●	●				
317	三菱重工業(株)	写真洗浄ボランティア活動	●			●				●				
318	三菱商事(株)	復興支援ボランティア活動	●			●	●			●				●
319	三菱商事(株)	三菱商事復興支援財団	●			●	●	●			●	●		
320	三菱商事(株)	フレンドシップキャンプ	●			●							●	●
321	三菱食品(株)	もっとNippon「食べよう東ほくっ！」他			●									●
322	(株)三菱総合研究所	被災地の復興計画策定支援	●		●									●
323	三菱電機(株)	三菱電機ソシオールーツ基金(マッチングギフト制度)による東日本大震災の震災遺児支援	●			●			●		●			
324	(株)三菱東京UFJ銀行	MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金	●			●			●	●				
325	(株)三菱東京UFJ銀行	TOMODACHI・MUFG 国際交流プログラム	●			●			●					
326	三菱マテリアル(株)	社員からの義援金・支援金の募金実施	●			●						●		
327	三菱マテリアル(株)	社員ボランティアの派遣	●			●	●							
328	三菱UFJニコス(株)	避難幼児の心のケアを目的とした社員ボランティア活動と寄付	●			●				●				●
329	三菱UFJニコス(株)	被災地・被災者の心のケアを目的とした音楽の提供	●			●	●			●		●	●	

事例 No.	会社名	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
330	三菱UFJニコス(株)	当社提供FMラジオ番組での震災テーマの継続提供	●			●								●
331	明治安田生命保険相互会社	あしながチャリティー&マイウォークの開催と従業員等の参加	●			●			●	●				
332	森トラスト(株)	日本の建築技術の高さをPRする『Safety & Security Square(SSS)』を設置し、多方面に活用	●		●	●		●	●					
333	森トラスト(株)	被災地において震災後休業となったゴルフ場における大規模太陽光発電(メガソーラー)事業			●		●							
334	森トラスト(株)	ラフォーレボランティアプログラム	●		●	●	●		●		●			
335	森永乳業(株)	子供地球基金「アートワークショップ」支援	●		●				●	●				
336	森永乳業(株)	中学生向け職業講話講師	●		●				●					
337	森永乳業(株)	仮設住宅団地へのアイスクリーム配布	●		●		●							
338	八千代工業(株)	被災地への社員ボランティア派遣	●			●								●
339	ヤマトホールディングス(株)	宅急便1個につき10円の寄付	●		●			●	●		●			
340	ヤマトホールディングス(株)	全社運動「みんなで一歩前へ」	●			●	●							
341	ヤマハ(株)	「坂本龍一 Playing the Piano 2011 ～こどもの音楽再生基金のために」技術サポート	●		●				●					
342	横河電機(株)	新入社員研修での被災地支援活動派遣	●			●	●							
343	横浜ゴム(株)	「いのちを守る森の防潮堤」づくりへの賛同												●
344	ライオン(株)	「東北に元気を LOVE.石巻」プロジェクト	●		●		●		●			●		
345	(株)リクルート	東北復興ラーニング&ボランティアツアーの実施	●			●	●					●		
346	(株)リクルート	節電×復興支援の取り組み	●			●	●							
347	(株)リクルート	クルマを届けよう!プロジェクト	●				●				●	●		
348	(株)リコー	社会貢献活動実習プログラム	●			●	●							
349	レンゴー(株)	新仙台工場の建設および開業		●	●		●	●						●
350	レンゴー(株)	丸三製紙(株)による早期操業再開		●	●		●	●						●
351	(株)ローソン	「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)	●			●			●				●	
352	(株)ワタナベエンターテインメント	WAEプロジェクト 大原小学校	●						●	●				

※社名非公表事例

事例 No.	事例名	無償・廉価	有償	本業に関連	本業に関連しない	コミュニティ支援	雇用創出支援 産業再生・	次世代育成・ 教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への 支援	県外避難者支援	その他
353	インダストリアルビジネスカンパニーによる事業(環境関連商品販売)を通じた支援活動	●		●							●		
354	被災地交通関連事業・金融事業復旧支援		●										
355	「チームおむすび」による料理教室活動への協力	●		●		●			●	●			
356	「宮城県産業復興相談センター」への人材派遣および事業復興支援	●		●			●						
357	災害廃棄物処理業務		●	●									●
358	社員による震災復興ボランティアへの参加				●		●						
359	飲料の提供	●		●		●							
360	お米の品種の提供	●			●	●	●						
361	石巻の観光促進支援	●			●		●						
362	第3回東北応援隊	●			●	●							
363	被災者優先雇用		●	●			●						
364	省エネルギー関連技術	●		●			●						
365	東日本大震災による被災小型船舶の再生支援プロジェクト		●	●			●						

2. 具体的な事例（個表）〔社名五十音順〕

(1) あ行

会社名	愛知製鋼(株)							1
事例名	トヨタグループ 15 社による被災地復興支援ボランティア							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	
							2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	陸前高田市、気仙地区							
プログラムの連携先	トヨタグループ 15 社							
活動の概要	トヨタグループ 15 社の連携により、被災地域復興支援ボランティア活動として、15 名程度 / 回が現地入りし、4泊5日の日程で支援活動に当たっている。 【現地入りするにあたり】 ・トヨタグループ主催の事前研修を受け、ボランティア活動の心得等を理解した上で現地入りし、被災された方々と接する。 ・派遣期間は5月～7月、9月～11月の6ヶ月間で派遣する。(8月は休止) ・支援活動は、現地ボランティアセンターの指示により、支援希望先に出向き活動する。							
効果	2011年度は、トヨタグループ 15 社の社員が、半年間で合計 14 回、延べ 200 人がボランティアとして現地入りし、支援活動を行った。活動の中で入居者や現地ボランティア団体と交流し、心の結びつきも図ることができ、自治会長からは「こうした交流で入居者からも笑顔が出てくるのでありがたい」と感謝の言葉をもらっている。							
事例に関する連絡先								
会社名	愛知製鋼(株)							2
事例名	物品収集ボランティア							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	
							2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東日本大震災被災地域							
プログラムの連携先	トヨタグループ							
活動の概要	被災地復興支援のためにトヨタグループが連携して物品収集ボランティア活動を実施する。 【収集物品】 ・ベルマーク（学校・団体の設備品購入） ・不要携帯電話（金属回収業者にて換金） ・書損じハガキ、未使用ハガキ（切手に交換しNPO団体に提供） ・未使用切手（NPO団体に提供） ・未使用のテレフォンカード、クオカード、図書カード（NPO団体に提供）							
効果	トヨタグループ 15 社が連携し、物品収集を行うため多くの物品が集まり大きな成果を上げることができる。昨年も同様の収集活動を実施し大きな成果を上げている。							
事例に関する連絡先								

会社名	愛知製鋼(株)					3				
事例名	給与天引きによる募金活動									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域										
プログラムの連携先	なし									
活動の概要	<p>震災復興支援を目的に給与天引きによる募金活動を立上げ社内展開中である。</p> <p>【給与天引きによる募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金希望者の給与から「100円/毎月」を天引きし募金をプール。 ・プールした募金を年末に日本赤十字社を通じて寄付を行う。 ・募金期間は現在のところ決めず、現地の復興状況を把握しつつ継続していく。 									
効果	大震災復興のためには、地道な活動ではあるが継続的な支援と復興を願う気持ちを持ち続けることも目的としている。募金希望者を増やしつつ支援の輪を広げて行く。									
事例に関する連絡先										

会社名	旭硝子(株)					4				
事例名	ガラスパワーキャンペーン									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	岩手県陸前高田市、山田町、大槌町 宮城県石巻市、気仙沼市、名取市 福島県いわき市、郡山市、会津若松市									
プログラムの連携先										
活動の概要	<p>A G C 旭硝子では全国指定避難場所の安全対策普及を目的として、指定避難場所に地震・台風対策用合わせガラス()を寄贈するプロジェクト「ガラスパワーキャンペーン」を2005年10月に開始し、これまで23カ所に防災ガラスを寄贈している。</p> <p>この「ガラスパワーキャンペーン」の一環として、東日本大震災被災地(岩手・宮城・福島各県)の指定避難場所9カ所に防災ガラスを寄贈することとし、2011年9月より2012年3月にかけて施工を実施した。</p> <p>なお、寄贈時に併せてガラス破壊実験を行い、子どもたちにガラスの安全性やその他の機能を体感してもらっている。</p> <p>地震・台風対策用合わせガラスとは、2枚のガラスと特殊フィルムを熱圧着した製品で、以下のような特徴があることから、地震や台風などの災害発生時にも避難所を安全に保ち、またガラスによる二次災害を防止することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物がぶつかってもガラスが割れ落ちにくい ・割れたガラスによる大きな怪我が防げる ・穴が開きにくいのでガラスが破損しても雨風を防げる 									
効果	<p>指定避難所9カ所に割れにくいガラスを導入することは3つの効果がある。</p> <p>震災時の避難所の安全性を高めることができる。つまり、避難所のガラスが割れて避難所として機能しないことや、避難中にガラスが割れてそのガラスで避難者がケガをしてしまうことなどを回避できる。</p> <p>避難所(体育館)がある学校の生徒や地域住民の安心感を高めることができる。</p>									

	寄贈に併せて開催するガラスの破壊実験等を通じて、生徒達に避難所の安全性を体感してもらうことができる。それによって、生徒達により一層の安心感も醸成することができる。
事例に関する連絡先	C S R 室

会社名	旭硝子(株)					5					
事例名	A G Cエレクトロニクスによる仮設住居者を対象としたコンサートイベントの開催										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	本宮市（浪江町恵向応急仮設住宅）										
プログラムの連携先											
活動の概要	福島県郡山市に拠点を置くA G Cエレクトロニクスは、社会貢献活動として、2011年度より被災地支援活動（放射線量測定、A G Cグループ製品の無償提供、各種イベント開催）を継続的に実施している。その一環として、2012年7月、拠点近隣の仮設住宅集会所において、避難住民への励ましと自治会支援を目的にコンサートイベントを開催した。 筋ジストロフィー（筋肉が萎縮していく難病）と戦いながら活動を続ける歌手・木田俊之さんによるコンサートや、その他のゲストによる踊り・演芸を住民の方々に楽しんでもらうとともに、住民の方々が互いにコミュニケーションを図ったり、浪江町長にも参加いただくことで、住民へ生の声を伝える場とすることができた。										
効果	仮設住宅でイベントを実施することで以下の効果があった。 ・歌を聴く、踊りを見る、一緒に歌うなどの活動を通じて、楽しんでもらう ・自治会を支援する ・住民同士が互いにコミュニケーションを図る ・町長のメッセージを直接聞くことで安心感を持ってもらう 住民からは以下の声が寄せられた。 ・「久しぶりに笑うことができた」 ・「木田さんに生きる勇気をいただいた」 など										
事例に関する連絡先	C S R 室										

会社名	アサヒビール(株)					6					
事例名	ボランティア派遣										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	岩沼、亘理										
プログラムの連携先	各ボランティアセンター										
活動の概要	2011年10～12月間延べ50名の社員を派遣し、仮設住宅へ避難されている方へのケアのお手伝い等を実施した。										
効果	震災当初に比べニーズが変わり、「心のケア」を中心とした活動への支援が求められ、センター内の人材不足も含め、一助になった。										

事例に関する連絡先										
会社名	朝日航洋(株)								7	
事例名	震災復旧・復興のための調査活動									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他		
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	主に被災した県、市町村との契約に基づき、被災県各地の復興に向けた測量（航空機からのレーザ計測、計測車両による測量等）ある漁港の海岸堤防調査・設計、福島県内の特定市町村の除染のための事前調査等の事業を有償で実施している。									
効果	被災地の早期復興に向けたインフラ整備の促進に貢献している。									
事例に関する連絡先										

会社名	朝日生命保険相互会社								8	
事例名	東日本大震災 被災地支援「東北支援地産マルシェ」開催									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他		
具体的地域	東京都（多摩本社ビル、大手町本社ビル）									
プログラムの連携先	「いわて銀河プラザ」「(社)おらが大槌夢広場」「宮城ふるさとプラザ」「福島県八重洲観光交流館」									
活動の概要	平成23年10月4日に第一回マルシェ（物産店）を岩手県アンテナショップの「いわて銀河プラザ」の協力を得て、当社多摩本社で実施した。 平成24年3月に当社大手町本社にて、第2回目の東北支援マルシェを開催。被災3県の上記アンテナショップ等が参加した。 本社ビル内のテナントである信越化学工業、ウシオ電機と当社の3社共催で外部企業にも公開し、500名以上の多くの方が来場した。									
効果	参加の呼びかけを通じて、従業員の被災地への思いを高め、ボランティア意識の向上につながった。また、広くリリースを行い、社内外の方に本活動をアピールすることができた。 なお、2回の開催を通して、約120万円の売り上げを被災地に還元することができた。									
事例に関する連絡先	CSR推進室									

会社名	(株)朝日ネット								9	
事例名	会員からの月々の継続的な義援金									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	日本赤十字社							
活動の概要	朝日ネットは、被災地の方々の一日でも早い復興を願い、会員の皆さまが継続的に義援金の寄付を行える窓口を開設している。甚大な被害にあった被災地の復興は、これから長い道のりとなる。そこで私たちは、長期的な復興支援が必要であると考えた。 会員の皆さまの接続料金に加えて、義援金（一口100円～）を毎月寄付していただくことで、復興への持続的なサポートを行っていききたい。 なお、朝日ネットからは義援金1,000万円を寄付させていただく。また、創業者及び役員、従業員から義援金1億60万円を寄付させていただく。							
効果	2012年7月末現在、累計で1億2,574万円の義援金を日本赤十字社経由で被災地の復興支援に役立てていただいた。							
事例に関する連絡先								

会社名	アジア航測(株)					10		
事例名	東日本大震災における炊き出しボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	【岩手県】盛岡市、宮古市、釜石市、陸前高田市 【宮城県】気仙沼市							
プログラムの連携先	アジア航測グループ：タックエンジニアリング(株) / 地元飲食店 / 地元NPO法人							
活動の概要	主に仮設住宅居住者を対象とした炊き出しボランティア活動の実施である。 活動主体はアジア航測(株)盛岡支店社員一同およびタックエンジニアリング社員の有志で実施しており、上記地域の仮設住宅が建てられた場所へ赴き、居住者の方々に料理を提供している。 食材は地元の飲食店や卸売店から提供を受けている。							
効果	一度訪問した場所で、複数回の炊き出し活動を実施したことにより地元住民と絆が生まれ、弊社のボランティア活動が地元住民にとって憩いの場となっている。							
事例に関する連絡先	経営管理本部企画部経営戦略室							

会社名	味の素(株)					11		
事例名	“食卓からニッポンを元気に「食べるって楽しい！」”プロジェクト(1)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	釜石市
プログラムの連携先	(財)釜石・大槌地域産業育成センター
活動の概要	「ほんだし」製品の売り上げ1箱につき1円を、支援金として東北地方の食の復興支援を行っている(財)釜石・大槌地域産業育成センターに寄付した。
効果	東北地方の飲食業の復興支援の一部として活用された。
事例に関する連絡先	C S R 部

会社名	味の素(株)					12		
事例名	“食卓からニッポンを元気に「食べるって楽しい！」”プロジェクト(2)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	亶理町							
プログラムの連携先	未定							
活動の概要	「クノールカップスープ」製品の売り上げ1箱につき1円を、支援金として亶理町のイチゴ農家支援とする。							
効果	亶理町のイチゴ農家支援の一助となる予定である。							
事例に関する連絡先	C S R 部							

会社名	味の素(株)					13		
事例名	“食卓からニッポンを元気に「食べるって楽しい！」”プロジェクト(3)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	検討中							
プログラムの連携先	検討中							
活動の概要	コース・マーケティングにより、東北エリアの産業振興の一助とさせて頂きたいと考えている。							
効果	コース・マーケティングにより、東北エリアの産業振興の一助となれば幸いと捉えている。							
事例に関する連絡先	C S R 部							

会社名	アステラス製薬(株)					14
事例名	仮設住宅への花卉寄贈					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	多賀城市									
プログラムの連携先	多賀城市役所									
活動の概要	弊社グリーンサプライ支援室（障害者雇用事業所）で作った花卉を多賀城市の仮設住宅に寄贈している。									
効果	仮設住宅に入っている方にとって、精神的にも癒されているとうかがっている。									
事例に関する連絡先										

会社名	アズビル(株)								15	
事例名	モバイル版緊急通報サービス									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県岩沼市、岩手県大船渡市									
プログラムの連携先	岩沼市および大船渡市									
活動の概要	宮城県岩沼市や岩手県大船渡市の、仮設住宅にお住まいの単身高齢者および高齢者世帯を対象に、アズビルあんしんケアサポート(株)が「みまもりケータイ」を使ったモバイル版緊急通報サービスを提供している。阪神・淡路大震災で課題となった、仮設住宅における高齢者の「ひきこもり」や、誰にも看取られずに死亡する「孤独死」などを防ぐため、困ったときにいつでも相談・連絡できる支援体制のひとつとして活用されている。被災後の仮設住宅の場合、これまでの生活と異なり孤独感や引きこもり状態がより顕著となり易くなっている。									
効果	週に1度の電話によるお伺いを実施し、孤独感の解消を図ると共に、通報をし易い環境作りに努めている。本来的な目的の救急救命と、コミュニケーションツールとしての機能を、24時間・365日の体制で提供することにより、救助を求める通報を受けることができる。実際の救助事例としては、腹痛を訴える通報を受信し看護師の判断で救急車を要請した。腸閉塞のため即入院となったが、無事退院された。また、親族より様子がおかしいとの通報に対し、看護師の判断で救急車を要請し、心不全と肺炎のため入院となったが、この方も無事退院されたなどの事例がある。									
事例に関する連絡先	総務部									

会社名	アフラック								16	
事例名	" We are One Family " 活動									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	岩手県、宮城県、福島県の各自治体							
活動の概要	<p>本活動は、当社のがん保険・医療保険の販売1件につき、当社及びこの活動に賛同した当社の保険販売代理店からそれぞれ100円を復興義援金として、岩手県・宮城県・福島県の育英基金に寄贈を行う。</p> <p>当社は創業以来、家族・子どもをテーマに社会貢献活動を展開していることから、被災地の将来の復興を担う震災孤児・遺児のため義援金の寄贈し、現在も継続して行っている。</p> <p>対象期間 2011年3月22日～現在も継続中 寄贈実績 2011年9月、11月、2012年3月 金額実績 171,997,951円 寄贈先 いわての学び希望基金（岩手県） 東日本大震災みやぎ子ども育英募金（宮城県） 東日本大震災ふくしま子ども寄附金（福島県）</p>							
効果								
事例に関する連絡先	広報部社会公共活動推進課							

会社名	アフラック					17		
事例名	「アヒルさんからの贈り物」企画							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	ブックオフオンライン(株)/NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク							
活動の概要	<p>第一弾「被災地で闘病する子どもたちに絵本・おもちゃのプレゼント」</p> <p>ブックオフオンライン(株)が展開する「ボランティア宅配便」を利用して、社員が書籍・DVD提供し、換金。それをもとに、NPO法人ゴールドリボン・ネットワークを通じて、被災地の小児医療の拠点となる病院が希望するおもちゃや文房具用品などを寄贈した。</p> <p>実施期間 2012年3月～5月 寄付金額 196,003円 寄贈先 岩手県立医科大学病院 宮城県立子ども病院 福島県立医科大学病院</p> <p>なお、「アヒルさんからの贈り物」企画では支援活動の継続的な実施を目指しており、9月には宮城県でボランティア活動を実施する予定である。</p>							
効果	<p>震災以前から続けている弊社の社会貢献活動の柱である「小児がんなど病気と闘う子どもたちへの支援」との親和性もあったことから、社員の共感を得られ、予想以上の寄付金を集めることが出来た。</p> <p>寄贈先の病院からは「被災、そして辛い治療を受けながら病気と闘う子どもたちにとって、DVDなどは癒しになり、大変励みにもなる」と感謝の言葉をいただいている。</p>							
事例に関する連絡先	広報部社会公共活動推進課							

会社名	安藤建設(株)					18
事例名	気仙沼地域スポーツ支援活動					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙沼市本町付近大川河川敷、宮城県立気仙沼高校/唐桑地区、階上地区、鹿折地区、大島地区/関東学院大学グラウンド、野島青少年研修センター/気仙沼市内各所小学校、小田の浜							
プログラムの連携先	気仙沼市商工会議所、鹿折ラグビースクール、気仙沼市教育委員会、大島地区災害対策本部、NPO法人横濱ラグビーアカデミー							
活動の概要	<p>当社は、ラグビー部員を中心に、被災した子どもたちが笑顔になるよう、スポーツを通じた教育支援活動を行った。</p> <p>2011年のGW期間中には、宮城県気仙沼市の少年ラグビーチームなどの子どもたち(34名)を対象とした「ラグビー教育」を開催し、当社のラグビー部員がコーチとなって、子どもたちと共に汗を流してラグビーの楽しさを伝えたほか、参加した子どもたちにTシャツやラグビーボール、タグラグビーセットなどをプレゼントした。</p> <p>同年7月には、同市の商工会議所などからの要請に応え、被災地の子どもたちを対象とした「気仙沼のこども達の為の体力・体づくり教室」を5つの会場で計6回開催(延べ291名参加)し、同市で盛んなタグラグビーを中心に、チームワークやフェアプレイ精神を学んでもらった。</p> <p>同年10月には、横浜で開催されたタグラグビートーナメント「第20回ヨコハマカップ」に7月の「体力・体づくり教室」に参加した子ども達(25名)を招待して試合に出てもらったほか、試合後にバーベキュー大会を開催し、参加した関東近隣の子どもたちとも交流の場を設けた。</p> <p>なお、GWと7月の活動では、被災地のがれき撤去作業も行った。</p> <p>2012年7月にも、BBQ大会やラグビー教室、浜の清掃を行っている。</p>							
効果	<p>気仙沼市商工会議所より社長宛感謝状、運動教室を開催した唐桑小学校からお礼の手紙をいただいたほか、気仙沼大島災害対策本部より感謝状、大島の子どもたちから色紙をいただいた。</p> <p>この活動を通じて何より嬉しかったことは、子どもたちが笑顔になったことで、2011年GW期間中の活動では、父兄の方から「震災以来、こんなに素敵な子どもの笑顔を初めて見ました」というお言葉を聞くことができた。</p>							
事例に関する連絡先	社長室経営企画部							

会社名	安藤建設(株)					19		
事例名	第4回 気仙沼ボランティア活動 気仙沼の子どもたち“100の瞳”招待プロジェクト「繋」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	関東学院大学釜利谷キャンパスラグビーグラウンド、野島青少年研修センター							
プログラムの連携先	NPO法人横濱ラグビーアカデミー							
活動の概要	<p>平成23年10月8日～10日に、安藤建設社員30名、関東学院大学ラグビー部108名が参加して、気仙沼の子どもたちを、以下のイベントに招待した。</p> <p>【内容】 横浜市内観光 タグラグビートーナメント“第20回ヨコハマカップ”(NPO法人横濱ラグビーアカデミー主催、神奈川県・東京都・千葉県の小学生43チーム約400人)に特別参加 野島青少年研修センターでの合宿</p>							
効果	<p>については、喜んでいて、特に、夜の街の明るさに驚いていた。</p> <p>については、他府県の子どもたちと交流できたことが、相互に、良い経験となった。</p> <p>については、大学生側にとっても、貴重な経験となった。</p>							
事例に関する連絡先								

会社名	アンリツ(株)					20				
事例名	通信網や産業復興のための物資提供、修理サポート									
無償 / 有償 支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域										
プログラムの連 携先										
活動の概要	<p>(1) 光通信網の早期復旧支援 光ファイバの故障診断用計測器を無料で、通信事業者や工事会社に貸し出し、光通信網の早期復旧に貢献した。また、アンリツネットワークス(株)は、仙台河川国道事務所の光ファイバ断線調査に協力し、サポートエンジニアを派遣した。</p> <p>(2) 被災したアンリツ製品の修理サポート アンリツ製品(計測器やX線異物検出機、印刷はんだ検査機、光マイクロ、テレメータなど)の無料故障診断、現地での復旧サポートなどを通じて修理支援を実施した。</p> <p>(3) 東北地方の水産業復興を支援 アンリツ産機システム(株)は、従来から東北地方の水産業界に鮮魚用の重量選別機や加工品用の異物検出機などを提供しており、多数利用されている。そこで、アンリツ産機システム(株)では、東北地方の水産事業者への優先納入や被災した製品の修理支援、生産ラインの復旧支援、製品の無料貸し出しなどを実施している。その他の支援活動はホームページをご参照いただきたい。 <東日本大震災復興支援> http://www.anritsu.com/ja-JP/About-Anritsu/CSR/achievement2/social-contribution/index.aspx#society</p>									
効果										
事例に関する連 絡先										

会社名	イオン(株)					21				
事例名	従業員による被災地でのボランティア活動									
無償 / 有償 支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	2011年度=石巻市、2012年度=陸前高田市									
プログラムの連携先	2011年度=石巻市災害ボランティアセンター、2012年度=岩手県遠野市のNPO									
活動の概要	<p>イオンは、2011年7月より、従業員による被災地でのボランティア活動に取り組んでいる。2011年度は石巻市災害ボランティアセンターと連携して、石巻市尾崎地区や鮎川浜・寄磯地区で、被災者宅の復旧活動や地元漁師さんのお手伝い(ホヤの養殖イカダの準備作業)などを行った。</p> <p>また、2012年3月には、グループ30万人の従業員が心を合わせて、長期的な支援を続けていく決意を伝えるために、「3.11復興への願いをカタチに」を発表。その一環として、労使一体で「イオン心をつなぐプロジェクト」を発足させ、引き続きボランティア活動に取り組んでいる。</p> <p>2012年度は岩手県遠野市のNPOと連携して、陸前高田市上長部地区で、ガレキの撤去、農作業のお手伝いなどを行っている。</p> <p>被災地でのボランティア活動については、現地のニーズにあわせて中長期的・計画的な活動を行うこと(多様化したニーズにタイムリーに対応)従業員が参加しやすい活動を行うこと(専門性を必要としない)に努</p>									

	めている。また、従業員が参加しやすくするために、会社が現地までの交通費の一部を負担している。
効果	2011年度は、年間11回のボランティア活動を実施し、計324名が参加した。 2012年度は、年間21回のボランティア活動、計700名の参加を予定している。 長期的・継続的にこの取り組みを実施するで、一日も早く復旧・復興を果たそうとされている被災地の皆様の心と、それに寄り添いお手伝いをしたいというイオンビールの心をつなぐ取り組みにしたいと考えている。 また、これらを通じた体験は、従業員にとっても、イオンの基本理念を体現、体感する機会となっている。
事例に関する連絡先	グループ環境・社会貢献部

会社名	伊藤忠エネクス(株)							22	
事例名	地方自治体への寄付								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、塩釜市、仙台市、名取市、いわき市、浪江町、陸前高田市、東松山市、気仙沼市、大槌町、山元町								
プログラムの連携先									
活動の概要	東日本大震災の復興支援として、「災害義援金」を被災地の自治体に寄付した。								
効果	被災地の復興支援の一助になると共に、当社のグループ社員及び取引先等に活動内容をアピールすることができた。								
事例に関する連絡先	CSRコンプライアンス課								

会社名	伊藤忠エネクス(株)							23	
事例名	災害復興ボランティア活動								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	南三陸町、大船渡市、陸前高田市、七ヶ浜町								
プログラムの連携先	各地ボランティアセンター								
活動の概要	上記各被災地のボランティアセンターにコンタクトを取り、グループ社員が実際に瓦礫撤去等を行うボランティア活動を、計7回実施した。								
効果	ボランティア参加者の意識向上と、ボランティア参加者のレポートをグループ内外に周知することにより、社員及びステークホルダーに対して社会貢献意識を喚起することができた。								
事例に関する連絡先	CSRコンプライアンス課								

会社名	伊藤忠エネクス(株)							24
事例名	太陽光発電システム寄贈							

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県石巻市									
プログラムの連携先	石巻市役所									
活動の概要	被災した保育所に太陽光発電システムを2基寄贈した。同システムは次世代教育に使ってもらうこととなっている。また、周辺地域の停電時には近隣住民が避難できるようになっている。									
効果	地域に安心を与えることができたことと、贈呈式を行うことで、太陽光発電システムの取扱いを新聞等でアピールできた。									
事例に関する連絡先	CSRコンプライアンス課									

会社名	伊藤忠商事(株)							25			
事例名	伊藤忠記念財団による株主の皆様とともに行う『子どもの本 100 冊助成』										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	岩手県紫波郡、宮城県柴田町、福島県南相馬市										
プログラムの連携先	保育ママの会グランマ、絵本読み聞かせの会、おむすびころりん、ちゅうりっぷ文庫など										
活動の概要	株主宛情報の電子化を承諾いただいた株主に対し、「株主総会招集通知」などの印刷物の郵送を電子メールに切り替え、それにより節約される用紙代・郵送料等を、伊藤忠記念財団が行う子ども文庫助成事業「子どもの本 100 冊助成」に寄付する取組みを実施した。伊藤忠商事も節約された費用と同額を寄付することで参加している。										
効果	2012年3月末までに7,509名の株主より承諾あり、被災地で活動する13団体に15セット(1,500冊)を寄付。現地の書店経由で納入することにより地元の経済復興にも寄与できた。										
事例に関する連絡先	広報部CSR・地球環境室										

会社名	伊藤忠テクノソリューションズ(株)							26			
事例名	震災ボランティア活動(遠野まごころネットプログラム)										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				

具体的地域	岩手県石巻市・大槌町・釜石市
プログラムの連携先	NPO法人遠野まごころネット
活動の概要	遠野まごころネットを拠点として、岩手県沿岸部被災地に展開し、瓦礫撤去や、仮設住宅へのフォロー等の活動を実施した。
効果	現地ニーズに則した活動を実現し、社内への現地ボランティア活動の意識付けの良い機会となった。
事例に関する連絡先	CSR・セキュリティ統括部

会社名	伊藤忠テクノソリューションズ(株)					27		
事例名	食のライフライン復興支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	大槌町							
プログラムの連携先	(株)マイヤ、東日本電信電話(株)							
活動の概要	岩手県を中心に展開しているスーパーマイヤに対しクラウド型ネットスーパーサービスの開発と提供を実施した。 上記サービスに対し情報端末を利用することになるが、買い物に困っている方々には年配の方も多く、情報端末を利用することに壁が存在するため、それを解消するため社員がボランティアが使用方法を含めたレクチャーを実施した。							
効果	被災地で買い物に困っている方々の問題を解消する手助けができた。 本業につながるボランティアを実施することで、社員のボランティアに対する意識づけの強化が図れた。							
事例に関する連絡先	CSR・セキュリティ統括部							

会社名	伊藤忠テクノソリューションズ(株)					28		
事例名	社員による震災復興ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、石巻市、気仙沼							
プログラムの連携先								
活動の概要	社員ボランティアがグループを作り、交代で継続的に被災地でのボランティア活動を実施した。 内陸部でレンタカーを借り、沿岸部のボランティアセンターの指示のもと活動した。							
効果	現地ニーズに則した活動を実現し、被災地への支援活動に継続性をもたせることができた。 グループでの参加ということもあり、新たな参加が増えてきた。							
事例に関する連絡先	CSR・セキュリティ統括部							

会社名	岩谷産業(株)							29
事例名	社員による震災復興ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙沼 南三陸町など宮城県が中心							
プログラムの連携先								
活動の概要	2011年6月～2013年3月末日にて、被災地のボランティアセンターに協力して、家の清掃、田んぼの整備などの作業支援を行っている。そのための「ボランティア休暇」を設けている。これまでの参加延べ人数は23名にのぼった。							
効果								
事例に関する連絡先	広報・社会関連部							

会社名	SMK(株)							30
事例名	遊休機械を被災地事業者提供							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県、宮城県、福島県							
プログラムの連携先	日本商工会議所							
活動の概要	日本商工会議所では、東日本大震災による津波などで機械等を流失・損壊した事業者の復興支援を図るため、全国各地の事業所から遊休機械等を無償で提供いただき、被災事業者の要望とのマッチングをおこなうプロジェクトを実施している。弊社もこのプロジェクトへ参加し、11点の遊休機械等を提供した。							
効果	現在、2点のマッチングが決定し、被災事業者の復興に役立っている。							
事例に関する連絡先	渉外秘書室							

会社名	SMB Cコンシューマーファイナンス(株)							31
事例名	金融啓発講座の開催							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	仙台市若林区			
プログラムの連携先	若林区役所まちづくり推進課 / 仙台市若林区卸町東2丁目公園仮設住宅自治会			
活動の概要	仙台では、弊社の仙台お客様サービスセンターを拠点に、現在も本業を通じた被災地支援を積極的に実施している。昨年、仙台湾津波災害ボランティアセンターで活動を共にした仙台市若林区役所まちづくり推進課の方との情報交換の中で、仮設住宅ではイベントが少なく、コミュニティの場が不足していることが話題となる。そこで、2012年3月15日、卸町5丁目公園仮設住宅集会所において、金融啓発講座を開催し、20名の住民の方に参加いただく。また、7月下旬には同様の講座を卸町2丁目公園仮設住宅の住民の方(15名程度)を対象に実施予定。			
効果	仮設住宅にお住まいの方々へコミュニティの場を提供する。また、弊社が持つ金融トラブルに関する情報を発信することで、被災者を狙った悪質な詐欺が横行している事実などを伝え、トラブルの未然防止に寄与する。			
事例に関する連絡先	広報CSR室			

会社名	SMBコンシューマーファイナンス(株)				32			
事例名	子ども向けの金融啓発イベント実施							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	岩手県宮古市							
プログラムの連携先	岩手県宮古市社会福祉協議会田老福祉センター							
活動の概要	盛岡においても、お客様サービスプラザにて本業を通じた被災地支援を積極的に実施した。2011年10月まで支援活動をしていた宮古市社会福祉協議会とは現在も良好な関係を継続している。そこでの情報交換の中でコミュニケーションの活性化を要望として受け、弊社は情報発信を実施した。2011年11月27日、被災した子どもたちを対象にお金の成り立ちや大切さを、カードゲームを通して伝える取り組みを実施。							
効果	仮設住宅にお住まいの方、特に子どもたちへのコミュニティの場を提供する。あわせて、子どもたちへお金の大切さなどを伝えていく中で金銭教育の普及に寄与する。							
事例に関する連絡先	広報CSR室							

会社名	SMBコンシューマーファイナンス(株)				33			
事例名	復興イベントへの参加をつうじた交流							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	仙台市							
プログラムの連携先	仙台市社会福祉協議会 / 若林区社会福祉協議会							

活動の概要	弊社の仙台お客様サービスプラザでは、地域内と連携した被災地支援を実施した。2011年8月には、復興支援“笑顔”“せんだいサポートステーションへ企業登録し、各種復興イベントへ参加。イベントのお手伝いや弊社の被災地支援活動についてのパネル出展を行った。2012年2月には、仙台市社会福祉協議会主催「ボランティアフォーラム」にパネリストとして招かれ、弊社の支援活動の説明、今後の被災地支援についてパネルディスカッションを行った。2012年3月より、若林区社会福祉協議会の「復興の輪ミーティング」に参加。毎月1回、地域の方々と、情報交換・共有を行い、被災地支援について考えている。
効果	社会福祉協議会と連携を図る中で、日々変わっていく被災地のニーズを知ることができる。更に社会福祉協議会が主催する様々なイベント・ディスカッションの場に参加することで、直接地域の方と情報交換・共有を行い、当社としてできることについて考える機会を得る。
事例に関する連絡先	広報CSR室

会社名	SMBC日興証券(株)					34					
事例名	個人向け復興国債の販売										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域											
プログラムの連携先											
活動の概要	個人向け復興国債の販売をすることによって被災地支援に貢献している。										
効果	1月債(2011年12月募集)および2月債(2012年1月募集)の累計募集額が、取扱金融機関で首位となる1,450億円となった。										
事例に関する連絡先	広報部										

会社名	SMBC日興証券(株)					35					
事例名	新入社員による社会貢献活動研修										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	宮城県南三陸町										
プログラムの連携先	南三陸町ボランティアセンター、JTB										
活動の概要	2012年度入社プロフェッショナル社員と引率の役社員が、2012年7月に3回に分けて南三陸町での復興支援活動を実施した。										
効果	社会貢献活動を通じて、活動の意義・重要性を学び、新入社員間における一体感の醸成を図ることができた。また、当社が取り組んでいるCSR活動を実践する機会になった。										
事例に関する連絡先	人材育成部										

会社名	S Gホールディングス(株)				36						
事例名	救援物資輸送の実施と現地被災者の採用										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	被災地全域(岩手県、宮城県、福島県)										
プログラムの連携先											
活動の概要	<p>佐川急便では、緊急時の救援物資輸送は物流という重要な社会インフラを担うものの責務と考え、震災発生直後から、国や各地の自治体、自衛隊と連携して救援物資の輸送活動を行った。</p> <p>2011年3月11日の東日本大震災発生後、佐川急便は直ちに災害対策本部を立ち上げ、社員の安否確認、被災地にある拠点の状況などの情報収集を急いだ。こうして社内体制の整備と並行して、災害時の対応について協定を締結している日本赤十字社からの要請を受け、12日早朝から被災地へ毛布などの救援物資輸送を開始した。</p> <p>さらに13日には、東京に拠点を置く関東支社から車両100台・人員200人で構成された緊急応援部隊が出発し、救援物資を届けるとともに、そのまま現地に残り被災地の物流を支援することとなった。</p> <p>通常、災害時の物流はトラック協会や倉庫協会などの業界団体が県との一次窓口になり、加盟事業者への輸送を要請する体制がとられるが、東日本大震災では県庁自体も大きな被害を受けた上、各方面での膨大な対応作業に追われ、救援物資の物流が混乱し始めていた。</p> <p>14日からは宮城県災害対策本部に担当者が常駐し、県から緊急依頼された輸送をその場で手配し、自衛隊と連携して不足していた粉ミルク、病院の毛布、さらには飲料水や食料品を輸送した。県の物資集積場所から自治体への救援物資輸送を実施した。</p>										
効果	<p>物資集積所の状況を改善した被災地への物資支援体制を構築</p> <p>佐川急便は、宮城県石巻市からの支援要請を受け、市内の救援物資の輸送を担うことになった。しかし、当初、市の集積所となっていた石巻市総合運動公園では、市職員が救援物資の受け入れを行っていたが、増え続ける物資の管理が行き届かず、何がどこにいくつあるのか把握できない状態だった。そこで、佐川急便は集積所のオペレーションの改善を市や自衛隊に提案し、市・自衛隊・佐川急便の役割分担を明確にするとともに、物資の受け入れ窓口を一本化した。その上で、カテゴリごとに分けて物資を置く場所を決め、内容や数量を適切に管理する物流拠点としての基本的な体制整備を進めた。</p> <p>佐川急便は、雇用の面でも復興を支えるため、石巻市近郊の被災者100名を救援物資の管理・仕分けなどの業務で優先的に採用し、2011年7月から12月まで業務に就いてもらった。</p>										
事例に関する連絡先											

会社名	S Gホールディングス(株)				37						
事例名	車両や遊具の提供										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	被災地全域										
プログラムの連携先											
活動の概要	<p>(1)「車両」の寄贈</p> <p>車両整備や車両販売などを展開しているS Gモータースは「小型トラックは狭い場所にも入ることができ、</p>										

	<p>がれき撤去などの作業に重宝する」という被災地からの声を受け、2011年6月から7月に、宮城県気仙沼市へ5台、岩手県釜石市へ3台、同大槌町へ2台、計10台の自家用軽貨物トラック(自家用軽貨物・ダンプ仕様・小型ダンプ・軽四輪駆動車)を寄贈した。</p> <p>(2) 移動遊園地 ちびっ子SGランド 【社員参加数 212名】</p> <p>被災地の子どもたちに遊び場を提供する「移動式ちびっ子SGランド」を実施した。これはSGモータースの工場で作成した遊具(電動カート、射的ゲームなど)を提供しコミュニティを図る取組みで、各会場で数多くの家族連れに提供できた。2011年8月から11月迄に、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.宮城県七ヶ浜町「七ヶ浜国際村」(場所:七ヶ浜国際村内) 2.宮城県東松山市「東松島元気フェスタ」(場所:矢本市街) 3.宮城県東松山市「がんばっぺ東松島 みんなで子ども秋まつり」(場所:東松島市民センター) 4.宮城県石巻市「おらほの復興市～石巻・女川・東松島～」(場所:石巻総合運動公園) 5.宮城県東松山市赤井「オール赤井まつり」(場所:赤井市民センター) <p>以上の計5カ所で開催した。</p>
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地への車両の寄贈は各地域における復興活動に即効性のある「現物」提供として喜んでいただいた。 ・計5回の「ちびっ子SGランド」開催実績は、石巻市以外、地元市役所や区民センターなど行政からの要望でもあり、被災地住民との協働も功を奏してイベントとして一体感をもった開催・運営がされ、一定の成果・効用、地元での満足感も感じられた。
事例に関する連絡先	

会社名	SGホールディングス(株)				38			
事例名	ボランティアバスツアーの催行							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	陸前高田市・石巻市・仙台市							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>保険や旅行、商品開発事業などを展開している佐川アドバンスは、「復興支援ボランティアバスツアー」を催行している。2011年度は4便134名をまた、企業団体(4団体)・226名、計360名のボランティアを送った。被災地では多数のボランティアを必要としている一方で、「ボランティアに参加したいが方法がわからない」という方も多くいらっしゃる。そういった方々が参加しやすいように、一般の方にも無理のない2泊3日の行程で、観光や宿泊を通じた復興支援と1日のボランティア活動を組み合わせたツアーとした。</p> <p>ボランティア活動については岩手県の陸前高田市災害ボランティアセンターを受け入れ先に、荷物の運び出しや住宅の泥のかき出し、がれき撤去などの作業に参加していただいた。</p> <p>今年度はこれまでに、3便94名のボランティアを送っている。</p> <p>今後も現地の要望がある限りボランティアツアーは継続していく。</p> <p>また、2011年4月には当社社員(東京支店勤務者)2名が1泊2日で仙台にてボランティア活動を行った。</p>							
効果	東日本大震災復興支援ツアーにおいて、陸前高田市が弊社ボランティアツアーを受け入れていただいた関係から、収益金の一部の50万円を義援金として寄贈することに繋がった。							
事例に関する連絡先								

会社名	NECフィールドینگ(株)				39			
事例名	NECグループ「TOMONIプロジェクト」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	南三陸町			
プログラムの連携先				
活動の概要	<p>本活動はNECを中心としたNECグループ全体の活動であり、当社はこれに協賛し積極的に参画している。「NEC“TOMONI”プロジェクト」は、従来から継続しておこなってきた社会貢献プログラムを活用し、発展させた支援や、社員が実際に被災地へ行って、ボランティア活動をおこなう。主に瓦礫の撤去作業や、南三陸町で開催されている「福興市」の運営ボランティアを定期的(1カ月に1回程度)行っている。被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、今後も被災地の状況・ニーズを見極めながら、NECらしい情報通信技術を活用した支援、そして、社員の参画による多様な取り組みを、自治体やNPOをはじめとするステークホルダーと協働して、継続的に行っていく。</p>			
効果	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況・ニーズを体感して察知することにより、本業での支援をさらに加速させることができる。 NECグループ一体となった(One NEC)活動により、内外にグループ丸となった復興支援をアピールすることができる。 			
事例に関する連絡先	CSR経営推進部			

会社名	NECフィールドイング(株)				40			
事例名	歩くパトロールボランティア(「エアアイ・フィールドパトロールチーム」による活動)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	仙台							
プログラムの連携先	仙台市市民局市民生活課							
活動の概要	<p>震災以降、道路やガードレールなどの破損が見受けられる箇所もあり、随時報告することにより地域住民の安全に貢献するため、仙台市で実施している『歩くパトロールボランティア』に登録し、従業員数名のグループで市内を歩きながら、防犯上好ましくない場所(暗い道や公園)を見つけ改善が必要と思われる場所を仙台市(市民生活課)へ報告する。</p> <p>当社は社会貢献活動を行うために社員有志と会社が共通の目的意識を持った社内の任意団体として「FIELDING社会貢献倶楽部」を設立し、全国各地で活動を展開している。本活動は「FIELDING社会貢献倶楽部」の1チーム、「エアアイ・フィールドパトロール」によるものである。</p>							
効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した活動が定期的に実施していることにより、地域住民とのコミュニケーションが図れる。 安全な街づくりに貢献できる。 							
事例に関する連絡先	CSR経営推進部							

会社名	NECフィールドイング(株)				41			
事例名	(公財)「オイスカ」が実施している「海岸林再生プロジェクト」への協賛							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				

具体的地域	名取市
プログラムの連携先	(公財)「オイスカ」
活動の概要	海岸林の再生に向けた道のりは、まずクロマツの苗木を育てるところから始まる。被災地住民の有志による苗木生産グループが結成され、そのメンバーの中には津波による壊滅的な被害で、農産物をつくるのが困難になった農家の人もいる。クロマツの苗木を育てることは、被災地住民の収入確保の一手段にもなる。こういった背景から、(公財)オイスカは、上記の苗木生産グループを中心とした海岸林再生への取り組みを全面的にサポートしており、当社もこの活動を支援している。
効果	・失った海岸林を再生できる。 ・今後は海岸清掃や下草刈りなどの実作業も想定されており、積極的に参画していくことで地域住民や他団体とのコミュニケーションを図ることができる。
事例に関する連絡先	C S R 経営推進部

会社名	(株)エヌ・ティ・ティ・データ				42			
事例名	石巻地域における 等ボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県石巻市							
プログラムの連携先	NPO法人BHNテレコム支援協議会、(一社)OPEN JAPAN 等							
活動の概要	<p>当社社員の知見やスキルを活かした復興支援として、石巻地域の リテラシー向上、 人材育成につながるボランティア活動を推進していくことを計画である。今回はその先駆けとして、トライアル的にプログラムを実施した。</p> <p>活動日程、人数 第1回 2012年5月10日(木)～12日(土) 第2回 2012年5月17日(木)～19日(土) 第3回 2012年5月24日(木)～26日(土)</p> <p>現地のボランティア団体と連携し、毎回4人(事務局1人含む) 延べ12人の社員が参加した。</p> <p>活動内容 BHNテレコム支援協議会様が実施しているパソコン教室の指導補助を実施した。 合わせて、OPEN JAPAN様が実施している「サンライス元気村プロジェクト」(仮設住宅での避難生活を余儀なくされている1人暮らしの高齢者宅を訪問する傾聴ボランティア)にも参加した。</p> <p>今後の予定 今回のトライアルで得られた経験を活かし、6月～7月に有志により実施される ボランティアプログラム検討WGを経て、NTTデータらしい支援プログラムを構築し、現地支援団体等との連携により、継続的にリテラシー向上につながるプログラムを提供していく。</p>							
効果	(パソコン教室) 比較的高齢の受講生が多いこともあり、進むペースはゆっくりであった。 参加者は4～5名程度。受講生からは、震災前は敬遠していたけれど震災後は「パソコン操作もできるようになっておかなければ」との思いから、気軽に参加できるこの教室に参加することを決めたとの声も聞かれた。 (サンライス元気村) ほとんどの方はボランティアの訪問を快く受け入れてくださり、家の中まであがらせていただきお茶やお菓子までごちそうになった。つらい経験を自ら語ってくださる方もおり、感謝してくださる方が多かった。							
事例に関する連絡先	総務部社会貢献推進室							

会社名	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ				43
事例名	東北復興新生支援室による支援(1)「未来の種プロジェクト～南三陸 森・里・海 ものがたり～」				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県南三陸町							
プログラムの連携先	(株)アミタ持続可能経済研究所							
活動の概要	南三陸町における以下の自然農業支援プロジェクトに参画している。 ・自然栽培のササニシキ及び薬草(トウキ)のブランディング化 ・都会の消費者と現地生産者を結び、将来のファン層を増やす試みとして、田畑への定点カメラの設置と農作物の成長状況のインターネット上での配信や、生息する動植物や自然風景の携帯コンテンツ配信を実施 ・現地からの情報配信は、生産者がタブレット端末を使って実施							
効果	・将来の南三陸町ブランドでのここで生産された資源の価値向上 ・情報配信、農作物生産・販売を通じた将来の雇用作り							
事例に関する連絡先	東北復興新生支援室							

会社名	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ					44		
事例名	東北復興新生支援室による支援(2)フォトパネルを活用したコミュニティ支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県双葉町							
プログラムの連携先	福島県							
活動の概要	県内や県外に避難されている町民に対し、「お便りフォトサービス」を活用して行政情報を配信している。具体的には、2012年2月から配信を希望された1,350世帯に対しフォトパネル端末を配布し、「電子掲示板事業」として、双葉町からのお知らせなどを配信している。 ・各世帯に設置しているフォトパネル端末は自動的に情報が配信され、最新情報が表示される。受信者側での操作が一切必要ないため、どなたでも簡単に情報を得ることができる。							
効果	・双葉町の避難世帯に対するコミュニティ支援、町と世帯の絆の維持に役立っている。 ・避難住民から「双葉町からのお知らせがいろいろとわかり『糸』でつながれている感じ」「仙台にいと双葉町の情報を知ることが難しいので大変助かる」「高齢者はインターネットが使えないから本当に便利」といった感謝のお手紙が双葉町役場に届いている。							
事例に関する連絡先	東北復興新生支援室							

会社名	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ					45		
事例名	東北復興新生支援室による支援(3)防災・街づくりに向けた教育分野の取組み							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	岩手県大船渡市、山形県山形市			
プログラムの連携先	NPO教育団体TOS S			
活動の概要	小学生を対象として、震災・新たな街づくりをテーマにした特別授業を実施した。 ・岩手県(2校) 山形県(1校)で実施した。 ・タブレット端末を使い、AR機能による未来の街の姿を小学生が体感した。 ・ドコモから、授業用のタブレット端末機器を一時提供した。			
効果	・被災地における「震災を風化させない」ための取り組みを実施した。 ・タブレットを活用した授業を実施したことで、教室にいながらして外部と繋がり、仮想の空間に容易に情報発信できる試みを子どもたちが体験することで、子どもたちに笑顔があふれた。教育現場でのタブレットの有効性を再認識できた。			
事例に関する連絡先	東北復興新生支援室			

会社名	(株)エフエム東京					46		
事例名	Love & Hope ~ ヒューマンケアプロジェクト (レギュラー番組: JFN 38 局ネット)							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県	その他		
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	JFN全国ネット番組として、被災地の方々の心のケア、からだのケアを目指した支援活動をさまざま視点で展開した。2011年震災後から立ち上げ現在に至る。この番組は今年度ギャラクシー賞報道活動部門の選奨としてラジオ局で唯一受賞した。避難所を訪ねての健康ケア活動や、疾患予防活動、被災者への法的支援、被災地の子どもたちの教育問題、被災地の子どもたちへ図鑑を送るプロジェクト、メンタルケア対策など現地ケアの実践活動を早くから始動させた。本年度も震災孤児支援企画、瓦礫を活かす森の長城プロジェクトへの参画など、NPO法人との協働をはじめ、TOKYOFMとしての取り組み、また被災地への貢献活動の紹介など、震災後から一貫した被災者目線での象徴番組として編成している。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	(株)エフエム東京					47		
事例名	ヒューマンコンシャス募金 及び 猪苗代湖ズ楽曲ダウンロード募金							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県	その他		
具体的地域								
プログラムの連携先								

活動の概要	1 JFNヒューマンコンシャス募金として、日本赤十字を通じて寄付を行った。 2 福島出身の4人からなるバンド・猪苗代湖ズによる、チャリティソング「I love you & I need you ふくしま」の配信をTOKYOFM携帯サイト限定で実施した。1ダウンロード420円で販売し、手数料を除き収益の全額を福島県災害対策本部へ寄付した。
効果	
事例に関する連絡先	

会社名	王子製紙(株)				48				
事例名	北海道チャリティゲーム in Tomakomai								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	チャリティーゲームによる売上を復興支援として日本赤十字社へ寄付								
プログラムの連携先	苫小牧アイスホッケー連盟、苫小牧市体育協会、JTB北海道、北海道アイスホッケー連盟、日本製紙クレ イNZ								
活動の概要	2011年7月9日、王子製紙アイスホッケー部(王子イーグルスとしてアジアリーグ所属)は、日本製紙クレ イNZの協力により、両チーム混成2チームによるアイスホッケードリームマッチを開催し、入場料・グッ ズ売上等全額を復興支援として日本赤十字社に寄付した。 今年度についても、同内容にて7月8日実施した。								
効果	義援金の拡大、アイスホッケーファンへのサービス向上につながった。								
事例に関する連絡先									

会社名	王子製紙(株)				49				
事例名	王子ネピア(株)によるティッシュ及び紙パルプ加工品、ならびに紙おむつの製造、加工ならびに売買								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	2011年度は岩手・宮城・福島3件全域。2012年度以降は福島県福島市								
プログラムの連携先	(公社)日本フィランソロピー協会								
活動の概要	2011年3月に発生した東日本大震災を受け、同年5月に「東北地方被災地支援活動 支える人を支えよう！」 を発足し、支援活動をを開始した。 ネピア全商品の売上の一部を拠出し、日本フィランソロピー協会を通じて、被災地にて草の根的な支援活動 を行っているNPO等の活動団体、12団体に対して活動資金を提供した。また社員のボランティア参加による 支援も行った。 2012年度からは、福島市に大人用紙おむつ「ネピアテnder」の工場を開設する事から、福島での被災高齢 者支援として活動を継続していく。 内容としては、ネピアテnderの売上の一部を拠出し、福島地区で被災高齢者支援を行うNPO法人まごこ ろサービス福島センターの活動を継続支援する。 震災から時を経て、支援のニーズも変化している。様々な内容の支援がある中で、手薄になっている分野が ある。高齢者支援もその中のひとつである。介護士や看護師不足の問題や、慣れない仮設での生活で「孤独」								

	や「閉じこもり」が起き、認知症や介護状態になるきっかけになっている。私たちはそうした孤独や閉じこもりを防ぐ為に、高齢者のみなさんが気軽に集まれる憩いの場である「うららか広場」を運営し、心身のケアを行う活動を支援していく。また、より多くの「居場所」を広めていくための研修事業、講演活動、イベントなどを開催する他、県外などからのボランティアの受け入れの場として活用していく。
効果	企業や個人から支援物資や義援金が拠出される中、弊社では、資金が集まりにくい現地で草の根的に活動する団体への支援を行ってきた。効果としては、そういった団体の活動を支えることで、被災者の心のケアや被災地の復興に寄与できたことと、被災地以外の日本の皆さまが被災地復興支援に参加しやすい場を提供し、一緒に取り組むことができたことだと考えている。WEBサイトで実施したアンケートでは、「気軽に支援できる機会を与えてくれた御社に感謝。」「ネピア商品を買って被災地を応援する。」「といったメッセージの他、「継続して欲しい。」といった要望など、4,000件ほどの回答があった。
事例に関する連絡先	商品企画部

会社名	大阪ガス(株)				50			
事例名	「3.11 from KANSAI ~まだまだこれから~」(おもてなしプロジェクト VOL.1)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	大阪府大阪市北区							
プログラムの連携先	(社福)大阪ボランティア協会							
活動の概要	東日本大震災1周年を祈念して、大阪ボランティア協会が中心となって企画された「3.11 from KANSAI ~まだまだこれから~」(2012.3.10~3.11 於:梅田スカイビル)に協賛し、東北地方から近畿地方に避難してこられた人々のための「おもてなしプロジェクト」のメニューの一つとして、「朝原宣治のランニング教室」を企画・開催した。							
効果	震災復興イベントそのものは2日間で約5,500人が参加して大盛況。「朝原宣治のランニング教室」も、ステージ上で銅メダルに触ってもらうなどして、子どもたち約40人の笑顔であふれた。							
事例に関する連絡先	近畿圏部・社会貢献推進室							

会社名	大阪ガス(株)				51			
事例名	「第1回 御堂筋東北復興支援バザー」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	大阪府大阪市中央区							
プログラムの連携先	(株)りそな銀行							
活動の概要	大阪ガス(株)が1年に6回、本社ガスビル1F(南半分)御堂筋沿いで開催している「御堂筋ふれあいバザー」を、1F北半分で営業している(株)りそな銀行(御堂筋支店)との共催で行うことによりガスビル御堂筋側全体で開催した。出店団体は、通常の福祉作業所の製品のほか、東北の産物や材料を用いた製品の販売、観光案内、ブックリサイクル(不要になった書籍・CD・DVD等の販売)を行った。							
効果	読売・日経の各新聞社、NHK・関西テレビ・テレビ大阪等の取材・放映もあり、多くの方からの問合せをいただくとともに、ご来場いただき、ブックリサイクルの売上金約16万円を、あしなが育英会・東北レイン							

	ポーハウスの建設基金の一部として、寄付させていただくことができた。
事例に関する連絡先	近畿圏部・社会貢献推進室

会社名	大阪ガス(株)				52			
事例名	「ともしび子ども劇場」への招待(おもてなしプロジェクト VOL.2)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	兵庫県尼崎市							
プログラムの連携先	(社福)大阪ボランティア協会							
活動の概要	尼崎市の兵庫県立ピッコロ劇場の1公演に児童養護施設の子どもたちを招待しているイベントに、東北地方から近畿地方に避難してきている子どもたちを、あわせて招待する。							
効果	公演予定日:8/4(土)午後							
事例に関する連絡先	近畿圏部・社会貢献推進室							

会社名	(株)大林組				53			
事例名	災害廃棄物処理業務(巨理処理区)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県巨理郡巨理町							
プログラムの連携先								
活動の概要	宮城県巨理町では、津波の被害により、126万tに上る災害廃棄物が発生した。当社JVでは、発生した災害廃棄物を、選別・破碎・焼却処理する災害廃棄物処理業務を担当している。まず、焼却炉5基のほか、廃棄物の破碎・篩い分け・選別施設を設けた中間処理施設を建設した後、集積・搬入された災害廃棄物を破碎し、機械と人の手により分別して可燃物を焼却する。そして、すべての災害廃棄物の処理完了後、これらの施設を解体する。この全工程を2013年度中に完了することをめざして取り組んでいる。2012年4月、宮城県内の災害廃棄物処理業務で初となる焼却炉の本格運転を開始した。							
効果	この業務では、リサイクル率の向上とともに資材調達や地元雇用を通じた地域経済への貢献も重視している。コンクリートや泥だけでなく、通常は埋立て処分となる焼却灰をも再生し、リサイクル率を向上させている。そして、廃棄物や堆積物を資源として復興事業の地盤づくりに利用している。また、地元の農協や漁協、商工会と連携した資材調達、施設での分別にあたる作業員などとして1日あたり200人以上の地元雇用を行っている。							
事例に関する連絡先	本社CSR室							

会社名	(株)大林組				54
事例名	新入社員の災害支援ボランティア参加				

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県宮城郡七ヶ浜町									
プログラムの連携先										
活動の概要	平成 24 年 4 月に入社した新入社員が、宮城県宮城郡七ヶ浜町において災害支援ボランティアに参加した。津波被害を受けた被災地でがれきの撤去、側溝清掃、浸水家屋内の片付けなどの支援活動を行った。詳細は大林組ホームページ参照 http://www.obayashi.co.jp/csr/news_20120419_1									
効果	機械では処理が困難ながれきを撤去することで、被災地の復興の一助となった。									
事例に関する連絡先	本社CSR室									

会社名	沖電気工業(株)							55			
事例名	OKI「蕨文化彩」での「東北物産展」開催										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域											
プログラムの連携先	岩手県産(株)(いわて銀河プラザ) 宮城県東京事務所、福島県東京事務所										
活動の概要	毎年 11 月に埼玉県蕨市の拠点において日頃の地域住民の方へのご理解・ご協力に感謝し、事業所を一般に開放したイベント「OKI蕨文化彩」を開催している。 2011年度は 11 月 27 日に開催し、模擬店の一つとして東日本大震災復興支援を目的とした「東北物産展」を実施した。会場には各県ごとのブースを設置して特産品等の販売を実施した。										
効果	地域住民や社員の家族も含め多くの来場者に特産品を購入していただき、「消費による被災地支援」の啓発にもなった。										
事例に関する連絡先	CSR部										

会社名	沖電気工業(株)							56			
事例名	竹とんぼ作成 & あやつり人形鑑賞会										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				

具体的地域	福島県福島市
プログラムの連携先	江戸糸あやつり人形、国際竹とんぼ協会
活動の概要	東日本大震災以後、事業所再開などに尽力してきたOKIグループ福島地区の社員とその家族に、あやつり人形鑑賞と竹とんぼづくりを楽しんでもらった。これは、例年首都圏の児童養護施設の子どもたちを対象に実施している社会貢献プログラムを活用したもので、協働先の「江戸糸あやつり人形」は震災後、複数回にわたって福島県内の避難所や保育園・学校などでも公演を行っており、その活動の一環として快諾を得た。
効果	約70名の参加者が、2会場に分かれて公演鑑賞と竹とんぼ作りを実施した。グループ内対象の活動ではあるが、社員の慰労とともに、野外での遊びに限られる子どもたちが家族とともに楽しむ場を提供することができた。
事例に関する連絡先	C S R部

会社名	沖電気工業(株)					57		
事例名	OKI・丸紅・みずほ・明治安田 災害復興ボランティアプロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県宮城郡七ヶ浜町							
プログラムの連携先	丸紅、みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命保険							
活動の概要	2011年夏・秋の活動に続き、第3弾として4社協働で災害復興ボランティアプロジェクトを実施し、宮城県七ヶ浜町に社員ボランティアを派遣した。 2012年6月27日から7月21日までの間に全4クール(各3泊4日)を実施し、延べ120名が参加した(OKIグループからは12名が参加)。 同町の災害ボランティアセンターと連携し、復興の象徴となる海まつりを目前に控えた海岸の清掃や、農地の整備などに従事した。							
効果	継続的な活動により支援先のボランティアセンターとの連携が強まり、その時々において現地ニーズに応じた活動ができています。また4社協働のプロジェクトとすることにより、参加者間に組織を超えた連携が生まれ、活動後に個人ボランティアとして同町を再訪するケースも増えている。							
事例に関する連絡先	C S R部							

会社名	(株)奥村組					58		
事例名	ボランティア派遣							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県陸前高田市、宮古市、山田町							
プログラムの連携先	(社福)陸前高田市社会福祉協議会、陸前高田市・宮古市・山田町各ボランティアセンター							
活動の概要	1.平成23年8月22日～26日の5日間、社員ボランティアを募集し、応募した89名を岩手県陸前高田市、宮古市、山田町に派遣した。陸前高田市では草刈り・伐採・瓦礫の撤去など、宮古市では被災された方のサポート活動・側溝掃除など、山田町では全国から集まった衣類の仕分け、生活用品の倉庫搬入作業や瓦礫の							

	撤去などの支援活動を行った。 2.平成23年10月19日～21日の3日間、新入社員52名を岩手県陸前高田市に派遣し、民家庭の瓦礫の片付け・草刈り・側溝の泥や瓦礫のかき出しなどの支援活動を行った。
効果	・ボランティア活動を通じ、建設業が担うべき社会的役割を認識する一方で、企業市民として社会に貢献することの意義を正しく理解し、今後の業務や社会生活に活かしていける人材の育成に寄与した。 ・ささやかではあるが、被災地の復旧に貢献できた。また、派遣した社員に対して、一丸となって復旧に携わることの大切さ理解させることができた。
事例に関する連絡先	管理本部人事総務部総務課

会社名	(株)奥村組					59				
事例名	被災地域の仮設住宅等での炊き出し									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	岩手県山田町・大槌町・釜石市・宮古市									
プログラムの連携先	ちゃんこ大五郎(岩手県盛岡市)									
活動の概要	・盛岡市内の飲食店「ちゃんこ大五郎」と連携して東日本大震災発生直後から、被災した方々に元気になってもらいたいという思いから、避難所を中心にちゃんこ鍋の炊き出しを行ってきた。現在は、沿岸地域仮設住宅などでの炊き出し活動を定期的に行っている。									
効果	・この活動の趣旨に賛同して、ちゃんこ鍋と一緒に作り、被災者の皆さんに食べてもらうことでささやかながら元気になってもらうことができた。 ・当社社員も被災者の皆さんとともに食事をしながらお話をすることで、地域の方々との絆を深めることができた。									
事例に関する連絡先	管理本部人事総務部総務課									

(2) かけ

会社名	花王(株)					60				
事例名	みちのく復興事業パートナーズ									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域										
プログラムの連携先	NPO法人 ETIC.									
活動の概要	花王は、被災地域の自立的な復興の流れを支えるプロジェクト「みちのく復興事業パートナーズ」に参画し、被災地の新たな事業の担い手（次世代リーダー）を支援することで、雇用創出や新たな産業の構築に支援をしていく。一社だけでできる支援には限りがあるが、このプロジェクトでは、パートナーズに参画した複数企業により、様々な知恵や多くの経営資源を持ち寄り、現地の多様なニーズに合わせた支援を行うために情報の共有と協働を目指していく。									
効果										
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部門 社会貢献部									

会社名	花王(株)					61				
事例名	ARTS for HOPE									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域										
プログラムの連携先	ARTS for HOPE									
活動の概要	震災で心に大きな負担を抱えた子どもたちにアート表現を通して心穏やかな時間を過ごしてもらい、少しでも早い心の回復をサポートすることを目的として、2012年度は心のケアプロジェクトとして「森のアート海のゲイジツ」を支援し、被災地3県の子どもたちを招いて、蔵王自然の家でアートキャンプを開催した。また、アートキャンプでの子どもたちのサポートには、社員ボランティアを募集する予定である。									
効果	自然豊かな環境の中で自然やアートに触れ、思い切り遊ぶ体験を通じ、子どもたちの心の安定、地域を越えた交流などの効果を期待している。									
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部門 社会貢献部									

会社名	花王(株)					62	
事例名	スマイルとうほくプロジェクト						
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	東北の新聞社（福島民報社、河北新報社、岩手日報社）							
活動の概要	東北の新聞社が中心となって、岩手県、宮城県、福島県の各県に花を咲かせ、被災地に笑顔を広げる運動「スマイルとうほくプロジェクト」に賛同し、花王商品の売上げ金額の一部を寄付をするともに、被災地に花を咲かせて暮らしに笑顔を広げ、その笑顔を日本中に届けるため、被災地での種植えイベント開催や、ひまわりの種の配布を行っている。							
効果								
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部門 社会貢献部							

会社名	カシオ計算機(株)					63		
事例名	「命の授業」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙沼、仙台、県外避難者支援：神奈川、福岡							
プログラムの連携先	単独事業							
活動の概要	<p>学校へ出向き、出前授業として「命の授業」を展開（幼稚園～大学）している。当事業は、命の大切さ（頂いた命、育まれる命、そしてつなぐ命）を伝える授業として開発したものであるが、東日本で受け入れて頂く授業として、新たに、生きることへの価値、意味、そして感謝の心に気づき、人生で起きてくる全ての出来事に対して、意味・意義を見出して頂く授業に変革している。東日本の学校からは、「津波によって財産全てを失った悲劇、また多くの仲間、先生を津波で亡くした悲しみ、これらの辛さを背負いながら必死で生き抜いてきた子どもたち、今、自分自身を振り返る時間的余裕を持った瞬間、先行きの不安を感じ、どう生きて行ってよいのか惑い、不安定な心の状態にある。この子どもたちに、生きる意味を、今伝えて欲しい」とのお話をもらい、3校（中学2校、小学1校）で、心の潜在的な深いところで、命の本質的な意味を感じ取って頂く授業を実施している。文字や画像は、数えるぐらいしか使わず、命を語る本人がその人生を通じて気づいた事、感じた思い、それらを命の段階に変換し、本気で語る姿を見て頂くこと、正に人として、丸ごと本気で語り掛ける授業となっている。文部科学省が主催するシンポジウムで、数回に渡り、講演及び基調講演を行ってきた本人が語る思いや姿が、そのまま命であり、生きる姿である授業となっている。</p>							
効果	<p>子どもたちからは、「命の大切さが良く分かった」、「これからは自分の命も人の命も大切にしていきたい」、「人生は、視点の持ち方で変わることが分かった」、「今まで当たり前だったことが、如何に幸せなことなのか、心から感じる事が出来た」、「人をいじめることが、どれほど人の心を傷つけるかが良く分かった。これからは、いじめを止めます」、「人の苦しみを見て見ぬ振りすることが、如何に自分自身を人としてダメにしていくかが分かった。いじめる人がいたら、必ず注意をしていく」等々、子どもたちの心に大きな変化を提供することが出来た。</p>							
事例に関する連絡先	秘書渉外部 CSR推進室							

会社名	カシオ計算機(株)					64
事例名	被災地支援ボランティア					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県宮城郡七ヶ浜町									
プログラムの連携先	七ヶ浜ボランティアセンター									
活動の概要	カシオグループの新入社員研修の一環として、用水路沿いの土地に埋まっている瓦礫や不要物を掘り起こし分別して整地する作業を実施した。 新入社員35名+スタッフ5名の合計40名が参加した。									
効果	1日という短い時間ではあったが、新入社員全員が協力しボランティア作業に取り組んだことにより、瓦礫や不要物だらけだった土地をきれいに整地することができ、地域復興の一助となることができた。また、現地での宿泊/消費活動を実施し、地域経済活性化に貢献した。 尚、復興ボランティア活動の参加は、新入社員に被災地の現状を目の当たりにした上で、自分がすべきことを考えさせるよいきっかけとなり、CSR意識の醸成に効果的であった。更に、チームワークや主体性、行動力の重要性を学ばせることができ、メンバー同士の連帯感や会社への帰属意識意識向上にも役立った。									
事例に関する連絡先	人事部									

会社名	鹿島建設(株)							65			
事例名	災害廃棄物処理業務等のプロジェクト										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県石巻市 岩手県宮古市										
プログラムの連携先	各発注者およびJV構成メンバー各社										
活動の概要	鹿島では、建設技術やこれまでの災害対応時の経験を活かし、さらに元請として多くの専門工種をとりまとめて計画の上で作業を進めるというノウハウを用いて、未曾有の災害における過去に経験のない量の災害廃棄物の処理に向けて取り組んでいる。地元企業や地元の雇用にも役立つと共に、何よりも復興の礎として全社を挙げて取り組んでいる。技術的な側面はもちろんのこと、人的にも機械設備の面からもあらゆる面で初めての経験を、これまでの経験と培ってきた技術力で解決すべく対応している。										
効果	現在進行中のプロジェクトであり、1日も早く災害廃棄物の処理ができるよう努めている。雇用については継続して行っている。										
事例に関する連絡先	広報室CSRグループ										

会社名	鹿島建設(株)							66			
事例名	震災直後の応急復旧から復旧工事、復興に向けての各プロジェクト展開										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被災各地							
プログラムの連携先								
活動の概要	震災発生後の社会基盤の復旧においては、日建連の一員として、また同東北支部の支部長会社としてリーダーシップとフォローシップのバランスを保ちながら対応した。その後、施主・発注者の要請を受けたすべての建物構造物について、被災調査を行い、その結果を踏まえて鉄道や道路といった交通基盤の復旧を行い、さらに生産拠点など産業基盤の復旧へと進んだ。これらは全国各地から技術者を集め、本支店の総合力で対応したものとと言える。現在もまだその活動は終わったわけではなく、継続中である。							
効果	緊急車両等が通行する主要道路の復旧を早急に行い、復旧活動の基盤を整備した。さらに震災から50日の区切りに向けて、東北新幹線の開通をはじめとする交通基盤の整備を行った。また、国内産業全体に影響の大きい産業の生産拠点の復旧などを手掛けたことで、国内経済にもプラスとなったと考える。							
事例に関する連絡先	広報室CSRグループ							

会社名	兼松(株)					67		
事例名	社員ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県陸前高田市、宮古市および釜石市							
プログラムの連携先	1% (ワパ) セット) クラブ、自社企画							
活動の概要	<p>現地災害ボランティアセンターから当日割り振られた作業を行った。作業内容は、以下のとおり、現地ニーズにより、その都度違うものとなった。</p> <p>内容</p> <p>2011年7月 仮設住宅倉庫の支援物資の積み直し、入居者への物資の配布、移送など。</p> <p>2011年8月 支援物資の開梱作業、支給など。</p> <p>2011年9月 個人宅、側道などの田畑の草刈、瓦礫撤去など。</p> <p>2011年11月 個人宅の田畑の瓦礫撤去、鮭養殖場の整備など。</p> <p>2012年6月 個人宅の田畑の瓦礫撤去及び草刈など。</p>							
効果	現地ニーズにマッチングした復興支援だけでなく、個人宅での作業では被災者の方との交流を図ることができ、地域コミュニティの支援の一助ともなった。							
事例に関する連絡先								

会社名	川崎汽船(株)					68		
事例名	生活救援物資の海上輸送							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	
プログラムの連携先	
活動の概要	被災者の方へ向けた海外からの生活救援物資の海上輸送に協力した。 ・仮設住宅建設資材（40 フィートコンテナ 23 本） ・寝具一式（40 フィートコンテナ 9 本） ・飲料水、調理器具、文房具など
効果	生活物資、住宅資材、建機などの輸送を通じて、復興支援のための一助となった。
事例に関する連絡先	総務グループ CSR・コンプライアンス推進室

会社名	川崎重工業(株)							69
事例名	がれき破碎設備の無償貸与							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	大槌町							
プログラムの連携先								
活動の概要	当社グループは震災直後にモーターサイクル、ホイールローダおよびがれき処理用の大型破碎機の支援を決定した。破碎機(名称:ガリバー、処理能力:1日160t)は、岩手県に1年間無償貸与することになり、2012年3月に岩手県大槌町に設置され、稼働を開始した。							
効果								
事例に関する連絡先	総務部総務課							

会社名	川崎重工業(株)							70
事例名	がれき焼却処理設備の提供							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	仙台市							
プログラムの連携先								
活動の概要	阪神・淡路大震災のがれき焼却で活躍した設備と同じロータリーキルン方式の仮設設備を仙台市に賃貸借方式で設置した。2011年12月より本格稼働を開始し、順調に処理を進めている。仙台市では予定より早く市内のがれき処理が進んでいるため、宮城県の他市町村のがれき処理も受け入れることを表明している。							
効果								
事例に関する連絡先	CSR部							

会社名	川崎重工業(株)					71					
事例名	土壌洗浄実証実験										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域											
プログラムの連携先											
活動の概要	凝集剤メーカーの八紀産業(株)および兵庫県立工業技術センターと共同で、2012年1月、伊達市の運動場にてセシウム汚染土壌の洗浄試験を行った。土壌に凝集剤をまぜた洗浄水を加えて分離回収するもので、実験の結果、土壌汚染は規制値を下回り、洗浄水にもセシウムは残留しなかった。 凝集材は天然材料でできているため安心して使用でき、移動も可能なため、複数の地域で繰り返し使用できる。土壌汚染の解決に貢献できるよう、製品化に向けて努力していく。										
効果											
事例に関する連絡先	CSR部										

会社名	キヤノン(株)					72					
事例名	福島キヤノンによる福島コミュニティサポート										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	福島市										
プログラムの連携先	双葉町社会福祉協議会										
活動の概要	福島県双葉郡双葉町から避難し、福島市内の2つの仮設住宅と複数の借上げ住宅とに分かれて暮らす町民の方々と、近郊の自然公園をバスで訪れ、写真撮影会を実施した。双葉町社会福祉協議会の協力のもと、シニア世代を中心に、合計28名に参加して頂いた。										
効果	女性を中心としたコミュニティ活動が多いなか、デジタル一眼レフカメラの撮影会を行ったことで、男性にも参加して頂ける活動になった。										
事例に関する連絡先											

会社名	キヤノンマーケティングジャパン(株)					73				
事例名	未来につなぐふるさとプロジェクト 震災支援									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	支援先の複数の団体の活動地域。							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>キヤノンMJグループは、震災以前より、『未来につなぐふるさとプロジェクト』を通じて、全国各地で自然再生活動や森林再生支援に取り組んでいる。その活動先である地域が深刻な被害を受けていることから、『未来につなぐふるさとプロジェクト』の支援を、震災からの復興支援に拡大した。</p> <p>『未来につなぐふるさとプロジェクト』でご協力いただいている被災地の団体や、それらの地域の復興を支援するNPO等支援団体への寄付を、今後3年間にわたって継続して実施する。</p> <p>寄付金額は、お客様から回収した使用済みカートリッジの回収量や、森林認証紙である「PB PAPER」の販売数に連動させ、お客様も参加できる仕組みとした。</p> <p>具体的には、使用済みのトナーカートリッジ・インクカートリッジの回収1本につき、1円、PPC用紙「PB PAPER」1パッケージの販売につき1円を、東日本大震災の復興支援金として、弊社より被災地の生活再建支援を行うNGO/NPOや『ふるさとプロジェクト』の協力団体に寄付する。</p>							
効果	被災地でさまざまな活動を展開するNGO/NPOに対し、総額約1,160万円（2011年12月末時点）の寄付を行った。							
事例に関する連絡先	CSR推進本部 CSR企画推進部							

会社名	キヤノンマーケティングジャパン(株)						74		
事例名	みんなの笑顔プロジェクト ~ Smile for the Future ~								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先									
活動の概要	<p>仮設住宅での新たなコミュニティづくりや、子どもを中心としたこころのケアの支援策として、「写真を楽しもう・自然と遊ぼう」をコンセプトとした、写真撮影・自然体験プログラムを実施している。</p> <p>～写真を楽しもう～ 写真撮影プログラム キヤノンが持つ写真のノウハウを活用し、写真家の先生の指導のもとに子どもたちが写真を撮ったり、楽しい写真プリントの体験をすることができる。</p> <p>～自然と遊ぼう～ 自然体験プログラム キヤノンMJグループが「未来につなぐふるさとプロジェクト」の活動を展開している自然に恵まれた地域に、被災地の親子をご招待し、自然の中での遊びや農林作業を体験するプログラムを提供している。地元のみなさんやキヤノングループの従業員との交流の中で、子どもたちの笑顔を引き出し、心のケアと成長のお手伝いをする。</p>								
効果	<p>2012年1月～6月までに、延べ100人の方にご参加いただいた。</p> <p>同年3月8日～19日には、写真教室で子どもたちが撮影した作品を中心に、キヤノンギャラリー仙台において「みんなの笑顔プロジェクト」写真展を開催した。写真教室で指導した写真家：広田 泉氏が撮影した子どもたちを対象にした写真や、地震直後の被災地の被害を伝える写真も合わせて展示することにより、写真を通じて、被災地に暮らす子どもたちの今と、被害の状況を社会に伝える機会をもつことができた。</p>								
事例に関する連絡先	CSR推進本部 CSR企画推進部								

会社名	共同印刷(株)						75
事例名	物産展・企業マルシェの実施						

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	社内食堂にて、福島県・会津地方の物産展・企業マルシェを実施した。									
効果	グループ社員延べ800名が参加し、100万円以上の売り上げに貢献した。									
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部									

会社名	キリンホールディングス(株)								76	
事例名	キリングroupによる復興応援 キリン絆プロジェクト 3つの幹の活動									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先	各取組に関連の深いNPOなど。									
活動の概要	<p>「復興応援 キリン絆プロジェクト」では、「地域食文化・食産業の復興支援」、「子どもの笑顔づくり支援」、「心と体の元気サポート」の3つの幹で次の活動に取り組んでいる。</p> <p>1. 地域食文化・食産業の復興支援（復興の経済基盤を造るという中期的課題への取り組み） 農業の復興支援 - 被災地への農業機械の支援 水産業の復興支援 - 牡蠣やワカメなどの養殖再開・復興に向けた支援</p> <p>2. 子どもの笑顔づくり支援（次世代の担い手を育てるという長期的課題への取り組み） 農業関連の高校生への就学支援 - 農業高校および農業科の高校生への奨学金の給付 理科教育の支援 - 被災した小学校・中学校・高等学校を対象に理科教育を支援 音楽を通じた支援 - 被災地の子どもたちへ向けたピアノ演奏や楽器の寄贈 卓球を通じた支援 - 子どもたちへ向けた卓球教室の開催</p> <p>3. 心と体の元気サポート（コミュニティの活力を生み出すという日々の課題への取り組み） サッカーを通じた支援 - 元サッカー日本代表選手による様々なプログラムの実施と、被災県のサッカー協会への活動資金の贈呈</p>									
効果	・被災地の人々が元の生活に戻り雇用が創出され、経済が回り、それが社会と企業の発展につながっていく循環を目指す。									
事例に関する連絡先	CSR推進部									

会社名	キリンホールディングス(株)								77	
事例名	キリングroupによるキリン絆グループ震災復興ボランティア									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	仙台市宮城野区、石巻市雄勝町									
プログラムの連携先	石巻市社会福祉協議会									
活動の概要	<p>「キリングroup震災復興ボランティア」では、下記の考えに基づき、被災地に従業員ボランティアを派遣している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲のある従業員が自主的に参加する ・参加者は休暇を利用して参加する ・派遣先は、被災地のニーズとその復旧の進度に応じて機動的に見直していく ・活動内容についてはエリアのボランティアセンターやNPOと事前の協議等を行っていく <p>活動履歴および今後の予定は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011.7～8 70名（仙台市） ・2011.10～11 120名（石巻市） ・2012.5～7 120名（石巻市） ・2012.8～9 70名（石巻市） 									
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市と石巻市の復興の一部をお手伝いをすることができた。 ・継続的なボランティア支援により、被災地との関係が深まり、社員自らが企業として個人としての支援のあり方や社会との関わり方を考える機会となった。 									
事例に関する連絡先	CSR推進部									

会社名	キリンホールディングス(株)						78		
事例名	キリングroupによるキリン絆募金								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県		その他	
具体的地域									
プログラムの連携先									
活動の概要	<p>「キリン絆募金」では、下記の考えに基づき、国内外のキリングroupの従業員とその家族から募金を集め、東日本大震災復興支援活動資金の一部としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主にキリングgroup専用寄付サイトを通じて寄付を募る。 ・キリンホールディングスがグループ各社を代表して従業員の寄付額と同額を寄付する。 ・1年に1回、3年間実施する。 								
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・復興支援活動資金の一部を集めることができた。 ・募金という直接参加できるアクションを通じて従業員の社会への関わり意識が高まった。 								
事例に関する連絡先									

会社名	(株)クボタ						79	
事例名	宮城県農業高等学校への実習支援と同校生との協働活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	名取市							
プログラムの連携先	宮城県農業高等学校、クボタアグリサービス(株)(株)五十嵐商会							
活動の概要	宮城県・岩手県・福島県に位置する農業系学科のある高校の中で最も津波被害が甚大であった宮城県農業高等学校に、平成24年1月にクボタ製エンジン7台を、4月13日に中古トラクタ3台を実習用教材として寄贈した。4月24日には津波被害で田植えができない近隣農家を応援したいという同校の考えに賛同して「鉄コーティング直播栽培」の特別授業を実施した。それは、育苗作業と苗運搬が不要な新技術で、被災した近隣農家の方々も受講し、生徒らと共に種もみに鉄粉をコーティングする作業も行った。その種もみを使い、5月21日～22日仙台空港近くの田んぼで同校生徒たちによる鉄コーティング直播作業を行った。近隣農家の方々も見学にも多数訪れ、生徒たちは交替で直播機に乗り込み作業を実施した。6月26日には、同校への継続支援の一環として米粉を作る製粉機2台を寄贈した。秋には鉄コーティング種もみから育ったお米を使い、同校食品化学科の生徒たちがお菓子やパンに加工、被災した方々に配る。							
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習に必要な教材提供や農地再生授業へのサポートなどにより、同校の環境整備に貢献する。 ・ 未来の農業事業者の育成に貢献する。 ・ 東北地方における農業の活性化に貢献する。 							
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部 社会活動推進室							

会社名	(株)クボタ					80		
事例名	「農園コミュニティ」作りを核とした被災者支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県釜石市、宮城県石巻市、福島県郡山市他							
プログラムの連携先	クボタアグリサービス(株)(株)みちのくクボタ、(株)南東北クボタ、(株)五十嵐商会、EARTH MIYAKO							
活動の概要	仮設住宅近隣にある遊休農地を利用して農園を整備し、仮設住宅居住者や児童・生徒らがその農園を核として良好な交流の「場」を創出する。また、農作業の効率化を図るため耕うん機を寄贈する。第1号は5月に釜石市平田地区仮設住宅横の土地を当社生産スタッフの新入社員が整備、6月23日にミニ耕うん機や管理ハウス、仮設住宅と農園を結ぶ階段を寄贈した。続いて、6月27日には、石巻北高校飯野川校のふれあい農園にも耕うん機などを納入、農園コミュニティ作りを支援した。今後も範囲を福島県に広げ、遊休地を農園に変える活動を展開する。							
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設住宅居住者の引きこもりが少なくなる。若い世代との交流を通じて生活に張りが出る。 ・ 被災した児童生徒に農作業を通して共助、奉仕の学習や食育を学ぶ絶好の機会となる。 ・ 地域や世代を超えた活動からの連帯感、一体感を深めることができる。 ・ 仮設住宅居住者の問題解決の一助となれば、他の企業や機関なども取組みを誘発し、被災各地で同様の支援の輪が広がることが期待される。 ・ 福島県の被災者(放射能により遠隔避難)支援策として展開できる。 							
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部 社会活動推進室							

会社名	(株)クボタ					81
事例名	特別枠を設けた被災地高校生の採用					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	岩手県釜石市、宮古市、大船渡市、野田村、宮城県気仙沼市、石巻市、仙台市、福島県南相馬市、いわき市									
プログラムの連携先	なし									
活動の概要	クボタの新卒採用枠として確保し、震災後3年間は毎年10名程度の被災地高校生を採用する。2012年4月の特別採用枠新入社員は、2名上乘せし12名となった。									
効果	被災地の未来を担う若者に職場を提供し、希望を持って働いてもらう。									
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部 社会活動推進室									

会社名	グンゼ(株)								82	
事例名	「がんばろう！東北」キャンペーン									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先	あしなが育英会									
活動の概要	山形県寒河江市にある東北グンゼ(株)で生産する肌着(「快適工房」「the GUNZE」の売上1枚につき1円を「あしなが育英会」に寄付する「がんばろう！東北」キャンペーンを2011年8月21日より開始した。									
効果	2012年3月時点で約720万円の支援金となった。今後も継続予定している(期限未定)。									
事例に関する連絡先	CSR推進室									

会社名	グンゼ(株)								83	
事例名	株主による「東日本大震災被災者支援」									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先	あしなが育英会、日本赤十字社、日本ユニセフ協会									

活動の概要	2011年度中間期(9月30日)の株主優待において、「東日本大震災支援への寄付」の選択を用意したところ、多くの株主からの温かい賛同を得た。
効果	2012年1月31日に「グンゼ(株)株主震災義援金」名義で2,211,000円の寄付を株主に代わって行った。
事例に関する連絡先	広報IR室

会社名	KDDI(株)							84
事例名	社員の被災地ボランティア活動への支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県上閉伊郡大槌町 など							
プログラムの連携先	(一社)おらが大槌夢広場 など							
活動の概要	<p>「被災地ボランティア休暇」を特別休暇(有給)に新設した。 年間5日間を上限とし、恒久的な制度として制定した。 ボランティア活動の際の交通費・備品費の一部補助した。 社員を対象に、ボランティア活動のツアーを企画し、参加者を募集した。 2011年度のツアー実施回数は4回で、参加者は約100名だった。</p>							
効果	<p>社員が、自主的にボランティア活動に参加しやすい環境を整えることで、2011年度に延べ269名の社員が参加した。 参加した社員の多くは、被災地の状況を目の当たりにすることで、さまざまな気付きを得ることができた。 また、参加者からの口コミにより所属部署の同僚に広がり、回を重ねるごとに参加者が増加している。</p>							
事例に関する連絡先	CSR・環境推進室							

会社名	KDDI(株)							85
事例名	被災地の雇用創出							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県仙台市宮城野区榴岡							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>2012年2月、被災地の雇用促進を目的に、「au契約センター」を仙台市内に開設し、700名の事務職を採用した。 (KDDIの100%子会社である(株)KDDIエボルバに委託し、運営する。)</p>							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	KDDI(株)					86		
事例名	被災地における受験生支援の実施							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県石巻市							
プログラムの連携先	「希望の木プロジェクト」実行委員会、キャストリア(株)、学校法人信学会、manavee.com							
活動の概要	高校・大学受験生を対象とした無償での学習支援を行った。講師派遣による授業の実施や模試試験の提供、タブレット端末(多機能携帯端末)を利用して他県で行われている受験対策講座をオンラインで提供した。							
効果	被災地にいながらも他県と変わらない学習を受けられるよう環境整備に努め、約120名の生徒が利用した。							
事例に関する連絡先								

会社名	(株)高速					87		
事例名	水産加工業復興支援活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	釜石市、塩釜市							
プログラムの連携先	岩手県水産技術センター、塩釜市団地水産加工業協同組合、国内機械メーカー							
活動の概要	大震災で被災された三陸沿岸の水産加工業の復興支援活動として、包装機械を無償貸与を実施した。							
効果								
事例に関する連絡先	総務部							

会社名	コーエーテクモホールディングス(株)					88		
事例名	東日本大震災 被災地における「コミュニティFM放送局」支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域				
プログラムの連携先	(社福)中央共同募金会			
活動の概要	当社グループは、基本理念である「創造と貢献」の精神のもと、東日本大震災以前より継続的に災害支援活動を行ってきたが、東日本大震災では特に被災地における生活・復興情報へのニーズが高いことから、新たな施策として、被災者の皆様に真に役立つ情報発信・伝達のための「コミュニティFM放送局」を運営するボランティア、NPOの活動への支援金として、今後2年間にわたって合計1億円を拠出することを決定した。これは、当社取締役名誉会長 襟川恵子が理事長を務める(社)デジタルメディア協会(AMD)及び総務省の呼びかけに呼応するもので、(社福)中央共同募金会が創設した『赤い羽根「震災ボランティア・NPOサポート募金」』を通じて実施している。2012年3月期には5,000万円の寄付を実施しており、今後も支援を継続していく。			
効果	上記の趣旨のもと、当社グループが寄付による支援を行って以後、(社福)中央共同募金会が創設した『赤い羽根「震災ボランティア・NPOサポート募金」』は計5回(第3回~第7回)の助成を行っている。これらの助成のうち「コミュニティFM放送局」を運営する団体については、合計23団体、総額6,197万円の支援が実現し、被災地における生活・復興情報の発信・伝達に寄与している。			
事例に関する連絡先	管理本部総務部			

会社名	コニカミノルタホールディングス(株)					89		
事例名	被災者支援のための社宅無償提供							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東京都日野市、八王子市							
プログラムの連携先	東京都日野市役所、八王子市役所							
活動の概要	被災者の方々の支援に役立てていただくために、保有する社宅合計70戸を、社宅が所在する東京都日野市および八王子市に無償提供した。さらに社員ボランティアが、敷地内の草むしりを入居者の方々とともに行う支援も行った。							
効果	多くの被災者の方々に入居いただき役立てていただいた。							
事例に関する連絡先								

会社名	コニカミノルタホールディングス(株)					90		
事例名	コニカミノルタエムジー(株)による医療用機器の無償提供・無償貸与							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県、宮城県、福島県、青森県、茨城県、栃木県、千葉県で、東日本大震災にて災害救助法が適用となった市町村。							
プログラムの連携先								

活動の概要	3月に、動脈血酸素飽和度と脈拍数を採血なしで光学的に迅速かつ簡易に測定できるパルスオキシメーター「Pulsox (パルソックス)-1」300本を支援物資として提供した。 さらに6月から、震災で被害を受けた被災地の医療施設の復旧支援のために、クリニック向け卓上型CR装置「REGIUS (レジウスシグマ)」をはじめとする医療診断システムの無償貸与を行った。
効果	
事例に関する連絡先	

会社名	コマツ				91			
事例名	建設機械の無償貸与、サービス・レンタル・販売業務の体制強化							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	茨城県							
プログラムの連携先								
活動の概要	地震発生直後から、すぐに必要となるのは、がれき処理や寸断された道路建設などの工事であり、それらに使用される建設機械や発電機を全国から集め、無償貸与を開始した。コマツグループが保有する建設機械、フォークリフト、仮設ハウス、発電機などの無償貸与を中心とした総額24億円相当の災害復興支援に取り組んでいる。 また、それに伴って発生する保守サービス業務や、レンタル・販売などの新規引き合いに迅速に対応するために、4月1日付けで「東北オペレーション室」を発足した。 役割は、被災地区の代理店等が行う復興事業のサービス・レンタル・販売業務の円滑化を図る。県、市町村からの情報収集、諸々の要請への対応窓口、の2点で、仙台市内に事務所を構え、専従4名が駐在して活動している。							
効果	震災直後の機械手配や、部品供給は、世界中のどこよりも被災地を優先するという経営トップの号令のもと、コマツ本体はもちろん、グループ各社の全面的な協力により、被災地のお客さまが必要とする対応ができ、お客さまにも感謝いただいている。 今後、引き続き磐石なサポート体制で、被災地復興に貢献していきたいと考えている。							
事例に関する連絡先								

会社名	コマツ				92			
事例名	建設機械オペレーターの育成と被災者の就労支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	東北復興支援の一環として、重機オペレーター育成をサポートしている。 東北地方に教習拠点を新設(2011年12月～継続中) 宮城県名取市の約1,200坪の土地に、「コマツ教習所 宮城センタ」を新設。車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び、掘削用)運転技能講習、車両系建設機械(解体用)運転技能講習など当面8コースを準備し、							

	<p>12月10日に開設。なお復興支援作業に資する車両系建設機械、不整地運搬車など4コースの受講料の半額をコマツで負担する。</p> <p>東京都による被災者就労支援策へ協力(2011年9月～2012年3月)</p> <p>東京都産業労働局が被災者就労支援として実施している、建機の免許取得講習へ協力する。この講習は東京都が、東日本大震災の影響で首都圏に避難している人を対象とし、被災地のがれき撤去や街の整備に必要な建設機械運転等の国家資格(技能講習修了証)5種類の取得を支援するもので受講料、交通・宿泊費などは都が負担する。</p> <p>この講習を、八王子にあるコマツ教習所 東京センタで実施し、6期合計120名の資格取得をバックアップしている。</p> <p>合宿講習(2011年8月～10月)</p> <p>コマツ教習所 栃木センタで、車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び、掘削用)運転技能講習、車両系建設機械(解体用)運転技能講習の講習を実施した。なお交通・宿泊費をコマツ負担で実施した。</p>
効果	<p>がれき撤去、街や生活基盤の再開発などの復興事業で、今後重機オペレーターが必要とされる。そこで被災した人々、職を失った人々に対して、重機の運転技能取得を支援することで、被災者の自立支援ならびに復興のための人災育成という両面に寄与する。</p> <p>の2012年4月までの受講者は1572名であった。</p>
事例に関する連絡先	

会社名	コマツ					93					
事例名	仮設ハウスの無償貸与										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域											
プログラムの連携先											
活動の概要	被災地の住民の方々にとっては、「生活の場」の確保が極めて大きな問題である。地域のコミュニティ再生に寄与するため、全国から工事担当者を被災地に集結してコマツグループが保有する仮設ハウスを短期間で建設し、851ボックス(154施設)を無償貸与した。これらの施設は、学校や幼稚園、郵便局、診療所など、コミュニティの場として活用されている。										
効果											
事例に関する連絡先											

(3) さ行

会社名	サッポロホールディングス(株)					94					
事例名	教育支援「コラボ・スクールへの支援」										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域											
プログラムの連携先											
活動の概要	子どもたちへの支援として、恵比寿麦酒祭の生ビールの売上金から、教育支援基金である「ハタチ基金」を通じて、東日本大震災の被災地における子どもたちのための放課後学校「コラボ・スクール」を支援する。										
効果											
事例に関する連絡先											

会社名	サノフィ・アベンティス(株)					95					
事例名	sa Japan 災害救援ボランティア										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	宮城県石巻市、南三陸町、女川町										
プログラムの連携先	ピースポート災害ボランティアセンター										
活動の概要	災害ボランティアセンターを通じたボランティア活動を、2011年4月より継続実施している。2011年10月以降では、会社が企画・運営する団体ボランティア活動を計4回予定している。期間は3泊4日で、15人～30人のグループをつくり、バスをチャーターする。2012年7月末現在で、延べ270名以上のメンバーが被災地に赴き、災害ボランティア活動を行った。 活動実績 第1便 4/28-5/1 宮城県石巻市 30名 第2便 7/13-16 宮城県石巻市、南三陸町、女川町 21名										
効果	宮城県石巻市、南三陸町、女川町の復興の一助となった。										
事例に関する連絡先											

会社名	サノフィ・アベンティス(株)					96	
事例名	「ARTS for HOPE」への賛同						
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	岩手県大槌町・山田町、宮城県岩沼市・気仙沼市・東松島市、福島県いわき市・南相馬市等									
プログラムの連携先	NPO「Wonder Art Production」									
活動の概要	NPO「Wonder Art Production」が取り組む東日本大震災被災者のためのプログラム「ARTS for HOPE」に賛同し、社員から寄付金を募り、運営をサポートした。また2009年より協賛している患者さんを対象としたアートプログラム「Happy Color Project」「Happy Doll Project」を被災地の病院で実施し、被災地の患者さんとそのご家族の心のケアに繋げた。プログラム終了後には、「Happy Doll Project」の作品集制作を金銭的にサポートし、被災者および被災地の患者さん、および医療関係者に配布した。									
効果	被災された方々、被災地の患者さん、および医療関係者の1日も早い心の回復の一助となった。									
事例に関する連絡先										

会社名	サントリーホールディングス(株)					97				
事例名	漁業復興支援資金の提供									
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	漁業の復興支援を目的に、岩手県、宮城県に各20億円を寄付し、漁業者の負担軽減のため、漁船取得費用の一部に活用して頂く(両県で1万隻程度の漁船取得に活用される予定)。									
効果										
事例に関する連絡先										

会社名	サントリーホールディングス(株)					98				
事例名	「サントリー東北子ども応援プロジェクト」における奨学金設立など									
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先										

活動の概要	被災地の復興には、子どもたちの支援が不可欠との認識のもと、(公財)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと共同で、「サントリー東北子ども応援プロジェクト」(総額15億円)を実施する。その一環として青森県、岩手県、宮城県、福島県の水産高校、水産学科の被災生徒を対象に、返還義務のない奨学金プログラムを設立。奨学金は、2012年4月から3年間、7校の生徒、約600名に対し、約6億円の給付を実施予定である。その他にも、福島県の子どもたちに対して、夏休みを利用したサマーキャンプ、窓を開けられない小中学校への遮熱フィルム取り付け、NPOの活動支援も実施する。岩手県・陸前高田市では、仮設住宅・避難所の子どもたち向けに室内施設「子どもひろば」の開設や、モニュメントの設置を行う。
効果	
事例に関する連絡先	

会社名	(株)三陽商会				99			
事例名	COAT FOR JAPAN「希望」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	ニューヨーク							
プログラムの連携先	サックス・フィフス・アベニュー(米百貨店)							
活動の概要	サックス・フィフス・アベニューに、震災復興に向けた国内製(米沢産シルクを使い、青森工場にて縫製)の特別コート「希望コート」を提供する。 JAPAN EARTHQUAKE RELIEF FUND.に売上金の全額を寄付する。							
効果	ニューヨークでの震災復興支援の架け橋となり、ニューヨークからの支援を、被災地に届けることが出来た。							
事例に関する連絡先	事業戦略室 マーケティングチーム							

会社名	(株)三陽商会				100			
事例名	山田町高校プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県下閉郡山田町							
プログラムの連携先	岩手県立山田高等学校							
活動の概要	山田町役場の職員に、共通のユニフォームが無いことから、震災直後に不便が生じたことを受け、山田町の未来を担う山田高校の生徒たち自らが考えた、役場職員のユニフォーム200着を製作し、山田町役場に提供するプロジェクトである。 生徒たちによるデザイン・パターン作成の過程を弊社のプロジェクト参加デザイナーらがサポートし、弊社の関連会社である岩手サンヨー・ソーイングにて生産した。							
効果	洋服を作るという作業を通じて、山田町高校の生徒に物づくりを体験してもらい、将来に対して夢を持ってもらえた。 今回作成したユニフォームは、町の人たちの復興に対する想いを形にしたものであり、今後復興のシンボルとして形に残り、想いは継続していく。							

事例に関する連絡先	事業戦略室 マーケティングチーム							
会社名	JXホールディングス(株)							101
事例名	JXグループ復興支援ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県(大槌町、大船渡市、陸前高田市)、宮城県(南三陸町、石巻市、七ヶ浜町)、福島県(いわき市)							
プログラムの連携先	各地のボランティアセンター、NPO法人など							
活動の概要	<p>概要</p> <p>JXホールディングスの旧CSR推進部(現総務部)が、グループ社会貢献委員会事務局の立場で、東日本大震災災害ボランティア活動を企画・立案した。</p> <p>募集対象範囲は、海外勤務者を除くJXグループ各社の役員・従業員とし、イントラネット上等にて募集する。</p> <p>活動期間中は休暇扱いとし、各自ボランティア休暇(積立年休)や有給休暇を取得し参加することとするが、費用は原則として会社が負担する。</p> <p>費用:往復交通費、宿泊費、食費、装備品代、ボランティア保険料等</p> <p>参加者の集合は、活動場所に近い東北新幹線沿いのホテルとし、活動日の前日午後10時までに集合し、オリエンテーションを実施する。</p> <p>活動に際しては、被災地経済の活性化に少しでも協力するため、極力地元の業者(宿泊、バス会社、食事、弁当等)を利用。参加者が土産品を購入するための時間も設ける。</p> <p>実績</p> <p>2011年度 計14回実施 延べ活動人員592人</p> <p>2012年度(2012.7.30現在) 計4回実施 延べ活動人員128人</p>							
効果	被災地復興支援への協力 参加者の満足感や達成感 グループ社員の、社会貢献活動への意識向上 グループ内の他の会社の方々や、全国から集まるボランティアの方々との交流の機会							
事例に関する連絡先								
会社名	JXホールディングス(株)							102
事例名	JX童話集「童話の花束」による被災地支援活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被災地全般、全国							
プログラムの連携先								
活動の概要	東日本大震災で被災した子どもたちを支援する。 東日本大震災において特に被害が大きかった児童養護施設(10施設)へ計1,000万円(1施設あたり100万円)を寄付する。 「童話の花束」の寄贈							

	(1)「童話の花束(その41)」の寄贈 福祉団体を通じて全国の教育機関や施設など(従来どおり)12,000冊 岩手県・宮城県内の約200カ所の避難所、宮城県・福島県内の小学校、幼稚園、保育園、児童館、災害ボランティアセンター、宮城県南三陸町の仮設住宅などに、計25,300冊を寄贈する。 (2)「童話の花束(その42)」の寄贈(冊数は2012年3月末までのもの) 福祉団体を通じて全国の教育機関や施設、宮城県南三陸町の仮設住宅、宮城県気仙沼市小学生バレーボール連盟などに、計13,000冊を寄贈した。
効果	
事例に関する連絡先	

会社名	(株)ジェイテクト				103			
事例名	トヨタグループ災害Vネット 被災地復興支援活動ボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	陸前高田市、住田町、大船渡市							
プログラムの連携先	トヨタグループ企業各社、NPO愛知ネット							
活動の概要	トヨタグループ企業で構成する「災害ボランティアネット」で2011年5月より企画・実施している4泊5日の被災地復興支援活動ボランティアに参画している。 トヨタグループ企業の社員が各回15名程度、バスにて現地に向かい復興支援活動を行う。 活動内容は瓦礫の撤去や泥のかき出しといったハード面の復旧整備作業から、除草作業やイベント開催のための公園整備、花壇整備などに変化している。 現在、2012年11月までの活動が予定されている。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	J.フロント リテイリング(株)				104			
事例名	「JCV子どもの笑顔プロジェクト」支援の寄付や被災地訪問で子ども達に笑顔を届ける活動							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東日本大震災の被災地域							
プログラムの連携先	認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)ほか							
活動の概要	子会社の「大丸松坂屋百貨店」では、昨年より、大丸松坂屋の全店舗で被災地支援の取組みとして、店頭募金、チャリティピンバッジの販売や子どもたちへの応援メッセージの募集を行った。募金は認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会が運営する「子どもの笑顔プロジェクト」に寄付するとともに、2012年4月に仙台市内の2カ所の児童施設に、同団体と連携してクラウン(道化師)と当社キャラクターマスコット(さくらパンダ)が子どもたちに直接笑顔を届ける取組みを実施した。今後もこの活動は推進していく。							
効果	震災被災地で復興の努力をされている方達への心のケアに繋がると期待している。							

事例に関する連絡先	(株)大丸松坂屋百貨店 本社CSR推進室 社会活動推進担当							
会社名	(株)資生堂							105
事例名	ビューティー支援活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県・宮城県・福島県の仮設住宅、埼玉県の大宮市、山形県・東京都・神奈川県・愛知県の遠隔避難者							
プログラムの連携先	各地域の行政、NPO							
活動の概要	各地域の営業拠点から、地域に密着した社会活動の一環として、避難されている方を対象に、フェースマッサージ・ハンドマッサージ・ヘッドマッサージなどのスキンケア施術と、メーキャップ施術を実施している。							
効果	「化粧によって元気が出た」「気持ちが明るくなって自然に笑顔が出る」など、施術後に喜びの声をいただいている。「普段は仮設住宅で一人ぼっちだが、外の人と話しができて嬉しい」など感謝の声もいただいている。こうした声により、参加した社員も社業である化粧の力を認識し、自社および業務に誇りを感じることができている。							
事例に関する連絡先	CSR部							

会社名	シチズンホールディングス(株)							106
事例名	「ARTS for HOPE」への支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	ARTS for HOPE							
活動の概要	シチズンホールディングスでは、震災で心に大きな負担を抱えた子どもたちにアート表現を通して心穏やかな時間を過ごしてもらい、少しでも早い心の回復をサポートすることを目的に活動している「ARTS for HOPE」を支援している。シチズンホールディングスのシチズンボランティアクラブを通じてシチズングループ従業員に対し画材などの支援物品を募り活動に必要なものを集めて団体へ送っている。また、社外のクリック募金システムを利用しシチズンホールディングスが発行するCSR報告書のアンケート調査の回答に対する募金先をこの団体へ指定し寄付も行っている。							
効果	シチズングループ各社から寄せられたクレヨンや絵の具などの支援物品は、初回2011年5月には段ボール30箱、2回目の2012年7月には段ボール21箱にのぼった。これらは、被災された方々の心を癒すための「ARTS for HOPE」活動に使用される。また、これら活動を通して「ARTS for HOPE」への支援の浸透と、従業員の社会貢献活動への参加意識の向上に繋がっていることを実感している。							
事例に関する連絡先	監査・CSR室							

会社名	シチズンホールディングス(株)							107
事例名	小中学校への楽器提供							

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
	実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	相馬郡新地町									
プログラムの連携先	ヤマハ(株)									
活動の概要	<p>シチズン時計(株)のグループ会社であるシチズンウオッチイタリアS.P.A.とシチズンウオッチヨーロッパG.m.b.H.は、東日本大震災の復興支援として、同じくグループ会社のシチズン東北(株)・相馬事業所のある福島県相馬郡新地町の小・中学校に楽器を寄贈することになり、本日、新地町立尚英中学校にて楽器贈呈式と記念コンサートを行った。</p> <p>経緯</p> <p>2009年4月に発生したイタリア中部地震の際、シチズン時計はイタリアの子どもたちへの支援として、ラクイラ地方の小学校にパソコンを寄贈した。昨年の東日本大震災発生直後、いち早くシチズンウオッチイタリアのDante(ダンテ)社長から、「恩返しに、日本の子どもたちへ国を超えた社会の温かさや夢を伝える直接的な支援がしたい」という申し出があった。</p> <p>音楽を通して、被災地の未来を担う子どもたちに明日への希望を感じてもらいたいとの思いから、シチズンウオッチイタリアとシチズンウオッチヨーロッパより新地町の小学校にマーチングドラムなど鼓笛隊用の楽器・ユニホームを、中学校にクラリネット・ホルン、ハーブなど吹奏楽用楽器、学校用オルガン、アコーディオンなど音楽教育用楽器など合計453点を寄贈。贈呈式と合わせて記念コンサートを開催した。関係者、約500名が出席した。</p> <p>記念コンサートでは、「THE WIND WAVE」の迫力ある演奏に加え、「THE WIND WAVE」から演奏指導を受けた尚英中学吹奏楽部と「情熱大陸」をジョイント演奏、出席した小・中学生を交えた「翼を下さい」の大合唱などを行った。</p> <p>新地町は、東日本大震災の津波により町の20%が浸水し、578世帯の住宅が被災、死者・行方不明者110名を超える大きな被害を受けた。今回寄贈する楽器は、未来を担う子どもたちの被災ダメージに負けない心の醸成と復興イベントなどにおける音楽を通じた力強いメッセージ発信に活用される予定である。</p>									
効果										
事例に関する連絡先	経営企画部 広報課									

会社名	シティグループ・ジャパン・ホールディングス(株)						108			
事例名	カフェテリア・チャリティ・プログラム- 食べて被災地を支援									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
	実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	東京の事業所									
プログラムの連携先										
活動の概要	<p>当社の東京の事業所にある2カ所のカフェテリアで特定日の売上と同額を会社が被災地の子ども支援のために寄付する。</p> <p>社員は指定された日にカフェテリアを利用するだけだが、自分の利用が被災地支援になるということで、この日にはカフェテリアで食事をしようとする。カフェテリアは売上を伸ばすために、被災地の名物メニューを揃えて準備し、メニューにアクセントがついて売上も伸びる。寄付先としては、3月に実施時は陸前高田市教育委員会、6月に実施の時は福島・宮城・岩手三県に設立されている震災孤児の奨学金基金を選定した。</p>									
効果	マンネリになりがちなカフェテリアのメニューに変化がでて社員の福利厚生にもつながる。被災地を支援したい気持ちがあっても現地に赴くことが難しい社員も気軽に参加できるので、社員にとっても参加しやすい									

	プログラムになっている。カフェテリア運営会社にとっても売上増につながるの、たいへん喜ばれた。
事例に関する連絡先	コーポレート・アフェアーズ部

会社名	シティグループ・ジャパン・ホールディングス(株)					109		
事例名	気仙沼 大島 ランフェスタ を支援							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県気仙沼市大島							
プログラムの連携先	NPOスターパワー							
活動の概要	宮城県気仙沼市大島で毎年行われていた「つばきマラソン」は去年に引き続き今年も主催者の気仙沼市が中止を決定した。それに代わるものとして、島民が中心になって企画・運営したランフェスタ(島内を走るハーフマラソン、10キロマラソン)をスポンサーの一社として支援した。ランナー、応援で参加する社員にも島内の民宿を宿舎として提供した。							
効果	震災以降観光客が途絶えた大島に1,200名を超えるランナーが集まった。島内の観光業復興の起爆剤になると同時に、メディアにとりあげられることで、島の宣伝にもなった。多くの方が島にきてくれたことで、島民の方々にも心理面でいい影響があった。この7月21日に宮城県で唯一大島の海岸が海開きをして、観光業の復興が進みつつある。							
事例に関する連絡先	コーポレート・アフェアーズ部							

会社名	シティグループ・ジャパン・ホールディングス(株)					110		
事例名	福島の子どもをリフレッシュキャンプへご招待							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	山梨県山中湖							
プログラムの連携先	東京YMCA							
活動の概要	放射能の影響で戸外で遊ぶことのできない福島のお子さんとその家族30名を東京YMCAのキャンプ場に2泊3日の予定で招待する。子どもたちには、カヌー、ハイキング、ゲーム、キャンプファイヤーなど戸外で遊ぶことを中心にリフレッシュできるプログラムを体験してもらう。当社の社員も子どもたちと一緒に遊ぶボランティアとして参加する。							
効果	子どもたちにはいつもできない戸外で思い切り遊ぶということを通じて、ストレスを解消しリフレッシュしてもらえる。戸外で運動して心身をリフレッシュさせるだけでなく、放射線量の高い地域を一時的にでもさけて健康面での改善も図れる。同じ境遇にある子ども同士、親同士が出会い、共通の悩みを通じて親睦を深める機会の提供にもなる。ボランティアで参加した社員にとっても福島の方のお話をきいて震災地の現状を知るいい機会になる。							
事例に関する連絡先	コーポレート・アフェアーズ部							

会社名	シャープ(株)					111					
事例名	被災地の子どもたちを元気づける教育支援活動										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	2011年度は、21ヶ所で実施。										
プログラムの連携先	NPO法人気象キャスターネットワーク										
活動の概要	<p>・シャープ社員と気象キャスター（気象予報士）が協働して、それぞれの専門性を生かし、次代を担う子どもたちに環境問題の啓発や環境を意識した生活習慣へ結びつけることと併せ、理科への興味を高めてもらうことを目的とした「小学校環境 教育」を全国で年間500校規模で展開する。</p> <p>・今般、上記活動を東北被災3県での復興支援活動のひとつとして、当教育支援活動を被災地の子どもたちを元気づける内容とすべく、子どもたちに発言してもらい機会を増やした双方向性の高いものとする共に、みんなで力を合せてやり遂げる実体験型の実験を増やすカリキュラムへとブラッシュアップし、加えて、講師からは、折に触れ子どもたちを勇気付けるメッセージを発信する等の工夫を凝らし展開する。</p> <p>・また、授業風景や授業後の記念撮影等をポスターにして後日、記念として贈呈する。</p>										
効果	<p>・地元の良く知られた気象キャスターと共に普段は体験できない実験を交えて行うこの授業は、先生からは、「教育としての内容の良さはもとより、児童が元気づけられた楽しい授業であった」との評価を頂き、子どもたちは授業に集中し、元気に発言すると共に、授業終了後も講師との別れを惜しむなど、非常に一体感のある親密な授業となっている。</p> <p>・また、「記念ポスターの前で、子どもたちが環境授業のことを語り合い、絆が深まっている」との先生からの声も頂いている。</p>										
事例に関する連絡先	法務本部 CSR推進室 社会貢献推進グループ										

会社名	シャープ(株)					112					
事例名	被災地内外での震災復興支援ボランティアへの参画										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	気仙沼、南三陸等										
プログラムの連携先	文科省、経団連、南三陸町災害ボランティアセンター、大阪ボランティア協会等										
活動の概要	<p>被災地でのボランティア活動 文科省、経団連、南三陸町災害ボランティアセンター、大阪ボランティアセンター等と連携し、以下の様な現地のニーズに対応した被災地でのボランティア活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガレキの除去や農地の復旧 ・福島県の子どもたちを元気にするキャンプ（主催：文科省）の運営 ・仮設住宅等での地域コミュニティの活性化支援等 <p>被災地外でのボランティア活動 大阪ボランティア協会等と連携し、県外避難者を支援すべく、以下の様な被災地外でのボランティア活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.11fromKANSAI」等の復興支援/応援イベントへの協賛/参画 ・被災地の子どもたちへ送る浴衣等の収集と発送 										

	・震災で汚れた写真・アルバムの洗浄等
効果	被災地でのボランティア活動を通じた効果 時間と共に震災への関心が薄れつつある中、被災地へのボランティアに参画することで、復興支援を通じた従業員と会社の社会性の向上にも繋がっている。 被災地外でのボランティア活動を通じた効果 被災地には距離的、時間的にも参画が難しい従業員の震災復興支援活動に参画することで、社会性はもとより、会社へのロイヤリティ向上にも繋がっている。
事例に関する連絡先	法務本部 CSR推進室 社会貢献推進グループ

会社名	シャープ(株)					113		
事例名	被災地の福祉作業所製品の職域販売							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	シャープ(株)本社ビル及び田辺ビル(大阪市阿倍野区) シャープ特選工業(株)本社ビル(大阪市阿倍野区)							
プログラムの連携先	NPO法人み・らいず							
活動の概要	・震災で支援の手が届き難い社会福祉分野の震災復興支援として、被災地の福祉作業所の製品を販売する場を提供する。製品を購入することで、販売先を失った作業所とそこで働く障がい者の方の支援に繋がる取組みとして、会社内の職域販売として展開する。 ・上記の職域販売に加え、弊社関係会社が地域のご販売店様合同展示会の会場において、当該福祉作業所の製品の販売コーナーを設置し、お客様に購入頂くと共に、成約記念品として活用も予定している。							
効果	・職域販売では、購入することで、当社従業員が復興支援に繋がる社会貢献活動として反応も良く、盛況となっている。普段は職域販売会があっても物品購入しない従業員でも、被災地の福祉作業所製品の販売の際には購入するケースも多く見られ、復興支援への意識と社会性の向上にも繋がっている。							
事例に関する連絡先	法務本部 CSR推進室 社会貢献推進グループ							

会社名	(株)商船三井					114		
事例名	冷凍コンテナの寄贈							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県石巻市・気仙沼市、福島県相馬市							
プログラムの連携先								
活動の概要	東日本大震災に伴い発生した津波により、漁港の冷凍・冷蔵施設が破壊された状況下、各地より水揚げされた魚や漁業用のエサの保冷倉庫として冷凍コンテナ提供の要請があり、これに応じた。 2011年7月に福島県相馬市の相馬双葉漁業協同組合に20F冷凍コンテナを6本、2011年10月と2012年4月に宮城県石巻市に20F冷凍コンテナを合計7本寄贈した。また、(一社)東北漁業再開支援基金・希望の烽火を通じて、2011年8月に宮城県気仙沼市の企業などに40F冷凍コンテナを6本寄贈した。							

効果	漁業復興の一助となった。
事例に関する連絡先	経営企画部 CSR・環境室

会社名	昭和産業(株)					115		
事例名	当社製品の提供(1)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	陸前高田市							
プログラムの連携先	(社)栄養改善普及会							
活動の概要	簡単でおいしい料理の普及と食生活を見直すきっかけづくりを目的としている。(社)栄養改善普及会主催「第30回元気の出る朝食運動前期コース」に当社商品を提供する。同コースでは、協賛商品を使用した料理の紹介、実演、実習を行う。							
効果								
事例に関する連絡先	CSR推進部							

会社名	昭和産業(株)					116		
事例名	当社商品の提供(2)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙沼市							
プログラムの連携先	鹿島アントラーズ選手会							
活動の概要	当社がスポンサーをしている鹿島アントラーズの選手会が、東北人魂(東北六県出身の現役Jリーガーが設立した任意団体)と協力し、東日本大震災の被災地である気仙沼市の仮設住宅を訪問する際、選手会のお土産として当社商品を提供する。提供商品は、パスタ、マカロニ、ホットケーキミックス、油、から揚げ粉等である。							
効果								
事例に関する連絡先	CSR推進部							

会社名	昭和電工(株)					117
事例名	福島・会津企業マルシェ					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	東京、神奈川、大阪									
プログラムの連携先	会津若松市と喜多方市の商工会議所									
活動の概要	<p>本社、横浜事業所、川崎地区納涼祭、堺事業所にて福島県物産展を実施した。 2012年も実施を予定している（川崎地区ではすでに実施済み）。 また、当社グループ社員限定の福島県物産の通信販売も行った。</p>									
効果										
事例に関する連絡先										

会社名	(株)新生銀行							118		
事例名	ボランティアツアーの開催									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	石巻市、南三陸町									
プログラムの連携先	南三陸町災害ボランティアセンター、石巻市災害ボランティアセンター									
活動の概要	<p>2011年7月より計5回、宮城県の被災地域へのボランティアツアーを企画、実行した。1回あたり27名～48名、5回合計で延べ195名の社員、家族、弊社お取引先様が参加した。ツアーの日程は、金曜日夜出発の1泊3日（往復バスプラン）と1泊2日（往復新幹線プラン）で、参加費用の一部およびボランティア活動に必要な備品や保険などを新生銀行が負担した。弊行は、南三陸町災害ボランティアセンターおよび石巻災害ボランティアセンターと連携し、同町内の瓦礫撤去、側溝の泥出し、水没写真の清浄、養殖漁業準備作業や漁業復興のお手伝いをした。また、2012年7月には、これまで実施してきた上記作業などを含むボランティア活動と並行して、南三陸町に住む地元の方々を元気づけるために、東京から若手ミュージシャングループを招待し、仮設住宅と、仮設商店街にてそれぞれミニコンサートを開催した。</p>									
効果	<p>現地の災害ボランティアセンターと連携したことによって、現地のニーズに応じて作業を行うことができた。被災地ボランティア活動には、所属部門、勤務地、役職を超え、弊社およびグループ会社からさまざまな人が参加したことにより、会社全体の一体感を生む良い機会になった。被災地ボランティア活動後も、参加者の被災地への関心は高く、継続して、社内での情報共有・連携が行われている。被災地ボランティア活動にはボランティア自体初めての参加者が多かったのですが、この活動をきっかけに他のボランティア活動にも参加するようになり、弊社社会貢献活動全体の参加人数が大幅に増えた。</p>									
事例に関する連絡先	I R ・ 広報部									

会社名	(株)新生銀行							119		
事例名	義援金及び支援物資の提供									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市、南三陸町							
プログラムの連携先	日本赤十字社、NPO法人セカンドハーベストジャパン、文部科学省の「子どもの学び支援ポータルサイト」、岩手県および宮城県の災害ボランティアセンター、東京都、国際医療救援団体（AMDA）							
活動の概要	被災された方々への救援ならびに被災地の復旧にお役立ていただくため、弊行として1億円の義援金を実施（弊行グループで総額1億5,700万円）した。また、弊行および一部のグループ会社において社員による食料や物資の寄付も実施し、約8,000点の食料や物資を都道府県やNPO法人などさまざまな団体を通じて寄付した。							
効果	「お金」の寄付および「物資」の寄付は、被災地に行ってボランティア活動ができない人も気楽に参加できる活動であり、このような形の社会貢献活動を実施することによって、幅広く、多くの社員が被災地支援に関わることができる。							
事例に関する連絡先	IR・広報部							

会社名	(株)新生銀行					120		
事例名	仮設住宅への街灯設置							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県南三陸町							
プログラムの連携先	南三陸町社会福祉協議会、南三陸町災害ボランティアセンター							
活動の概要	2012年5月、宮城県南三陸町社会福祉協議会の呼び掛けに応じ、同町の仮設住宅に街灯を設置するためのグループ社内募金活動を実施し、延べ186名の弊行およびグループ社員から寄せられた、ソーラー発電式LED街灯4基分に相当する総額204万円の寄付金を5月29日、「新生銀行グループ社員有志一同」名で南三陸町社会福祉協議会に寄付した。 これを元に南三陸町でも最も灯りを必要としていた地区の仮設住宅の4カ所に2012年7月14日に街灯が設置された。							
効果	南三陸町の町内計51カ所の仮設住宅では街灯整備が進んでいないことから、入居者の方々の生活や児童の通学に不安を強いられる状況だったが、僅か4カ所ながら街灯設置が実現したことにより、住民の方々の不安を少しでも緩和することができたことに加え、本件が地元メディアで紹介されたことにより、この問題の周知、企業による支援の拡大に道を開くことができた。							
事例に関する連絡先	IR・広報部							

会社名	新日本製鐵(株)					121		
事例名	鉄鋼製品等の提供を通じた災害に強いまちづくり支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	
プログラムの連携先	
活動の概要	被災地復興や災害に強いまちづくりに貢献できる当社グループの技術、製品、ソリューションを、わかりやすく理解できるよう、「新日鉄グループの復興技術・まちづくり支援」をウェブサイトアップしている。また、複数の部課にまたがる「復興支援プロジェクトチーム」が問合せの窓口となり、復興の後押しを行っている。 【紹介製品の例】 ・既設防潮堤に鋼管矢板壁等を設置することによる、防潮堤のかさ上げ ・鋼矢板を用いた省スペース・短工期での地盤補強による、液状化地盤の崩壊抑制 ・栈橋に鋼管杭を補強打設することによる、栈橋の支持力の強化 ・津波等で発生した堆積土に製鉄工程の副産物である鉄鋼スラグからなる「カルシア改質材」を加え攪拌混合することで、十分な強度を持つ良質な土に改質し、復興建設資材として活用 【活用事例】 ・2011年9月に仙台市にてカルシア改質材を用いた津波堆積土の改質実証試験を実施した。2012年1月には改質した津波堆積土140トンが、仙台港岸壁災害復旧工事の地盤かさ上げ用路床材として試験活用された。 ・民間企業の被災社員向け復興住宅の建築にあたり、当社の薄板軽量形鋼造「ニッテツスーパーフレーム工法（NSF工法）」が採用され、同住宅は2012年3月に完成した。
効果	サイトを通じた具体的な情報提供により各自治体の復興計画策定を支援するとともに、自治体等から寄せられる問合せを通じて復興の進捗動向とそれに沿ったニーズの把握につなげている。また、改質した津波堆積土が港湾設備の埋戻材料、海岸堤防や道路の盛土材料等に広く利用が可能であったり、NSF工法により、短工期で余震等への耐久性が高い震災復興住宅を提供できるというメリットを活かしたりすることで、被災地の復興と災害に強い街づくりの両立に貢献しており、自治体からも評価を得ている。
事例に関する連絡先	

会社名	住友化学(株)					122		
事例名	被災地応援マルシェ(物産展)の開催							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	被災地の農水産物や加工品の物産展を、東京本社では2011年4月、2012年4月に弊社内で開催した。2011年5月、7月には、住友ツインビル入居企業3社(新日鉄ソリューションズ、住友倉庫、三井住友海上)と合同で、地域住民も対象にビル前の広場で規模を拡大し実施した。また、弊社大阪工場では2011年8月に東北地方の農産物の販売会を、12月に大日本住友製薬と合同で被災地応援物産展を実施し、大阪本社でも2011年11月に大日本住友製薬と合同で、2012年4月には住友電気工業と合同で被災地応援物産展を実施した。							
効果	8回とも非常に好評であり、被災地に行けない社員でも可能な活動として、継続実施を希望する声も多い。							
事例に関する連絡先								

会社名	住友化学(株)					123
事例名	社員ボランティアによる仮設住宅入居者への機能的インナーウェア配布					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県釜石市、大船渡市							
プログラムの連携先								
活動の概要	2011年11月から12月にかけて、機能性インナーウェア約10,000枚(「ヒートファクト®」イオントップバリュー(株))を被災地仮設住宅へお住まいの方々へ無償提供するとともに、延べ87名の社員ボランティアによる各世帯への個別配布を行った(機能性インナーウェアに使用のアクリル繊維には、弊社製品のアクリロニトリルが原料として含まれている)。							
効果	被災地での寒さ対策として喜んでもらうことができた。							
事例に関する連絡先								

会社名	住友化学(株)					124		
事例名	被災地での理科実験教室開催							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県釜石市							
プログラムの連携先								
活動の概要	夏休みの課外授業の一環として、釜石市の公民館や応援センターで計7回の理科実験教室を開催した。当該教室は、自分で染料を調合し作った独自の色によるハンカチ染めと、偏光フィルムを使った不思議なステンドグラス作成の2つの実験から構成され、多くの子どもが参加し、化学の不思議さ、楽しさを感じてもらった。							
効果	理科実験教室後にお楽しみ会を開催するなど、次世代の教育支援のみならず、仮設住宅の建設などで遊び場を失い退屈している子どもに対し、メンタル面での支援も提供できた。							
事例に関する連絡先								

会社名	住友商事(株)					125		
事例名	住友商事 東日本再生コースチャレンジ・プログラム							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県雄勝町、福島県南相馬市、岩手県遠野市など							
プログラムの連携先	NPO法人市民社会創造ファンド							
活動の概要	「住友商事 東日本再生コースチャレンジ・プログラム」では、2012年度から5年間に亘り、年間総額5,000万円から1億円の助成を行い、被災された方々の生活再建を通じた地域再生プロセスにユース世代の参加を							

	<p>促し、地域再生を支援するとともに、地域の将来を担うユース世代の成長を応援する。</p> <p>本プログラムは、6月に助成を開始した「活動・研究助成」と、同じく7月に活動を開始した「インターンシップ奨励プログラム」から構成されている。「活動・研究助成」はユース世代がチーム、サークル、グループで取り組む、あるいはユースを対象とするNPO等が取り組む地域再生へ向けた活動や調査研究を支援するもので、「インターンシップ奨励プログラム」は、ユース世代に被災地で活動するNPO等でのインターンシップを促すものである。また、本プログラムは、NPO法人市民社会創造ファンドの協力のもと実施されている。</p>
効果	本プログラムを通じ、息長く被災地の再生を支援するとともに、その再生プロセスへのユースの積極的な参画を応援することで、今後被災地の将来を担っていくユース世代が大きく成長していくことを期待している。
事例に関する連絡先	環境・CSR部

会社名	住友商事(株)					126				
事例名	住友商事東北(株)による省エネ型水耕栽培工場整備									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県名取市他									
プログラムの連携先	(株)リサイクルワン									
活動の概要	<p>東日本大震災により、多くの農家の農作機械や施設園芸ハウスが津波により流され、資金調達の課題等から自立した農業の再建が困難になった。そのため、被災地における農業の早期創造的復興を目指し、津波の被害を受けた農地に、塩害や土壌汚染の影響を受けない「省エネ型水耕栽培プラント」(アクアビトン)を活用した植物工場の整備に着手した。</p> <p>当社/住友商事東北は、リサイクルワン社と提携し、企画及びコーディネーション(現地自治体・被災者ニーズの確認、具体案策定とその復興計画への盛り込み、販路拡大支援等)を担っている。</p> <p>第一号として、(株)さんいちファームが、宮城県名取市にて、栽培面積6000㎡の野菜工場を完成している(2012年5月30日完工)。</p>									
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の早期創造的復興 ・根域帯のみを温度管理し、ハウス全体を冷加温しない仕様で、約40%の省エネルギーを実現 ・再生プラスチックの樹脂架台を使用し、架台のコストを削減 ・通年栽培型水耕栽培により、外食産業へ直接販売し、6次産業化を加速 									
事例に関する連絡先	地域総括部/産業復興支援チーム									

会社名	住友商事(株)					127				
事例名	住友商事東北(株)による気仙沼水産加工復興支援プロジェクト									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県気仙沼市									
プログラムの連携先	三井物産(株)									

活動の概要	<p>気仙沼水産業の早期創造的復興を成し遂げるべく雇用・産業波及効果の大きい水産加工業の集積による共同事業化をめざす団地組合構想を推進する。従前にはない競争力とブランド力を備えた6次産業化を目指し、世界に発信する水産都市・気仙沼の発展に寄与する計画である。住友商事及び三井物産の商社連合は国、県、市、商工会議所、社外有識者の協力を得つつ、本構想推進に必要なビジネスモデルを提案し、金融機関の参画による金融支援、ハード、ソフト面で必要な社内外企業・事業者コーディネートによるノウハウ、事業企画力等の機能提供を行っている。</p> <p>事業主体は地元で新たに設立する協同組合であり、商社は事業参画はせず、事業者と共に考え、汗をかきプロジェクトを応援する、地元事業者に寄り添い、息長く直接関与し続ける形の復興支援活動である。</p> <p>【事業概要】 事業名称：協同組合事業 気仙沼鹿折地区水産加工団地 事業主体：気仙沼鹿折加工協同組合（地元事業者17名の組合員で構成、本年7月末登記完了予定） 事業実施（予定）地域・地区名：宮城県気仙沼市鹿折地区 事業開始（予定）時期：2012年8月</p>
効果	<p>気仙沼市では水産業が市の経済の根幹をなしているが、本件支援では基幹産業である地元の水産事業者からなる協同組合が気仙沼鹿折地区において給水や排水処理施設など大型設備を共同で建設・保有し、組合共同事業として運営を行うことで、組合員企業のコスト競争力の強化、事業の高度化を図り、ひいては水産加工業の産業再生、雇用の維持に繋がってゆくことを目指している。</p> <p>また、今回の支援が一つの官民連携、産学連携による「早期・創造的復興のビジネスモデル」となり、同様の手法を他の地域でも横展開していただくことで広く地域復興にも繋がってゆくことを期待している。</p>
事例に関する連絡先	地域総括部 / 産業復興支援チーム

会社名	住友スリーエム(株)					128		
事例名	東北プロジェクト部の新設							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東北6県							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>2011年7月、被災地の中長期的な課題に組織横断的な体制で対応する「東北プロジェクト部」を新設した。東北プロジェクト部は、被災地への支援を軸として考えられる、さまざまなビジネスを創出することを目的としている。具体的には、被災地のがれき撤去等の清掃プロセスやインフラの復興に関わるプロセス、そして建物の新築や補修において、安心して安全な作業効率の改善を実現するソリューションやサービスを提供する。対象となるのは官公庁や地域行政に関連する団体等と実際に製品を使用いただくエンドユーザーである。被災地密着体制でニーズをくみ取り、製品形態や販売網、技術支援に生かす。復旧状況に合わせて、5万種以上の全製品からマスクや防護服、ガス管の補修材料、窓ガラス用遮熱フィルムや制振材など必要に応じたものを提供していく。</p>							
効果								
事例に関する連絡先	東北プロジェクト部							

会社名	住友林業(株)					129		
事例名	仮設カフェ「リ」(カフェ)の立ち上げ協力							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域								
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要								
効果								
事例に関する連絡先								

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	陸前高田市			
プログラムの連携先	小泉 秀樹氏(東京大学 准教授) 成瀬 友梨氏(東京大学 助教) 猪熊 純氏(首都大学東京 助教) c l a t z ・ t a k e (クラッツテイク) 他			
活動の概要	東日本大震災で被害を受けた地域においては、多くの応急住宅が建設されたが、いつでも気軽に住民が集まりコミュニケーションを育む場所が無い、という声が多方面から聞かれ、またお年寄りや子どもたちを見守る機能を果たす場所の存在も今後重要になるといわれている。 このプロジェクトの建築地には、仮設の病院、歯科医院、薬局など民間の医療施設が集まっており、応急住宅や一般住宅地にも隣接していることから、この場所の一部を利用し、住民が気軽に立ち寄れる居場所を設けようと、地域住民の方々が主体となって企画検討を行っていた。被災地において様々な復興支援活動に携わっていた東京大学 小泉秀樹准教授がこの企画の事を知り、プロジェクトリーダーという形で参加した。東京大学 成瀬友梨助教、首都大学東京 猪熊純助教も参加し、当社は小泉准教授、成瀬助教、猪熊助教と他のプロジェクトで協働中という関係もあり、当プロジェクトにおける仮設カフェ建設の相談を受けた。協力メーカーを募るなど施工全般への支援を開始し、その結果、地域住民・大学・そして当社をはじめとした住関連企業による協働計画が実現した。当社は2011年4月に新設した木化推進室を中心に参画、今後の被災地全般における新しい木造仮設店舗のあり方について検証することを目的に参加している。			
効果	このりくカフェは、1年後に予定している本設工事に先立ち、東北産材を活用しながら多目的に使用可能な木造仮設店舗の建設となる。木造仮設店舗では、住民の方々が気軽に集まれるコミュニティの場として活用されながらも、本設工事に向けた室内空間や機能におけるニーズの収集を、運営主体の地域NPOを中心に調査することも考えている。			
事例に関する連絡先	木化推進室、コーポレート・コミュニケーション室			

会社名	セイコーエプソン(株)				130			
事例名	社会貢献学会写真復元プロジェクト「あなたの思い出守り隊」への協力							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	震災で被災した地域							
プログラムの連携先	社会貢献学会写真復元プロジェクト「あなたの思い出守り隊」							
活動の概要	震災において、多くの方々の大切な写真が水や泥を被っている。被災された方々から水や泥で汚れた思い出の写真を受け、スキャナーで読み取った後に印刷して返す企画である。神戸学院大学、工学院大学、東北福祉大学共同により社会貢献学会内に東日本大震災支援委員会が立ち上がり、学生の有志ボランティアにより作業が行われている。昨年当社からPC、プリンター、スキャナー、消耗品(インク、用紙)の寄贈を行った。また今後も継続して消耗品(インクカートリッジ、写真用紙)を提供し本活動を支援する。							
効果	思い出の写真が復活することで震災者にとっても心の支えとなる。また復元の作業自体は大学生が行っており、学生のボランティア活動参加の支援ともなる。							
事例に関する連絡先	本社総務部							

会社名	積水化学工業(株)				131			
事例名	東日本大震災 ライフライン復旧プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	岩手県釜石市			
プログラムの連携先	釜石市			
活動の概要	津波被災地の復興計画の街づくりに、災害に強いライフラインを提案している。各自治体へは、製品だけでなく、設計から建設、維持管理までライフラインをシステムとしてトータルで請け負うことで、当社の有する技術を全て展開ができ、責任を明確にした復興への貢献を考えている。			
効果	街づくりの根幹となる、重要なライフラインの強化にトータルで取り組める。			
事例に関する連絡先				

会社名	積水化学工業(株)				132			
事例名	「エスロンパイプ」の売上高の一部を寄付							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	2012年4月より1年間、エスロンパイプ1束の売上につき50円、同継手1ケースにつき50円を被災自治体に寄付するCRM活動を展開している。寄付先は被災地の各自治体、主に上下水道・農水および復興住宅の関連部局を予定している。							
効果	寄贈先と時期については、検討中。							
事例に関する連絡先								

会社名	積水ハウス(株)				133			
事例名	(株)インサイトによる「ミナ DE カオウヤ」プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	被災により販売ルートを失い、またものづくりの現場が混乱している施設を支援するため、被災地の障がい者福祉施設の授産品を都市部に仕入れて販売し、経済活動を通じて支援するプロジェクトに参画している。本社のある梅田スカイビルに常設店舗スペースを提供したほか、テナント飲食店とのコラボ企画として仙台・登米市名産の「油麩」を活用した「油麩丼フェア」を実施し、その他、多数の社内イベントや全国一斉イベントのノベルティとしても活用している。また、関西で実施される復興支援イベントなどで、従業員ボランティアによる販売会も行っている。							
効果	経済活動を通じて支援することで長期的に支援することが可能になる。また、異なるエリアで大規模災害が							

	発生した際に、当該地域の障がい者福祉施設の支援に同じ仕組みを活用することができる。広く一般社会に授産品の高い品質を伝え、障がい者の所得を増やすこともできる。また、本取り組みを通じて障がい者福祉に関する社会課題を広く伝えることもでき、課題解決に取り組む人を増やすことができている。
事例に関する連絡先	C S R 室

会社名	積水ハウス(株)				134
事例名	積水ハウスマッチングプログラム もも・かき育英会基金				
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県 その他
具体的地域					
プログラムの連携先					
活動の概要	震災遺児を経済支援する「桃・柿育英会」(安藤忠雄氏呼びかけ)の趣旨に賛同し、会社と従業員の共同寄付制度「積水ハウスマッチングプログラム」に「もも・かき育英会基金」を設置した。従業員が1口100円から任意の口数を給与天引きし、同額を会社がマッチング寄付。10年間継続予定で、第1回目の寄付を2011年8月に実施した。				
効果	基金を活用した具体的な活動は現在検討中のため、効果を推し量ることがまだできない。				
事例に関する連絡先					

会社名	積水ハウス(株)				135
事例名	震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI ～まだまだ、これから～」				
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県 その他
具体的地域					
プログラムの連携先					
活動の概要	東日本大震災発生から1年を迎える2012年3月10日(土)、11日(日)に、復興への祈りを捧げるとともに、復興とその支援は、まだまだこれからであるとの想いを込めたメッセージを発信するイベントを実施した。 復興活動に取り組んだ市民団体、NPO、企業、行政関係など約32ブースが出展した。当社は、積水ハウスブース(防災への取り組みに向けた意識啓発を促すブース)の運営、「みんなDEカオウヤ」ブースでの販売協力、ステージイベントへの出演者控室(9階会議室)の設営及び運営などを行い、積水ハウスグループ有志26名がボランティア活動を行った。イベントへの総来場者数は5,500人、東北から関西に避難されている方も300人の方が来場された。				
効果					
事例に関する連絡先	C S R 室				

会社名	(株)セブン&アイ・ホールディングス					136					
事例名	仮設住宅居住者への生活物資供給										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	岩手県大槌町、宮城県気仙沼市、宮城県南三陸町、宮城県石巻市、福島県相馬郡、等										
プログラムの連携先	NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン、NPO法人JEN、他										
活動の概要	<p>NGOとの協働で、仮設住宅居住者の方へ、生活用品及び衣料品などの物品提供を行った。現地からの要望に合わせ、「一世帯に必ず必要なもの」「お一人様に必ず必要なもの」「男性用、女性用、お子様用の各サイズ別の衣料品」などの細かい分類を行い、現地での仕分けの負担のない提供を実施した。</p> <p>現地までの物流トラックは約70台を延べ30日使用した。</p> <p>また、11月～3月で気仙沼、南三陸町の約20,000人へグループ商品券を配布した。</p>										
効果	<p>NGOより指定の仮設住宅45カ所へ、約7,000世帯17,000人分の物資をお届けする。商品は店頭価格より廉価ものを届けた。</p> <p>現地では仕分けの必要がなく、スムーズに住宅内へ届けることができ、ボランティアや居住者の方にも大変喜ばれた。</p> <p>また、グループ商品券はセブン-イレブン、イトーヨーカドー、ヨークベニマルなどでお好きな生活物資を購入することができ好評だった。</p>										
事例に関する連絡先	CSR統括部										

会社名	(株)セブン&アイ・ホールディングス					137					
事例名	計画的避難区域福島県飯舘村の復興支援企画										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	福島県飯舘村										
プログラムの連携先											
活動の概要	<p>福島県飯舘村の故郷を離れ仮設住宅での生活を余儀なくされているお年寄りが、心を込めて作った「まदैし着」の販売協力を実施した。「まदैし」とは「大切に」「心をこめて」と言った地域の方言であり、震災後に全国から善意で寄付された着物を使い、仮設住宅の中で作務衣や半纏などの衣料品や装飾品を作った。セブン&アイ・グループのそごう・西武でデザインアドバイスや型紙の提供、そごう柏店で販売場所と販売技術の提供を行った。2012年3月11日～12日で実施した。</p> <p>第2回目を9月に計画中である。</p>										
効果	衣料品120着、和装小物400点、その他装飾品100点、Tシャツ470枚、ポストカード200セット合計1,290点をほぼ完売した。										
事例に関する連絡先	CSR統括部										

会社名	(株)セブン&アイ・ホールディングス					138
事例名	「子どもたちへくあしたの本」プロジェクトへの協賛と協力					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県気仙沼市、宮城県南三陸町、宮城県石巻市									
プログラムの連携先	「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト」(以下は、呼びかけ団体) (社)日本国際児童図書評議会(JBBY)(社)日本ペンクラブ(P.E.N.) (財)日本出版クラブ(JPC)(財)出版文化産業振興財団(JPIC)									
活動の概要	本をとおして被災地の子どもたちを支える活動「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト」にセブン&アイ・ホールディングス、ヨークベニマルで協賛した。同時に「移動図書館」「読み聞かせ会」に場所の提供と社員の協力する。子どもたちの心をうるおすために、本と、本にかかわるいろいろな活動を行っている。 移動図書館 ・1カ所約2時間滞在。子どもたちに本を貸したり贈ったりする活動。 ・紙芝居、ストーリー・テリング、読み聞かせ、人形芝居なども行う。 ・本の返却は店舗サービスカウンターでも協力する。 11年10月22(土)～12月18(日)まで運行。その後3月までは雪のため休止 土曜日 セブン-イレブン気仙沼公園仮設店舗 " セブン-イレブン志津川天王前仮店舗 日曜日 イトーヨーカドー石巻あけぼの店 " ヨークベニマル大街道店 12年4月14(土)～運行再開 セブン-イレブン志津川天王前仮店舗設以外の3カ所で運行する。 読み聞かせ会 不定期だが、地域の子どもの対象にした読み聞かせや紙人形芝居のイベントを開催する。									
効果	移動図書館 1回あたり50冊～100冊の貸出し冊数 読み聞かせ会 ・12月25日(日)セブン-イレブン気仙沼公園仮設店舗裏集会場 ・3月1日(木)と3月3日(土) ヨークベニマルが郡山市に寄贈したの屋内遊戯施設「ベップキッズ郡山」									
事例に関する連絡先	CSR統括部									

会社名	全日本空輸(株)							139			
事例名	「ANAこころの森」										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県南三陸町										
プログラムの連携先	南三陸町森林組合・フロンティアジャパン(株)										
活動の概要	東日本大震災発生後、宮城県南三陸町では「ANAこころの湯プロジェクト」として、スポーツレクリエーション施設「平成の森」避難所にて給湯活動を行うなどの支援活動を実施した経緯もあり、南三陸町の森林組合の支援のもと志津川町入谷生産森林組合と森の使用協定を2012年7月に締結した。今後、グループ社員ボランティアにて間伐作業等の活動を実施する。 また、森林保全の過程で生まれる「間伐材製品」をフロンティアジャパン(株)の南三陸町工場に製作を依頼し、雇用創出に向けた同社の取り組みを支援していく。間伐材製品は、ANAのノベルティグッズなどで活用する予定である。										
効果											

事例に関する連絡先										
会社名	全日本空輸(株)								140	
事例名	(公財)オイスカ「海岸林再生プロジェクト」への支援									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県			その他		
具体的地域	宮城県名取市									
プログラムの連携先	(公財)オイスカ									
活動の概要	東日本大震災による津波の影響を受け、壊滅状態となった海岸林を再生する(公財)オイスカの「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」への支援を実施する。被災者の方に苗木の育苗を依頼するなど地域の経済活動の活性化につながる活動であり、ANAグループとしては本プロジェクトに経済的な支援のほか、下草刈り、海岸清掃など、社員のボランティア活動を実施予定している。									
効果										
事例に関する連絡先	総務部									

会社名	全日本空輸(株)								141	
事例名	ボーイング787復興応援フライト									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県			その他		
具体的地域	仙台空港・福島空港									
プログラムの連携先										
活動の概要	ボーイング787の就航にあたり、10月30日宮城県・11月30日福島県の子どもたちを招待し、復興応援チャーターフライトを実施する。									
効果										
事例に関する連絡先	総務部									

会社名	ソニー(株)								142	
事例名	RESTART JAPAN 支援プロジェクト									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援			本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン							
活動の概要	<p>セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとソニーは東日本大震災の復興支援、特に次世代を担う子どもたちの支援の一環として、"RESTART JAPAN ファンド"を設立し、被災地での子どもたちの保護とケア、教育、創造的活動を重点とした"RESTART JAPAN 支援プロジェクト"を展開している。</p> <p>このファンドは、ソニーグループを中心に、震災後に寄せられた社内のアワード賞金、ブラジルでのチャリティサッカーイベントや海外販社からの寄付を基盤として設立、加えてTUBEや著名人による復興支援のチャリティソングや講演社との協業による写真集、生産再開した多賀城製のブルーレイ・ディスクなどの売上運動寄付、ソニーポイントによるお客様からの寄付も含まれており、ソニーのビジネス資産を有効に活用しながら運用している。</p> <p>支援プロジェクトとしては、被災地の学校での科学教育プログラム「ソニー・サイエンスプログラム」の実施、クラブワールドカップのパブリックビューイング、被災地の子どもたちが撮影した写真を発信するプログラム「キッズフォトジャーナル」などの活動を中心に行い、また新学期に合わせ、2012年4月より、被災地の子どもたちの夢やチャレンジを継続的にサポートする“夢実現プロジェクト”も実施している。具体的には、震災で途切れてしまった学校や地域のスポーツ・文化活動の再開や新たな活動への支援を行うもので、第1期は延べ120団体に支援を行い、第2期は2012年9月に募集開始する予定である。</p>							
効果	<p>パートナーであるセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、子どもの保護とケア、教育分野では専門性の知見を持ち、震災前もグローバルに活躍する実績を持っていたため、早くから現地の自治体や行政とも連携して活動を行っている。特にコミュニティ・イニシアチブの領域では、単に子どもたちの日常生活を取り戻すだけでなく、子どもたちの活動がより活発になることで、同時に地域の大人や保護者間のつながりを強め、コミュニティの再生に貢献することも目指している。最近では他社からの賛同と協力もいただけており、今後もRESTART JAPAN ファンドの活動を中心に、一人でも多くの被災地の子どもたちの夢が実現されるよう、継続的な活動をしていく計画である。</p>							
事例に関する連絡先	ソニーCSR部							

会社名	ソニー(株)						143		
事例名	EYEESEE 東北								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	岩手県大槌町、宮城県石巻市、福島県相馬市								
プログラムの連携先	日本ユニセフ協会								
活動の概要	<p>ユニセフとソニーが共同で実施している「子どもデジタル写真プロジェクト "EYE SEE"」。さまざまな国の子どもたちが、ソニーの提供するデジタルカメラ"Cyber-shot"（サイバーショット）を使い、撮影を通じて自分のまわりを見つめ、記録し、そして発信することの可能性や重要性について学ぶワークショップである。子どもたちに学んでもらえるのは、撮影技術だけではなく、カメラを通して、社会を見つめる目を手に入れることができ、撮影者や被写体の思い、そして自然からのメッセージを世界中の人々に伝えられるのが、写真表現である。</p> <p>今回は「EYE SEE TOHOKU」と題して、震災から約8カ月が経った2011年11月から約1カ月、岩手県、宮城県、福島県の三県でワークショップを開催し、小学生から中学生までの合計27人が参加した。世界中の子どもの写真を撮影しているイタリア人の写真家ジャコモ・ピロツィ氏が講師となり、彼の写真を教材にしなが、世界の子どもの暮らしや直面している問題について学ぶとともに、写真を使って自分の気持ちを表現し、自分たちが暮らす町の様子をルポタージュするために必要なテクニックを学んだ。</p> <p>子どもたちが自分自身の心の内にあるものに気づき、表現していく。写真からは、子どもが生活の中で何を考え、何を感じているのか、ダイレクトに伝わる。カメラのファインダーを通して、子どもたちは改めて、自分たちの気持ちや暮らす空間を見つめ直す機会となる。</p>								

効果	子どもたちは震災の被害の大きさや暮らしへの影響のほか、復興に向けて汗を流す人や家族や友だち、自分たちが大切に感じるものをカメラに収め、子どもたちは自分たちの生きる日常を、写真と言葉の両方を使ってメッセージを世界に発信し、同時に子どもたちの心のケアにも繋げる。 子どもたちが撮影した写真は、写真展示として、ニューヨークにあるユニセフハウスで行われたあと、ソニーのアメリカ法人でも展示された。また、日本では2012年3月から、東京・高輪のユニセフハウス、岩手/宮城/福島県のショッピングモール、またソニー本社、ソニービル(東京・銀座)でも実施され、たくさんの人々に子どもたちのメッセージが届いた。
事例に関する連絡先	ソニーCSR部

会社名	ソフトバンク(株)							144
事例名	「チャリティホワイト」の実施							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	中央共同募金会、あしなが育英会							
活動の概要	ソフトバンクモバイル(株)では、ユーザと一緒に、継続的に支援を行う枠組みである「チャリティホワイト」を実施している。 具体的には、毎月の携帯電話料金の請求に併せて、ユーザから10円を寄付いただき、ソフトバンクモバイルが1加入者あたり、10円をマッチングしたうえで、20円を被災地に寄付する枠組みである。 現在、16万人の支援者が集まっており、毎月320万円の寄付を行っている。また、現在、3～4万人/月程度のペースで支援者が増え続けているため、他の寄付の枠組みとは違い、月を重ねるごとに、毎月の寄付金額が増加していく枠組みである。 2011年8月1日から始めており、2014年3月末まで実施する。							
効果	中央共同募金会、あしなが育英会を通じて、これまでに2,000万円以上、170団体への寄付を実施する。							
事例に関する連絡先	http://mb.softbank.jp/mb/special/charity_white/							

会社名	ソフトバンク(株)							145
事例名	復興支援ソフトバンク商品券							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	特定被災区域							
プログラムの連携先								
活動の概要	ソフトバンクモバイル(株)、ソフトバンクギフト(株)、ヤフー(株)では、国交省等が実施する復興支援住宅エコポイントの利用領域を拡大し、被災地の経済復興を図ることを目的に実施する。 住宅エコポイントを「復興支援ソフトバンク商品券」に1ポイントあたり1円分の等価交換を行う。 「復興支援ソフトバンク商品券」は、東北3県の物産をEコマースで購入可能としているサイトでの利用と、特定被災区域のソフトバンクショップでの利用を可能としている。							

効果	
事例に関する連絡先	http://mb.softbank.jp/mb/disaster/tohoku2011/assistance_gift/

会社名	ソフトバンク(株)					146				
事例名	東北3県の物産販売支援									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先	東北3県のNPO団体、商店等									
活動の概要	ヤフー株式会社は、経済復興を目的に、東北3県の物産や工芸品等をEコマースで販売できるサイト「復興デパートメント」の事務局運営を行っている。									
効果										
事例に関する連絡先	http://fukko-department.jp/index.html									

会社名	(株)損害保険ジャパン					147				
事例名	被災地への継続的支援も含めた「NKS」ボランティアデーの開催									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	国内外のNKSグループ所在地									
プログラムの連携先	(社)日本農業法人協会、NPO法人日本セルフセンター、現地被災地支援団体等									
活動の概要	<p>2011年10月～12月に「ボランティア国際年+10(プラステン)」にあわせて、NKS全グループ社員にボランティア活動への参加を呼びかけ、「NKS」ボランティアデーとして全国展開の取組を実施した。具体的には、被災地の物産品販売の他、古本回収、途上国への絵本の寄付、防災イベント、介助犬デモンストレーションおよび地域独自で継続的に取り組んでいる活動などを全国の拠点ごとに実施した。期間中に全国で約60の活動が実施され、約1万人の社員が参加するなど、ボランティア活動・市民活動の社会的意義、影響力を高めることにもつながった。また、ボランティア応援グッズとして、オリジナル寄付金付Tシャツなども作成し、寄付金は中央共同募金会「災害ボランティア・NPO活動サポート基金(ボラサポ)」に寄付した。</p> <p>「NKS」ボランティアデーは2012年度も10月に開催予定で、被災地の雇用促進も踏まえた、被災地で活動している支援団体や障がい者団体が制作している物品の販売会など、現地ニーズにあわせたあらたなボランティアメニューも加える予定である。</p>									
効果	<p>損保ジャパン社員は、震災直後から地震保険金のお支払いで被災地の復興支援に懸命に取り組んできた。ボランティアデーを開催することで、被災地に行けなかった社員にも、被災地の現状に目を向け、協力するきっかけを提供することができた。また、NKSグループとして取り組むことでグループ社員の親密化や一体感醸成にも寄与することができた。震災から1年以上が経過し、被災地のニーズも変化している。昨年、ボランティアに参加した社員からは、「継続的な取り組みの必要性を実感した」という感想が多く寄せられており、震災直後から実施してきた取組を、継続的に行っていくことで社員のさらなるマインド向上にも寄与</p>									

	することが期待される。また、ボランティアメニューを検討するにあたり、現地NPO団体等との連携も深まっており、このことがあらたな支援の形を検討することに役立っている。
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション企画部 CSR・環境推進室

会社名	(株)損害保険ジャパン				148			
事例名	人形劇を通じた心のケア							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県釜石市							
プログラムの連携先	釜石市、釜石市教育委員会、全国公民館連合会、NPO愛知人形劇センター、ひまわりホール							
活動の概要	<p>損保ジャパンは、愛知県名古屋市内に人形劇専用劇場「ひまわりホール」を所有しており、劇場の運営団体であるNPO愛知人形劇センターとともに人形劇を通じた地域貢献活動に取り組んでいる。</p> <p>まず、震災から1年が過ぎた2012年3月に、岩手県釜石市の中でも津波被害の特に大きかった鶴住居町で子どもたちの心のケアを目的とした人形劇公演を行った。</p> <p>当日は、人形劇団「ゆめみトランク」による人形劇を、鶴住居地区生活応援センターが主催する幼児と保護者を対象としたイベントの中で公演し、児童と保護者など合計約60人が参加したほか、高齢者施設でも公演し約15人が参加した。</p> <p>公演にあわせて全国の損保ジャパン社員ボランティアによって結成された「損保ジャパン笑顔届け隊！」が手作りしたプレゼントやメッセージカードを渡した。</p> <p>2012年8月にも、同じ釜石市での公演を予定している、引き続き被災地・被災者の心に寄り添った継続的な活動を展開していく。</p>							
効果	<p>人形劇をご覧いただいた方からは「震災以来、初めて孫の笑顔を見ることができた」「プロの人形劇を初めて観て感動した」などの感想をいただいた。愛と笑いのある人形劇に会場もなごみ、癒しの機会を提供することができた。</p> <p>また、仮設住宅設置の関係で、コミュニティがばらばらになりつつある中、今回の活動のように、地域の皆さんが集まる場所を提供できたことで被災地や仮設住宅に住んでいる方々に、一時の安らぎを提供することができた。</p> <p>「損保ジャパン笑顔届け隊」に参加した社員からは、「早く復興してもらいたいとの思いを縫い込みました。」「岩手の皆さまの心が、少しでも和むことのお手伝いできたのではと思います。」などの声が寄せられ、被災地を訪れることができない社員にも、震災を風化させず継続的に支援をしていく重要性に気付く機会となった。</p>							
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション企画部 CSR・環境推進室							

会社名	(株)損害保険ジャパン				149			
事例名	復興に取り組むNPO団体のサポート役として社員を業務派遣							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県石巻市、気仙沼市							
プログラムの連携先	全国訪問ボランティアナースの会キャンパス被災者支援チーム東北 NPO法人ETIC.							

活動の概要	<p>損保ジャパンでは、継続的な復興支援の取り組みのひとつとして、被災地復興に取り組む団体に社員をサポート役として派遣する「社員派遣プログラム」を実施している。</p> <p>7月から9月までの2か月間に10日間1クールプログラムのプログラムを5回実施、各2人合計10人の社員を宮城県石巻市・気仙沼市で活動している団体に派遣している。</p> <p>派遣先の「全国訪問ボランティアナースの会キャンパス 被災者支援チーム東北」は、医療・看護・介護分野における課題解決を通じて、地域コミュニティ再生に力を入れている団体で、派遣社員は訪問介護ボランティアのスケジュール管理及び募集、地域コミュニティ再生を目的としたイベントの企画・運営、データ整備・分析・マニュアル作成等の業務を行っている。</p> <p>また、本プログラムは、被災地で復興に取り組む次世代リーダーを支援する企業のプラットフォーム「みちのく復興事業パートナーズ」の一環として行われており、プラットフォーム参加企業間で連携し、企業が自社のリソース（人・情報・ノウハウ）を活かし被災地支援していくための機会を検討し、実行につなげている。</p>
効果	<p>被災地復興に必要とされる支援が短期的なボランティアから中長期的な支援へと変化したことにより、復興活動を行っている団体ではマネジメントスキル等をもった企業人材ニーズが高まっていることをうけ、今回の派遣を行っている。</p> <p>派遣先団体では、被災者への看護業務・リハビリ業務に多くの時間が割かれ、看護記録などの帳票類や日報のほとんどは紙のみで保管され、整理のための時間が無いという現状だった。派遣社員は日頃の業務を通じて培ったスキルを活かし、帳票類の改定やデータ整備を行うとともに、派遣団体の業務に新たな視点で発案等を行い、派遣団体が中長期的に復興活動をしていけるような仕組みづくりを構築している。また職場復帰後に被災地での経験を生かし業務の幅を広げてもらうことも期待している。</p>
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション企画部 CSR・環境推進室

(4) た行

会社名	第一三共(株)					150				
事例名	健康情報冊子の製作協力									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	名取市、岩沼市、亘理町、山元町									
プログラムの連携先	(財)杜の都産業保健会									
活動の概要	仮設住宅にお住まいの被災者を対象とした健康情報冊子「きぼうメディカルみやぎ」の制作・配布費用として、社員からの募金と会社拠出分を合わせて、(財)杜の都産業保健会に寄付した。情報冊子は、宮城県内の仮設住宅約20,000戸を対象に配布した。配布にあたっては、一日でも早く、直接お届けすることを目的に、社員ボランティアによる配布支援活動を行うだけでなく、宮城県内のシルバーセンターおよび河北新報社のボランティアも参画した。									
効果	仮設住宅にお住まいの方からの医療や健康に関する情報入手ニーズに応えるため、宮城県に本拠を置く健診機関である「(財)杜の都産業保健会」と第一三共グループによる協働復興支援施策として企画され、3回に亘り計87,000部を配布した。 震災復興支援については、「会社と社員が一体となった継続的な支援活動」の要望が社員から多く寄せられていたが、寄付金の拠出から冊子の編集会議への参加、健康情報冊子の配布まで、当社が深く関与する復興支援策となり、社員の期待に添えるものとなった。情報冊子の制作にあたっては、執筆者として、東北大学医学部および関係医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の方々からの協力を頂き、内容も仮設住宅にお住まいの方の健康管理にふさわしい充実したものとなった。									
事例に関する連絡先	CSR部									

会社名	第一三共(株)					151				
事例名	ミュージカルへの協賛									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	仙台市									
プログラムの連携先	劇団四季									
活動の概要	ミュージカル観劇を通じて、被災された方々に感動と元気をお伝えるすことにより、復興支援の一助したいという趣旨で、第一三共 Presents 家族のきずなシアター2012 劇団四季ミュージカル『ユタと不思議な仲間たち』を開催した。受付・シャトルバス案内・駐車場誘導・会場案内・公演終了後の舞台片付けなどの運営には社員がボランティアとして参画した。									
効果	参加者から「最高の日でした。これからの力になりました」「多くの人に気にかけていただいて今があると思います。震災から一年経って、家族で観劇できるなんて皆さまのおかげです」などの感想をいただき、感動と元気を伝えることができた。									
事例に関する連絡先	CSR部									

会社名	第一生命保険(株)					152					
事例名	社員ボランティアの参加										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	気仙沼市唐桑地区										
プログラムの連携先	気仙沼市唐桑地区復興支援協団体										
活動の概要	<p>全国有数の漁業生産地である気仙沼市唐桑地区はカキやワカメ等の養殖業が盛んな地域であり、重要な収入源となっているが、津波被害により養殖用のインフラが壊滅状態にあった。そこで、産業復興支援を目的として、地域住民・漁業組合・観光協会等が組成した「気仙沼市唐桑地区復興支援協団体」を受入先とし、養殖業関係者を支援するためのボランティア活動を実施した。具体的には、被災した養殖漁業者の指導のもとで、カキやワカメ等の養殖用のいかだの組み上げやいかだ固定用の土嚢作り、カキやワカメ等の種付け(ロープにカキやワカメ等を吊るす作業)等の性別・年齢によらず参加可能な活動を行った。2011年10月～11月および2012年5月～6月、合計7クールにわたり実施し、合計約140名の職員が参加した。活動支援として、会社から特別公休の付与および参加費の一部支援を行った。</p>										
効果	<p>参加者は、自身の目で被災地を見ることで被災地の現状を理解するとともに、漁師の方々が復興に向けた強い意気込みのもと団結して非常に前向きに取り組む姿に元気・勇気をもらい、決して震災を忘れずしっかり伝えていくべきであるとの認識を持った。また、同じ目的に向かって職位や所属を超えて協働することで、参加者同士の強い絆が生まれた。</p>										
事例に関する連絡先	D S R 推進室										

会社名	(株)大気社					153					
事例名	畑のガレキ撤去ボランティア参加										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	宮城県仙台市若林区										
プログラムの連携先	ReRoots										
活動の概要	<p>津波被害を受けた畑の地中には、瓦・木片・ガラス・ビニールなどがたくさん埋まっており、作物を育てられる畑にするためには、それらを探し出して人の手で取り除く必要がある。参加者はスコップで畑の土を掘り起こし、機械では取り除けないガレキをひとつひとつ取り除く作業を行った。</p>										
効果	<p>農家人口に占める高齢者(65歳以上)の割合は、平成23年に34.5%となり高齢化が進んでいる。農業をされている方の力だけで、津波被害を受けた農地を再生することは、非常に難しくまた時間のかかる作業である。我々がボランティアとして畑のガレキ撤去を行うことで、農地再生の期間を短縮することができ、第一次産業の再生に効果があると考えられる。</p>										
事例に関する連絡先	経営企画本部 経営企画室										

会社名	大成建設(株)					154		
事例名	街中通WAYクーポンラリーの実施							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先	(財)石巻災害復興支援協議会							
活動の概要	津波で浸水した商店街を復興させるため、県外ボランティアが石巻市内で飲食する際、クーポン券を購入して街中の飲食店3軒を巡る企画である。金銭を被災地に落とす仕組みで、街中に戻ってくる商店を応援するきっかけになるものと期待し、試験的に実施した。							
効果	ボランティアが被災地に金銭を落とす仕組みで、街の活性化につながる。商店主も、県外観光客を取り込む努力をするきっかけとなり、ボランティアとのコミュニケーションを高めることも期待される。							
事例に関する連絡先	(財)石巻災害復興支援協議会							

会社名	大日本印刷(株)					155		
事例名	社員食堂や社内売店で「東北応援フェア」を実施							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	(公社)全国学校図書館協議会(学校図書館げんきプロジェクト)							
活動の概要	社員食堂や社内売店等の運営を行うグループ会社のDNPファシリティサービスでは、被害の大きかった岩手・宮城・福島県の特産品を社員及び近隣の方が積極的に購入し消費する形で支援する「東北応援フェア」を企画した。 社員食堂では、地元食材や名物料理を取り入れ、素材の質と味、栄養バランスにもこだわった7種の「東北応援メニュー」を展開した。約半年間、全国24の社員食堂で合計31,000食以上を提供した。2012年も被災地のご当地メニューとして継続している。 社内売店の市谷マイショップでは、岩手・宮城・福島県の特産品を取り寄せ、割引価格で販売した。地方のマイショップ各店への発送や社内便を利用することで、全国の社員が購入できるようにし、「じゃじゃ麺」「萩の月」などの食品28点、合計2,000点以上の販売につながった。							
効果	2012年3月には、これら「東北応援フェア」の売上金の5%にあたる77万5,573円に、大日本印刷からの同額の寄付金を加えた155万1,146円を「学校図書館げんきプロジェクト」事務局に寄付した。同プロジェクトは、被災した岩手・宮城・福島県の学校図書館に対して希望する新本を寄贈する活動である。寄贈する図書はそれぞれの地元で購入するため、被災地の書店への支援にもなっている。DNPグループからの寄付金は、2012年8月の図書寄贈の際に活用される予定である。							
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション本部CSR推進室							

会社名	大日本印刷(株)					156
事例名	本業で培った技術・ノウハウを用いた継続的な支援活動					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	デジタルメディアを通じて、社会や企業、一般ユーザーなど、それぞれのコミュニケーションを円滑にし、活性化するソリューションを提供するグループ会社のDNPデジタルコムでは、本業で培った技術・ノウハウを社会に還元する独自のCSR活動「ハチドリのひとつプロジェクト」を展開している。同プロジェクトでは、東日本大震災直後の4月より、“継続的に支援する”という観点で検討を進め、福島県の高校のホームページ開設を支援、被災地 事業者との協業体制の構築、社員ボランティアの派遣、などできることから実施している。									
効果	<p>福島県の高校のホームページ開設を支援：東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされ、県内4つのサテライト校に分散された福島県の高校に対し、「ホームページを介して高校を一つにつなげたい」という学校のニーズに応え、ホームページの作成ソフトと教材本を提供するなど、ホームページの開設を支援した。</p> <p>被災地 事業者との協業体制の構築：事業を通じた支援として、被災地の 事業に携わる人材を活用するための仕組みづくりを推進している。2011年11月、被災地 企業との連携により、お互いの強みを活かした業態を模索しながらスタートした。2012年からの本格稼働に向け、協力体制を強化している。</p> <p>社員ボランティアの派遣：2011年12月、社員6名をボランティアとして気仙沼に派遣したのを皮切りに、2012年4月からは定期的に3、4名の社員をボランティアを派遣している。</p>									
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション本部CSR推進室									

会社名	大日本印刷(株)							157		
事例名	東北三都市巡回展と連携した作品鑑賞ワークショップの開催									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	岩手県：盛岡市・宮古市、宮城県：仙台市、福島県：福島市									
プログラムの連携先	ルーヴル美術館、岩手県立美術館、宮城県美術館、福島県立美術館									
活動の概要	「ルーヴル美術館からのメッセージ：出会い」(通称「出会い展」)は、東北大地震の被災地に寄り添う気持ちを伝えたい、芸術と触れることによってもたらされる心の平和と豊かさを届けたい、との思いから、ルーヴル美術館が企画し、岩手・宮城・福島の県立美術館3館とともに開催する展覧会である。DNPはこの展覧会の趣旨に共感し、2006年よりルーヴルと共同で推進するプロジェクト「ルーヴル・DNP ミュージアムラボ」で開発中のタブレット端末を利用した作品鑑賞ワークショッププログラムを提供、さらに各県立美術館での開催にあたっての実施・運営の支援を行った。ワークショップは各館の教育普及活動の一環として中高生を主な対象者に行われ、要請に応じ、地域コミュニティ施設などの成人向けプログラムとしても活用された。参加者は、タブレット端末を使ったグループワークを通じて、「出会い展」に出品されるルーヴルと県立美術館の所蔵作品の画像を観察・比較しながら、自分独自の作品の見方を発見し、芸術作品と出会う面白さを実感していく。美術館内での「出会い展」見学の導入プログラムとしての実施と、展覧会場に足を運ぶことが難しい被災地沿岸部での出張ワークショップとしての実施という、2つの実践が行われた。									
効果	双方の実践とも「出会い展」のメッセージを豊かに膨らませるものとなった。美術館内での実施後のアンケートには「美術作品は自由な見方でいいんだ」という作品との新たな関係性を歓迎する感想が多く寄せられ、作品に触れ、その面白さに気付く機会の創出に寄与した。また、沿岸部の中学で開催した出張ワークショッ									

	<p>ブでは、美術にとどまらず、ルーヴル、フランスなど、子どもたちが新しい世界と繋がる良いきっかけにもなったとの担当教諭から評価をいただくとともに、県立美術館の教育普及担当者からは、今回の沿岸部をはじめ日常的な来館が難しい遠隔地の学校に美術の面白さを伝えるアウトリーチ活動の可能性を示唆するものとして評価をいただいた。</p>
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション本部CSR推進室

会社名	大日本住友製薬(株)				158			
事例名	スマイル応援プロジェクトへの参加							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連			
					本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県大熊町(会津若松市)、岩手県大船渡市							
プログラムの連携先	(株)キャリアリンク							
活動の概要	震災前にあたりまえに行われていた学習活動を支援することで子どもの「スマイル」、学校の「スマイル」、地域みんなの「スマイル」を届ける活動である。 主な活動として、運動会開催支援や職場体験支援などに取り組んでいる。							
効果	運動会会場に掲げる、応援フラッグ(250枚)を社員が作成するなど、被災地に出向かなくても手伝える活動もあり、多くの社員が参加することが出来た。 職場体験支援においては、製薬企業とその仕事を伝えることにより、子どもたち自身が成長する為の、これからの生き方について考える機会を提供した。 多くの子どもの笑顔に直接触れることで、次世代育成支援の重要性を強く認識出来た。							
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部							

会社名	大日本住友製薬(株)				159			
事例名	気仙沼・大島すこやかプロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連			
					本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県気仙沼市大島							
プログラムの連携先	中間支援NPO(つなプロ)、気仙沼大島ジュニアリーダー							
活動の概要	薬の正しい使い方、手洗い方法を島内で啓蒙することを目的とし、島内の子どもたちと高齢者を結びつけコミュニティ形成のお手伝いをする。具体的な活動内容は以下のとおり。 Step1: 小学校、中学校において、当社薬剤師による「薬の正しい使い方・手洗い実習」を実施。 Step2: 仮設住宅で実施する「薬の正しい使い方・手洗い実習」を子どもたちに協力してもらう。 Step3: 勉強会終了後、仮設住宅の皆さんとイベント(芋煮会)を実施。 (子ども: 材料を刻む、おばあちゃん: 味付け、おじいちゃん: 会場設営)							
効果	自分たちの島を守りたいという思いを持つ子どもたちの力を借り、仮設住宅でイベントを実施し、子どもたちとお年寄りの絆づくりのお手伝いを行いました。地域のコミュニティ形成の一助になることを期待しています。							
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部							

会社名	大日本住友製薬(株)					160			
事例名	宮城・福島すこやかプロジェクト								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	宮城県6地域8カ所、福島県13地域16カ所								
プログラムの連携先	宮城県社会福祉協議会、福島県社会福祉協議会								
活動の概要	仮設住宅を訪問している生活支援相談員の方々が、訪問時に話題として役立つ知識を提供することを目的とし、当社薬剤師ボランティアによる、薬の豆知識勉強会、手洗い講習会、健康に関する話題の提供する。								
効果	生活支援相談員の方々が、仮設住宅を訪問した時に、仮設住宅居住者の皆さんが興味を持つ、健康や薬に関する話題を提供できるよう、知識の幅を広げるお手伝いした。 少しでも、仮設住宅居住者のすこやかな生活を実現するとともに、引きこもりや、孤独死防止に繋がることを期待した。								
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部								

会社名	(株)大和証券グループ本社					161			
事例名	大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2012								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先	認定NPO法人日本NPOセンター								
活動の概要	「ダイワ・ニッポン応援ファンド Vol. 3-フェニックスジャパン」からの信託報酬の一部寄付し、日本NPOセンターの「東日本震災現地NPO応援基金」の特定助成として、市民社会創造ファンドと協力して実施するプログラムであり、年1回の公募により、今後5年にわたって継続的助成を行う予定である。助成対象は、被災者の生活再建を長期的な視点で支援する「現地NPO」で、災害孤児、障がい者、難病患者や高齢者、生活困窮者など社会的に弱い立場にある被災者の生活再建を支援や被災者の安心・安全な居住・生活基盤の再建目指した復興まちづくりを支援を目的にもつことを重視し、法人格を有することを原則とする。助成金額は、1件あたり500万円以内(本年度助成総額4,000万円程度で10件程度)。								
効果	被災者の生活再建に取り組む現地NPOの人材育成を目指すことから、雇用の創出ならびに被災地における社会生活の基盤再建に役立つ。								
事例に関する連絡先	NPO法人市民社会創造ファンド「大和証券フェニックスジャパン・プログラム」事務局								

会社名	(株)大和証券グループ本社					162	
事例名	第24回(第2回)災害時ボランティア活動助成						
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被災地及び被災地域からの避難者の継続支援をしている団体で特に地域は定めていない							
プログラムの連携先	(公財)大和証券福祉財団							
活動の概要	東日本大震災支援のボランティア活動を行っている団体・グループ(5名以上)で、特に学生および専門性を必要とするサポート活動を行っている団体へ、活動に必要な器具・機材の購入、現地での交通費などを対象にボランティア助成する。公募は年1回、助成金額は、上限50万円、総額3,000万円。							
効果	被災地・被災者への継続支援を重視する一方で、活動分野や活動実施地域を幅広く対象とすることでボランティアの裾野を広げ、多様な復興支援が可能となる。							
事例に関する連絡先	大和証券福祉財団							

会社名	(株)大和証券グループ本社					163		
事例名	大和日英基金による東北スコラシップ							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	ブリティッシュ・カウンシル							
活動の概要	2011年度日本のブリティッシュ・カウンシルと提携し、東日本大震災被災地域の学生支援のため、25万ポンド(約3,375万円)の奨学金を設立した。2012年度も奨学生の継続募集を実施する。英国での教育機関で一定期間学ぶことを希望する高卒以上の方で、東日本大震災において、被災された方、特に岩手、福島、宮城の3県の被害の大きかった地域の方からの応募を奨励。また、現在英国で学んでいる被災地出身の方で、英国で学業を継続するために資金面での支援を必要とする方からの応募も受け付ける<1ポンド 135円>。							
効果	留学資金支援による国際感覚豊かな人材育成および教育における日英交流が図れる。							
事例に関する連絡先	大和日英基金							

会社名	大和ハウス工業(株)					164		
事例名	緑のカーテン設置活動の支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県多賀城市・名取市、福島県川俣町							

プログラムの連携先	NPO法人緑のカーテン応援団
活動の概要	仮設住宅に緑のカーテンの設置を支援することにより、住環境の向上を図るとともに、仮設住宅内のコミュニティ形成の一助とするために行った。活動はNPO法人緑のカーテン応援団と協働で行い、当社からは培養土やプランターなどの寄付ならびに社員ボランティアによる実際の設置活動を行った（参加社員数：2年間延べ66人）。
効果	仮設住宅への入居者に向けて、緑のカーテンを設置することにより少しでも快適な夏の住まいを提供することができた。また、入居者と当社社員との間でコミュニケーションを図ることができた。
事例に関する連絡先	C S R 推進部

会社名	大和ハウス工業(株)				165						
事例名	日曜大工プロジェクト										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連		本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他			
具体的地域	宮城県多賀城市										
プログラムの連携先	(株) 共立メンテナンス										
活動の概要	日曜大工で使用する資材や工具を提供することにより、仮設住宅に棚や庇を設置するなど住環境を改善するとともに、仮設住宅入居者同士のコミュニティが形成するための一助となるよう活動を実施した。具体的には2011年12月に当社工場の余剰木材やノコギリ・ハンマーなどを提供し、2012年1月に(株)共立メンテナンス(仮設住宅運営管理会社)主催による日曜大工教室を行い、住民とボランティアスタッフ(当社から4名のボランティア参加)が共同して仮設住宅に棚を設置した。										
効果	仮設住宅の風除室に棚を設置することにより、生活用品の整理がしやすくなった。また、入居者同士や入居者と当社社員との間でコミュニケーションを図ることができた。										
事例に関する連絡先	C S R 推進部										

会社名	大和ハウス工業(株)				166						
事例名	メンタルコミットロボット「パロ」の貸与										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連		本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他			
具体的地域	岩手県・宮城県・福島県の高齢者施設40カ所										
プログラムの連携先											
活動の概要	被災地地域の高齢者向け施設40カ所の高齢者に向けて、当社が販売しているメンタルコミットロボット「パロ」(世界一癒し効果があるとしてギネスに認定)を計50体2年間貸与し、高齢者の心のケアを行っている。										
効果	高齢者施設のご担当者によると、高齢者が夜寝付けぬ時にパロを持ち出すと落ち着いて寝られたり、自宅に残してきたネコ代わりにパロをかわいがっているなど、高齢者の心のケアにつながっていると考えられる。										
事例に関する連絡先	C S R 推進部										

会社名	(株)タクマ					167		
事例名	仮設焼却炉建設工事							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	本業務は、東日本大震災により発生した災害廃棄物を焼却処理するための仮設焼却炉を被災県内に設置するもので、当社はプラントの設計・施工から事業終了後の解体撤去までを行う。 当社は廃棄物処理における実績とノウハウをもとに、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、グループをあげて災害廃棄物の適正処理に取り組んでいく。							
効果								
事例に関する連絡先	C S R 部							

会社名	武田薬品工業(株)					168		
事例名	「日本を元気に・復興支援」による復興ステージにおける支援活動							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	特になし							
プログラムの連携先	主な連携先：日本NPOセンター、経済同友会、米日カウンシル、教育支援グローバル基金、日本再建イニシアティブ財団							
活動の概要	復興支援に役立てて頂くことを目的に、アリナミン錠剤1錠あたり1円、ドリンク1本あたり1円を積み立てて、年間約8億円を複数年にわたって拠出する活動として「日本を元気に・復興支援」を実施している。複数年にわたってプログラムを運営し、被災地で活動するNPO支援をはじめ、次世代の人材育成や財団設立に当たっての基盤整備を支援する。 また、日本NPOセンターとの協働プログラム「いのちとくらし再生プログラム」において支援している団体が生産している商品を復興支援企業内マルシェにて販売するなど、プログラムを発展させた継続的な支援と従業員への周知を実施している。 <備考> その他の2011年度の拠出先として、中央共同募金会、東北ニュービジネス協議会、東日本大震災現地NPO応援基金がある。							
効果	震災から約1年半が経過する中、支援する団体が決定し活動を開始している。							
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部							

会社名	武田薬品工業(株)					169
事例名	復興支援を目的としたイベントの開催					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
	実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	特になし									
プログラムの連携先	ANA総合研究所、各県東京事務所									
活動の概要	<p>東日本大震災の記憶を風化させないために「私たちは3.11を忘れません」をテーマに、各種イベントを開催している。</p> <p>【社内フォーラムの開催】 従業員を対象に、東日本大震災における当社の取り組みを紹介するフォーラムを実施した。実施回数は、2011年10月から3月末までに4回になる(2011年度では5回開催)。活動紹介のほか、被災した従業員の講話、従業員によるボランティア活動などを報告し、情報を共有した。2012年度も引き続き、開催していく予定である。</p> <p>【企業内マルシェの開催】 ANA総合研究所および、各県東京事務所にご協力頂き、それぞれの特産品を各事業所で販売した。実施回数は、2011年10月から2012年3末日時点で3回になる(2011年度では8回実施)。主に従業員を対象に実施したが、当社研究所においては、従業員の家族にもご参加頂いた。2012年度は、当社工場地区で開催される「夏まつり」および本社、研究所で出店する予定である。</p>									
効果	継続的に様々なイベントを開催することで、「私たちは3.11を忘れません」という意識を従業員が持つことが出来ている。また現地へボランティア活動に行くことが出来ない従業員からは、マルシェなど小さくても被災地に貢献できる機会は好評を得ている。									
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部									

会社名	武田薬品工業(株)							170			
事例名	コレクティブ・アクションへの参加										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県気仙沼・大島、および宮城県亘理町										
プログラムの連携先	グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク										
活動の概要	グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークが主催するプログラムに参加し、各参加企業の従業員が気仙沼・大島におけるボランティア活動、および亘理町におけるボランティア活動に従事した。ボランティア活動だけではなく、現地視察や住民との対話、活動の振り返りなどを通し、復興支援について考える機会を提供している。										
効果	従業員の東日本大震災への復興への意識が向上したことに加え、社会的な課題に目を向ける従業員が増加した。これに伴い、会社主催のボランティア活動への参加者が徐々に増えつつある。										
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーション部										

会社名	(株)筑邦銀行							171			
事例名	店頭募金や寄付金付き定期預金の実施										

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	営業店の店頭に設置している募金箱義援金を、中央共同募金会を通じて被災地に寄付した。 定期預金（募集金額20億円）の預入れ総額の0.025%に相当する金額の一部を、日本赤十字社を通じて被災地に寄付した（残りの部分は、水源の森基金・緑の募金へ寄付）。									
効果										
事例に関する連絡先										

会社名	中外製薬(株)							172		
事例名	復興情報フリーペーパー「わわ新聞」の発行支援									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	岩手県、宮城県、福島県									
プログラムの連携先	わわプロジェクト									
活動の概要	「わわ新聞」の発行支援をする。 「わわ新聞」は、隔月発行されるフリーペーパーとして、東北被災地の復興の現状や、仮設住宅生活に役立つ情報を掲載し、岩手県、宮城県、福島県の仮設住宅や活動支援拠点を中心に無償配布されている。									
効果	紙媒体による新聞にこだわり、インターネット情報に接することができないような方々へも、生活に密着した情報や復興状況を、直接に人から手渡しで、伝えていっている。									
事例に関する連絡先	CSR推進部社会貢献G									

会社名	蝶理(株)							173		
事例名	被災者への風鈴提供									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										

プログラムの連携先	仙台市災害ボランティアセンター
活動の概要	展示会で使用した風鈴 300 個を仙台市災害ボランティアセンターを通じて、仮設住宅に住む被災者の方々に贈呈するとともに絵付けのイベントを行った。
効果	仮設住宅に住む方々から喜びの声をいただいた。
事例に関する連絡先	人事総務部総務広報課

会社名	(株)テレビ朝日					174		
事例名	ドラえもん募金「東日本大震災から1年」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	(社福)テレビ朝日福祉文化事業団							
活動の概要	震災から1年が経過することを機に、2012年3月8日から14日までの一週間「ドラえもん募金」を実施した。自社の報道番組やホームページ等を通じて募金を呼びかけた。							
効果	計1億1,100万円を、(社福)テレビ朝日福祉文化事業団を通じて、被災3県が開設している震災遺児支援の寄付口座に贈った。							
事例に関する連絡先								

会社名	(株)テレビ東京					175		
事例名	テレビ東京7チャンまつりへの避難家族招待							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	キッズニア東京で開催する「テレビ東京7チャンまつり」に避難者のご家族を招待した。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	(株)テレビ東京					176
事例名	番組へのお年寄り避難者招待					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	7月にOAする「木曜8時のコンサート 夏祭りにつぼんの歌」にお年寄りの避難者を招待した。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	電源開発(株)					177		
事例名	(株)ジェイベックのコンポスト技術を活かしたコミュニティ形成支援事業							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県遠野市、上閉伊郡大槌町、大船渡市、釜石市							
プログラムの連携先	NPO法人遠野エコネット							
活動の概要	<p>高倉式コンポスト技術は、インドネシアなどの途上国を中心に、手軽でコストがかからず効果的に生ごみを処理できる技術として普及し、国内外で高い評価を得ている。本件は、被災地での生ごみ削減に協力すると共に、現地の方が楽しみながらコンポスト作りを行うことで、人と人との輪をつくるコミュニティ形成の一助になることを目指して実施している。</p> <p>遠野まごころネットは、被災地(沿岸地域)のNPOではないが、震災直後から大槌町、陸前高田市を中心に支援活動に取り組んでいる。</p> <p>手始めに大槌まごころの里を対象にコンポストを活用したコミュニティ形成と堆肥づくりを普及し、自然農法による持続可能な里づくりへと展開している。本活動は3月末を目途としているが、それ以降も技術展開の状況をふまえながら、継続していくものである。</p>							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	(株)デンソー					178		
事例名	デンソーはあとふる基金からの被災地支援プログラム実施							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	
プログラムの連携先	
活動の概要	社員有志の給与・賞与から1口100円単位で天引きして積み立て、社会福祉施設・自然災害などに寄付する制度である「デンソーはあとふる基金」から、東日本大震災被災地支援プログラムを開始した。宮城県・福島県の震災遺児就学・生活支援に年間600万円、障がい者施設に年間200万円の寄付を定額とし、今後基金の増額分の半分を上乗せして支援を10年間継続していく。
効果	宮城・福島県のこども育英基金寄付窓口から長期支援活動へのお礼状をいただき、復興まで長期を要するため継続支援の必要性を改めて痛感した。また、被災地団体(4団体)に対して移動車両および施設建替え費用として支援、各団体からも大変感謝された。
事例に関する連絡先	総務部 社会貢献推進室

会社名	(株)デンソー				179			
事例名	社員食堂での喫食寄付システム(ハートフルメニュー)開始							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	全社員食堂にて該当メニュー(ハートフルメニュー)を喫食すると、1食につき10円が「デンソーはあとふる基金」を通して東日本被災孤児就学・生活支援に寄付されるプログラムを開始した。今後も対象メニューを見直しつつ、継続してプログラムを実施していく。							
効果	2011年12月~2012年6月までの実績: 延べ47,303人が参加、計571,120円をはあとふる基金へ寄付を実施した。							
事例に関する連絡先	総務部 社会貢献推進室							

会社名	(株)デンソー				180			
事例名	収集ベルマークの被災地寄贈							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	宮城県石巻市							
プログラムの連携先								
活動の概要	東日本大震災発生後、ボランティアグループのメンバーから「自分の子どもが小さくて、現地には家を空けてまでなかなか行けないけれど、東北の(特に子どもの支援)復興支援になるような何かをしたい」という声があがった。ベルマークが被災した東北の小学校の備品購入資金になることをベルマーク財団の情報等で知り、活動を始めた。 集めたベルマークを去年はベルマーク財団へ贈ったが、今年はデンソーが人的支援を行った現地の小学校にニーズを聞いた結果、津波で校庭用の大時計が流されて困っているという声が聞かれたため、直接、石巻市の開北小学校へ大時計を寄贈することにした。大時計を購入するには、50万点のベルマークが必要なため、様々なデンソーの社会貢献イベントにおいて収集呼びかけを実施している。							

効果	<p>昨年は25万点を収集することができたため、今年は倍の50万点を収集し、石巻市の開北小学校の校庭用大時計購入資金にする予定である。明確な目標の設定により、ボランティアメンバーのモチベーションも高くなった。この活動は、ベルマークを収集するだけでなく、ベルマークを分別・集計するという細かい作業が必要で、数度にわたり、社内でそれを行うボランティアを募ったところ、今までに延べ約1,000人の社員及びその家族が、この活動に携わってきた。小さなベルマークを企業ごとに分けたり、点数を数えたりするのは大変だが、みんなの「東日本大震災の復興支援になる何かをしたい」という温かい気持ちがたくさん集まって、少しずつ形になってきた活動である。</p>
事例に関する連絡先	総務部 社会貢献推進室

会社名	(株)電通							181	
事例名	NPOのためのコミュニケーション力支援プロジェクト「伝えるコツ」								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	郡山、福島、仙台、登米、石巻、盛岡、遠野 他								
プログラムの連携先	NPO広報力向上委員会、日本NPOセンター								
活動の概要	<p>「伝えるコツ」は、2005年にスタートした電通の社会貢献活動であり、オリジナルテキストを活用したワークショップを基本とし、NPOの方々と電通社員で構成するNPO広報力向上委員会において、毎年、検証とフィードバックをおこない、バージョンアップを重ねながら実施しているプロジェクトである。</p> <p>今後の復興においては、地元NPOや(社)、また中小事業者の方々が重要な推進役となる。そして過疎や産業衰退といった震災前からの地域の課題もあり、内外で志や目標を共有し、つながり合い、モノゴトを進め、発信し、組織や活動を充実したものとしていくための高いコミュニケーション力が求められている。</p> <p>「伝えるコツ」には、弊社が本業の中で培ったコミュニケーション力をアップする「コツ」が盛り込まれている。参加された方々の気づきやヒントとなり、またモチベーションアップや参加者同士の連携へとつながり、今後の組織運営や活動に活かしていただけることを願っている。</p>								
効果	<p>本年度は被災地特別枠を設定し、活動を行っている。</p> <p>活動の詳細については、下記、日本NPOセンターホームページ参照。 http://www.jnpoc.ne.jp/</p>								
事例に関する連絡先	社会貢献・環境推進部								

会社名	東海ゴム工業(株)							182	
事例名	東海ゴムチャリティーコンサート「あしなが育英会東日本・津波遺児支援」								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	愛知県								
プログラムの連携先	あしなが育英会								
活動の概要	あしなが育英会「東日本大震災・津波遺児支援」を支援する為にチャリティーコンサートにて募金をつのり、あしなが育英会に寄付を行った。								
効果									

事例に関する連絡先								
会社名	(株)東海理化電機製作所						183	
事例名	社員による復興支援ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県南部気仙地区(大船渡市、陸前高田市、住田町)							
プログラムの連携先	トヨタグループ15社(協働先:NPO愛知ネット)							
活動の概要	トヨタグループ15社の有志ボランティア社員が、4泊5日の日程で上記地区の復興支援ボランティアを実施する。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	東京海上日動火災保険(株)						184	
事例名	「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」への支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県名取市							
プログラムの連携先	(公財)オイスカ							
活動の概要	宮城県の仙台平野に広がる海岸林は、飛砂や塩害からの防備、防風、津波の減衰など、海岸林周辺に居住する人々の生活環境保全に重要な役割を果たしていたものの、東日本大震災に伴う津波により被害を受け、今や壊滅状態にある。 本プロジェクトは、この海岸林の再生に向け、種苗の生産拡大・植栽・育林を推進するとともに、これに伴う被災地域での雇用を創出し、「東北にもう一度白砂青松を取り戻すこと」を目指す取り組みである。 播種から植栽までに3年程度を要するなど、長期的な協力が必要なため、10ヵ年計画で取り組む。							
効果	当該プロジェクトは、海岸林の再生に加え、農地回復や被災地域での雇用創出を通じた地域振興を目的としており、当社がマングローブ植林事業の理念として掲げる「地球環境保護」と「地域社会への貢献」にも合致することから、これに賛同し、次の経済的・人的支援を行う。 (1)寄付金1,000万円の贈呈 (2)社員等によるボランティア活動の実施(予定)							
事例に関する連絡先								

会社名	東京トヨペット(株)						185	
事例名	社員ボランティアの派遣							

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県石巻市									
プログラムの連携先	(一社)ピースボート災害ボランティアセンター									
活動の概要	弊社は昨年7月より、東日本大震災復興支援として(一社)ピースボート災害ボランティアセンターの協力のもと、社員有志によるボランティアを宮城県石巻市に派遣している。今年7月末までに22回、延べ650人の社員が参加し、道路側溝清掃や漁業支援など多彩なボランティア活動を実施、今後も月2回の頻度で今年度末まで継続した支援を予定している。ボランティアに参加するための交通手段や必要装備、ボランティア保険等は会社が負担、ボランティア休暇制度も活用できるようにするなど、できるだけ多くの社員が参加しやすいようにしている。大型観光バスをチャーターし、都内各拠点を出発地として、月曜日の夜東京を出発(車中泊)、定休日となる火曜日を活動日とし、火曜日夜に東京に戻ってくるプランで、1回あたり約20名前後が参加(昨年までは約40名)している。									
効果	効果としては、実際の活動時間が少ないので、微力ではあるが、ボランティアとして地元の方のお手伝いが出来た。また、これまでボランティアをした事が無かった社員も、会社が交通手段と必要装備を準備することで、初めてボランティアに参加する事ができて、社内的にも盛り上がった。また参加者からは、地元の方のお話が聞けたことや、現地に行く事で普段の当たり前前の生活がいかに大切でありがたいかということが分かったり貴重な体験ができたことや、普段とは異なった職場の仲間と同じ目的でボランティアに参加することで、社内のコミュニケーションが強くなったり、こうしたボランティア活動を継続している会社に対してのロイヤリティが高くなるなど副次的な効果があった。									
事例に関する連絡先	夢づくり推進部広報G(一社)ピースボート災害ボランティアセンター									

会社名	東京トヨペット(株)							186		
事例名	避難者向けイベント開催の支援									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	福島県からの東京都内への避難者支援									
プログラムの連携先	認定NPO法人医療ネットワーク支援センター									
活動の概要	弊社は、昨年6月より、都内で行える東日本大震災復興支援として、認定NPO法人医療ネットワーク支援センター主催による、主に福島県から都内への避難者を対象にしたイベントへの協力をしている。具体的には、主に福島県から東京都江東区東雲住宅に避難してきた方を対象にして『こっちゃん来たらいいべえ』イベントの開催に、費用と弊社東雲店の施設の一部を開放して協力している。昨年12月までに計4回、延べ1,000人以上の東雲住宅避難者の方が参加した。また、このイベントの中で、主に親子連れの方を対象とした絵画教室を今年の1月から継続実施、対象も東雲住宅だけではなく、中野区への避難者の方を対象とした絵画教室も実施し、今年度末まで継続して支援を実施する。									
効果	特に、昨年6月頃は、福島県から東京に避難してきたばかりということや、避難された方々もどこに誰が避難してきたかという情報もなく、家から出ないような状態が続いていたと聞いた。そんな中、『こっちゃん来たらいいべえ』は、初めて一緒に避難してきた方々が顔を合わせる機会となり、入居者同志のコミュニケーション作りにも貢献し、不慣れな土地で生活を始めなければならない避難者の方の不安感を解消し、参加者の皆さんに喜んでいただいた。また、他の被災地などに比べて福島県の県外避難者に対しての支援がなかなか難しい中、継続した支援を実施することで、避難者の方の心のケアに繋がっている。									
事例に関する連絡先	夢づくり推進部広報G 認定NPO法人医療ネットワーク支援センター									

会社名	(株)東芝					187			
事例名	宮城県石巻市・南三陸町で新入社員による復興支援活動								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	宮城県志津川町、石巻市								
プログラムの連携先	J E N								
活動の概要	2012年4月16日～20日まで、2012年度新入社員767名が導入教育の一環として、東日本大震災で被災した宮城県南三陸町志津川と石巻市北上町十三浜で、ワカメの耳そぎや袋詰め作業、養殖網に必要な重りとなる砂袋を作る作業を支援した。新入社員は10名ほどのチームに分かれ、地元の方と交流しながら活動を行った。作業以外にも南三陸町の佐藤仁町長から被災体験を語って頂く機会を設ける等配慮した。新入社員に取っては社会人になったその使命感や役割を認識する良き機会となった。								
効果	新入社員自らが被災地と向き合い、支援活動に参加することで、「CSR経営」の理解促進や東芝グループ従業員としての自覚を促すとともに社会的責任を果たすことの重要性を理解させることができた。								
事例に関する連絡先									

会社名	(株)東芝					188			
事例名	福島県南相馬市における太陽光発電事業への出資								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	福島県南相馬市								
プログラムの連携先	福島復興ソーラー(株)(本社:東京都港区、代表取締役社長 半谷栄寿)								
活動の概要	東日本大震災からの福島県の復興のために、福島復興ソーラー(株)が計画している南相馬ソーラー・アグリパーク事業に賛同し1億円の出資を行う。本事業は被災地域の1つである南相馬市において太陽光発電を行い、発電した電力を同一敷地内の植物工場などに供給するとともに、太陽光発電の仕組みについて学習や農業体験を通じて子どもたちの成長支援と交流を行う。2013年春には発電を開始する予定である。								
効果	本事業を通じて、地産地消の自然エネルギーを利用して農業の復興に貢献、子どもたちの成長支援や交流に寄与し、域外交流や被災地域への人の誘引支援が可能となる。								
事例に関する連絡先									

会社名	(株)東芝					189	
事例名	東芝東日本大震災奨学基金(継続)						
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被災が大きかった3県（岩手・宮城・福島）							
プログラムの連携先								
活動の概要	東日本大震災で被災し、修学継続が経済的に困難で、かつ岩手県・宮城県・福島県内の大学学部、大学院修士課程または短期大学に在籍する学生230名を対象として、返済義務の無い奨学金を毎月10万円を2011年10月より卒業まで支給する（但し長期欠席、休学または留年の期間を除く。総額約5億円）。2011年11月には、岩手県・宮城県・福島県の大学で奨学金贈呈式を実施、奨学生代表に奨学金証書を手渡した後、5～6人のグループに分かれてグループディスカッションを行い、復興に向けての合言葉を策定し、学生の連帯感を高めた。贈呈式後も継続的に学生たちへメッセージ発信、イベント案内等を通じてコミュニケーションを深め、次世代を担う被災地の学生たちを精神的にも支えている。							
効果	被災地において今後中長期的復興活動を担っていくであろう若者たちを支援することにより被災地の自立支援に大きな力となる。							
事例に関する連絡先								

会社名	東洋建設(株)					190		
事例名	被災地農水産品の配布							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	千葉県香取市							
プログラムの連携先	東京・目黒「さんま祭」実行委員会							
活動の概要	被災地の復興を後押しするため千葉県香取市の川の駅・道の駅「水の郷・さわら」において「佐原deさんま祭」を行い、宮城県気仙沼、千葉県銚子港で水揚げされたさんま約3,000尾や被災地で収穫された農産物の無料配布を行った。また会場に募金箱を設置し、義援金を集めた。							
効果	被災地の水産振興・農業振興を推進し、多くの義援金を集めた。							
事例に関する連絡先	総務部							

会社名	TOTO(株)					191		
事例名	TOTOグループ募金による復興支援活動							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	東北4県（石巻、気仙沼、釜石、いわきなど）
プログラムの連携先	活動により異なる
活動の概要	グループ社員向けの募金システムを立ち上げ、募金活動を継続的に実施している。 その募金を原資として、復興支援写真展や映画上映会の開催、瓦礫撤去ボランティア活動の実施など、地域に根ざした復興支援活動を行っている。 <活動例> ・幼稚園へのスケッチブック・クレヨン贈呈（石巻） ・高校写真部による写真展開催（石巻） ・海岸瓦礫撤去ボランティア活動（気仙沼） ・映画上映会開催（気仙沼） ・少年サッカーチーム招待によるサッカーカップ支援（釜石）
効果	活動により対象人数等も異なるが、例えば気仙沼での映画上映会には2,000人もの方々が来場され、映画を楽しんでいただいた。今後も、被災された方々に明るさや元気を届ける活動を実施していきたいと考えている。
事例に関する連絡先	総務部

会社名	凸版印刷(株)				192
事例名	ホンのちょっとしあわせはこぶ「ブックワゴン」				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域	宮城県仙台市の仮設住宅14箇所				
プログラムの連携先	NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘、(株)デュナミス				
活動の概要	トッパングループによる東日本復興支援活動として、2011年7月11日から2012年3月31日まで仙台市内14カ所の仮設住宅地を2台の移動図書館「ブックワゴン」で巡回した。書籍・雑誌などの貸し出しはもとより、仮設住宅地のコミュニティ形成や心のケアに貢献することを目指して、各仮設住宅地を毎週訪問し、来館者が集えるスペースを備えた滞在型・コミュニケーション重視の運営を行った。公募したトッパングループの社員(123名)が1週間単位で出張し、現地活動スタッフとして図書の貸出し返却業務を担当した。また、トッパングループの(株)芸術造形研究所と、日本臨床美術協会の協力を得て、巡回先の仮設住宅集会所で臨床美術教室「アートサロン」も開催した。 仮設住宅、仮設住宅支援NPO法人、行政等からの継続要望もあり、東北福祉大学と連携して2012年6月から活動を再開し、半年間活動を継続する予定である。				
効果	2011年度の利用実績は、来館者数延べ9,650名、貸出し人数延べ5,123名、貸出し冊数17,105冊である。				
事例に関する連絡先	法務本部CSR推進室				

会社名	豊田合成(株)				193
事例名	スポーツ支援				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	

具体的地域	大船渡市
プログラムの連携先	岩手県教育委員会
活動の概要	当社のプロチームによるスポーツ教室（バレーボール、ハンドボール、バスケットボール）を開催した。
効果	各競技のトップリーグの選手と触れ合う機会を作ることによって、次世代の選手の発掘、又、運動をする機会が提供できた。学校のグラウンドが使えない、または制限されている中で、スポーツを通じて子どもたちのストレスを軽減につながった。
事例に関する連絡先	総務部

会社名	豊田合成(株)				194			
事例名	TGフェスティバル 東日本復興支援コーナー							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	愛知県稲沢市							
プログラムの連携先	大船渡市観光物産協会							
活動の概要	岩手県大船渡市で行われている「さんま祭」を実施し、サンマ400匹、ホタテ500枚を販売する。さんまは200円/匹、ホタテは300円/枚で販売し、収益金は大船渡市へ寄附、または物品にて寄贈する。又、パネルやパンフレット等で大船渡市の名産品、名所を紹介する。							
効果	東日本大震災後、震災や原発問題等で農作物や魚介類の需要が激減している中、東日本復興支援活動（街おこし）の一助として、岩手県大船渡市が毎年地元で開催している「さんま祭り」をTGフェスティバルで「東日本復興支援コーナー」にて実施し、被災地へ貢献する。							
事例に関する連絡先	総務部							

会社名	トヨタ自動車(株)				195			
事例名	ものづくりの拠点を東北に(トヨタグループ3社統合、トヨタ東日本学園設立)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県黒川郡大衡村(本店所在地)							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>【トヨタグループ3社統合】</p> <p>トヨタは、東北の地で「ものづくり」を強化していく為、「東北」を中部・九州に次ぐ「第3の国内生産拠点」として位置付け、関東自動車工業(株)、セントラル自動車(株)、トヨタ自動車東北(株)の3社が統合新会社(トヨタ自動車東日本(株))を発足した。(統合は2012年7月)</p> <p>統合新会社では、東北の地に根付き、地域と一体となる為に、重点項目として地域内での部品の調達や、産、学、官の連携強化による新技術、新部品の開発を行っていく。</p> <p>今後、「東北」は、コンパクト車の開発から生産まで、一貫して行う自立的な生産拠点としていき、3社の現場力と革新技術力など、これまでの積み上げてきた強みを活かし、実力を磨いていく。</p>							

	【トヨタ東日本学園設立】 企業内訓練校として、「トヨタ東日本学園」を2013年4月に設立し、地域の企業も含めたモノづくり人材の育成を推進する。 ここで学び、卒業した人材が、東北のモノづくり企業で活躍し、世界のお客様に魅力ある商品をお届けするサイクルが根付くことを期待している。
効果	東北地域での雇用への貢献や地元産業への貢献が図れる。
事例に関する連絡先	社会貢献推進部 総括室 総括 1G

会社名	トヨタ自動車(株)				196						
事例名	「ココロハコブプロジェクト」の実施										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域											
プログラムの連携先											
活動の概要	<p>「ココロハコブプロジェクト」とは、義援金や車両提供、ボランティアの派遣など、これまで当社が主導して実施してきた被災地支援活動に加え、従業員や販売会社はじめトヨタと関係する方々等が自ら企画・実施する草の根的な被災地支援活動の総称である。</p> <p>被災地に全国から「心を運ぶ」という気持ちを込めた継続的かつ長期的な活動を通して、支援の輪が一層広がっていくことを目指して展開している。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県、岩手県、福島県が設立した震災孤児・遺児育英基金への拠出。 ・「トヨタマスター・プレイヤーズ、ウィーン」の被災地での実施 等。 ・トヨタ関連施設（アマラックス東京、メガウェブ、トレッサ横浜、カラフルタウン岐阜）を活用し、従来からのイベントとの共催で、被災地支援者のトークショー、チャリティオークション、被災地各県による物産市やマルシェなどを実施。 ・被災地の特産品を購入し、ノベルティとして活用。 ・被災地域の小学生を対象とした特別公開授業の開催等。 <p>「ココロハコブプロジェクト」専用サイト http://www.toyota.co.jp/jpn/kokorohakobu/</p>										
効果	<p>各被災地でのイベントなどに対しては、参加した被災者の方々から「このような機会を作ってくれて嬉しい」「多くの方に支えられていることを感じる。有難い」といった感謝の声が継続的に届いている。</p> <p>ココロハコブプロジェクトに関わった従業員は、継続の必要性を実感すると共に、さらに支援活動の輪を拡大させていくべく取組を継続中である。</p> <p>被災3県に対して、震災孤児・遺児育英に向けた寄付をする用意がある旨を申し出たことにより、育英基金の設立の後押しとなったと思われる。</p>										
事例に関する連絡先	社会貢献推進部 総括室 総括 1G										

会社名	トヨタ自動車(株)				197						
事例名	NPOとの協働による支援活動										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		

具体的地域	(1)岩手県北上市・矢巾町、宮城県・石巻市、福島県いわき市等 (2)岩手県大船渡市、陸前高田市等
プログラムの連携先	日本アマチュアオーケストラ連盟、NPO愛知ネット、NPO法人芸術家と子どもたち 等
活動の概要	従来から実施している自主プログラムのパートナーNPOなどと共に、「心のケア活動(1)」や「トヨタグループ・関係15社の従業員による被災地復興支援ボランティア(2)」を実施する。 (1)心のケア活動 ・「トヨタコミュニティコンサート」(協働先:(社)日本アマチュアオーケストラ連盟) ・「トヨタ子どもとアーティストの出会い」(協働先:NPO法人芸術家と子どもたち) (2)トヨタ従業員ボランティア(協働先:NPO愛知ネット) トヨタグループ・関係会社15社(1)の従業員約15名が1チームとなって、4泊5日の日程で愛知県より岩手県大船渡市、陸前高田市、住田町へバス移動(2)により、ボランティア活動に参加した。 (2011年4月-2012年7月末:計275名が活動) 1 豊田自動織機、愛知製鋼、ジェイテクト、トヨタ車体、豊田通商、アイシン精機、デンソー、トヨタ紡織、豊田中央研究所、豊田合成、日野自動車、東海理化、愛三工業、大豊工業、トヨタ自動車 2 社内ボランティアサークル「大型車運転友の会」のメンバーがバスを運転。
効果	(1)自主プログラムのパートナーNPOからは「音楽などを通じた被災者の心のケアに役立ちたいと思っていたところ、トヨタと意気投合して早期実現できた」との声や、来場した被災者の方々からは「気分が明るくなった」などの言葉を頂いた。 (2)従業員ボランティアが現地の方々から感謝の言葉を頂き、ボランティアの重要性等を認識する機会となった。 従業員の感想は下記ホームページ参照 http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/society_and_culture/v_reconstruction/index.html
事例に関する連絡先	社会貢献推進部 総括室 総括 1G

会社名	(株)豊田自動織機					198					
事例名	トヨタグループ災害V(ボランティア)ネット被災地支援										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月~2011年9月		2011年10月~2012年3月		2012年4月~2013年3月		2013年4月~2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県		その他			
具体的地域	気仙地区(陸前高田市、大船渡市、住田町)										
プログラムの連携先	NPO法人NPO愛知ネット										
活動の概要	トヨタグループにて、ボランティア派遣を継続的に実施している。 ・20数名/回を派遣し、実質活動は3日間 ・ボランティアセンターに寄せられた依頼に対し、活動を実施 ・瓦礫の片付け、泥だし他を実施										
効果	ボランティアのニーズはまだ高く、被災された方には、毎回喜んでいただいている。 一方、トヨタグループの社員も、被災状況を直接お聞きすることにより、様々なことを考える良い機会となっている。ボランティアに参加したほとんどの社員は、再度の参加を望んでいる。										
事例に関する連絡先											

会社名	(株)豊田自動織機					199				
事例名	小学校でのミニコンサート開催									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月~2011年9月		2011年10月~2012年3月		2012年4月~2013年3月		2013年4月~2014年3月		2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙地区（陸前高田市、大船渡市、住田町）							
プログラムの連携先	NPO法人NPO子どもに音楽を							
活動の概要	当社主催で実施しているチャリティコンサートの入場料の一部を使い、陸前高田市、大船渡市、住田町の小学校21校にて、一流のクラシック演奏家による訪問ミニコンサートを実施する。 現地では、子どもたちの元気を引き出すような活動が望まれており、また、芸術に触れる活動は行われていない。コンサートは体育館など子どもたちの日常の環境で行い、手を伸ばせば届くような間近で聞くことで、楽器の音色や響き、演奏家の息遣いや想いを身体いっぱいに感じてもらいたいと考えている。							
効果	愛知県内で2年間の実績のある活動で、子どもたちがクラシック音楽に真剣に聴き入り、様々なことを感じ取っており、学校側にも喜ばれている活動である。 東北では、音楽の力でより元気になってほしいとの想いも込めて、今年度秋より実施の予定である。							
事例に関する連絡先								

会社名	豊田通商(株)					200			
事例名	社内報奨金の復興支援募金への充当制度								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先	ジャパン・プラットフォームへ寄付								
活動の概要	従来から全社員を対象として実施している社内改善提案制度による報奨金を、本人の選択により復興支援募金に充当できるようにした。 改善提案制度は社内システムにより運営されているため、募金手続きはワンクリックで容易である。								
効果	改善提案制度は全社員が対象であり、手軽であることから募金への参加率が高く、2012年度も継続している。								
事例に関する連絡先									

会社名	トヨタ紡織(株)					201			
事例名	酔仙酒造(株)の支援								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	岩手県一関市、大船戸市、陸前高田市								
プログラムの連携先									

活動の概要	津波で工場が全壊したため、他社の工場を借り受け製造再開をした酔仙酒造に対して、当社のモノづくり技術・ノウハウのアドバイスを行い工程改善を行った。 新工場建設においても、設計段階から効率的なモノづくりのための工場レイアウト検討・工場建設の進捗フォローを行った。 また製造・販売で使用する「前掛け」をデザインし当社から寄贈する。
効果	新しい工場建設や新しい酒造りに向けて「今までのものより更によりものを」という酔仙酒造の復興理念をサポートすることができた。
事例に関する連絡先	総務部

(5) な行

会社名	(株)ニコン					202					
事例名	中学生フォトブックプロジェクト										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	上記3県の被災中学校										
プログラムの連携先											
活動の概要	被災した中学校および中学生を対象にフォトブックプロジェクトを行っている。 まず、このプロジェクトに参加する学校に説明を行い、デジタルカメラを寄贈する。学生はこのカメラにより学校生活・行事・日常生活に関わらず撮影する。撮影に際しては、希望する学校に写真撮影の講師を派遣し、講習会を開催する。学生は撮影した写真の中から各自1～2点を選び、写真についてのキャプション・コメントを考えてもらい、学年または学校としてのフォトブックを作成する。作成に関しての費用はニコン側が受け持ち、フォトブック作成後学生に寄贈する。										
効果	生徒たちひとりひとりが、写真を撮り、選び、伝えたい思いを言葉にして作品作りを行う。この創作活動を通じて、被災地の中学生たちが、人々と思いを共有し、復興に向かって自分自身で力を出せるきっかけとなることを目指す。										
事例に関する連絡先	社会貢献室										

会社名	西松建設(株)					203					
事例名	ひまわりプロジェクト(東日本大震災復興・環境緑化支援民間プロジェクト)										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	宮城県名取市										
プログラムの連携先	東京大学・東大復興エイド、日比谷花壇(株)、ひまわりプロジェクト実行委員会 他										
活動の概要	東日本大震災で甚大な被害を受けた被災地・被災者に、私たちは何ができるのか。その一つの試みが「丸の内朝大学」をきっかけに生まれた「ひまわりプロジェクト」である。ひまわりプロジェクトは、元気を連想させる花、ひまわりを復興のシンボルと位置づけて、関東などで市民が育てた苗を被災地に贈り、被災者と一緒に育てていながら、ひまわりで地域と地域、人と人をつなぎ、笑顔の中から地域復興の活力を生み出せるよう、ひまわりの成長と共に地域の中に元気と笑顔を育てていきたいという願を込めたプロジェクトである。 【基本的な流れ】 ひまわりの種や栽培セットは実行委員会が企業、団体、家庭に配布し、協力者の皆さんの手で苗を育てて頂く。事務局が苗を預かり、責任を持って復興地に届け、地域の皆さんの手で仮設住宅などの環境栽培として育てていただく。みなさんの手で育てたひまわりが、復興地の環境緑化に役立つ。 植え付け、収穫祭等年に数回のイベントを名取市、協力企業の参加で開催している。										
効果	地域の方々の活力の一助となっている。 環境省主催「みどりの香るまちづくり」企画コンテストにて「震災復興特別賞」を受賞した。										

事例に関する連絡先	広報部							
会社名	日産自動車(株)						204	
事例名	NGOシャントイ国際ボランティア会「いわてを走る移動図書館プロジェクト」に車両を寄贈							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	大船渡市・陸前高田市							
プログラムの連携先	(公社)シャントイ国際ボランティア会							
活動の概要	同団体の運営する「いわてを走る移動図書館プロジェクト」に対し、移動図書館車両のベースとなる「アトラス F24」2台を寄贈した。大船渡市および陸前高田市の仮設住宅地域を定期的に巡回している。							
効果	本を貸し出しする図書館としての機能に留まらず、仮設住宅で暮らす人びとが集い、情報交換や交流を図る場として活用され、震災で破壊されたコミュニティの再生に貢献している。							
事例に関する連絡先	CSR部							

会社名	日清オイリオグループ(株)						205	
事例名	ボランティア活性化のための社内広報紙における啓蒙活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	従業員一人一人のボランティア活動促進のため、当社社内報にボランティア参加者の特集コーナーを新設した。毎回、ボランティア活動参加者の具体的なボランティア活動の内容や、活動に対する想いや意気込み等を紹介することで、社内へのボランティア意識浸透を目標としている。加えて、ボランティア休暇制度のより一層の活用も見込んでいる。							
効果	ボランティア活動に興味を示したり、共感をする従業員が増えつつある。							
事例に関する連絡先								

会社名	日清紡ホールディングス(株)						206	
事例名	被災地復興支援金の拠出							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	日本赤十字社への義援金を拠出した。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	(株)NIPPO					207		
事例名	平成 24 年度新入社員震災支援活動							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市、岩沼市							
プログラムの連携先	社会福祉協議会							
活動の概要	<p>昨年に引き続き導入研修の一環として、平成 24 年度の新入社員を 6 名ずつのグループに分け、震災支援活動を行った。今年度の延べ支援活動日数は 66 日に及ぶ。支援活動は、社会福祉協議会の紹介によるもので、毎日変わるが、主な内容は次のとおり。</p> <p>孤独死を防ぐため、仮設住宅の一人暮らしの高齢者宅訪問 流木・瓦礫の撤去、片付け・清掃 水揚げされたワカメの洗浄・加工の手伝い</p>							
効果								
事例に関する連絡先	管理本部総務部							

会社名	(株)日本アクセス					208		
事例名	ミールリング / 食品による支援							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	2011年11月より東日本大震災の復興に向けた継続的な支援活動として“MEAL RINGS(ミールリングス)～食の環を広げよう、ニッポン。～”と名付けたプロジェクトを推進している。初年度の支援活動として、宮							

	城県食産業振興ブランド“食材王国みやぎ”に参画、また弊社P B商品の一部に復興支援ロゴマークを掲載し、その売上の一部を被災地へ寄付した。
効果	初年度はプロジェクト開始が11月であり実施期間が短期間であったため、十分な金額は集まらなかったものの、次年度以降、対象商品を順次拡大していく。 また、被災地復興の長期化が予想されることから、今後も“食産業”に関わる復興支援を通して、食の環を全国各地に広げていく“継続性のある”活動に取り組んでいく。
事例に関する連絡先	広報部

会社名	日本興亜損害保険(株)				209			
事例名	被災地産オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	新潟県							
プログラムの連携先	環境省							
活動の概要	被災地の早期復興と環境にやさしい地域づくりに貢献することを目的に、被災地の低炭素型復興プロジェクトなどの支援を実施しており、今般、弊社が実施しているカーボン・オフセットを用いて支援する被災地産オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクトを決定した。本件プロジェクトでのJ-VERによるオフセット予定量は日本最大規模となる。支援先プロジェクトは公募を通じ、「被災の程度」、「プロジェクトの推進による雇用の創出効果、地域経済の活性化」、「温室効果ガス削減・吸収以外の生物多様性保全・国土保全・水源涵養等の相乗効果」等を勘案して選定した。なお、本件選定は環境省が促進しているオフセット・クレジット(J-VER)制度を活用した復興支援と連携して実施した。							
効果	「低炭素型復興プロジェクト」とは被災地における間伐等の森林管理や木質バイオマスの活用等による低炭素社会の実現に貢献するプロジェクトで、被災地の雇用拡大や経済発展に寄与することが期待される。							
事例に関する連絡先	経営企画部CSR室							

会社名	日本興亜損害保険(株)				210			
事例名	東北復興支援プロジェクト「未来を育む学び in 東北」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	NGOジャパン・フォー・サステナビリティ							
活動の概要	東北復興支援プロジェクト「未来を育む学び in 東北」は、日本興亜損保が実施したお客さまの「Eco-Net 約款」等ご利用に応じた義援金の寄付をもとに開催している。JFSと日本興亜損保は、このプロジェクトの一環として、東北の復興に向けて奮闘する若者たちのリーダーシップ能力を育む「復興を担う若手リーダー育成」や、東北の被災地の子どもたちによるミュージカル「東北子ども未来公演」など、今後も継続して東北地方の復興を支援していく。東北復興支援プロジェクト「未来を育む学び in 東北」の一環として「世界が東北から学ぶ旅(ラーニング・ジャーニー)」を8月20～25日に実施する。最終日の8月25日には、東京・池袋にて「3.11後の日本の人づくりを考える～東北復興から学ぶ」と題するイベントを開催する。							

効果	世界は3.11をどう捉え、東北の復興と持続可能でしなやかな社会・未来づくりに向けて、私たちはそこから何を学べるのか。こうした問いに答えるべく、世界と日本の若者が共に東北を訪れ、被災された人々や復興に取り組む人々の生の声に触れながら、東北の復興に向けて奮闘する若者たちのリーダーシップ能力を育む。
事例に関する連絡先	経営企画部CSR室

会社名	日本航空(株)					211		
事例名	「東北コットンプロジェクト」への参加							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	仙台市、名取市							
プログラムの連携先								
活動の概要	津波による塩害などでお米を作ることができなくなった農地で塩害に強い「綿花」を栽培して商品化し、農家のみなさんと参加各社と力を合わせて、農業再生、雇用と新産業の創造をすることで、東北の復興を応援していく「東北コットンプロジェクト」に参加している。							
効果	収穫された綿を使用した商品開発を行い、機内販売等で販売するなど東北の農業の復興に貢献していく構想を持っている。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本航空(株)					212		
事例名	JAL折り紙ヒコーキ教室の開催							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	日本折り紙ヒコーキ協会							
活動の概要	日本折り紙ヒコーキ協会の指導員資格を持つJAL G R P職員により、被災した小学生・中学生向けの折り紙ヒコーキ教室を実施しており、今後も継続していく。							
効果	震災で被災された児童に少しでも明るさを取り戻してもらうことができた。大変地道な活動であるが、今後も継続して実施していきたい取り組みである。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本コカ・コーラ(株)					213
事例名	The International Coastal Cleanup in Sendai					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	七ヶ浜町							
プログラムの連携先	七ヶ浜ボランティアセンター（宮城県七ヶ浜町）							
活動の概要	世界のコカ・コーラシステムでは、過去16年に渡り世界最大の国際海岸清掃ボランティア活動（International Coastal Cleanup:ICC）をサポートし、ゴミが発生する原因を分析し、行動改善に役立つデータを提供する。2011年は東日本大震災で東北地方の海岸が津波による甚大な被害を受けたことで、一日も早い復興・復旧に貢献できるよう、被災地でのICCプログラムを実施した。ボランティア活動当日は社員参加者が集まり、宮城県七ヶ浜町にある表浜の海岸清掃を行った。また午後は、七ヶ浜ボランティアセンターの紹介で、同町の葛蒲田浜海岸にある松林のがれき撤去を行い、多くの方が少しでも早く海岸を利用できるよう、復興・復旧のために活動した。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	日本生命保険(相)					214		
事例名	宮城県七ヶ浜の市民劇団のミュージカル公演に対し日生劇場を無償貸与							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	日生劇場（東京都千代田区）							
プログラムの連携先	宮城県七ヶ浜町の市民劇団「NaNa5931（ナナ・ゴーキューサンイチ）」							
活動の概要	当社は、町内の3分の1が津波の被害を受けた宮城県七ヶ浜町の市民劇団「NaNa5931（ナナ・ゴーキューサンイチ）」が演じる震災復興ミュージカル公演に対し、日生劇場の無償貸与を行った。同劇団は、逆境に負けない元気な姿や、全国からの温かい励ましに対する感謝の気持ちを伝えるため、こうした思いをミュージカル「ゴーへ（Go Ahead）」に託しており、宮城県外における初めての劇場公演として平成24年8月21日に日生劇場で東京公演を実施した。							
効果	趣旨に賛同した1,058名の観客が観劇し、「元気いっぱい演技を通じて、こちらが元気をもらった」とのコメントが寄せられる等、形を変えて継続する被災地支援の輪が広がった。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本生命保険(相)					215		
事例名	被災地域の子ども向け人形劇・クラシックコンサートの開催							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要								
効果								
事例に関する連絡先								

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	宮城県気仙沼市、岩手県大船渡市、福島県郡山市等			
プログラムの連携先	ニッセイ文化振興財団			
活動の概要	当社が設立したニッセイ文化振興財団は、震災以降、被災地域の子どもたちに元気と笑顔を取り戻してほしいと願い、人形劇とクラシックコンサートを岩手県・宮城県・福島県の避難所や小学校等で実施した。演目は、毎年夏休みに日生劇場において上演する「日生劇場ファミリーファスティバル」の演目を一部アレンジし、平成23年5月・6月・10月に9カ所、平成24年5月・6月に6カ所で実施した。			
効果	上記取り組みにより、子どもと保護者合計3,890名を招待した。子どもたちから「また来てね」と元気な声上がる等、舞台芸術に触れる中で元気と笑顔を与えることができた。			
事例に関する連絡先				

会社名	日本生命保険(相)				216			
事例名	被災地域の子ども向け森林体験教室の開催							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	宮城県利府町							
プログラムの連携先	ニッセイ緑の財団							
活動の概要	当社が設立したニッセイ緑の財団が、宮城県利府町の県有林にて森林体験教室を実施し、宮城県の子どもと保護者を招待した。森林作業体験や、自然観察、クラフト作り等のプログラムを通じて、森の働きや大切さを学んでもらうとともに、震災から立ち直り、元気になってもらうことを目的としている。これまで平成23年10月と平成24年7月の2回実施し、平成24年10月にも実施する予定である。							
効果	平成23年10月と平成24年7月の2回の活動で、子どもと保護者合計57名を招待した。子どもたちから「また参加したい」との声も寄せられ、自然と触れ合う中で元気を与えることができた。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本電気(株)				217			
事例名	亘理町コミュニティ再生支援プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他				
具体的地域	宮城県亘理町							
プログラムの連携先								
活動の概要	宮城県亘理郡亘理町では、津波によって多くの集落が流され、近隣者同士のコミュニティは崩壊し、多数の住民が地縁・血縁に関係なく仮設住宅で生活を送っている。そこで、こうした仮設住宅にお住まいの方々のコミュニケーションを支援するため、超小型送信ユニットなどを使って、地上波デジタルテレビの空きチャンネルを利用したコミュニケーションの仕組みづくりを進めている。テレビのリモコンによる操作のため、高齢者にやさしい操作性を実現されている。							

	2011年6月、7月に宮城県亶理町にて、NPOや地元の方々と協働したテストは成功し、実用化に向けた取り組みを進めている。 さらに2012年6月には、亶理町・大学・FM局・NEC等からなる協議会も立ち上がり、協働で番組作りを行う体制も出来始めている。
効果	仮設住宅にお住まいの方々にとって、自治体や公共機関からのタイムリーな情報共有と、住民同士のコミュニティ形成が可能になる。
事例に関する連絡先	CSR・環境推進本部 社会貢献室

会社名	日本電気(株)							218
事例名	NECグループ" TOMONI "プロジェクト(復興支援に向けた社会貢献活動)							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県盛岡市・陸前高田市・大槌町、宮城県仙台市・石巻市・南三陸町・亶理町、福島県いわき市他							
プログラムの連携先								
活動の概要	NECグループ一丸となって、被災地の皆さまと意思を一つにして、共に復興に向けた取り組みを継続していくことを目的に、NECグループ" TOMONI "プロジェクトとして、震災復興支援にかかる社会貢献活動を推進している。 【具体的な取り組み】 1) 既存のプログラムを復興支援につなげる ・被災児童支援のチャリティーコンサート開催 ・避難所でのコンサート開催 ・被災地の子ども向け理科実験教室開催 ・被災地で活躍するソーシャルベンチャーの支援など 2) 社員が実際に被災地に向かい、ボランティア活動を行う「社員参加型の支援」を中心とした活動 ・定期的(月1回)にボランティア派遣(陸前高田市、石巻市、南三陸町など)							
効果	少しでも被災地の皆さまに元気になっていただくとともに、参加した社員にとってもチームワークやリーダーシップが醸成された。							
事例に関する連絡先	CSR・環境推進本部 社会貢献室							

会社名	日本電信電話(株)							219
事例名	東北復興推進室による本格復旧に向けた取り組み(NTT東日本)							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手、宮城、福島							
プログラムの連携先								
活動の概要	NTT東日本では、自治体等の復興計画と連動した通信インフラの本格復旧・復興を一元的に推進するため、2011年5月16日に、本社組織として「東北復興推進室」を被災地でもある宮城県仙台市に設置した。 東北復興推進室では、震災前の信頼性を確保し、災害に強い通信インフラを構築するため、被災された地域							

	の通信設備の本格復旧工事（中継伝送路や通信ビルの本格復旧）を実施している。 具体的には、中継伝送路は細分化し、津波被災エリアや原発エリアにおける新たな内陸ルートの新設等を進めている。また、ケーブルが流出・切断した橋梁区間においては、内陸部への迂回や、河川の下に管路を構築して中継伝送路を敷設している。津波による損壊が著しかった通信ビルや地盤沈下により冠水する通信ビル等については、通信ビルそのものを高台・内陸部に移設している。また、浸水したビルは、水防対策として、水防壁の強化や、受電設備や発電機等の上層階への移設等を実施している。
効果	震災前の信頼性を確保するとともに、災害に強い通信インフラを実現する。
事例に関する連絡先	C S R 推進室

会社名	日本電信電話(株)				220	
事例名	社員ボランティア活動支援(NTT コミュニケーションズ)					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組 織への支援	県外避難者 支援 その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県 その他	
具体的地域	宮城県七ヶ浜町（ボランティア活動）					
プログラムの連携先						
活動の概要	NTT コミュニケーションズグループのマンパワーを生かして、被災地の少しでも早い復興につながればとの思いで7月より社員ボランティア活動を実施した。 1グループ3泊4日で途切れることなく活動し、参加する社員は、ボランティア休暇もしくは有給休暇を取得することを前提条件とし、現地までの交通費・宿泊費などの費用を会社がサポートし、37グループ延べ362名が参加し復興支援を行った。 上記のほか、岩手県・福島県・宮城県の物産展の開催や被災地に日用品の寄贈を行ったりしている。					
効果						
事例に関する連絡先	C S R 推進室					

会社名	日本電波塔(株)				221	
事例名	三陸大船渡 さんまつり					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組 織への支援	県外避難者 支援 その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県 その他	
具体的地域	岩手県大船渡市					
プログラムの連携先	岩手県大船渡市商工観光部					
活動の概要	「平成23年度 三陸・大船渡東京タワーさんまつり」を開催した。 (1) 炭火焼きサンマの無料試食(10:00頃～16:00頃まで) 大船渡港から直送された3,333匹のサンマを炭火焼きにし、大根おろしと辺塚だいを添えて無料で提供した。 (2) 「さんますり身汁」と「大船渡さんまバーガー」の販売(10:00頃～なくなり次第終了) ・さんますり身汁: 1杯200円(以下、価格はすべて消費税込み) ・大船渡さんまバーガー: 1個500円、1,000個限定販売					

	(3) さんまつかみ取りゲーム(午後実施予定) (4) その他・さんまさばき方コーナー
効果	2009年から毎年実施している事業である。マスメディアに露出することにより当社の情報発信力の高さを全国的に示すことができたほか、大船渡市との連携を皮切りにあらゆる地域・自治体との事業連携が今もなお生まれ続けている。
事例に関する連絡先	

会社名	日本道路(株)				222			
事例名	震災遺児・孤児支援のための社員募金実施							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県・宮城県・福島県							
プログラムの連携先	いわての学び希望基金、宮城県震災孤児育英募金、東日本大震災ふくしま子ども寄付金							
活動の概要	東日本大震災による震災遺児・孤児支援のための義援金に対して、社員に募金を募るとともに、会社としても寄付を行った。 ・ 寄付先 岩手・宮城・福島三県の震災遺児・孤児支援基金 ・ 受付期間 2012年3月12日(月)～23日(金) ・ 募資金額 一口1,000円 ・ 募集方法 前回同様(個人宛に配信するメールから義援金入力フォームへリンク) ・ 集金方法 2012年4月10日(火)または25日(水)の給与天引き							
効果	・ 従業員からの義援金 3,640,000円(860名) ・ 会社からの義援金 3,860,000円 合計750万円を、各県の震災孤児等育英基金に250万円ずつ寄付を実施する。							
事例に関する連絡先	経営企画部							

会社名	日本道路(株)				223			
事例名	東北3県物産の社内販売							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県・宮城県・福島県							
プログラムの連携先								
活動の概要	東北地域食文化・食産業の復興のための食材の社内販売(送料は会社負担)を行う。 斡旋商品は、すべて東日本大震災の罹災企業のもを扱う。 ・ 時期 2012年(春) 第1回 5.21～5.29、第2回 6.1～6.12、第3回 6.15～6.30 ・ 斡旋商品 岩手県宮古市(株)川秀 海鮮丼の具 詰め合わせセット 岩手県釜石市(有)中村屋 三陸海宝漬 岩手県釜石市小野食品(株) やわらか煮魚セット 宮城県気仙沼市(株)石渡商店 気仙沼産ふかひれ濃縮スープ							

	宮城県気仙沼市 齊吉商店 金のさんま 炭火焼オリーブオイル漬セット 宮城県石巻市 木の屋石巻水産 鯨大和煮6缶セット 宮城県石巻市 木の屋石巻水産 石巻鯨カレー5人前セット 福島県会津若松市 (株)会津地鶏ネット 会津地鶏炙りやきとり 福島県石川郡浅川町 (株)会津地鶏ネット 会津地鶏たまごセット ・(冬季にも実施予定)
効果	春の部 第1回 販売額 968,900円 会社負担送料 243,090円 第2回 販売額 736,000円 会社負担送料 166,290円 第3回 販売額 549,600円 会社負担送料 126,740円
事例に関する連絡先	経営企画部

会社名	日本郵船(株)					224		
事例名	東日本大震災被災地ボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	陸前高田市							
プログラムの連携先	陸前高田市社会福祉協議会災害ボランティアセンター							
活動の概要	陸前高田市へ当社社員、グループ社員、役員、OBらによって編成されたチームを1班5、6名派遣。現地のニーズに基づいて泥の掻き出し、瓦礫撤去、田畑のゴミ拾い等の活動を行っている。							
効果	被災地の復興の状況を認識すると共に、参加者の社会貢献に関する関心度を高めることが出来た。また当社グループのボランティア活動が現地で徐々に浸透し、現地の方々から感謝の言葉を頂くようになった。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本郵船(株)					225		
事例名	希望の烽火プロジェクト 東北漁業支援・冷凍コンテナ提供							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県大船渡市、宮古市、釜石市、宮城県気仙沼市、石巻市、福島県いわき市、他							
プログラムの連携先	(一社)東北漁業再開支援基金・希望の烽火							
活動の概要	被災地である三陸海岸地方の漁業の早急な再開を支援する為、(一社)東北漁業再開支援基金・希望の烽火が進めている必要資機材の無償提供プロジェクトに賛同して行う。民間企業各社からの提供資機材はトラック、フォークリフト、コンピューター、机、椅子等事務用機器など多岐に渡り、当社からは100本の海上輸送用冷凍コンテナを提供した。							
効果	コンテナ提供は本業を生かした当社ならではの活動となった。 提供したコンテナは、水揚げされた魚の貯蔵する際の氷の保管等に活用されている。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本郵船(株)					226		
事例名	飛鳥 東北復興応援クルーズ							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県仙台市ほか							
プログラムの連携先	郵船クルーズ(株)							
活動の概要	<p>東日本大震災支援の一環として、東北地方の観光振興への協力を目的とした2泊3日のクルーズを11月に実施予定である。クルーズ中、船内イベントや寄港地でのツアー等を予定しており、また被災地へ売り上げの一部を寄付する予定である。</p> <p>船内イベントとして、東北6県の観光案内や各地の食材提供等も企画している。</p> <p>スケジュール：</p> <p>11月7日 11:00 横浜出港(2泊3日)</p> <p>11月8日 07:00 仙台入港</p> <p>04:30 仙台出港</p> <p>11月9日 10:00 横浜入港</p>							
効果	本クルーズを通して、お客様自身が船内や寄港地で観光・飲食・ショッピングを行っていただくことで、東北地方観光の担い手となっていただくことをコンセプトとしている。							
事例に関する連絡先								

会社名	日本ユニシス(株)					227		
事例名	震災復興支援チャリティコンサート							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	オフィスポーター							
活動の概要	弊社がオフィシャルスポンサーとして応援しているヴァイオリニスト川畠成道氏が東北地方で開催する復興支援チャリティコンサートをサポートし、豊かなヴァイオリンの音色に心を癒していただくとともに、募金を実施してその時に最適な団体に寄付をする。							
効果	疲れた身体と心を癒し、束の間の安らぎを感じ英気を養っていただくとともに、募金によって復興の資金的支援に資する。							
事例に関する連絡先	広報部CC室社会貢献グループ							

会社名	(株)野村総合研究所					228
事例名	Book for the future					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙沼市							
プログラムの連携先	(株)パリュブックス、(公社)日本フィランソロピー協会							
活動の概要	<p>「Book for the future」は、業務で使用しなくなった本を回収し、その売却代金で、人づくりに関わる活動を行うNPOなどを支援するプロジェクトである。社内では、業務で使用した大量の本がそのまま本棚に放置されたり、廃棄されたり、有効に活用されていなかった。そこで、不要になった本を回収し、本の買取を行っている「(株)パリュブックス」と連携し、回収本の売却代金を被災地の人づくりにかかわる活動に寄付するスキームを作成した。</p> <p>2012年12月に一部の部署を対象にプロジェクトを試行したところ、5日間で1,700冊以上の本が集まり、売却金額は約14万7千円となった。この売却金は、「(公社)日本フィランソロピー協会」を通じ、津波による被害で、図書室の本が流失してしまった宮城県気仙沼市の小中学校3校に、副教材となる本を購入し、寄付した。</p>							
効果	<p>寄付先の学校からのお礼状</p> <p>「多大なるご支援を頂きまして感謝している。震災以来、各地からたくさんのお本を寄贈をいただいたが、種類が絵本や児童書に偏りすぎていた。もちろん、絵本や児童書も大切だが、子どもたちの日々の学びにあっては、朝の読書や読書感想文コンクールの課題図書、あるいは調べ学習のための本も非常に重要だ。それだけに、今回の御社からのご支援は、ニーズに合致した極めてありがたいものであった。」</p> <p>社員から</p> <p>「不要な本で社会貢献ができ、よい試みだと思う」との声が聞かれ、社員として社会貢献活動に参加する意欲の向上につながった。</p>							
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部 CSR推進室							

会社名	(株)野村総合研究所					229		
事例名	中古PC寄贈							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮古市、いわき市、仙台市							
プログラムの連携先	(株)ティーズフューチャー							
活動の概要	<p>当社は2007年から教育・職業訓練などに寄与することを目的に、業務に使用したパソコンの寄贈を、(株)ティーズフューチャーと共同で推進している。2011年11月には、東日本大震災の大津波の被害を受けた岩手県宮古市に5台、福島県いわき市海星高校に50台、12月には宮城県仙台商工会議所に10台、計65台の中古パソコンを寄贈した。</p>							
効果	<p>福島県いわき市海星高校 箱崎校長先生のコメント(の一部)</p> <p>今年度前半はコンピュータを使用しての情報処理関係の授業が全く行うことができなかった。そのような時に、今回支援いただいた機器により、生徒たちの意欲をそぐことなく、今年度末までには遅れていた情報処理関係の授業を取り戻す見通しをたてることができた。</p> <p>現場の社員が自発的に復興支援活動を計画し、弊社の既存の社会貢献活動と組み合わせ、寄贈まで主導するなど、社員にとって業務では体験できない経験ができた。</p> <p>PC寄贈の様子が地元のテレビや新聞の記事で取り上げられ、放映をみた地元の方々が社員の家族にお礼の連絡をし、家族を通じて、社員にも伝わった。その社員は出身地としての「支援を受ける側」と、「支援する側(企業の一員)」の両方の立場で、取組み対して喜びを感じた。</p>							
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部 CSR推進室							

会社名	(株)野村総合研究所					230		
事例名	義援金の寄付							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	(社福)中央共同募金会(一部、日本赤十字社)							
活動の概要	NRIは被災者支援のため、東日本大震災直後の2011年3月14日に、会社として3,000万円を(社福)中央共同募金会に寄付した。さらに、海外現地法人を含めたNRIグループ社員に支援金を2011年3月、6月、2012年2月の3回募集し、社員からの募金と会社とのマッチング分を合わせ、合計1億1,900万円を、日本経済団体連合会の呼びかけをもとに中央共同募金会(一部、日本赤十字社)に寄付した。NRIグループとして、「東北地方太平洋沖地震」被害への義援金は、総額1億4,900万円となった。							
効果	社員の震災復興支援活動参加の意欲向上につながった。							
事例に関する連絡先	コーポレートコミュニケーション部 CSR推進室							

会社名	野村ホールディングス(株)					231		
事例名	チャリティコンサートの開催							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	都内							
プログラムの連携先	パシフィック・ミュージック・フェスティバル							
活動の概要	2011年のチケット収益をもとに、より2年継続して、東日本大震災で被災した次世代を担う若者たちへの音楽教育支援を行っている。							
効果	2011年はコンサートチケット販売による収益金と社員の寄付により、被災地の17の小中学校に地震による落下や津波による水害により使えなくなった楽器、30点を寄付した。 2012年は被災した、次世代を担う若者たちが、より良い音楽教育を受けられるようなプロジェクトを開催するため、チケット販売による収益金を活用する。							
事例に関する連絡先								

会社名	野村ホールディングス(株)					232
事例名	野村アセットマネジメントによる東日本復興支援債券ファンド1105					
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	ファンドの投資対象となる組織のある全国各地							
プログラムの連携先								
活動の概要	東日本大震災からの復興に寄与すると考えられる政府機関、地方公共団体および企業の発行する債券を含む国内債券および国債に投資し、信託報酬の一部を復興支援の目的で継続的に寄付する「東日本復興支援債券ファンド1105」を設定した。 今後5年間、10回にわたり寄付を続ける。							
効果	第1期決算における寄付については、45,000,000円を青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の5県および仙台市（政令指定都市）に、復興事業の財源となる寄附金として寄付した。 第2期決算における寄付については、49,000,000円を、第1期決算時に寄付を行った青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の5県および仙台市に加えて、震災孤児などの生活や学業を支援することを目的として各県が設置する「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎこども育英基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付した。							
事例に関する連絡先								

会社名	野村ホールディングス(株)						233	
事例名	野村グループによるさくら植樹プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	亘理郡							
プログラムの連携先	さくらプロジェクト3.11							
活動の概要	被災地にさくらの樹を植樹することを目的にグループ内で募金を募り、集まった寄附で被災地にさくらの苗を寄附すると同時に社員による植樹活動を行う。加えて、植樹後も植樹地の自然保護活動や地域活性活動を継続的に行う。							
効果	グループ会社の300人以上の社員から、500口以上の寄付が集まった。2012年の3月に開いた植樹会では、被災した地域の方たちと共に作業を行うことができ、被災地の現状やこの先必要とされる支援について知る良い機会となった。							
事例に関する連絡先								

(6) は行

会社名	パナソニック(株)					234				
事例名	復興教育事業への社員ボランティア派遣									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	釜石市、気仙沼市、いわき市									
プログラムの連携先	(一財)夢現エデュテイメント									
活動の概要	<p>【概要】 当社は持続可能な社会の実現に向けて、次世代育成支援を重点分野の1つとして企業市民活動を展開している。そのなかで、被災地域における復興支援とともに未来に向かい前進する次世代リーダー育成に協力すべく、(一財)夢現エデュテイメントが実施する復興教育事業「今、私たちにできる復興・街づくりへの参画」プログラムへ社員ボランティアを派遣する。</p> <p>【詳細内容】 「今、私たちにできる復興・街づくりへの参画」プログラムに基づき、中学校生徒会の子どもたちが行う具体的な行動計画策定、安全且つ充実した実施、成果報告書作成などを、生徒会担当教諭、子どもたちと共に考え、行動しながら支援していく。</p>									
効果	子どもたちがふるさとや学校の復興に向けて熟議を重ね、主体的な実践を深めていくことを通じて「生きる力」を育むことができる。その活動から次世代を担うリーダー人材の育成にもつながる。									
事例に関する連絡先										

会社名	パナソニック(株)					235				
事例名	社員プロボノの派遣									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他	
具体的地域	宮城県石巻市									
プログラムの連携先	NPO法人石巻復興支援ネットワーク									
活動の概要	<p>石巻市で復興に向けて主体的に活動する市民の育成とサポートを行っている「NPO法人石巻復興支援ネットワーク」の活動支援の為に、社員が現地と連絡をとりながら行う社員プロボノを実施する。</p> <p>他のプログラムで協力している「NPO法人サービスグラント」と協業し、社員が持っている専門知識及びノウハウを現地団体の問題解決に役立て頂く。</p> <p>パナソニックとしてサービスグラント費用及び、社員の現地への交通費等の費用等の費用の一部資金負担を行う。</p>									
効果	今回の大震災の復興には長年の時間が必要であるため、現地の復興活動団体の継続が必要である。企業の持っているノウハウ等を社員を通じて支援することによって、団体の活動が継続できることをめざす。									
事例に関する連絡先										

会社名	パナソニック(株)					236		
事例名	被災地支援次世代育成プログラム							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県...大船渡市、陸前高田市、久慈市、宮城県...気仙沼、福島県...いわき市、大熊町							
プログラムの連携先	(株)キャリアリンク(学校スマイル応援プロジェクト事務局)							
活動の概要	<p>被災地支援次世代育成プログラム</p> <p>きっとわらえる 2021:当社が自主プログラムとして長年取り組んでいる映像制作支援プログラム「キッド・ウィットネス・ニュース」のノウハウを活用し、映像制作を通じて被災地の子どもたちに笑顔と元気を取り戻してもらおうというもので、プログラムの中では、子どもたちが「今、つたえたいこと」と「2021年へのメッセージ」の2本のメッセージを制作した。</p> <p>学校スマイル応援プロジェクト:次世代育成支援に取り組む企業と連携し、「学校の教育活動」を応援する活動で、2011年度は津波で機材一式が流され、運動会の運営が困難となった学校を応援する「運動会サポートキャラバン」を実施した。2012年度も引き続き、大船渡市・陸前高田市の小中学校16校の運動会を支援するとともに、新たに「キャリア・チャレンジデイ」と題した、当社から社員が授業に駆けつけ、大船渡市内全中学校の中学校2年生を対象にしたキャリア教育支援活動を行う。</p>							
効果	<p>震災を体験した子どもたちが伝えたいことを映像にすることにより、自分の気持ちを整理しながら、震災とは何かを自分や家族や地域を見直して表現する。学校関係者や保護者からの感想で、作成した映像がこれから子どもたちの生きていく力になっており、夢に向かって挑戦するきっかけとなっている。</p> <p>学校が避難所や仮設住宅となり、震災前の学校教育活動の実施が大変困難な中、実施できた運動会は子どもたちの思い出になり、キャリア教育は職業や生き方を考えるきっかけや、将来に向けてどんなことを頑張ればよいかを考える機会となった。</p>							
事例に関する連絡先								
会社名	(株)バンダイナムコホールディングス					237		
事例名	東日本大震災被災地の子どもを対象にしたイベント開催							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	実績:陸前高田市・名取市 予定:会津若松市							
プログラムの連携先	(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン							
活動の概要	東日本大震災被災地の子どもを対象にしたイベントを実施する。							
効果								
事例に関する連絡先								
会社名	バンドー化学(株)					238		
事例名	給食施設での東北産の食材の採用のほか東北地方の物産品の斡旋							

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域										
プログラムの連携先										
活動の概要	国内3事業所の給食施設で東北産の食材を積極的に採用するほか、東北地方の物産品の利用を斡旋する。									
効果	現地の産業支援に繋がる。									
事例に関する連絡先										

会社名	阪和興業(株)							239			
事例名	阪和育英会を通じた被災地学生支援										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	東北地区全般										
プログラムの連携先											
活動の概要	1956年に設立された奨学金支援組織「阪和育英会」は、東北地区の被災者学生を奨学生として採用する。										
効果	被災地の学生の学費援助ができた。										
事例に関する連絡先	(公財) 阪和育英会										

会社名	阪和興業(株)							240			
事例名	日本貿易会主催による東日本大震災震災孤児・遺児支援寄付金										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域											
プログラムの連携先	日本貿易会										

活動の概要	震災孤児、遺児への寄付を実施した。
効果	2011年度に全体で、1億5,270万円を給付した。
事例に関する連絡先	日本貿易会

会社名	BASFジャパン(株)				241
事例名	「こころに笑顔」プロジェクト				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域	宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市				
プログラムの連携先	UNESCO				
活動の概要	<p>BASFとUNESCOが「心のケア」と「防災教育」をテーマに共同で実施する「こころに笑顔」プロジェクトの一環として、日本ユネスコ協会連盟による以下のプログラムを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生ボランティアによる学習支援塾の実施 ・学校が必要とする遊具・スポーツ用具の支援 ・学校の仮設グラウンド及び新設幼稚園の環境整備 ・工作・実験教室の実施 ・気仙沼市文化会館での文化・芸術活動の再開 ・子どもキャンプの実施 ・防災マニュアルの制作を通じた学校や市民の震災経験の共有 <p>その他、地域住民が経験を共有し学ぶことができるオープンスペースの構築など、UNESCOパリ本部が陸前高田市で実施する支援活動も支援する。</p> <p>この活動に伴い、BASFは身近な素材を利用した化学の実験教室「子ども実験教室」を気仙沼市内の3カ所の図書館で開催し、7月から11月にかけて約240名の子どもたちに化学の楽しさを伝えている。</p>				
効果	実施済み子どもキャンプでは、自然の中での非日常的な活動を通して、子どもたちに楽しい時間を提供することができた。				
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーションズ本部				

会社名	BASFジャパン(株)				242
事例名	「子ども実験教室」の開催				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域	宮城県石巻市、女川町				
プログラムの連携先	宮城県教育庁				
活動の概要	宮城県の3つの小学校にて、理科の特別授業として「子ども実験教室」を開催した。事前にトレーニングを受けた社員が先生役を務め、実験を通して化学の楽しさを子どもたちに伝えた。				
効果	通常のカリキュラムでは実施しない実験を通して、子どもたちに化学への興味を抱いてもらうきっかけをつくれたほか、先生役として参加した社員とともに楽しい一時を過ごしてもらうことができた。				

事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーションズ本部							
会社名	BASFジャパン(株)							243
事例名	「オペラ白虎」関連プログラム支援							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県会津若松市							
プログラムの連携先	地域振興芸術委員会							
活動の概要	BASFは復興に向けて地元の地域振興芸術委員会が主催する「オペラ白虎」の本講演（7月27日、29日）に合わせて実施される以下のプログラムを支援した。 ・オペラを支える裏方スタッフの仕事を学ぶ「スタッフ体験プログラム」 ・オペラを鑑賞し、オペラをより深く知るプログラム（子ども724人を招待）							
効果	日々の生活の中では体験することが難しい「スタッフ体験」や「オペラの鑑賞」を通じて、福島県の子どもの心に大きな感動と喜びを与えることができた。							
事例に関する連絡先	コーポレート・コミュニケーションズ本部							
会社名	東日本旅客鉄道(株)							244
事例名	東日本大震災の復興に向けた義援金の寄付							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被災地域全般							
プログラムの連携先								
活動の概要	JR東日本グループでは、震災からの復興に向けて被害を受けられた皆さま、地域が、一日も早く元気になれるよう、以下の内容で義援金・支援金を寄付するようにした。 ・「運転再開後から通常ダイヤでの運転開始まで（2011年4月29日～9月22日）の『はやぶさ』号グランクラス料金の一部」 ・「『青森ステーションキャンペーン（2011年4月23日～7月22日）』の開催に合わせた、キャンペーンエリアに向けた企画旅行商品の代金の一部」 ・「『群馬ステーションキャンペーン（2011年7月1日～9月30日）』の開催に合わせた、キャンペーンエリアに向けた企画旅行商品の代金の一部」 義援金・支援金は、2011年10月31日にユネスコ協会就学支援奨学金、中央共同募金会を通じて寄付した。							
効果	集まった義援金の合計は142,499,000円にものぼった。これらの寄付にご理解・ご賛同いただいたお客さまは、97,463名だった。							
事例に関する連絡先								
会社名	東日本旅客鉄道(株)							245
事例名	東北地方の観光振興と復興支援							

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	東北全般									
プログラムの連携先										
活動の概要	<p>(1) 東北各地の地域イベントを組み込んだツアーを旅行会社に提案して、受け入れ側の地元のおもてなしとお客さまの交流を通じて、東北の復興の支援を行った。</p> <p>(2) 当社が協賛した「東日本大震災復興支援コンサート カウント・ベイシー・オーケストラ Live at 毛越寺」開催(9月11日)にあわせ首都圏発旅行商品の発売を行い、入場料の一部を義援金として拠出を行うという主催者の取組みに協力した。</p> <p>(3) 鉄道の旅を通して東北と日本を元気にしたいという思いを込めて、JR6社共同で「つなげよう、日本。～旅する笑顔を東北の力に～」キャンペーンを実施した(7月23日～9月30日)。</p> <p>(4) 旅行需要が低迷している東北エリアの観光地及び宿泊施設を応援するため、お得な旅行商品を発売した。</p> <p>(5) 東北・秋田・山形新幹線の「お先にトクだ値」、「えきねっとトクだ値」の発売席数に応じて、東北6県在住の子どもたちに「はやぶさ号」などを利用した東京への日帰り旅をプレゼントする「笑顔をつなげよう! 『トクだ値』キャンペーン」を実施し、400名を招待した。</p> <p>(6) イベント列車の運行や地域イベントにあわせた送客等、復興に対する取組みを行った。</p>									
効果	旅行商品の設定により、多くの方に東北を訪れていただいた。									
事例に関する連絡先										

会社名	東日本旅客鉄道(株)						246			
事例名	地域支援産直市等の開催									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	東北全般、首都圏各駅									
プログラムの連携先										
活動の概要	<p>被災地復興支援策の一つとして、被災地で作られた農産物、伝統工芸品、名産品等を首都圏の駅のコncourse、駅ビルの催事場等で販売する産直市、工芸市、物産展の開催を行った。</p> <p>応援産直市 東日本大震災の影響により、出荷制限・摂取制限の対象となった地域を応援するため、上野駅・秋葉原駅・大宮駅にて安全性を確認した農畜産物等を販売する「応援産直市」を開催した。</p> <p>応援工芸市 東日本大震災の影響により、窯の倒壊や作品の破損、観光客の減少による販売不振等の被害を受けている地域の伝統工芸を応援するため「日常に伝統工芸品のある生活」をテーマに、各地域の工芸品を、横浜駅や秋葉原駅で販売した。また、それらの工芸品に盛り付けるに相応しい各地の特産品や銘酒等も販売した。</p> <p>応援物産展 東日本大震災の影響に伴う観光客、出張客の激減により、売上減少を余儀なくされている各地域の特産品等、その地域ならではの商品を取り揃え、首都圏の駅ビルで販売した。</p> <p>2011年度は以上の取組みを行ったが、今年度以降も、もともと2010年から当社が行っている地域再発見プロジェクト産直市の一環として被災地の産直市を実施していく。</p>									

効果	多くのお客さまに足をお運びいただき、被災地復興に寄与する消費の拡大に貢献することができた。また、地域の魅力ある商品の掘り起こしや地域情報を発信することにより、観光流動の促進につなげることができた。
事例に関する連絡先	

会社名	日立化成工業(株)				247			
事例名	仮設住宅への緑のカーテン設置支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県二本松市、福島市、本宮市							
プログラムの連携先	NPO法人「緑のカーテン応援団」							
活動の概要	<p>日立化成工業(株)は、NPO法人緑のカーテン応援団が推進する「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクトを2011年度から支援している。</p> <p>2011年度は同プロジェクトの活動資金として100万円を同NPOに寄付するとともに、浪江町の仮設住宅である福島県二本松市の杉田住民センター33戸のグリーンカーテン設置作業を同NPOの指導の下、日立化成グループボランティア27名が行った。</p> <p>2012年度は、前年同様、活動資金として100万円を同NPOに寄付するとともに、6月9日、10日の両日に福島県内の19カ所の仮設住宅団地に約2,000株のゴーヤ苗を無償配布し、福島市南谷野目にある浪江町の仮設住宅33戸には日立化成グループのボランティア14名がグリーンカーテンの設置活動を行った。</p> <p>日立化成グループは、建物の窓や壁面をゴーヤやへちまなどのつる性植物で覆い、直射日光の遮断と葉の蒸散作用によって室温の上昇を防ぐ「グリーンカーテンプロジェクト」を2006年度から展開している。2011年度は日本全国の37拠点に加え、マレーシアや中国の海外グループ会社4拠点でもグリーンカーテンを育成した。また、茨城県や千葉県の小・中学校約100校に計2,500株のゴーヤ苗を寄贈し出前授業をするなど、理科教育にも力を入れている。</p>							
効果	<p>以下のような効果があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気使用量を軽減しながら仮設住宅の室内の体感温度を下げる。 2. 緑の持つ力で被災した皆さんの心が癒やされる。 3. 地域で共に育てることで共通の話題ができ、コミュニケーションが深まる。 4. 仮設住宅ではグリーンカーテンが生垣や塀の代わりに人の視線をさえぎる効果がある。 							
事例に関する連絡先	CSR統括部 コーポレートコミュニケーションセンタ サステナビリティグループ							

会社名	日立化成工業(株)				248			
事例名	医療診断装置および試薬の寄付							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県二本松市、福島県耶麻郡北塩原村							
プログラムの連携先								

活動の概要	日立化成工業は2011年10月に東日本大震災被災地域における医療環境の改善と被災住民の健康管理に貢献することを目的として、浪江町国民健康保険津島診療所及び南東北裏磐梯診療所に小型自動分析装置「日立クリニカルアナライザー」各一台を寄付した。また、同装置で使用する分析装置専用試薬「セラテスタム」及び消耗品についても使用量に応じて現物での寄付を継続中である。 東日本大震災発生後から、当社の製品・サービスそのものを活用した被災地支援ができないかを模索していたが、被災地では医療環境が悪化しているとの話を浪江町関係者から伺ったことをきっかけに、今回の寄付が実現した。
効果	医療環境の改善を通じた被災住民の健康維持・向上に貢献している。寄付した製品である「メタボライザー™」シリーズ日立クリニカルアナライザー-M40、S40は簡単に操作できるPOCTに適した小型自動分析装置である。2007年秋より新たに測定項目(HbA1c, LDL-C)を加え、2008年4月から始まった特定健診に必要な血液検査項目がこれ1台で測定可能になっている。生化学項目+CRPを加えた22項目が測定できる。採血から報告まで約30分で、その場で患者が血液検査の結果を提示すれば、外来迅速検体検査加算も可能である。日常検査、至急検査だけでなく、夜間・休日用、専用機、既存機のバックアップとしても利用できる。
事例に関する連絡先	C S R 統括部 コーポレートコミュニケーションセンタ サスティナビリティグループ

会社名	日立化成工業(株)				249			
事例名	被災地域海底採取土壌の重金属類含有量測定業務受託							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県気仙沼市							
プログラムの連携先	日立化成テクノサービス(株)							
活動の概要	日立化成工業は2011年11月以降、東日本大震災被災地域における生物多様性保全活動の一環として、気仙沼湾、舞根湾及び舞根塩性湿地帯の3カ所の海底から採取した土壌の重金属類含有量測定業務をNPO法人「森は海の恋人」(*)から無償で請け負っている。 被災地では津波による海洋汚染が懸念されており、数年に亘って継続的に測定業務を委託できる研究機関、企業を探していた。 実際の分析は、土壌などの各種分析業務の専門家が多数在籍する日立化成の関連会社の日立化成テクノサービスが実施している。データ分析は2011年度に2回実施し、2012年度は4回実施予定である。 *: NPO法人「森は海の恋人」は、『自然の「環」から、人の「和」を育てよう!』をキャッチフレーズに、環境教育・森づくり・自然環境保全の3分野で活動している。理事長の畠山重篤氏は、国連森林フォーラム(UNFF)が森林の育成や林業の健全な発展などに貢献した人物に対して表彰する「フォレスト・ヒーローズ」を2012年2月に受賞した。同賞は2011年の国際森林年にあたり、国連は世界の5地域それぞれから最も森林の育成や林業の健全な発展などに貢献した人物を「フォレスト・ヒーロー」として選んだもので、畠山理事長はアジア地区のフォレスト・ヒーローとして選ばれた。							
効果	1. 被災地での津波による海洋汚染の実態調査への貢献 分析データは2012年3月に開催の日本水産学会での講演に使用されるなど、有効に活用していただいている。 2. 生物多様性保全活動全般への貢献							
事例に関する連絡先	C S R 統括部 コーポレートコミュニケーションセンタ サスティナビリティグループ							

会社名	(株)日立国際電気				250			
事例名	グループ会社との連携による震災復興プログラム							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域				
プログラムの連携先				
活動の概要	被災した各自治体、官公庁、金融機関、事業者を巡回し、防災機器やシステムの点検を無償で実施している。また、停電時に長時間運用可能な屋外拡声装置、かすみ除去機能を搭載した望遠対応屋外カメラなどの製品を創出、提供している。さらに、屋外拡声装置の高所部に取り付けなどを実施するほか、映像・通信・情報・アンテナを融合し、災害に強く信頼性の高い複合システムを構築、提供した。 本活動の概要は当社CSR報告書で公表している。 同報告書インターネット版の該当箇所： http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/er/er2012_005.pdf			
効果	被災地の安心・安全に貢献し、当社の製品・サービス提案力の向上があった。			
事例に関する連絡先	法務・CSR本部			

会社名	(株)日立国際電気							251
事例名	グループ会社との連携による被災地復興支援ボランティア活動の継続実施							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県石巻市、岩手県陸前高田市							
プログラムの連携先	石巻災害復興協議会ほか							
活動の概要	石巻市の地域活動「おぼらの復興市」開催のための施設（テント等）設営手伝い、また販売品の製作手伝いを行った。 陸前高田市では水田のがれき撤去作業を行った。							
効果	被災地の状況についての理解、またその社内共有をした。被災地の精神面の支援、農地復興支援となった。							
事例に関する連絡先	法務・CSR本部							

会社名	(株)日立国際電気							252
事例名	福島ひまわり里親プロジェクトへの参画							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東京都小平市（ひまわりの種を福島県須賀川市のNPOより購入、また収穫後同NPOに返送）							
プログラムの連携先	福島ひまわり里親プロジェクト、小平市立小平第八小学校							
活動の概要	本年5月12日、工場近隣の小学校児童11名と同校の先生、社員を含め総勢32名で工場内の組合会館の前と裏、東門横の3カ所に花壇を作り、前もって当社労働組合が福島のNPOより購入した約500粒の種を植えた。							

	工場内でひまわりを咲かせた後、種を収穫し、福島に返送する。 本活動は当社インターネットサイトにより公表している。 http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/society/action.html
効果	米国から輸入した種の袋詰め、参加企業への発送は、福島県内で知的障がい者の作業となる。 参加企業で花を咲かせ、種となって福島に戻った種は、福島県内各地で翌年の開花により福島県の観光資源となる。 さらに福島県で種として収穫されたひまわりは、再度知的障がい者の作業により油などにより加工され、再生可能エネルギーとなる。
事例に関する連絡先	小金井工場総務部

会社名	(株)日立システムズ				253			
事例名	福島県へのコンタクトセンター新設							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	郡山市							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>中長期的な視点を踏まえた被災地の着実な復興に向けた貢献施策の一つとして、福島県郡山市にコンタクトセンターを新設した。福島県郡山市に新設するコンタクトセンターは、既存のコンタクトセンターの一部の機能を移管し、サテライトセンターとして設立するものである。</p> <p>【コンタクトセンター新設の主な理由】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 継続的・安定的に成長可能なサービス産業創造が、雇用対策として効果的であり、福島県および郡山市の政策目標に沿っている。 2. 福島県は緊急雇用創出基金事業「がんばろう福島の企業！産業復旧・復興事業」等の充実した雇用促進の施策が用意されており、その施策に沿っている。 3. 大学、専門学校などが集積しており、優秀な人材が豊富な環境である。 4. サテライトセンターの設置により日立システムズのコンタクトセンターの分散化を図ることで、災害時の事業継続性を高めることができる。 5. 首都圏からの交通アクセスがよく、東京のコンタクトセンターからのサポートや教育・研修が容易であり、お客さまのためのサービスの高度化や業務内容の拡充がしやすい。 <p>今後、段階的に業務を拡張し、3年後には200名超の要員規模に拡張する計画である。将来的には幅広いお客さまのコンタクトセンター関連業務を請け負うBPOの拠点としても、業務を拡大していくことを検討している。</p>							
効果	雇用創出による被災地域の復興と地域活性化、および人材の育成を通じた当社お客さま満足度の向上となった。							
事例に関する連絡先								

会社名	(株)日立製作所				254			
事例名	県外避難者への社宅の提供							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	埼玉県鳩山町
プログラムの連携先	
活動の概要	東日本大震災により被災した地域から埼玉県に避難された方々に対し、自治体からの協力要請にもとづき、会社施設(社宅)の一部を2011年4月より提供している。(日立製作所、日立アーバンインベストメント)住居の提供と併せ、避難者の方々への支援活動の一環として、当該施設において、音楽ミニコンサートやバーベキューパーティの開催などを通じて、コミュニティ形成や地域住民との交流を深めていただくための懇親の場を定期的に設けている。
効果	2011年4月の提供開始以来、多い時で17世帯(約50名)を受け入れ、自治体との協力のもと、避難者の方々の新しい環境での生活立ち上げの支援を行ってきた。
事例に関する連絡先	C S R本部

会社名	(株)日立製作所				255			
事例名	復興支援イベントの実施							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	2011年10月15日～23日の間、日立グループの復興支援活動の一環として、東北地域のお客様だけでなく、被災地域の一般市民の明るい未来への展望・元気につながることを目的とし、多面的なイベント「東北みらいづくり Week with Hitachi」を仙台市(仙台国際センター)を中心に、一部、七ヶ浜町・名取市の会場において開催した。 「共にあるこう。未来をつくろう。」をテーマとし、イベント期間中、「東北の将来の姿」をテーマとした地元中高生による弁論大会の他、各種コンサートや日立のバスケットボールチーム「日立サンロッカーズ」の現役選手による地元小学生へのバスケットボールクリニック、東北にゆかりのあるタレント・著名人による講演・トークショーなどを行った。本イベントに先立ち(9月24日)、地元大学生を対象に、大学間の垣根を越えてお互いの思いや意見を議論し、東北の未来を語り合ってもらおう場として「ワールド・カフェ」を開催した。 2012年は「東北みらいづくり DAY with Hitachi」とし、9月に宮城県・岩手県内において、沿岸地域の活力再生を目的とした、世代・性別に関わらず気軽に参加でき、1日を通して楽しめる各種イベント(トークショー、コンサート、ワークショップ、体験コーナー、スポーツクリニック、屋台村など)を開催した。							
効果								
事例に関する連絡先	C S R本部							

会社名	(株)日立ハイテクノロジーズ				256			
事例名	テレビ会議システムの提供							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	宮城県石巻市ほか
プログラムの連携先	国立天文台
活動の概要	取り扱い製品であるテレビ会議システムを寄贈した。 【寄贈先（13カ所）】 国立天文台水沢キャンパス 日本プライマリケア学会（仙台本部、東京事務所、気仙沼市立本吉病院） NPO事業サポートセンター（東京事務所、遠野事務所、大船渡市赤崎地区公民館、大船渡市末崎地区公民館） 石巻市立小中学校（北上中学校、大須小学校、大須中学校、萩浜小学校） 奥州市立奥州宇宙遊学館&奥州市教育委員会
効果	被災地の復興プロセスにおける学業支援、メンタルケア、遠隔地医療、被災者間のコミュニケーション支援等に有効に活用されることを期待する。
事例に関する連絡先	法務・CSR部

会社名	ヒューリック(株)				257			
事例名	ボランティア支援制度の創設							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県大槌町、宮城県石巻市、南三陸町等の大震災被害の大きかった地域							
プログラムの連携先								
活動の概要	被災地復興支援活動に参加しようという、従業員の意欲を後押しするべく、2011年8月に、「東日本大震災被災地ボランティア活動費用の一部補助制度」を設けた。この制度は、従業員がボランティア活動に参加するときにかかる活動費用について、1人4万円まで会社から支援するものである。施行期間は、2013年3月までを予定しているが、状況に応じて制度の継続を検討する。また、参加希望者の多かった2011年10月には、近畿日本ツーリスト(株)のアレンジの当社独自ツアーを組みボランティアツアーに参加するなど、柔軟な対応に努めている。							
効果	ほとんどの参加者から「この制度があったから、活動に参加する一歩を踏み出せた」という声があがった。制度利用者が少なくても、こうした制度を整えておくことが大切だと実感した。							
事例に関する連絡先	総合企画部							

会社名	ヒューリック(株)				258			
事例名	あしなが育英会への寄付							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	あしなが育英会							

活動の概要	将来を担う子どもたちの生活及び就学を継続して支援していきたいと考え、あしなが育英会に対し、2011年5月より4年間にわたる寄付活動を開始した。4年という継続期間は、高校生や大学生が入学してから卒業するまでの期間を想定したもの。毎月50万円を会社から寄付し、あわせて、各役員より毎月1万円、また参加を希望する従業員から月々一定額を寄付を行っている。							
効果	被災地の為に何かしたいけど、「被災地復興支援活動への参加は難しい」「どこへ寄付したら良いかわからない」等の問題解決に寄与している。							
事例に関する連絡先	総合企画部							
会社名	(株)ファミリーマート						259	
事例名	被災地ボランティア・ツアーへの支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県大槌町吉里吉里地区							
プログラムの連携先	共存の森ネットワーク							
活動の概要	<p>(公社)国土緑化推進機構(共存の森ネットワーク)が実施する森と海・暮らしの復興ボランティアツアーに特別支援した。</p> <p>【ツアーのプログラム】</p> <p>地域の皆さんとの協業で実施するボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルマップをもち町内を歩くミニツアー ・被災時の話や今後の展望などの想いを共有する場「被災地の聞き書き101」のセッティング ・復興朝市への参加 <p>釜石森林組合のJ-VERの購入、バス異動に伴うCO2排出のカーボン・オフセット、間伐材を活用したノベルティグッズの製作</p>							
効果								
事例に関する連絡先								
会社名	フィリップ モリス ジャパン(株)						260	
事例名	Doorway to Smiles ～いしのまきカフェ「」～							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先	日本財団							
活動の概要	<p>被災地支援の一環として日本財団へ4,000万円を拠出し、宮城県/石巻市でDoorways to smilesの一環として『いしのまきカフェ「」』共同プロジェクトを開始した。</p> <p>被災地の高校生らを対象として、ゼロからカフェを創りあげる、子どもたちの自立を支援するために立ち上げたプロジェクトである。</p> <p>一般公募で選ばれた高校生たちが、カフェの運営体制やメニューの考案含め決定していく。このカフェでの経験を通して社会的なスキルを身につけてほしいと願うとともに、地元で自立し復興を担って行けるような人材育成を目指す。</p>							

効果	次世代を担う、若い高校生たちが、ここでの経験や学びを通して、将来復興を担っていく人材へと成長することを目指している。
事例に関する連絡先	コーポレートアフェアーズ

会社名	フィリップ モリス ジャパン(株)				261			
事例名	ワークショップ「気持ちのキセキ」の展開							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県...仙台、牡鹿郡、前谷地、大崎、岩手県...奥州、若葉町							
プログラムの連携先	日本子どもソーシャルワーク協会							
活動の概要	2009年から、全国にある各児童養護施設を著者である箱崎幸恵氏が訪問して絵本「生きづらさから自由になる 気持ちのキセキ」を使用し、職員向け、子ども向けにエモーショナルリテラシーのワークショップを行ってきた。 昨年は震災を受け、被災地の小・中・高・特別支援学校(福島・宮城・岩手)の全2,115校へ絵本を寄贈し、希望に応じて著者自らが行うワークショップを展開する。 様々な困難を抱える子どもたちの感情を理解し、その気持ちに寄り添い、傷ついた子どもたちの心の回復に役立てて頂きたいと実施する。							
効果	震災によって傷ついた子どもたちの心の回復とともに、様々な困難を抱える子どもたちの気持ちを理解し、その気持ちに寄り添い、子どもたちの「エモーショナル・リテラシー」を育む手助けとなる。また今回は、保護者の方々を対象としてセッションも実施し、保護者の方々へ子どもたちとの触れあい方等をワークショップを通して体験していただいた。							
事例に関する連絡先	コーポレートアフェアーズ コントリビューションズ							

会社名	富士ゼロックス(株)				262			
事例名	復興支援NGOへのプリントサービス支援および複合機貸与支援							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	ジャパン・プラットフォーム							
活動の概要	当社は本業を活かした支援として、NPO法人ジャパン・プラットフォームと連携し、復興支援NGOに対しプリントサービス支援と複合機の無償貸与を2011年5月から実施している。 【復興支援NGOへのプリントサービス支援】 本支援の目的は、被災地で復興支援を行うNGOが被災者に配布するチラシや冊子などのプリントを支援し被災地のコミュニケーションを円滑にすることである。 当社の出力センターにある高速プロダクションプリンター機を活用し、復興支援NGOから送付された原稿をオンデマンドで出力してタイムリーにお届けしている。 【復興支援NGOへの複合機貸与の支援】 本支援の目的は、災害復興NGOのオフィスの出力支援を行い、団体に復興支援活動に注力いただくことである。復興支援NGOの東京本社への提供に加え、岩手や宮城など出先のオフィスにも提供している。							

効果	<p>プリントサービス支援により、2011年5月から11月初旬までに合計138,200ページのチラシ、ハンドブック、イベント用冊子などが出力されている。複合機貸与の支援では、合計17団体へ複合機24台を提供している。</p> <p>これらの支援は被災地で必要とされる情報をタイムリーに届けることで被災地における円滑なコミュニケーション促進に貢献している。支援先のNGOからは「自団体で出力するとコストと手間がかかるので有難く利用させていただいています」「支援いただいたことで復興支援にリソースが集中することができ助かる」などの声をいただいている。</p>
事例に関する連絡先	C S R 部

会社名	富士ゼロックス(株)				263				
事例名	ボランティア活動を通じた復旧・復興支援								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	気仙沼市大島								
プログラムの連携先	(公社) Civic Force								
活動の概要	<p>当社は2011年7月の新入社員派遣後にも継続的な支援を行うため、9月から新入社員が支援した宮城県気仙沼市大島に社員ボランティアを派遣してきた。</p> <p>これは、復興支援NGOの(公社) Civic Forceと連携し、当社が参画する国連グローバルコンパクトの署名企業と協業して実現したものである。ボランティア休暇を活用し5泊6日のボランティア活動では、海岸、田畑、民家などで瓦礫の片付け・清掃を行い、荒天時には屋内で写真洗浄を行った。</p>								
効果	<p>2011年9月から11月の3カ月で、延べ153名の社員が活動に参加している。地元の方からは「継続して支援してくれてありがたい」という声をいただいている。また、参加した社員からは「現地を実際見ることや被災者の方と話すことの大切さを実感した」「島の多くの人たちに感謝され、この活動の意義を改めて感じる事ができた」「とても有意義で、自分の人生にとって大きな経験となった」などの声をいただいた。</p>								
事例に関する連絡先	C S R 部								

会社名	富士通(株)				264				
事例名	農業・漁業の復興支援「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	宮城県名取市、岩手県釜石市								
プログラムの連携先	農林水産省、復興庁								
活動の概要	<p>東日本大震災における農業・漁業の復興に向け、農林水産省および復興庁(以下、両省庁)が公募した「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において研究事業者として採択された。</p> <p>今後3年間、東北を中心とした研究機関や生産者・団体、加工会社などと連携・協力し、センシング技術などICTを活用した農業・漁業の生産性向上に向けた実証研究を行っていく。</p> <p>当社は、ICTによって人々がより豊かに安心して暮らせる社会「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現を目指し、農業クラウド、センサーネットワーク、携帯端末をはじめとした先端技術を通じ、東日本大震災の復興に貢献していく。</p>								

効果	本事業は、両省庁が東日本大震災復興に向け、新たな食料生産地域として被災地自身が行う再生への取り組みを支援するため、宮城県で「農業・農村型」の、岩手県で「漁業・漁村型」の研究・実証地区を設け、生産コストの5割削減または収益率2倍を達成目標に先端的な農林水産技術を駆使した大規模な実証研究を行うものである。また、農林水産省は今回得られた成果を活用して、被災地以外の農業、漁業のモデルとして今後の全国展開も計画している。
事例に関する連絡先	ソーシャルクラウド事業開発室 サービス開発統括部

会社名	富士通(株)							265
事例名	復興支援の連携協力基本協定書締結							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	会津大学							
活動の概要	<p>会津大学との間で、東日本大震災からの中長期的な復興に向けた支援のための連携協力基本協定を締結するとともに、具体的な活動として、4月から3年間、 を活用したイノベーションを促進する人材の育成として「サービス・サイエンス」講座を開講する。</p> <p>会津大学は、地域経済社会の再構築と福島県を起点とした日本の産業活性化に貢献するため、2012年1月の「会津大学復興支援センター(仮称)」構想発表以降、富士通などの 関連企業と雇用創出として 人材などの育成や新たな産業創出、産業集積に向けた取り組みを進めてきた。</p> <p>今回、双方の強みを活かし、人材育成、スマートコミュニティ構築を目指した実証研究の推進、クラウドセンター活用など 分野で連携を進めながらイノベーションを促進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションを起こす人材の育成「サービス・サイエンス」教育講座を開講 ・スマートコミュニティの構築を目指した実証研究の推進 ・イノベーションをサポートするクラウドセンターの構築 							
効果	雇用創出を目的とした 人材の育成や新たな産業創出、産業集積を目指す。地域経済社会の再構築と福島県を起点とした日本の産業活性化に貢献する。							
事例に関する連絡先								

会社名	富士通(株)							266
事例名	創立記念日支給品を東北地方銘菓とする購買活動による復興支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県大船渡市							
プログラムの連携先								
活動の概要	例年、創立記念日に記念品の支給を行っているが、2011年度から復興支援を目的に記念品を東北地方銘菓としている。							
効果	2011年度はグループ会社を含め6万個、2012年度は8万個を購入し、産業復興支援の一助となった。							

事例に関する連絡先	総務人事部 総務部							
会社名	(株)フジテレビジョン							267
事例名	被災地支援「子どもおうえんプロジェクト」							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被災3県の各所							
プログラムの連携先	フジ・メディア・ホールディングス各社、FNS系列局、日本財団、早稲田大学平山郁夫ボランティアセンター							
活動の概要	<p>2011年3月11日の東日本大震災を受けて、CSR推進室とCSR推進プロジェクトチームは、3月18日に被災地支援『子どもおうえんプロジェクト』を立ち上げた。</p> <p>当初は、被災地のニーズに合わせた物資による支援を行い、6月以降は被災地の子どもたちの心のケアに重点をシフトさせながらフジテレビが持つノウハウを生かした各種イベントを開催している。2012年3月までに被災3県53カ所を訪れ、約5,000人(2012年3月31日現在)の子どもたちに対し食育イベントや朗読会を提供してきた。活動に参加したフジテレビアナウンサーは延べ36人、系列各局のアナウンサーは延べ17人に上る。</p> <p>2012年4月には、数年先までを見越した長期的・継続的支援を念頭に置いた『ずっとおうえんプロジェクト』と改め、被災地の子どもたちはもちろんの事、お年寄りやお父さんやお母さん、お姉さん、お兄さん、仮設住宅に住む方々などを対象にしたイベントで『失われたコミュニティ』を新たに形成する活動に取り組んでいる。</p> <p>【活動の詳細を掲載したホームページ】http://www.fujitv.co.jp/CSR/index.html</p>							
効果	活動を継続した結果、2012年7月末時点で活動実施回数は約60にのぼり、最近では保育園、幼稚園間の「口コミ」やホームページを通じた訪問依頼、また系列局を通じた依頼も増えており、活動が次第に浸透してきていると感じる。また、社内における活動の認知度もアップし、他部署の社員の積極的なサポートも得られている。さらに今年度の株主総会ではCSRニュース(小冊子)やビデオによる活動報告も行われるなど、結果的に自社のイメージアップにも貢献している。							
事例に関する連絡先	CSR推進室							

会社名	(株)フジテレビジョン							268
事例名	みちのく合衆国～いつでもNIPPON応援団!～							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県宮城県利府町							
プログラムの連携先	宮城県、仙台放送、福島テレビ、岩手めんこいテレビ							
活動の概要	<p>2012年3月17、18日の2日間にわたり、東北支援イベント『みちのく合衆国』を仙台市郊外(宮城県宮城県利府町)のセキスイハイムスーパーアリーナで行った。これは『お台場合衆国2011』の収益で実施されたもので、「バラエティDAY」、「めざましライブDAY」に被災3県からそれぞれ抽選で6,000人を招待した。「バラエティDAY」には、昨年の初代THE MANZAI王者のパンクブーブーを始め、博多華丸・大吉やチキチキジョニーなど計8組のファイナリストが集結し、渾身の鉄板ネタを披露。この様子は東北3県で生放送さ</p>							

	れた。また、2日めは、ピカルの定理 公開収録「コントキャラクター対抗のど自慢大会」を実施した。ピース、平成ノブシコブシ、ハライチ、モンスターエンジン、渡辺直美の「ピカルの定理」メンバーが登場した。「コントキャラクター対抗のど自慢大会」と題し、人気キャラクターに扮したメンバーがキャラになんだ歌を披露し、会場は大いに盛り上がった。また、被災3県、系列局とも協力し、地元の物産品の販売なども行い、期間中18,000人以上が来場した。被災地の活性化と復興に貢献した。
効果	被災地復興目的のイベントであり、被災地の人たちに楽しんでもらわないと意味がないという思いから、全国ネットでの告知はほとんど行わず、宮城・岩手・福島3県のネット局のみで告知を行った。(全国ネットで告知をしてしまうと東京からの来場者でいっぱいになってしまうことが危惧されるため)ただ、限定地域のみで告知でどれだけの来場者が見込めるかは未知数だったが、結果的には、事前応募で招待した12,000人以上にも6,000人が来場し、合計18,000人を超える人たちに楽しんでもらった。「被災地でこのようなイベントを開催してくれてありがとう」「楽しかった!」という多くの喜びの声をいただくことができ開催意義を強く感じた。
事例に関する連絡先	C S R 推進室

会社名	(株)フジテレビジョン				269			
事例名	ソーシャルムービー「JAPAN IN A DAY」製作							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	映画が公開される各地域							
プログラムの連携先	英国の映画制作プロダクション「スコットフリー」							
活動の概要	本取り組みは、自分のカメラで自分の「2012・3・11の日常」「軌跡の一步」を動画で撮影・投稿してもらい、その中の独創的な映像とフジテレビの取材映像等を、フジテレビと英国の映画制作プロダクション「スコットフリー」が集約・編集、1本の映画を作り上げていく「みんなで作る映画、ソーシャルムービー」プロジェクトである。映画の製作総指揮をとるのは、映画界の巨匠リドリー・スコットとトニー・スコットである。同プロジェクトを2012年2月末に発表後、日本を含む12カ国(日本、英国、米国のほか、フランス、ドイツ、中国、南極大陸など)から約8,000件の応募があり、300時間にもおよぶ「2012年3月11日」の映像が届けられた。完成した映画『JAPAN IN A DAY』は、2012年秋、日本を皮切りに世界でも劇場公開予定で、映画の収益の一部を被災地に寄付する。							
効果	映画公開前につき、現時点では回答できない。							
事例に関する連絡先	C S R 推進室							

会社名	富士電機(株)				270			
事例名	放射線量計の校正・試験拠点の開設							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								

プログラムの連携先	
活動の概要	放射線量測定の高まりを受け、放射線量計の増産をした。これに伴う校正・試験設備の増強を目的として、生産拠点である機器生産センター（東京都日野市）の分室を放射線量計の需要が高まっている福島県に開設した。本分室は、納入した線量計のアフターサービス拠点としても活用している。 （校正...測定された放射線量数値の信頼性を確認するため、実際に放射線を当て測定値の調整をすること） 【分室の概要】 名称：機器生産センター 郡山分室 所在地：福島県郡山市富田町 事業内容：放射線量計の校正・試験・アフターサービス 従業員数：20名
効果	現地の方々の安心、安全につながったと考えている。
事例に関する連絡先	社長室広報IR部

会社名	富士フィルム(株)					271					
事例名	写真救済プロジェクト										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	福島県、岩手県、宮城県、神奈川県、東京都など										
プログラムの連携先	被災地自治体及び写真救済に取り組む各種ボランティア団体										
活動の概要	<p>広範囲にわたる津波により、多くの写真やアルバムが被害を受けた。かけがえのない思い出を守るため、当社では写真救済プロジェクトの一貫として、さまざまな活動を行っている。</p> <p>2012年度もひきつづき、現地活動団体を訪問しての意見交換や、ボランティアリーダーが集まったの写真洗浄の技術情報の交換会等を開催して、写真救済に取り組んでいる。</p> <p>また、これらの取り組みは2012年7月の九州北部豪雨によって水没・汚損した写真の修復にも活かされている。</p> <p>【活動ホームページ】 http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/quake_revival/activity.html http://fujifilm.jp/support/fukkoshien/index.html</p>										
効果											
事例に関する連絡先	写真救済プロジェクト										

会社名	富士フィルム(株)					272					
事例名	富士フィルムRIファーマー(株)による放射線への対応										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	福島県広野町										

プログラムの連携先	経済産業省、文部科学省、広野町
活動の概要	富士フィルム R I ファーマは、1968 年の創業以来、様々な疾患の診断、治療方針の決定や予後の判定に役立つ放射性医薬品の研究開発・製造・販売を行ってきた。今回の震災においては、福島第一原子力発電所の事故を受け、グループ各社、さらには政府や行政からの要請に迅速に対応し、放射性物質による汚染検査や除染活動、放射能知識の講習会などを実施。企業の枠を越え、地域に密着した支援活動を行っている。 また、文部科学省からの依頼を受け、千葉事業所の社員が福島県内の放射線のデータ解析や土壌サンプリングにあたった。 【活動ホームページ】 http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/quake_revival/activity02.html
効果	
事例に関する連絡先	環境品質マネジメント部

会社名	富士屋ホテル(株)				273				
事例名	結婚式開催支援「絆ウェディング」								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	福島県相馬市								
プログラムの連携先	箱根・小田原プライダグ協議会								
活動の概要	東日本大震災の被災地である福島県相馬市の市民で、震災により結婚式を諦めざるを得なかったカップルを無償で招待し、結婚式を実施するものである。 平成 24 年 7 月 4 日～6 日にかけて、結婚挙式、衣装レンタル、ロケーションフォト撮影、結婚指輪、および 2 泊 3 日の旅行を 3 組の新郎新婦（両親含む）に贈った。								
効果	結婚の絆プロジェクト『絆ウェディング』として、箱根・小田原プライダグ協議会に加盟するホテル等が中心となり実施した。 このプロジェクトを通じて、被災者の希望の創出と、家族の絆を再確認することができた。								
事例に関する連絡先	婚礼宴会課								

会社名	(株)ブリヂストン				274				
事例名	東日本大震災復興支援ボランティア活動								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	陸前高田、気仙沼								
プログラムの連携先	陸前高田ボランティアセンター、気仙沼市復興支援センター								
活動の概要	月 2 回、1 班 20 人の社員によるボランティアを派遣している。 木曜日に出発し、金曜日と土曜日活動の二泊三日の日程である。現地では、ボランティアセンターから紹介された場所で、側溝掃除、農地再生、漁具整備、海岸清掃等の作業を実施している。2011 年 5 月より実施して、2012 年 6 月までに 27 班 732 名の社員がボランティアに参加した。								

効果	以下のような効果があった。 ・震災地域の復興支援の一助となった ・社内のボランティア活動の仕組みが整備された ・社員のボランティア活動に対する意識が向上した ・NPOとの連携の仕組み作りにつながった
事例に関する連絡先	ブランド推進部 社会活動課

会社名	(株)ブリヂストン					275		
事例名	「こっちゃ来たらいいべえbyブリヂストン」							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県の県外避難先の江東区、江戸川区、中野区、新宿区、練馬区							
プログラムの連携先	医療ネットワーク支援センター							
活動の概要	<p>福島県の県外避難者を対象に県外避難者同士のコミュニケーション支援を行う。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に日本科学未来館、10月に国立科学博物館で実施、年2回 ・定員は約100名 ・実施内容： <ul style="list-style-type: none"> 平野レミさんによる昼食及びトークショー タイヤカフェコーナー ビューティコーナー ゲームコーナー フォト撮影コーナー <p>6月の企画では、35名の社員がボランティアに参加した。</p>							
効果	以下のような効果があった。 ・個人情報保護法の制約から現状では連絡が取りづらい状態のなか、県外避難者同士のコミュニケーションの強化につながった ・本社地区のボランティア活動の仕組みが整備された ・手軽なボランティア活動のため、ボランティア参加に対する抵抗感が少なくなった ・直接避難者の方々と触れ合うことで、社員の震災に対する理解が深まった							
事例に関する連絡先	ブランド推進部 社会活動課							

会社名	(株)ブリヂストン					276		
事例名	「夢のつばさプロジェクト」							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	ブリヂストンの保養所がある奥多摩、軽井沢							
プログラムの連携先	お茶の水学術事業会							

活動の概要	幼稚園から高校生までの保護者を亡くしたおさんを対象に自立支援を行う。 【概要】 ・年二回、三泊四日のキャンプをブリヂストンの保養所で実施 ・定員は25名 ・大学及び学生ボランティアが主体 ・実施内容：都度企画 アスリートによるスポーツ指導 音楽家による演奏会 学生による学習補助 等々 ・ブリヂストンとしては保養所を提供するとともに資金面での支援を実施
効果	以下のような効果があった。 ・同じ境遇の子どもたちの仲間作り ・専門家の先生方による子どもたちへのサポート体制作り
事例に関する連絡先	ブランド推進部 社会活動課

会社名	(株)ベネッセホールディングス							277
事例名	教材等の提供							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	【主な取り組み】 進研ゼミ教材を被災地で子どもの学習支援活動を行っているNPOへ提供 提供先：NPO「カタリバ」「フローレンス」「チャンスフォーチルドレン」 高校生向けアクセスメントの提供 東北6県+茨城県70校、その他56校/延べ約60,000人 *2012年4～6実績 小中学生へのドリル提供 岩手県・宮城県・福島県 計34校 *2012年1学期実績 通信教育奨学制度 0歳～高校3年生までの孤児の方の家庭学習を支援するためベネッセの通信教育サービスを無償でお届けする制度で、東日本大震災をきっかけにスタートした。(被災地に限らず日本全国の方対象。)							
効果								
事例に関する連絡先	CSR推進部							

会社名	(株)ベネッセホールディングス							278
事例名	しまじろう、コラシヨの被災地訪問							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	岩手県...久慈市・宮古市・下閉伊郡・大船渡市、宮城県...気仙沼市・石巻市・登米市・東松島市・仙台市・牡鹿郡・名取市・亶理郡・相馬市・南相馬市、福島県...福島市・二本松市・安達郡・本宮市・郡山市・いわき市、その他...茨城県北茨木市・日立市、千葉県旭市 など
プログラムの連携先	
活動の概要	しまじろうの被災地訪問：子どもの運動不足解消や笑顔のきっかけとなるよう、被災地 60 カ所 で「こどもチャレンジ」講座のキャラクター「しまじろう」の応援イベントを実施し、延べ 13,000 人以上の親子が参加した。 コラシヨの被災地訪問：進研ゼミ小学講座のキャラクター「コラシヨ」が被災地の小学校などを訪問し、子どもたちに文房具セットなどをプレゼントした。
効果	
事例に関する連絡先	C S R 推進部

会社名	(株)ベネッセホールディングス					279		
事例名	ベネッセグループボランティア活動							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県大槌町・釜石市							
プログラムの連携先								
活動の概要	ベネッセグループでは 2011 年度よりグループ内でボランティア希望者を募りボランティア活動を実施している。 2011 年度の活動 ・ 10～11 月に全 3 回実施 約 60 名参加 ・ N P O と連携しての大槌町の河川清掃や母と子のためのイベント（釜石市）の運営スタッフとしての活動 ・ 被災地を知るラーニング など。 2012 年度の活動 ・ 7～10 月に全 4 回実施 約 80 名参加（予定） ・ 幼稚園や児童クラブでの学習・遊び支援 ・ 被災地を知るラーニング など。 今後も、被災地のニーズに合わせベネッセらしい活動を継続的に行っていく予定である。							
効果								
事例に関する連絡先	C S R 推進部							

会社名	ボッシュ(株)					280		
事例名	東松島市への支援活動「ドイツのサンタがやって来た！」「ボランティア活動・交流会」							
無償 / 有償支援	無償・廉価	有償	本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県東松島市							

プログラムの連携先	宮城県東松島市、市内の保育所
活動の概要	<p>ボッシュ・グループは、東日本大震災により甚大な被害を受けた被災地のひとつである宮城県東松島市に、ボランティア活動などの人的支援を含め、継続的に復興支援を行っている。</p> <p>その一例として、2011年12月6日ドイツの聖ニコラウスの日（St. Nikolaus Day）に、宮城県東松島市の被災した保育所の子供たち向けに、これからも元気と笑顔でいて欲しいという願いと、そしてドイツ式のクリスマスをぜひ体験していただきたいとの思いから「ドイツの聖ニコラウス（サンタ）がやって来た！！」というイベントを開催した。当社取締役副社長のヘルベルト・ヘミングがドイツのサンタクローズである聖ニコラウス（St. Nikolaus）に扮し、ボッシュが寄贈したコンテナハウスの1つである鳴瀬仮設保育所など3つの保育園を訪問し、ドイツ製の木玩具とクッキーを子供たちにプレゼントした。東京横浜ドイツ学園の生徒には、コーラスと手作りクッキーのプレゼントの協力を得た。本イベントは、今後も毎年実施予定である。</p> <p>http://www.bosch.co.jp/jp/press/rbjp-111206-01.asp</p> <p>また、当地でボッシュ・グループとしてのボランティア支援活動を実施している。電動工具を使用した仮設住宅にお住まいの方向けの木製ベンチ制作、花壇作り、仮設集会所での交流会等を実施した。</p>
効果	<p>「ドイツの聖ニコラウスがやって来た！」では、被災地へ一足先のクリスマスとして子供たちへ笑顔を届けられた。さらにドイツ企業ならではのイベントを通じて、ドイツという国や文化を身近に感じて頂けた。</p> <p>また、ボランティアとして現地を定期的にお伺いする事で、刻々と変わる被災地の様子を見ることが出来、被災地の方との対話を通じて、ニュースには上がらない様々な現実を教えて頂いた。</p>
事例に関する連絡先	ボッシュ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

会社名	ボッシュ(株)					281		
事例名	「世界に羽ばたこう！サッカー教室 in 東松島」							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県東松島市							
プログラムの連携先	宮城県東松島市 復興対策班、教育委員会							
活動の概要	<p>ボッシュ・グループは、東日本大震災以降継続している宮城県東松島市への復興支援活動の一環として、2012年6月20日、同市内にある小野小学校全校生徒126人および矢本第二中学校のサッカー部員37人を対象に「世界に羽ばたこう！サッカー教室 in 東松島」を開催いたしました。</p> <p>このイベントは、ドイツブンデスリーガの名門チームVfBシュトゥットガルトの協力のもと、同チームに所属する日本人選手である岡崎慎司選手と酒井高徳選手に参加いただき、子供たちに対して、震災に負けず、両選手のように世界で活躍する人になって欲しいというメッセージを込めて開催しました。</p> <p>今回のイベントの開催にあたっては、ボッシュ・グループが本社を置くドイツ・シュトゥットガルトを拠点に活動するチームであるVfBシュトゥットガルトに協力をお願いしたところ、快諾をいただき実現したもので、チームの代表として岡崎選手と酒井選手に参加していただきました。なお岡崎選手は出身地が兵庫県宝塚市で、1995年に起きた阪神大震災の経験者でもあり、今回の主旨に積極的に賛同いただきました。</p> <p>内容は、「夢を実現するために」をテーマにしたお話や実技指導、両選手が参加してのミニ・ゲームなどを実施しました。なお開催にあたっては、東松島市役所と東京横浜独逸学園のユースサッカーチームのご協力をいただきました。</p> <p>http://www.bosch.co.jp/jp/press/rbjp-1206-03.asp</p>							
効果	<p>イベント終了後、東松島市の阿部秀保市長は、「子供たちにとっては憧れのサッカー選手ですので、両選手から元気と希望と勇気をいただきました」とコメントを述べられました。</p>							
事例に関する連絡先	ボッシュ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部							

会社名	ボッシュ(株)					282
事例名	「ドイツの豊かな音楽に触れる秋の夕べ シュトゥットガルト室内管弦楽団 東松島市公演」					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県東松島市							
プログラムの連携先	宮城県東松島市復興政策班、教育委員会							
活動の概要	<p>2012年11月8日(木) 弊社が本社を置くドイツ・シュトゥットガルトを本拠に活動するシュトゥットガルト室内管弦楽団によるコンサートを企画している。</p> <p>地元の中学校でのミニコンサート後、18:30より東松島市コミュニティーセンターにて東松島市民の方(約400名)をご招待し、東松島市・東松島市教育委員会の方々のご協力の下、「ドイツの豊かな音楽に触れる秋の夕べ シュトゥットガルト室内管弦楽団 東松島市公演」を実施予定である。</p> <p>ヨーロッパでもっとも歴史ある室内管弦楽団の最高峰の演奏を通じて、東松島市の皆さんに伝統と独創性に富むドイツの豊かな音楽文化や歴史を身近に感じていただくと同時に、秋の夕べにやすらぎのひとつをお過ごしいただければと考えている。</p>							
効果								
事例に関する連絡先	ボッシュ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部							

会社名	本田技研工業(株)					283		
事例名	被災地の小学校におけるASIMO特別授業の実施							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東北3県のほか、千葉、長野、山形各県							
プログラムの連携先	各県や市町村の教育委員会、小学校							
活動の概要	<p>東日本大震災で被災された地域の小中学生を対象に「ASIMO特別授業」を開催する。このプログラムは、Hondaの二足歩行ロボットASIMOが、その歩く仕組みを実演を交えて説明するだけでなく、「二足で歩くロボットをつくりたい」という開発者の夢が実現するまでの歴史を紹介することで、子どもたちに、夢見る力と笑顔を取り戻してもらおうと願い、実施している。学校の授業にあわせた45分間の授業形式で、ASIMOがサッカーボールを蹴る場面や、ジュースをトレイに載せて運ぶ場面などは、特に印象的な場面として好評を得ている。</p>							
効果	<p>授業に参加した子どもたちは、ASIMOに興味津々で、楽しみに待っていた様子や喜びが手に取るようにわかった。ヒアリングや開催後アンケート等から、「なかなか本物を見る機会がない。本物を見たり、本物に触れたりすることで、未来に向けて視野を広げたり、夢を持ち、夢に向かって努力しようという気持ちを持って欲しいと思っている」という学校ニーズに対し、「期待通り、子どもたちはメッセージを感じ取ってくれたと思う」との評価をいただいている。また、普段は学校のことをあまり話さない子が、「今日学校にASIMO君が来たんだよ」というように話をしてくれたというケースもあり、子どもたちの経験としてプラスになっていることが伺えた。</p>							
事例に関する連絡先	総務部 社会活動推進室							

会社名	本田技研工業(株)					284
事例名	ビーチクリーン活動					
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない

実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東北3県のほか、青森、茨城各県							
プログラムの連携先	地元のHondaグループ会社、地元自治体、地域住民							
活動の概要	観光産業の復興や地域コミュニティの復興支援として、東日本大震災によりガラスや金属片等が多く残っている海岸を再び素足で歩ける砂浜に戻すことを目的に、Honda独自開発のビーチクリーナーを活用した清掃活動である。これは、機材を使った清掃だけではなく、地元の自治体、地域住民の皆さん、および地元のHondaグループ会社が、自分たちの地元の浜を自らの手できれいにする手拾いでの清掃も行う、協働の清掃活動である。							
効果	清掃後の浜は、地元住民の方も大変驚かれるほど美しくなり、細かなガラス片まで取り除くことができた。参加された地域の方々からは、「ここは家族で遊んだ思い出の浜。大きな瓦礫は片付いたとはいえ、まだまだガラス片も多く、素足で歩くのは難しい状況だ。そんな中、ビーチクリーンをしていただき、嬉しい限りである。これからも参加していきたい。」といった声や、「震災2年目を迎え、早くこの砂浜に子どもたちの歓声や、家族の笑い声が戻り、復興に一歩ずつ進んでいければ良いと思う。」など、力強い言葉をいただいている。							
事例に関する連絡先	総務部 社会活動推進室							

会社名	本田技研工業(株)					285		
事例名	復興支援・住宅エコポイント制度への参画							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東北3県のほか、その他の特定被災地域(青森、茨城、栃木、埼玉、千葉、新潟、長野)							
プログラムの連携先	国土交通省・経済産業省・環境省(住宅エコポイント事務局)(株)JCB、Hondaグループ会社							
活動の概要	国土交通省、経済産業省および環境省が実施する「エコポイントの活用による環境対応住宅普及促進事業『復興支援・住宅エコポイント事業』」に参画し、2012年6月1日より交換対象商品の提供を開始した。							
効果	「復興支援・住宅エコポイント」の交換対象商品として、二輪車・四輪車・汎用製品と多岐にわたるHonda商品を選択できるようにした。これにより被災地復興に必要な商品の購入、Honda販売店における点検整備費用への充当、被災地域内で生産された部品を使用した製品販売の促進につながり、被災地内に工場を持つお取引先メーカーまでを含めた広範囲な側面支援となることを期待している。							
事例に関する連絡先								

(7) 実行

会社名	前田建設工業(株)					286					
事例名	前田建設工業企業ボランティア活動										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	陸前高田市										
プログラムの連携先	陸前高田ボランティアセンター、陸前高田市川原地区、など										
活動の概要	<p>当社では、東北地方の復旧・復興に向け、少しでも協力しようと「MAEDA 企業ボランティア」を企画した。6月末から活動を始め、2011年度は月1回のペースで11回実施し、延べ270人の職員・ご家族のご協力により、東北地方の復旧復興を支えることができた。</p> <p>震災以降1年間の活動により、現地では当社の活動を理解頂き、継続した活動の依頼も受け、また復旧復興が進むにつれて「忘れられること」を危惧している声を聞いた。このようなことから2012年度も継続して行うことを決定し、9月末現在まで、5回実施し、延べ100人の職員・ご家族に参加いただいている。</p> <p>企業ボランティア開始当初の活動内容ががれきの撤去作業、田畑あぜ道や山沿いの草刈などが中心だったが、時間とともに現地の状況やニーズが変化しているため、現地職員の情報にアンテナを張りながら、その時々に見合った活動をするように心がけている。現在は主に、地元の方々との触れ合いを重視し、活動内容を組むようにしている。東北地方の復旧・復興を考えると、企業ボランティアで行っている活動は小さなものかもしれない。ただし、当社では、我々を含めボランティアを行っている人々の姿が、現地の方々に希望と勇気を与えていると考えている。この積み重ねが人と人を繋げ、活力を生み、東北地方の復旧・復興に向けて大きく前進することを切に願って活動している。</p>										
効果	<p>1年以上活動を継続していることもあり、現地の認知度は非常に高く、またその反応も非常に良い。別の団体とともに協働する活動についてもいくつか模索しているところである。さらに、単に参加するだけでなく、現地の情報を多くの方に広げるよう努力するなど社員1人ひとりの意識に変化が見られるとともに、社内においても、役員・上位職の方々の理解を得て、継続した活動を支援いただいている。</p>										
事例に関する連絡先											

会社名	前田建設工業(株)					287					
事例名	海岸林再生プロジェクト10ヶ年計画										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	宮城県名取市										
プログラムの連携先	(公財)オイスカ										
活動の概要	<p>宮城県名取市は仙台空港が近くにあり、野菜の一大生産地であった。その海岸に植えられた海岸林は、約400年前より植林され、暴風、飛砂、潮害、高潮などから人々の生活を守ってきた社会インフラであったが、東日本大震災の津波により被災し、全て流された。</p> <p>「海岸林再生プロジェクト10ヶ年計画」は、公益財団法人オイスカと名取市海岸林再生の会が進める、名取市の海岸沿い延長5km、約100haの海岸林を約10カ年かけて再生するプロジェクトである。本プロジェクトは、約50万本のクロマツや広葉樹の生産を計画し、それに付随する雇用創出も目指している。当社は、この</p>										

	プロジェクトに賛同し、育苗場のプレハブ事務所や防風ネットなどの資機材を提供するとともに、環境ボランティア活動として、2012年3月の2日間にわたり、社員や家族約30名で、雪が残る中、育苗場（名取市下増田北原東）の防風ネット設置作業を行った。今後も資機材の提供、海岸線の育林・保全のための下草刈りや清掃などを、オイスカや地域住民とともに継続的に取り組む予定である。
効果	地域住民との繋がり、意見の交換などが直接できるため、参加者には貴重な体験となる。またオイスカとの協働活動を通し、お互いを理解し会えた上で、その他の社会貢献・環境活動へと繋げられる可能性もある。他団体とともに活動することにより、より活動の幅が拡大する効果が出ている。
事例に関する連絡先	

会社名	マツダ(株)				288
事例名	国内販売点お客さま満足度アンケートご回答1件につき50円を寄付				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組 織への支援 県外避難者 支援 その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県 その他
具体的地域					
プログラムの連携先	あしなが育英会「東北レインボーハウス(仮称)」プロジェクト				
活動の概要	マツダの国内販売店1では、自動車を購入したお客さま、または整備・点検などを受けたお客さまに、「販売店の対応・サービスに対するご満足度」をお聞きするウェブアンケート(名称:お店についてのアンケート)を実施している。震災被災地の復興支援を目的に、対象期間中の当アンケートへのご回答1件につき50円を、マツダが寄付する。 1一部の販売店では、このウェブアンケートを実施していない場合もある。 (参考) http://www.mazda.co.jp/csr/social/earthquake/				
効果					
事例に関する連絡先	CSR・環境部				

会社名	マツダ(株)				289
事例名	環境イベントで被災地のカーボンオフセットクレジット購入を通じ支援				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組 織への支援 県外避難者 支援 その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県 その他
具体的地域					
プログラムの連携先	カーボンフリーコンサルティング(株)				
活動の概要	環境イベントでカーボンオフセットクレジット購入を通じ、被災地支援の寄付を行う。本スキームは、国内クレジット制度の仕組みを通じて、排出削減事業者が得た売却代金の半額を被災地に寄付するものである。エコプロダクツ2011、サステイナブル"Zoom-Zoom"フォーラム2012において、「被災地復興支援型国内クレジット」購入を通じたCO2オフセットプログラムに参加した。 【参考サイト】 http://www.mazda.co.jp/csr/social/report/2011/eco2011.html http://www.mazda.co.jp/csr/social/report/2012/mryevent.html				

効果	
事例に関する連絡先	C S R ・ 環境部

会社名	マツダ(株)						290		
事例名	マツダ財団を通じた事業助成								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先	市民団体								
活動の概要	<p>(公財)マツダ財団では、科学技術振興と青少年健全育成の2つの領域について、研究助成と事業助成を中心にさまざまな活動を行っている。2012年度の市民活動支援では、東日本大震災復興支援という視点で助成募集を行い、3件の助成を決定した。</p> <p>(公財)マツダ財団のHP...http://mzaidan.mazda.co.jp</p>								
効果									
事例に関する連絡先	C S R ・ 環境部								

会社名	丸紅(株)						291		
事例名	東日本大震災復興支援・丸紅グループボランティアプロジェクト								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	宮城郡七ヶ浜町								
プログラムの連携先	七ヶ浜町ボランティアセンター								
活動の概要	<p>2012年6月27日から7月21日の間、3泊4日×4クルの災害復興支援のための社員ボランティアを派遣した。</p> <p>宮城県宮城郡七ヶ浜町の災害ボランティアセンターと連携し、海岸の清掃を中心に清掃等の活動を行った。本ボランティア派遣は、以前共同で行った芙蓉グループ(沖電気工業、みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命)と共同で行い、当社からは59名、総勢121名が参加した。</p>								
効果	被災地の現場に実際に足を運びボランティア活動を行ったことで、参加者に当事者意識が芽生え、活動の意義・継続性について周囲に呼びかけたいとの声が多く聞かれた。その後のボランティア活動参加者の輪が広がった。								
事例に関する連絡先	総務部総務課								

会社名	丸紅(株)						292
事例名	新入社員総合職 東北復興支援研修						

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県七ヶ浜町									
プログラムの連携先	七ヶ浜町ボランティアセンター									
活動の概要	新入社員研修として7月8日～7月11日、7月18日～7月21日の3泊4日×2クール開催し、災害復興支援に126名が参加した。宮城県宮城県七ヶ浜町の災害ボランティアセンターと連携し、海岸の清掃を中心に活動を行った。本活動の目的は、昨年6～7月に実施した復興支援ボランティア活動に続き、丸紅グループとして被災地復興を継続して支援すること、ボランティア活動を通じて、命の尊さ、他者の為に尽くす事の大切さなどの貴重な気付きの場とすることであった。									
効果	ボランティア活動の中で共同作業を行うことにより、新入社員同士の一体感が深まった。被災地の現場に実際に足を運びボランティア活動を行ったことで、参加者に当事者意識が芽生え、自発的なボランティア精神が醸成された。									
事例に関する連絡先	総務部総務課									

会社名	丸紅(株)							293			
事例名	「ありがとう七ヶ浜・海まつり」に対する運営協力および機材寄贈										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県七ヶ浜町										
プログラムの連携先	七ヶ浜町ボランティアセンター										
活動の概要	東日本大震災の被災地復興支援として当社が継続してボランティアを派遣している宮城県七ヶ浜町には、東北地方有数の砂浜である菖蒲田浜海水浴場がある。2012年7月、復興途上ではあるものの海水浴が可能な状態にまで清掃が進んだこの砂浜にて海開きイベント「ありがとう七ヶ浜・海まつり」が開催された。本イベントに関する協力依頼を受け、運営に必要な機材調達費用等を協力した。また、砂浜を清掃するピーチクリーナーを寄贈した。										
効果	丸紅グループを含むさまざまなボランティアの活動によって、白い砂浜がよみがえり、復興への第一歩として行われた「ありがとう七ヶ浜・海まつり」に開催されたことは、ボランティア参加者には更なるボランティア精神が醸成され、また地元住民の方との信頼感が高まった。										
事例に関する連絡先	総務部総務課										

会社名	(株)みずほフィナンシャルグループ							294			
事例名	被災地での社員のボランティア活動										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県七ヶ浜町							
プログラムの連携先	七ヶ浜町ボランティアセンター							
活動の概要	2011年度から2012年度にかけて被災地に社員を派遣し、復興支援ボランティア活動を行っている。2011年6月から7月に5クール、10月～12月に8クール、2012年6月～7月に4クールを実施し、グループ会社の社員延べ168名が参加し、瓦礫の撤去、個人宅の清掃、海岸清掃、畑の再生作業に従事した。この被災地でのボランティア活動は、他社(複数社)と共同で企画運営しており、社員も合同参加の形態となっている。							
効果	復興支援に少しでも携わりたいとの想いを実現する機会を提供した会社に対し、誇りを感じる社員が増えた。また、ボランティア休暇取得への職場内での理解が広がり、より社会貢献活動に参加しやすい土壌形成に貢献できた。また、他社との合同実施のため、相互の交流から社員の視野を広げることができた。							
事例に関する連絡先								

会社名	三井化学(株)					295				
事例名	次世代育成活動「ふしぎ探検隊」									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	気仙沼市、南三陸町									
プログラムの連携先	認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)									
活動の概要	2011年10月～2012年3月まで、三井化学の持続的な震災支援活動の一環として、PWJが主催している被災地の小学生を対象とした「子どものケア支援」活動に「ふしぎ探検隊()」を派遣した。 ふしぎ探検隊...次世代を担う子どもたちに化学の楽しさと可能性を伝えたい、という思いから始まった化学実験教室 全国の「ふしぎ探検隊」登録メンバーから参加者を募り、計4回気仙沼市の仮設住宅・集会所や児童館で実験教室を開催した。 2012年9月からは地域のコミュニティを活性化させるPWJのプロジェクトの活動に「ふしぎ探検隊」を派遣する。									
効果										
事例に関する連絡先	CSR部									

会社名	三井化学(株)					296				
事例名	当社開発品「熱遮断フィルム」の仮設住宅への貼付け									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			

具体的地域	宮城県山元町
プログラムの連携先	山元町社会福祉協議会
活動の概要	2011年7月に当社が開発した熱遮断フィルムを仮設住宅の窓に施工し、被災者の方々の生活環境改善に貢献した。 2012年6月には、昨年施工した被災者の方々から今年も施工してほしいとの依頼を受け実施した。
効果	
事例に関する連絡先	C S R 部

会社名	(株)三井住友銀行					297					
事例名	継続的な被災地でのボランティア活動、県外避難者との交流活動										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他			
具体的地域	東松島市、石巻市、七ヶ浜町、山元町等										
プログラムの連携先	NPO法人 Smile Seed、(一社)OPEN JAPAN、千代田区社会福祉協議会、等										
活動の概要	有志社員を募り被災地でのボランティア活動を2010年6月より継続的に行っている。合わせて震災復興特別休暇の創設等、企業としても社員が参加しやすい環境整備を行った。2011年度は8回で426人(日数換算・延べ)が参加し、2012年度以降も継続的に行っている。 初期の活動内容は、泥のかき出し、民家の瓦礫撤去、写真の整理、海岸の流木・倒木の撤去などが中心であったが、現在では、地域のNPOと連携し、植樹・植栽や仮設住宅の訪問や祭りの手伝いといった心のケアにつながる取り組みの実施、夏休み期間中を利用し家族(含む子ども)も参加可能な活動の企画なども行っている。 また、別途、東日本大震災の被害により東京都千代田区に避難されているご家族を定期的に訪問し、子どもたちと一緒に遊ぶなど、心のケアにつながる取り組みを継続実施している。										
効果	企画は、NPOとの連携により、地域のニーズに対応するものになっている。また、有志社員が実際に被災地を訪れ、直接地域の方々やNPOと触れ合っている。そのため、参加を通じて、被災された方々の気持ちやニーズを知ることが出来ている。また参加した社員同士の横の連携も形成され、自主的・継続的な情報共有や提案の場が出来た。										
事例に関する連絡先	経営企画部CSR室										

会社名	(株)三井住友銀行					298					
事例名	三井住友銀行ボランティア基金内特別募金「東日本大震災支援募金」										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他			
具体的地域	岩手・宮城・福島・茨城の各県庁、宮城県下の災害ボランティアセンター等										
プログラムの連携先											

活動の概要	当社では従来より、有志役員および社員の給与から毎月100円を天引きして積み立て、ボランティア団体に寄付する「三井住友銀行ボランティア基金」を行っている。東日本大震災を機にこの基金内に「東日本大震災支援募金」として、使途を震災被災地支援に限定した特別募金（毎月400円）を創設した。第一回目寄付を宮城県・岩手県・福島県・茨城県の災害対策本部に、第二・三回目寄付を宮城県下の4つの災害ボランティアセンター等（当社の有志社員がボランティア活動を行った地域）に対して実施した。寄付実施の際には、当行からも募金と同額のマッチングギフトを実施しているほか、有志社員が行うボランティア活動費用の一部にも拠出している。
効果	社内のイントラネットを通じて随時加入できることから、継続的な支援方法の一つとなっている。また、第二回からの寄付先は、有志社員がボランティア活動を実施した地域であることから、地域の方々より多面的な支援として感謝いただいている。また、有志社員の被災地でのボランティア活動費用の一部にも拠出していることから、ボランティア活動に参加している社員自身からも、多くの社員からのエールを感じながら活動に取り組んでいるという声を聞いている。
事例に関する連絡先	経営企画部CSR室

会社名	(株)三井住友銀行							299
事例名	三井住友銀行チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東京都							
プログラムの連携先	NPO法人子供地球基金							
活動の概要	社員100名の演奏・40名の運営ボランティアによる手作りコンサートを継続開催し、会場で、東日本大震災被災地等の子どもたちを支援するNPO法人子供地球基金への寄付を募っている。 会の冒頭に、NPO代表に被災地の現状を伝えるスピーチを行っていただくとともに、ロビーには被災地の子どもたちが、アートセラピーの過程で描いた絵画を飾り、想いを伝える内容としている。また全国の社員に呼びかけ手芸品をチャリティー販売している。会場には、震災被災地より東京に非難されている方々もご招待している。 2011年度に会場で集まった募金やグッズ等の売り上げは全額、NPOにより開催翌日、津波で流されてしまった宮城県下の小中学校に電子ピアノとして届けられた。							
効果	社員だけでなくお客さまと一緒に取り組みを行っている。また、NPOと協働することで、東京で開催するイベントであっても現地の実状にあった支援が実施できている。							
事例に関する連絡先	経営企画部CSR室							

会社名	三井生命保険(株)							300
事例名	被災地ボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市							
プログラムの連携先	NPO法人NICE、NPO法人Tree Seed							

活動の概要	被災地への継続的な支援による復興を目指し、またCSR活動の一環として、岩手県陸前高田市（平成23年12月）および宮城県気仙沼市（平成24年4月）にて、苗木の植栽による被災地の緑化を中心にしたボランティアを行い、当社社長をはじめとする当社従業員総勢55名が参加した。 陸前高田市では、仮設住宅を訪問し「『市の花』に指定されているツバキの苗木プレゼント」、「緑を取り戻すための開墾作業」の活動に参加し、復興のお手伝いをした。 気仙沼市では、震災前には様々な花が植えられていた鹿折地区の街道沿いの花壇を蘇らせるため、花壇に残されたがれきを撤去したうえで、「芝桜の苗200株を植える活動」を行うとともに、「仮設住宅での炊き出し」を行った。 さらに、ボランティア参加者によるダイアログを実施し、参加従業員がステークホルダーの生の声を聞いた。
効果	従業員参加型にすることにより、従業員のCSRに対する意識が向上した。被災地でダイアログを行い、ステークホルダーの生の意見を聞くことにより、現在の課題を洗い出すことが出来た。
事例に関する連絡先	企画部 企画第一グループ

会社名	三井物産(株)							301	
事例名	三井物産環境基金 東日本大震災復興助成								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	東北地方のみならず、長野県北部地震の被害を受けた長野県栄村や新潟県も含む								
プログラムの連携先	環境・社会貢献部 社有林・環境基金室								
活動の概要	三井物産環境基金では2005年から地球環境に取り組む「活動」と「研究」に対して寄付を実施してきたが、昨年度から震災をきっかけに「東日本大震災復興助成」として、震災によって発生した様々な環境問題を改善・解決し、持続可能な地域の再生を目指す活動と研究に対して助成を行っている。 昨年度の募集にあたっては、その緊急性の高さから、通常の年2回の募集ではなく、5月末、6月末、7月末、11月末の年4回の募集を行い、決定した案件から順次寄付を実行した。その際、被災地で必要とされている活動や研究の機を逃さぬよう配慮した。応募案件は総計711件に上り、厳正な審査を経て、最終的に77件、総額9億4,330万円の助成を決定した。また昨年度下期には、通常環境問題を対象にした「一般助成」も募集し、199件の応募案件から21件、1億8,722万円の助成を決定した。								
効果	具体的な助成案件としては、岩手県住田町における太陽熱温水器設置の「つながり・ぬくもりプロジェクト」、陸前高田市・大槌町における「三陸沿岸部被災地における自然と共生する復興の里づくり事業」、気仙沼近郊の「舞根湾のがれき清掃活動ならびに生物環境モニタリング」などがある。助成を受けた団体は、被災地の住民・漁民・行政との連携や、NPO・大学間の連携などを通じ、被災地におけるコミュニティ再生支援や仮設住宅支援、漁業・農業復興支援、放射線・環境汚染対策、生態系調査などさまざまな活動・研究で具体的な成果を上げ、着実に復興に貢献しつつある。								
事例に関する連絡先	環境・社会貢献部 社有林・環境基金室								

会社名	三井物産(株)							302	
事例名	役職員被災地ボランティアの継続								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		

具体的地域	石巻市内、牡鹿半島、南三陸町ほか
プログラムの連携先	NPOと連携
活動の概要	個人の自由参加による役員被災地ボランティア・プログラム（家族・一部国内子会社含む）を昨年5月に開始した。NPO法人と連携し、会社が現地宿泊と被災地内での移動手段を手配し同費用を負担、2泊3日～3泊4日の活動を支援した。4月以降も被災地のニーズの変化に対応しながら継続している。
効果	個人の自主参加としたが、延べ698名（2012年6月末現在）と積極的な参加があった。これまで当社社員のボランティア活動は必ずしも活発とは言えない傾向にあったが、今回の震災で新たなブレイクスルーが生じたと言える。
事例に関する連絡先	環境・社会貢献部 社会貢献室

会社名	三井物産(株)				303			
事例名	「東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金」への寄付							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東日本大震災消防殉職者遺児がいる地域全般							
プログラムの連携先	(財)消防育英会							
活動の概要	被災地域の安全確保の為に水門閉鎖、避難誘導、救助等にあたり自らの命を落とした消防殉職者の遺児に対する同基金へ、年間2,000万円を平成24年から同28年までの5年間にわたり寄付する。							
効果	同基金は当社役員義援金の寄付先でもある。同基金は、育英資金の募集に出遅れたため、未だに支援が不足しており、同会の透明性ある従来のスキームに則った奨学金支給を当社が支援することは意義ありと判断した。ただし、上記基金が受領する寄付額が目標の累計額5億円に達した時点で当社寄付は終了する。							
事例に関する連絡先	環境・社会貢献部 社会貢献室							

会社名	三井不動産株式会社				304			
事例名	笑顔をここから！復興支援プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>三井不動産グループの商業施設では、「笑顔をここから！」をスローガンに被災地の方々へ元氣と笑顔を届けるべく、復興支援の様々なイベントやキャンペーンを継続実施している。</p> <p>被災地復興支援金の寄贈</p> <p>2011年3月14日～2012年3月31日の間「東日本大震災に対する救援金募金活動」を実施。救援金は社会福祉法人中央共同募金会を通じて被災地復興支援金として寄贈（14,387,231円）</p> <p>「おかしの家をとどけよう！」イベント＆「みんなでつくろう！おかしの家」ワークショップ実施</p> <p>三井不動産グループの商業施設全国25施設にて「おかしの家」づくりワークショップ（1口500円以上の募金）もしくは募金（100円以上）に参加いただき、参加口数に応じて、東日本大震災にて被災した地域の子</p>							

	<p>供たちへ、森永製菓協力による「おかしの家」づくりキットをプレゼント。お客さまの支援により集まった「おかしの家」づくりキットは三井アウトレットパーク 仙台港、ララガーデン長町、LALA ガーデンつくば（以上宮城県仙台市）および岩手県宮古市立山口小学校にてワークショップを実施し、被災された地域の子どもたちに届けた。</p> <p>がんばろう福島イベント実施</p> <p>ららぽーと TOKYO-BAY にて福島県の農産物等を PR するイベントを複数回実施</p> <p>その他多数実施</p>
効果	被災地域の方々を直接、間接的に支援するイベントを全国の当社商業施設で継続的に実施することにより、震災の風化を防ぐとともに、ささやかながらも被災地支援に資することができている。
事例に関する連絡先	商業施設本部 商業施設運営事業部

会社名	三井不動産株式会社					305					
事例名	LIGHT UP NIPPON への協賛										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域	岩手県：野田村、宮古市田老地区、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市三陸町越喜来、陸前高田市 宮城県：気仙沼市、石巻市雄勝町 福島県 南相馬市、会津美里町、広野町、いわき市										
プログラムの連携先											
活動の概要	東日本大震災の被災地十数か所で、追悼と復興の祈りを込めた花火を同時に一斉に打ち上げるイベント“LIGHT UP NIPPON”(2012年8月11日実施)に協賛した。 本イベントは 地震・津波で亡くなった方々への追悼と被災地復興への祈り 子供やお年寄りを中心とした被災地の心のケア 失われつつあるコミュニティの復活とイベント実施による被災地の活性化 を目的に実施された。										
効果	・地元の祭り等が中止になる中、地元復興のために花火大会を実施することで地元の方々に明るさを届けることができた。 ・気仙沼ではライブも行い、都内から人が集まったようで、地元の経済活性化に貢献することができた。										
事例に関する連絡先											

会社名	(株)三越伊勢丹ホールディングス					306					
事例名	(株)三越伊勢丹による KISS THE HEART #1										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県		福島県			その他		
具体的地域											
プログラムの連携先	TOKYO FRONTLINE、こども芸術の家プロジェクト										
活動の概要	首都圏基幹3店舗（新宿伊勢丹本店、日本橋三越本店、三越銀座店）のショーウィンドー合計21カ所を活用し、若手アーティストの震災をテーマにした作品を展示し、1ヵ月後にチャリティオークションにて作品を販売した。このチャリティ金額は、こども芸術の家プロジェクトに寄付した。										

効果	被災地の未来を担う子どもたちへの、芸術を通じた支援となった。また、親子や一緒に活動したコミュニティの絆を深めるイベントとなった。							
事例に関する連絡先								
会社名	(株)三越伊勢丹ホールディングス						307	
事例名	(株)仙台三越による石巻三越移転再オープン							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先								
活動の概要	石巻三越は、震災でクローズしていた。石巻地区の復興支援の一助として、2011年11月15日に石巻駅前ビル「エスタ」にて臨時店舗で営業を再開した。そして、3月8日に石巻立町に移転し、新規オープンした。							
効果	地元の方の雇用、街の活性化につながった。							
事例に関する連絡先								

会社名	(株)三越伊勢丹ホールディングス						308	
事例名	(株)仙台三越による社員ボランティア							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先								
活動の概要	仙台三越では、3月1日を「震災を忘れない日」として店舗休業日とし、従業員有志によるボランティア活動を実施した。仙台三越従業員180余名によるボランティア活動では、3月8日(木)に三越石巻が新規オープンする立町商店街を中心に、挨拶回りや商店街の清掃、石巻市の花であるツツジのプランター100鉢の設置をおこなった。また、石巻市内の幼稚園へ「グランパバ」の玩具を寄贈するために訪問した。							
効果	被災し、復興もままならない石巻の応援になった。							
事例に関する連絡先								

会社名	三菱化学(株)						309	
事例名	南三陸町歌津漁協の報告書作成支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東京都							
プログラムの連携先	ピースウィンズ・ジャパン (PWJ)							
活動の概要	NPO団体(ピースウィンズ・ジャパン)からの依頼を受け、当社のシステム関係の子会社である菱化システムでは、東京において自分たちの専門分野であるシステムの設計や打ち込み作業を実施し、南三陸町歌津漁協の災害復旧報告書作成を支援した。							
効果	専門分野が災害支援に役立ったことで、参加した社員の支援に対するモチベーションが向上した。							
事例に関する連絡先	総務部総務グループ							

会社名	三菱地所(株)					310					
事例名	東北食材を用いた新メニュー開発・販売促進										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県内全域										
プログラムの連携先	みやぎ・食の流通ネットワーク、(一社)東の食の会、(株)リバースプロジェクト、ミュージックセキュリティーズ(株)										
活動の概要	『Rebirth東北フードプロジェクト』とは、東京・丸の内内で食育活動を行う「丸の内シェフズクラブ」の協力を得て、2011年11月よりスタートした食を通じた被災地復興支援活動である。東北と丸の内のシェフが連携し、東北エリアの食材や伝統野菜等を用いた新商品・新メニューの開発、紹介等を通じ消費活動につなげていくことで、東北の食ブランドの再生を通じた復興支援を目指す。第1弾から第3弾まで、東北食材を用いた新メニューの披露・試食イベント等を開催し、そのレシピを冊子にして配布・公開。本年8月には第4弾で宮城食材のマルシェを実施した。										
効果	参加者の方から、食材の新たな魅力を発見した等の感想を頂くほか、商品開発について地元各社で検討が行われている。また東北エリアシェフと生産者、丸の内エリアシェフのつながりができ、今後の「食」産業の復興及び更なる発展の布石となっている。										
事例に関する連絡先	環境・CSR推進部										

会社名	三菱地所(株)					311					
事例名	被災地の宅地の異物除去										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県宮城郡七ヶ浜町										
プログラムの連携先											

活動の概要	ボランティアとして、津波による被災宅地の土の異物除去作業に従事した。
効果	津波による被災宅地の土の異物除去が出来た。
事例に関する連絡先	環境・CSR推進部

会社名	三菱地所(株)								312
事例名	被災地小学生と家族の招待								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	福島県双葉郡浪江町								
プログラムの連携先									
活動の概要	町全体が警戒区域となり全員が避難をしている福島県浪江町の学校に通っていた小学生を持つ家族800名程度をみなとみらい地区に1泊2日お招きする。震災に伴う津波被害および原発事故による被害も大きく現在も避難所生活を送っている方への復興支援目的のみならず、強制退去により地元に戻ることが出来ず、広域にわたってバラバラの生活を送っている子どもたちを一同に集め再会の機会を創出する目的で実施する。								
効果	前回開催時には、参加者より感謝のお声を多数頂いた。昨年は、関係会社にて福島県内の他エリアの被災者を対象に実施していたが、今年よりグループ会社合同で行うこととなった。								
事例に関する連絡先	環境・CSR推進部								

会社名	三菱自動車工業(株)								313
事例名	東日本大震災チャリティライブ								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先	(公財)日本ユニセフ協会								
活動の概要	毎月、本社ショールームにて様々なゲストを招き、「東日本大震災チャリティライブ」と称したミニコンサートを開催している。 「東日本大震災チャリティライブ」の入場は無料としたうえで、会場にて東日本大震災の被災者支援のため募金活動を実施しており、集まった募金は(公財)日本ユニセフ協会の東日本大震災緊急募金に寄付し、復興支援活動に役立てていただいている。								
効果	来場者は東京にいながらライブを聴くことにより東日本大震災の被災地支援につながり、当社にとっては商品に関心の無い方にもショールームに足を運んでいただく貴重な機会であり、且つ、社会貢献につながっている。								
事例に関する連絡先	本社ショールーム								

会社名	三菱自動車工業(株)				314			
事例名	東日本大震災被災地でのボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連			
					本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先	(一社)プロジェクト結コンソーシアム							
活動の概要	東日本大震災の被災地で毎週実施される「子どもの学びと遊びを支援するボランティア」に参加を希望する社員を募り、必要経費全額を会社が負担している。 具体的活動内容として、午前は教育委員会や学校から要請される教育関連物資の仕分け等の学校支援を行う。午後は主に仮設住宅の集会場に子どもたちをはじめ住民の方々が集える“みんなの場”を開設し、ボランティア参加者の得意分野や趣味などを活かし、子どもたちの学びと遊びをサポートしている。							
効果	まだまだ人手を必要としている被災地に対して継続的に支援を行うことができる。また、当社社員は活動を通じ被災された方々と直接触れ合うことにより成長し、事後、業務に臨む姿勢に変化が窺える。							
事例に関する連絡先	社会貢献推進室							

会社名	三菱重工業(株)				315			
事例名	ビヨンド・トゥモローへの支援(冠奨学金)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連			
					本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	(一財)教育支援グローバル基金							
活動の概要	提携先の財団が設立した奨学金制度の趣旨(被災地から将来グローバル世界で活躍する日本のリーダーを輩出するため、基金を設立して意欲ある学生を支援する)に賛同し、2012年度より大学生5名の在学中4年間の学費や生活費を支援する。 また、同基金が定期的開催する奨学生の交流イベントにも、施設や人員の提供などで協力する。							
効果								
事例に関する連絡先	CSR推進部							

会社名	三菱重工業(株)				316
事例名	被災地の子どもたちへの支援				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連
					本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	釜石市、気仙沼市、石巻市、南三陸町、伊達市ほか							
プログラムの連携先	NPO法人子ども・宇宙・みらいの会、劇団ボブラ、相模原市ラグビーフットボール協会ほか							
活動の概要	<p>当社が各地域の事業所で実施しているプログラムを被災地で実施し、復興支援につなげる。</p> <p>【主な取り組み】</p> <p>1. 理科授業の実施 NPOと共催で被災地の複数の小学校等で、理科に関係した授業やイベントを開催する。</p> <p>2. ミュージカルの上演 劇団と共催で被災地の複数の小学校の体育館で、ミュージカルを上演する。</p> <p>3. ラグビー教室の開催 当社ラグビー部員が被災地の学校を訪問し、タグラグビー教室（小学生向け）やラグビークリニック（高校生向け）を実施する。また、被災地子どもたちを事業所のある相模原市に招待し、地域の子どもたちとラグビーを通して交流する機会を設ける。</p>							
効果								
事例に関する連絡先	CSR推進部							

会社名	三菱重工業(株)						317	
事例名	写真洗浄ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東京都港区、横浜市西区、横浜市金沢区							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>2011年8月から、津波で持ち主不明となっている、海水や泥で汚れたアルバムと写真を引き取って、洗浄してポケットアルバムにまとめ直し、電子データとともに現地に送り返すというボランティア活動を継続している。</p> <p>現在は3カ所で就業時間後や休日にボランティアを募って実施している。活動を紹介する独自のホームページを立ち上げてからは、社員以外の一般の賛同者も合わせて700名以上が参加しており、息の長い活動になっている。</p> <p>これまでに宮城県名取市や岩手県陸前高田市の写真45,000枚以上を洗浄し、現地に返送している。</p>							
効果								
事例に関する連絡先	原動機事業本部							

会社名	三菱商事(株)						318	
事例名	復興支援ボランティア活動							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他

実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他
具体的地域	仙台市、石巻市、南三陸町、陸前高田市			
プログラムの連携先	被災地域の社会福祉協議会ほか			
活動の概要	復興支援基金の一環として、2011年4月23日から社員による被災地でのボランティア活動を継続している。2011年度は三菱商事および三菱商事グループ社員合わせ約1,300人が参加した。10~20名単位でローテーションを組み、仙台市・石巻市・南三陸町の現地ボランティアセンター・NGO等と協力して、個人宅や農地、側溝の汚泥・土砂の除去、漂流物や瓦礫の撤去、漁業支援、地域イベントや仮設住宅への支援など復興のためのお手伝いをした。 2012年度も被災地のニーズに基づいて宮城県から岩手県へ活動場所を広げて社員ボランティア活動を継続している。			
効果				
事例に関する連絡先				

会社名	三菱商事(株)				319
事例名	三菱商事復興支援財団				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域					
プログラムの連携先					
活動の概要	三菱商事は、2011年3月11日の震災発生以降、被災地の復旧・復興支援に総力をあげて取り組むことを目的に、「三菱商事 東日本大震災復興支援基金(100億円)」を立ち上げ、緊急支援物資の提供、修学が困難となった大学生への奨学金の給付、被災地のために活動するNPO等に対する助成金の給付など、種々の支援活動を行っている。 震災から1年を迎えた2012年3月、多様化する被災地のニーズに対し、より柔軟かつ継続的な支援を展開していくことを目的に、「三菱商事 東日本大震災復興支援基金」の一部を拠出する形で「三菱商事復興支援財団」を設立した。財団では、三菱商事が行ってきた従来の支援活動(奨学金の給付・助成金の給付)を継承するとともに、被災地の経済復興に向けて、新たに、産業再生や雇用創出に寄与する取り組みを展開していく。具体的には、地元金融機関や被災地で活動するNPOなどと協働し、再建や新規事業の立ち上げを目指す事業者への出資や雇用助成などを実施していく。				
効果					
事例に関する連絡先					

会社名	三菱商事(株)				320
事例名	フレンドシップキャンプ				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域					
プログラムの連携先					

具体的地域	山中湖、妙高高原、御殿場等
プログラムの連携先	日本Y M C A同盟や各地のY M C A
活動の概要	被災した子どもとその家族のためのボランティアプログラム「フレンドシップキャンプ」を、日本Y M C A同盟と協働で実施している。 フレンドシップキャンプは、日本Y M C A同盟や各地のY M C Aが主体となって、2011年度は全国32都道府県で223回開催し、約2,600名に参加いただいた。当社社員もキャンプスタッフとしてボランティア参加し、今後の復興への一助となることを願うとともに被災された方々がキャンプを通じて心身共にリフレッシュできるよう盛り上げに一役買っている。2012年度も活動を継続している。
効果	
事例に関する連絡先	

会社名	三菱食品(株)				321			
事例名	もっとNippon「食べよう東ほっ！」他							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	東北各県							
プログラムの連携先								
活動の概要	東日本大震災により被害を受けた地域製品の販売促進、地域活性化、産業再生等を主眼においた当社の企画である「もっとNippon」の「食べよう東ほっ!」「みちのくうまいもの特集」などの取組みが、被災された方々を励まし被災地域の復興に大きく貢献したとして、経済産業大臣より感謝状を頂いている。 当社は各種イベント、各種商談会、展示会等(北海道、東北、関東、中部、北陸)においても東北6県特産品、東北食文化伝承ご当地メニュー、特産品の紹介等を行い、大震災直後から被災地を支援し続けている。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名	(株)三菱総合研究所				322			
事例名	被災地の復興計画策定支援							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	震災復興に係わる全社的な貢献活動の一環として、復興ビジョンならびに復興計画の策定を行う。							
効果	被災自治体の震災復興支援の実現、現地事情の把握、現場体験を通じた人材育成につながっている。							
事例に関する連絡先	経営企画部							

会社名	三菱電機(株)					323					
事例名	三菱電機ソシオールーツ基金(マッチングギフト制度)による東日本大震災の震災遺児支援										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	2011年度は宮城県、福島県で実施(寄付先は状況に応じ毎年見直す)										
プログラムの連携先	各県および同地の共同募金会										
活動の概要	<p>将来を担う子どもたちを応援すべく、マッチングギフト制度「三菱電機 SOC10-ROOTS 基金」を活用した震災遺児支援のための募金活動を2011年8月から開始した。期間は3年間を予定しており、2011年度の寄付実績は宮城県の「東日本大震災みやぎこども育英基金」と福島県内の民間の児童養護施設(7施設)。震災遺児支援における2011年度の寄付金額(マッチング後)は1,700万円。</p> <p>また、当社関係会社の三菱電機ライフサービス(株)が販売する天然水の売上の一部を、この震災遺児支援のために活用するプロジェクトも実施している。</p>										
効果	<p>震災で親などを亡くした子どもたちが安定した生活を送り、更には希望する進路選択を実現できることへの一助となる。</p> <p>また、活動を継続することで、支援する側は震災の記憶を忘れないようにすることができ、また自分たちの身近なところで被災者を支援できる機会を持つことができる。</p>										
事例に関する連絡先	総務部 社会貢献推進課										

会社名	(株)三菱東京UFJ銀行					324					
事例名	MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域											
プログラムの連携先	(公社)日本ユネスコ協会連盟										
活動の概要	<p>【奨学金プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱東京UFJ銀行および(公社)日本ユネスコ協会連盟が共同し、「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」を創設した。 ・基金では、平成23年3月11日時点で災害救助法適用地域に居住していた両親または父母のいずれかが東日本大震災により死亡・行方不明となった小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に対して、一時金として10万円を給付し、高等学校卒業時まで月に月額2万円を給付する。 ・基金の規模は30億円程度(見込み)、また、グループ各社の役職員からの募金も募り、一人ひとりの参画意識の向上にも努めている。 <p>【心豊かな成長プログラム(応援交流会等) 学校花壇再生プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金給付による「物的」な支援に加えて、「心のケア」の面での支援として実施する。 ・「心豊かな成長プログラム(応援交流会)」は、奨学生と役職員が直接接点を持つ場として実施する。「学校花壇再生プログラム」は、学校基点で被災地との接点をもつ復興支援として、当行ボランティアが学校に出向き、花壇の土の入れかえや花苗を植える等の活動を実施する。 										
効果	【奨学金プログラム】										

	<p>・平成23年度の奨学生は1,233名で総額4億2,000万円を給付した。 【心豊かな成長プログラム(応援交流会等) 学校花壇再生プログラム】</p> <p>・平成23年度は、「心豊かな成長プログラム(応援交流会)」では、観劇、小岩井農場まきば園でのレクリエーション、チャリティサッカー観戦への奨学生招待やオーケストラメンバーによる中学校吹奏楽部への指導・合同演奏を実施した。また、「学校花壇再生プログラム」は、宮城県3校、岩手県2校、福島県5校で実施し、役職員ボランティア約250名が参加した。</p>
事例に関する連絡先	C S R 推進部

会社名	(株)三菱東京UFJ銀行				325
事例名	TOMODACHI・MUFG 国際交流プログラム				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域					
プログラムの連携先	TOMODACHI Initiative(米日カウンスル)(公社)日本ユネスコ協会連盟				
活動の概要	<p>東日本大震災の復興支援に寄与するとともに、次世代社会の担い手である学生を主な対象として、日米相互理解やキャリア育成の機会を提供することを目的としたプログラムである。</p> <p>・期間3年のプログラムで、日本(被災地)から米国への学生・教員の派遣、日本(被災地)の学生・教員が米国滞時に交流する学生・教員の日本への招待を柱に実施する。</p> <p>・MUFGグループ各社は、日米双方の拠点で学生・教員の訪問を受け入れることで、金融教育、キャリア教育の機会を提供する。</p> <p>・本プログラムはTOMODACHI Initiative、(公社)日本ユネスコ協会連盟ならびに関係機関の協力を得て実施する。</p> <p>初年度となる2012年は、宮城県の高校生・中学校3年生(ユネスコスクール在校生またはMUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金の奨学生)20名と教員・市職員数名を夏休みの期間(約2週間)米国西海岸に派遣する。</p> <p>次年度以降、実施活動地域を岩手・福島の両県にも拡大していく予定である。</p>				
効果	本プログラムを立ち上げた段階で、米国政府(米国大使館)、日本政府(文部科学省)、被災地の自治体(宮城県教育委員会等)からは、震災復興支援に資するのと同時に次世代育成につながるプログラムと高い評価が得られている。				
事例に関する連絡先	C S R 推進部				

会社名	三菱マテリアル(株)				326
事例名	社員からの義援金・支援金の募金実施				
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連 本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援 中間支援組織への支援 県外避難者支援 その他
実施活動地域	岩手県	宮城県	福島県	その他	
具体的地域					
プログラムの連携先	ジャパン・プラットフォーム、日本赤十字社				

活動の概要	グループ会社を含めた社員から義援金・支援金を募り、2011年4月に639万円、8月に225万円、2012年3月に45万円(合計909万円)をNPO法人ジャパン・プラットフォーム、日本赤十字社に提供した。なお、上記以外に、グループ内被災者向けの募金も行った。
効果	被災地支援とともに、社員の社会貢献意識が向上した。
事例に関する連絡先	

会社名	三菱マテリアル(株)							327
事例名	社員ボランティアの派遣							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市、仙台市、宮城郡七ヶ浜町							
プログラムの連携先	石巻市災害ボランティアセンター、仙台市津波災害ボランティアセンター、仙台津波復興支援センター、七ヶ浜町ボランティアセンター							
活動の概要	被災者支援のため、ボランティア休暇制度を創設(単体)し、グループ会社含む社員ボランティアを募集した。1回につき2日間の活動を5月から2012年3月までに23回実施し、延べ417名を派遣した。							
効果	被災地域を支援するとともに、社会貢献への取り組みなど社員の意識変革につながるようになった。							
事例に関する連絡先								

会社名	三菱UFJニコス(株)							328
事例名	避難幼児の心のケアを目的とした社員ボランティア活動と寄付							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	山形県米沢市							
プログラムの連携先	なし							
活動の概要	山形県米沢市が原発被害避難幼児を対象として開設した保育園で、社員による支援ボランティア活動を行った。 ・保育園の整備とともに、家族と分かれて避難している子どもたちや父兄との遊びを通じ、避難生活によるストレスの軽減を目的として実施した。 ・本年3月より開始し7月までに4回実施し、社員の家族を含めて延べ45名のボランティアが活動した。今後毎月1回程度で継続実施する予定である。 ・ボランティア活動に要する費用は会社負担としている。 ・本活動に合わせ、不足していた保育園開設費用の一部を米沢市に寄付した。							
効果	父兄から以下のような具体的な感謝の言葉を受領した。 ・母子で避難後、別々に暮らしている家族が一緒に行動する機会がほとんどなかった。今回の会は家族全員で遊べてとても良かった。 ・原発避難という同じ境遇の家族と子どもが、今回の会を通じてお互いの距離がすごく縮まったように思える。ほとんど会う事がない親同士の交流の機会にもなった。 社員の社会貢献意識と社員間相互の連帯感醸成につながった。							

事例に関する連絡先	経営企画本部 CSR推進室							
会社名	三菱UFJニコス(株)							329
事例名	被災地・被災者の心のケアを目的とした音楽の提供							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県、福島県のほか、山形県・東京都(予定)							
プログラムの連携先	(社)日本フィルハーモニー交響楽団							
活動の概要	現時点における被災者の支援ニーズである「心のケア」を目的に、被災地に日本フィルハーモニー交響楽団を派遣し、入場無料のコンサートを当社主催で開催する。 ・本年5月を初回として8月までに被災地や被災者が避難している3地域の仮設団地、学校、老人介護施設等で4～5名の楽団規模にて開催し、これまで約370人の被災者らが来場された。 ・今後も月1回程度の頻度で継続開催予定である。 ・コンサート開催に合わせ、当該地域で被災者相互のコミュニケーション維持や支援を積極的に行っている団体・組織等への慰労や支援も並行して実施している。							
効果	・日常、経験することのないプロの生演奏を提供することは、来場された被災者の心を癒し、生きる喜びにつながった。来場者からは、感謝の言葉を多くいただいた。							
事例に関する連絡先	経営企画本部 CSR推進室							

会社名	三菱UFJニコス(株)							330
事例名	当社提供FMラジオ番組での震災テーマの継続提供							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	首都圏・中部圏・関西圏・福岡圏							
プログラムの連携先	東京エフエム							
活動の概要	・忘れゆく震災の記憶や復興機運の維持を目的として、当社が提供するFM番組「三菱UFJニコス presents 松任谷正隆 DEAR PARTNER」において、復興支援に積極的に関わる著名人をゲストに迎え、復興への思いや取り組み等の話題を提供する。 ・月4回放送する番組内、1回を当プログラムに充て実施中で、今後も継続する。							
効果	震災復興に取り組む人々への励ましと復興機運の維持に貢献している。							
事例に関する連絡先	経営企画本部 CSR推進室							

会社名	明治安田生命保険相互会社							331
事例名	あしながチャリティー & マイウォークの開催と従業員等の参加							

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	被災地域を中心として全国									
プログラムの連携先	あしなが育英会									
活動の概要	<p>当社役員・従業員が「あしながMYウォーク」(当社主催)や「あしながPウォーク10」(あしなが育英会(あしながPウォーク10実行委員会)が全国各地で開催)への参加を通じて、ウォーキングとチャリティー募金を行った。当日ウォーキングに参加できなかったチャリティー募金参加者を含め、総勢3万1,412人の役員・従業員等が参加した。2012年2月にあしなが育英会に対して、東日本大震災で親をなくした子どもたちの進学支援(奨学金等)、心のケア支援(東日本レインボーハウスの建設等)等を目的とした募金1,226万6,391円を寄付した。</p> <p>2012年度も引き続き、震災遺児への支援を重点に本活動を行う。</p>									
効果	<p>以下のような効果があった。</p> <p>社内(役職員)への遺児支援(とくに被災地)に対する関心度の高まり</p> <p>社内のボランティア活動への参加者の増大</p> <p>被災遺児等への支援を通じての東日本大震災復興支援の実施</p>									
事例に関する連絡先										

会社名	森トラスト(株)							332			
事例名	日本の建築技術の高さをPRする『Safety & Security Square(SSS)』を設置し、多方面に活用										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他				
具体的地域	宮城県仙台市										
プログラムの連携先	各種公的機関、仙台市教育委員会										
活動の概要	<p>今回の震災において、仙台市における震度6弱以上の地震にも弊社所有物件は建物内外に甚大な被害がなく、日本の建築技術力の高さおよび、事前に構築していた「グリッド型BCP」が奏功し、人命・資産を守り、多くの帰宅困難者も受入れることができた。今回得た教訓を社会で共有し「災害に強い街づくり」を目指すとともに、日本の技術力の高さや高度なBCP運用を国際社会に認知して頂くために、「震災の大きさや日本の制震・免震技術の安全・安心を体験できる『Safety & Security Square(SSS)』」を開設し、以下の取り組みを行っている。</p> <p>国際会議の誘致 被災地の復興支援活動の一環として、国際会議の招致活動を国内外にて行う。あわせて会議時に『SSS』を紹介する。</p> <p>建築技術の高さを公的機関と協力して対外PR 公的機関が主催する被災地での様々なプログラムに協力し、仙台を訪れる国内外のプログラム参加者に『SSS』を紹介する。</p> <p>地元・仙台の中学生に英語教育の場を提供 震災を経験した子どもたちにグローバル人材になってもらいたい、世界中の人達に日本の建築技術の高さを知ってもらいたいという2つの思いを融合させ、国際会議に訪れる外国人に対して、地元の学生に英語で『SSS』の展示物について説明する機会を提供する。</p>										
効果	<p>国際会議の誘致 2012年4月に世界の観光産業トップが集まる「世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)」を誘致。会議史上</p>										

	<p>初の東京・仙台の2都市開催となり、期間中は仙台にツーリズム業界の海外VIPが訪問し、『SSS』をPRした。</p> <p>建築技術の高さを公的機関と協力して対外PR</p> <p>2012年2月に仙台にて外務省が主催するODAの援助国政府の防災担当者向けに日本の安全・安心をPRし、弊社社員が講演するとともに『SSS』を紹介した。</p> <p>地元：仙台の中学生に英語教育の場を提供</p> <p>WTTC開催時に観光業界における世界のリーダーたる外国人に向けて、SSSを英語で説明する機会を提供。訪れた外国人も興味深く中学生の説明に耳を傾けた。また、仙台の奥山市長に直接激励に訪れて頂いた。</p>
事例に関する連絡先	仙台支店

会社名	森トラスト(株)							333
事例名	被災地において震災後休業となったゴルフ場における大規模太陽光発電(メガソーラー)事業							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	福島県西白河郡泉崎村							
プログラムの連携先								
活動の概要	<p>2012年6月、東日本大震災後休業中であった福島県西白河郡泉崎村の「ラフォーレ白河ゴルフコース」にて被災地における新しい産業の創出を目的とした震災復興支援と、産業の安定的・持続的発展を支える都市基盤の形成を目的として、大規模太陽光発電(メガソーラー)事業に着手した。まず、2013年度中に第1期事業として2メガ(出力2MW、発電量200万kWh/年)規模で事業を開始し、将来的には第2期事業を実施し10メガ(第1・2期合計出力10MW、発電量1,000万kWh/年)規模への拡大を目指す。</p> <p>当社グループは、東日本大震災において、仙台をはじめ被災地内に事業エリアを持つ事業者として、グループのネットワークを通じ多様な被災者支援・復興支援活動を展開してきた。震災エリアにおける地域経済復活のためには、何よりも地域に設備投資がなされ、拠点の整備を通じた新たな産業の創出が不可欠だと考え、ゴルフ場としての再生ではなく、復興支援の一環として福島における新たな産業の創出に寄与するものとして期待される大規模太陽光発電所(メガソーラー)の事業化を選択した。</p> <p>加えて、本事業は、環境負荷低減、持続可能なエネルギーの供給という今般の社会的課題に対し、不動産事業者として需要側であるビルにおける環境負荷の低減の促進だけでなく、供給側からもアプローチする新たな取り組みとしても位置付けている。</p>							
効果	<p>具体的な効果は今後であるが、企業や地元の一般の方からの反響は少なくなく、現段階でもある程度のアナウンス効果はある状況である。</p> <p>建設工事に多くの雇用が必要となり、設備のメンテナンス等も継続して必要となることから、地元にながらざるの経済効果も見込まれており、今後は当社のみならず、こうした社会課題を解決する事業が復興地域で盛んになり、地域に設備投資がなされ、拠点の整備を通じた新たな産業の創出が継続されることを期待する。</p>							
事例に関する連絡先								

会社名	森トラスト(株)							334
事例名	ラフォーレボランティアプログラム							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	

具体的地域	宮城県石巻市ほか
プログラムの連携先	(社)石巻災害復興支援協議会ほか
活動の概要	森観光トラスト(株)が、同社が運営する法人会員制クラブ「ラフォーレ倶楽部」の会員企業に対し、社員研修や社員教育の一環として、宮城県石巻市他で行う復興支援のためのボランティア活動や、復興を目指す工場等の施設見学、語り部による被災体験の講演等を組み込んだ「ラフォーレボランティアプログラム」を提供する。 ボランティア活動の内容は、円滑で効率的に行えるよう、(社)石巻災害復興支援協議会等と共同で行う。「ラフォーレ倶楽部」がもつ、優良企業を中心した約22,000事業所・約1,000万人の会員ネットワークを活かし、多くの企業・従業員の方々に「ラフォーレボランティアプログラム」の提案を継続することで、支援活動や被災体験の伝承を風化させない効果も目指す。
効果	ボランティア活動による効果の他、企業等における支援活動の継続・風化防止、被災体験の伝承などにつながっている。
事例に関する連絡先	

会社名	森永乳業(株)					335				
事例名	子供地球基金「アートワークショップ」支援									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他		
具体的地域	宮城県亶理郡亶理町									
プログラムの連携先	子供地球基金									
活動の概要	Liptonリキッドティー1000mlの売り上げの一部を「地球子供基金」に寄付。被災地の子どもたちへの画材提供や活動に役立てられている。亶理町にある「キッズアートホーム東北」でのワークショップでは、おやつタイムにリプトンを提供する。									
効果	絵を描くことで、子どもたちの創造力をはぐくむ。									
事例に関する連絡先	広報部									

会社名	森永乳業(株)					336				
事例名	中学生向け職業講話講師									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他		
具体的地域	宮城県石巻市桃生中学校									
プログラムの連携先	プロジェクト結									
活動の概要	被災地の子どもたちの遊びと教育の場をサポートしている「プロジェクト結」の活動に賛同団体として参加している。「プロジェクト結」の要請を受けて、中学生を対象とした職業講話に、従業員が講師として参加した。講義とワークショップで、働くことの楽しさや厳しさを伝えた。様々な企業その他、フリーの専門職の方々が講師を務めた。									

効果	生徒たちが将来の夢や目標を持つことのサポートになった。
事例に関する連絡先	広報部

会社名	森永乳業(株)					337				
事例名	仮設住宅団地へのアイスクリーム配布									
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県			福島県		その他		
具体的地域	石巻市仮設住宅団地									
プログラムの連携先										
活動の概要	アイスクリームの日(5月9日)にちなみ、直前の5月5日の石巻市内の大小の仮設住宅を訪問し、当社アイスクリーム・ピノを無償で配布した。お子さんだけでなく、幅広い年代の方にお配りして、アイスクリームを楽しんでいただいた。									
効果	長期にわたる復興活動の合間に、アイスクリームのような嗜好品で、日常にちょっとした潤いを感じることができた。									
事例に関する連絡先	広報部									

(8) や・ら・わ行

会社名	八千代工業(株)							338
事例名	被災地への社員ボランティア派遣							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	石巻市							
プログラムの連携先								
活動の概要	復興支援活動・瓦礫の撤去・民家への復興を支援する。							
効果	ボランティアには毎週10名程度の人数を派遣した。従業員が自ら被災地の現状を目の当たりにしたことで、貴重な経験を得た。また、被災された方々を助けたいという気持ちを強く持ち、自分で何ができるかを考えるようになった。また、参加者から従業員へとその経験を伝達し、社員全員の社会貢献活動への意欲を高めることに繋がった。							
事例に関する連絡先								

会社名	ヤマトホールディングス(株)							339
事例名	宅急便1個につき10円の寄付							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	全国より発送される宅急便に関連							
プログラムの連携先	ヤマト福祉財団、相談先としての関連省庁							
活動の概要	<p>この度の震災は、被災地の生活や産業を根こそぎ破壊し、特に水産業・農業の被害は日本の「食」を危機に陥れかねないほど甚大であった。</p> <p>ヤマトグループとして力になれる方法を模索した結果、地域の生活基盤の復興と水産業・農業の再生のための継続的な支援として、「宅急便1個につき10円の寄付を1年間継続する」ことを決定した。</p> <p>これに伴う運賃表の変更は行わず、ヤマトの収益から寄付をする。1年間に取扱う宅急便は約13億個なので、130億円を超える金額となる。(純利益の4割程度)</p> <p>宅急便を35年間育ててくださった東北の地域・社会・産業への恩返しと思って実施している。</p> <p>寄付の基本的な仕組みや提供先については、検討・調整を重ねた結果、(公財)「ヤマト福祉財団」に全額寄付することを決定した。</p> <p>同財団では、新たに、「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」を開始した。ヤマトグループ以外にも広く寄付を募ることで、財務大臣の承認により、「指定寄附金」としていただいた。これにより、寄付金の全額を被災地支援に充てることができるようになった。</p> <p>ヤマト福祉財団は、寄付金の使い道の妥当性・客観性を確保するために第三者の専門家で構成する「復興支援選考委員会」を発足した。</p> <p>被災された地方自治体などからの申請・意見を汲みながら被災地の生活復興と水産業・農業の再生事業を継続的に助成していく。</p>							

効果	ヤマト福祉財団を通して、直接助成先に現金を助成することができ、使途と効果が明確な寄付を実現した。既に2回の選考委員会を経て、約70億円分の助成先を選定した。うち第一次助成先の一つである「南三陸町・水産産業基盤施設緊急復興事業」は、助成金3億6,500万円を活用し、志津川漁港に仮設魚市場を建設し、10月24日(月)から稼働を始めた。
事例に関する連絡先	

会社名	ヤマトホールディングス(株)							340
事例名	全社運動「みんなで一歩前へ」							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	「復興支援全社運動」は被災地のためにヤマトグループ全社員一人ひとりにできることはないかという思いから開始された。スローガンは、社員応募総数8,558件から選ばれた「みんなで一歩前へ」である。被災地支援と復興に向けて、一人ひとりが今できることを考え、実行した。社員の自主的な活動を支援するボランティア休暇制度を6月より導入した。							
効果	2012年3月までに延べ2,000名を超えるグループ社員が被災地でのボランティアに参加し、この活動は現在も継続して実施している。							
事例に関する連絡先								

会社名	ヤマハ(株)							341
事例名	「坂本龍一 Playing the Piano 2011 ～こどもの音楽再生基金のために」技術サポート							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県仙台市、登米市、福島県郡山市、東京都							
プログラムの連携先								
活動の概要	2011年12月25日～26日の2日間に渡り、3.11以降「こどもの音楽再生基金 - School Music Revival」の活動を続けてきた坂本龍一氏が、東京(銀座)にてチャリティーコンサートを開催するにあたり、当社の「RemoteLive™(リモートライブ)」技術をもってサポートした。 Remote Live™(リモートライブ)は、実際にライブを行っている会場からインターネットを介して、映像・音声・演奏情報を同時に多拠点に配信するヤマハ(株)の技術であり、遠隔地に置かれたピアノの鍵盤がライブ会場で演奏された通りに動き、コンサート会場と同様のピアノの生演奏を楽しむことができる。上記コンサートでは、東京(銀座)の会場から、宮城県、福島県の4会場に配信された。							
効果								
事例に関する連絡先	総務部CSR推進室							

会社名	横河電機(株)					342					
事例名	新入社員研修での被災地支援活動派遣										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	宮城県石巻市他										
プログラムの連携先											
活動の概要	<p>新入社員研修プログラムの一環として、東日本大震災被災地の復興支援活動に参加した。</p> <p>【プログラム概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：2012年4月23日(月)から26日(木)まで ・人数：41人 ・主な活動内容：個人宅跡地と畑のがれき拾いや側溝の清掃 										
効果	被災地での農業再開等の手助けをできた。支援先からは、「一人では一日でこれほどの作業はできなかった。これで、畑で野菜を育てることができる。とても感謝している」といったコメントが寄せられた。また、当社社員が、相手の立場で物事を考える姿勢や広い視野を養うことができた。										
事例に関する連絡先	経営監査本部CSR部CSR課										

会社名	横浜ゴム(株)					343					
事例名	「いのちを守る森の防潮堤」づくりへの賛同										
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	大槌町										
プログラムの連携先	大槌町役場、横浜国立大学宮脇教授										
活動の概要	<p>岩手県上閉伊郡大槌町が取り組む「いのちを守る森の防潮堤」作りに賛同し、その第1歩となるモデルケースの森づくりを支援していく。</p> <p>「いのちを守る森の防潮堤」は、当社が千年の杜プロジェクトでご指導いただいている宮脇昭氏の提唱によるものである。防潮堤を作る際の植樹方法には宮脇方式を採用する。宮脇方式は地域本来の樹種を自然林に近い状態で植樹する独特の手法で、当社の植樹活動「千年の杜プロジェクト」において、プロジェクト開始当時の2007年から取り入れてきた。その土地本来のさまざまな樹木が互いに支えあいながら成り立つ森は、根こそぎ倒れることのない力強い状態で形成され、津波や高潮の被害を軽減することにつながる。また、木々の緑が美しい景観を創出し、人々に安らぎを与える。</p>										
効果	宮脇方式で採用される、土地本来のさまざまな種類の樹木は地中にしっかり根を張り、根こそぎ倒れることはありません。そのため、津波を減退させ、避難する時間を稼ぐことができ、引き潮の際には、漂流する人などの流出を防ぐことが出来ると考えられている。										
事例に関する連絡先											

会社名	ライオン(株)					344
事例名	「東北に元気を LOVE.石巻」プロジェクト					

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県石巻市									
プログラムの連携先	石巻災害復興支援協議会、ピースボート災害ボランティアセンター									
活動の概要	<p>当社創業者のゆかりの地である石巻市で、当社の社員が参画する復興支援活動を行っている。活動内容については、現地の連携先の協力のもとで、その時々現地のニーズを収集・把握し、当社のリソースやノウハウを最大限活用できるものを企画している。以下に具体的な活動概要を記載する。</p> <p>プランター作り（2012年2月） 当時、仮設住宅入居完了後であるため、孤立になりがちな居住者同士のコミュニケーションを図ることが課題であった。そこで、仮設住宅集会所で被災者の方と当社社員が一緒になって、当社の山梨県での森林整備活動を通して得られた間伐材を活用したプランター作りを行い、居住者同士が交流するきっかけ作りをした。</p> <p>洗い啓発活動（2012年2月、4月） お母さんが働いているため目が十分行き届かない保育園児に対し、当社へ衛生面でのサポートの要望があった。そこで当社社員が、仮設保育所など（計7施設）で子どもたちを対象に、かぜやインフルエンザの予防のための手洗い啓発活動を実施した。</p> <p>オーラルケア啓発活動（2012年5月） 震災からの復興には、経済復興の担い手である地域密着型の金融機関（信用金庫）の役割が重要であり、当社へ人材教育支援の要望があった。そこで、当社社員が新入職員を対象に、接客業に必要なエチケット意識の向上と実践のための「エチケット講座」として、口臭や体臭の原因やその予防方法の講義とともに、虫歯リスクのテストなどを実施した。</p>									
効果	<p>プランター作りでは、仮設住宅の部屋に閉じこもりがちであった居住者が、当社社員とプランター作りを行うことで、居住者同士が交流する機会となり、居住者間のコミュニケーション向上に寄与することができた。さらに、製作したプランターはガーデニングに活用され、居住者の余暇の楽しみの一つとなった。</p> <p>手洗い啓発活動では、震災のしわ寄せが行きやすい子どもたちに、手洗いの大切さと正しい手洗いの方法を楽しく学んでもらうことができ、保育園の先生方にも喜んでもらえた。</p> <p>オーラルケア啓発活動では、信用金庫の新入職員の方にエチケットの正しい知識を学んでもらうとともに、その他の職員の方々も含めて、接客にはエチケットケアが重要であることを再認識してもらうことができた。</p>									
事例に関する連絡先	CSR推進部									

会社名	(株)リクルート							345		
事例名	東北復興ラーニング&ボランティアツアーの実施									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県石巻市、南三陸町、気仙沼市、岩手県陸前高田市、釜石市、大槌町									
プログラムの連携先	宮城県...NPO法人オンザロード、津田鮮魚店、(一社)復興応援団、岩手県...NPO法人遠野まごころネット、(有)三陸とれたて市場、NPO法人@リアスNPOサポートセンター、NPO吉里吉里国、NPOおらが大槌									
活動の概要	<p>役員・従業員対象に東北復興ラーニング&ボランティアツアーを実施した。</p> <p>【ツアーの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 2011年9月～3月まで全15回実施、2012年度も数回実施予定 ・旅程 2泊3日パッケージ <p>ボランティアだけでなく、復興をけん引するリーダーの存在を知り、産業復興支援につなげるための学びの</p>									

	<p>時間を1日目に設定している。</p> <p>1日目 ラーニング（被害の甚大なエリアへの訪問／被災者、被災事業主、支援者、各レイヤーの方と対話）</p> <p>2・3日目 ボランティア（ボランティア活動／現地活動NPOとコミュニケーション）</p> <p>【ツアー目的】</p> <p>復旧のマンパワーとして貢献する</p> <p>メディアを通じた情報ではなく、被害を自分の五感で確認、理解する</p> <p>復興リーダーの存在と復興構想を知る</p> <p>個人／事業としての復興への関わり方や、何をすべきかを考えるきっかけとする</p>
効果	<p>【ボランティア活動先からの評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア活動だけでなく、積極的にコミュニケーションを取ろうとする企業は珍しい。第三者的な意見が色々聞けて逆に学びがあった」など被災状況を実際に見て、現地の被災者・支援者と対話する姿勢や機会に対する歓迎 ・「一気に進んだ。また来てほしい」など、ボランティア活動におけるスピード、結果の面での予想以上の働きに対する喜びの声 ・商品・サービスと協働した継続的な支援への期待 <p>【参加者のアンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元被災者・復興リーダー・支援者との対話からの新たな気づき ・商品・サービスでの支援策を考えるきっかけとなる意見
事例に関する連絡先	C S R推進室

会社名	(株)リクルート					346		
事例名	節電×復興支援の取り組み							
無償／有償支援	無償・廉価	有償	本業／本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	ミュージックセキュリティーズ(株)							
活動の概要	<p>2011年7月～9月の間、政府の節電実行計画に基づき、東京電力・東北電力管内における、平日9時～20時のピーク時間帯の使用最大電力を25%削減を目指して取り組みを行い、目標を達成した。その節電による削減電気代の一部を、被災地の水産加工業を始めとする地元の事業主様の再建資金として役立てていただくため、ミュージックセキュリティーズ(株)の「セキュリティ被災地応援ファンド」を通じて、被災事業主の方々へ寄付した。</p> <p>本取り組みは、今後数年継続していく。</p>							
効果	<p>節電実施による削減電気代を、被災地の産業復興に役立てて頂くのももちろんのこと、被災地応援ファンドにて再建資金を募集している事業主の方々とも、従業員ボランティアツアーや東北復興視察ツアーなどを通じて積極的に交流することで、従業員一人一人が、復興支援・節電を継続的に実施していきたいと考えている。</p> <p>また、2012年度春には、寄付先の被災事業主から、再建の証として商品を頂き、「節電協力感謝キャンペーン」として従業員に抽選でプレゼントする企画を行った。東北復興への関心を維持し、節電にも引き続き協力する取り組みを行っている。</p>							
事例に関する連絡先	C S R推進室							

会社名	(株)リクルート					347
事例名	クルマを届けよう！プロジェクト					
無償／有償支援	無償・廉価	有償	本業／本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	日本財団、NPO、中古車販売店や自動車業界団体・企業							
活動の概要	<p>東日本大震災により、岩手・宮城・福島の前3県では約23.6万台(同3県の新車・中古車合わせた年間登録台数60.8万台の約40%)の車両が津波被害により流出した。メーカーの工場が被災したことで新車の製造も滞り、中古車不足により価格が高騰、必要な人に適切にクルマが行き渡らず、生活再建、復興支援の妨げとなった一面もあった。『カーセンサー』は中古車情報を扱う事業者として、眠っているクルマを掘り起こし「復興支援の為に働くクルマ」を1台でも多く被災地に届け続けたいと考えている。</p> <p>「クルマを届けよう!プロジェクト」では、NPOや日本財団などの協力を得て、被災地での中古車ニーズをヒアリングし、同時に中古車販売店や自動車業界団体・企業にプロジェクトへの理解・賛同を求め、被災地へ車を贈り届けることを実現している。被災地へ提供する車両は第三者の検査専門機関AISが検査を行い、状態を点数評価したカーセンサー認定車となる。また、名義変更などの車両登録に関する費用もプロジェクトが負担する。</p> <p>またネット環境がなく情報格差が生じている被災地エリアのカスタマーに地元の中古車物件情報をお届けするフリーペーパー「カーセンサー復興支援版」、被災地に安心なクルマを手頃な価格で届けるため、スタッドレス、保証付、カーセンサー認定車の展示即売会「がんばろう東北!まごころクルマ市」なども実施している。</p>							
効果	<p>これまでに69台の車を被災地支援団体(NPOなど)に寄贈した。被災地へ届ける車には、カーセンサー認定による品質検査を実施し、被災地の復旧・復興に安心して使ってもらえるように、厳しい基準による品質検査にて問題ないと判断された車だけを寄贈している。また、車両を提供してくれた協力企業と被災地を結ぶ特別なステッカーも用意している。</p>							
事例に関する連絡先	CSR推進室							

会社名	(株)リコー						348		
事例名	社会貢献活動実習プログラム								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない	
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	宮城県南三陸町(来年度以降は未定)								
プログラムの連携先	認定NPO法人JEN								
活動の概要	<p>本プログラムはリコーが社会的責任を果たすために実施する継続的な被災地復興支援の柱の一つとして、(株)リコーの全新入社員によって行う活動である。2012年度から開始し、中期的(当面3年～5年)は継続する計画となっている。</p> <p>活動内容としては、復興は被災地での産業の活性化が必須であるとの考え方にに基づき、津波により大きな痛手を被った漁業・農業を中心として人手を必要とする生業支援作業を集中的に行うこととしている。2012年度の活動としては新入社員193名が宮城県南三陸町に入り、JENのコーディネートにより3日間に渡り養殖イカダ用サンドバック作りなどを行った。</p>								
効果	<p>活動全体で約9,600個のサンドバックを作ることができた。また、昆布のボイル・仕分けおよび箱詰め作業などのお手伝いにより漁業関係者から多くの感謝の言葉をいただいた。</p> <p>帰京後は被災地の課題を解決する製品・サービスのアイデアを考えるためのワークショップを新入社員対象に実施したことで、教育的効果も得られた。</p>								
事例に関する連絡先	CSR室								

会社名	レンゴー(株)						349
事例名	新仙台工場の建設および開業						

無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	宮城県黒川郡大和町									
プログラムの連携先										
活動の概要	<p>当社は「人心の安定」を第一に、「被災地から逃げない」というトップの強い信念のもと、地震と津波により壊滅の被害を受けた仙台工場の復興、再生事業として、従業員の雇用の場を確保すると同時に、地元宮城県をはじめ、東北地方の大震災からの復旧、復興、再生に向けた先導役としての思いも込めて、当 新仙台工場建設にいち早く取り組み、震災からわずか一年の2012年3月15日に起動手を行い、翌4月1日より正式開業の運びとなった。</p> <p>なお、当工場は、100%リサイクル可能で環境に優しい包装材である段ボールの生産工場にふさわしく、太陽光発電設備や蓄電池の導入など環境にも十二分に配慮するとともに東日本大震災の教訓を生かした工場でもある。</p> <p>【経過】</p> <p>2011年3月11日 東日本大震災発生、地震と津波により仙台工場壊滅の被害 3月29日 新工場建設決定 4月1日 仙台市内にて説明会実施、工場の全社員に新工場建設発表 4月8日 新工場建設を対外発表 6月17日 新工場建設着工 2012年3月15日 建設工事完了、コルゲータ起動手執行 4月1日 新仙台工場正式開業</p>									
効果	新仙台工場の建設に向けた当社の取り組みは、地元経済復興のけん引役になったとして、高い評価をいただいた。また、仙台工場従業員のみならず、当社グループ全体に雇用維持最優先という経営の意志を浸透させることで「人心の安定」を図るとともに、社会に対しても広くメッセージとして発信できたものと自負している。									
事例に関する連絡先	広報部広報課									

会社名	レンゴー(株)							350		
事例名	丸三製紙(株)による早期操業再開									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない	
	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他		
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他			
具体的地域	福島県南相馬市原町区									
プログラムの連携先										
活動の概要	<p>当社グループである丸三製紙(株)は、東日本大震災により被災し、東京電力(株)福島第一原子力発電所から25kmの距離に所在するため、2011年6月末までの操業停止を余儀なくされた。その後、グループとして雇用は守るという当社の方針のもと、諸設備の修理に加えて、放射線の線量を継続的に測定するなど、グループ丸となって復旧、復興に全力で取り組んだ。その結果、同社は、地元自治体である福島県、南相馬市とも打ち合わせのうえ、予定よりも早い同年6月20日に一部操業再開を実現し、現在は従前どおりの操業を行っている。</p> <p>【経過】</p> <p>2011年3月11日 東日本大震災発生 4月8日 丸三製紙(株)操業停止を発表 6月20日 同社2号抄紙機操業再開</p>									

	7月1日 " 7号抄紙機操業再開 7月17日 " 6号抄紙機操業再開(2012年7月5日同機更新を発表)
効果	今回の丸三製紙(株)操業再開は、地元福島県における産業振興と雇用確保を通じて、復興再生にも大きく寄与したものと考えている。なお、2012年1月、野田首相が福島県を訪問した際には、復興のモデル事例であるとして同社を視察に訪れている。
事例に関する連絡先	広報部広報課

会社名	(株)ローソン				351			
事例名	「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	被害の著しかった岩手県、宮城県、福島県の3県							
プログラムの連携先	NPO法人チャリティ・プラットフォーム							
活動の概要	ローソンは東日本大震災から日本が復興するためには、未来を担う若者達の力が大切だと考えている。本人や家族が被災されるなど、経済的な理由から今後の就学が困難な生徒さんたちに社会に出てから役立つ知識や技術を身に付け、諦めずに夢に向かってほしいという想いから、お客様や取引先の皆様と一緒に応援する「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)を2011年4月14日に創設した。高校1年生からの最長7年間、月額3万円の支給(返還不要)に加え、メンタルケアなどの支援も行う。 2011年7月に募集し、対象者数1,000名に対し2,400名の高校生たちから応募をいただいた。外部の識者などで組織した制度検討委員会による審査基準に基づき厳正な審査を行わせていただき、1震災による被害状況2年間の世帯収入等の経済的な困窮状況3将来の夢を持ち、復興への強い思いを持った高校生たち(応募書類の「20歳の自分を想定した日記」の内容から)の基準をもとに、被災状況や経済的困窮度の高い高校生たち1,097名に奨学金の給付を行うことを決定した。2011年10月に第1回目の奨学金を支給し、以降は3カ月ごとに奨学金を支給している。							
効果	奨学生たちに安定的な奨学金を支給することで経済的・精神的な支援を行い、将来、地元被災地での復興の中心的な役割を果たしていただくことを期待している。							
事例に関する連絡先	社会共生ステーション(社会貢献・CSR)							

会社名	(株)ワタナベエンターテインメント				352			
事例名	WAEプロジェクト 大原小学校							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月~ 2011年9月	2011年10月~ 2012年3月	2012年4月~ 2013年3月	2013年4月~ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県石巻市							
プログラムの連携先	大原小学校							
活動の概要	事前にスタッフが社鹿地区の校長会を形成している小学校を訪問し、校長先生とミーティングと下見を重ね、当日タレント5名、スタッフ3名が訪問し、「ふるさと学習発表会」に向けて、子どもたちに表現力・発言力を身につけてもらうことや、学芸会に向けての子どもたちの活動にアドバイスし、子どもたちのアンケートからのリクエストに答えたりの指導と交流を行った。子どもたちは人前で恥ずかしがらず大きい声で話							

	<p>すことや、見てる人を楽しませる方法など元気ががんばっていた。又、子どもたちと給食を共にし、その後ボール遊びをしたりして交流をはかった。</p> <p>その後、東京でライブが有り、子どもたちを招待した。</p> <p>これら活動では、「被災地の子どもたちへ夢を与えられる活動をしたい」との目的でお笑いや、演劇、音楽に関して、楽しみながら指導していく趣旨で活動をしていきたいの思いがあった。</p>
効果	
事例に関する連絡先	

(9) 社名非公表事例

会社名									353
事例名	インダストリアルビジネスカンパニーによる事業(環境関連商品販売)を通じた支援活動								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域									
プログラムの連携先	販売店、日本赤十字社								
活動の概要	ファクトリーオートメーション事業の販売店様と共に、省エネ・節電需要にお応えする環境関連商品であるスマート電力量モニタ(形MK50)の販売に注力し、売上の1%を義援金として、被災された方々の支援および被災地の復興にお役にいただくため、日本赤十字社に寄託した。								
効果	生産現場の省電力化を実現する環境関連商品の売上げを、復興支援に役立てるという趣旨に多くの販売店様やお客様の賛同を得られた。								
事例に関する連絡先									

会社名									354
事例名	被災地交通関連事業・金融事業復旧支援								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	仙台、盛岡 等								
プログラムの連携先									
活動の概要	交通信号機器・ATM駐車場機器などの撤去、入替作業に従事した。 交通関連事業・金融事業などにおいて、被災地エリアの信号機の損壊状況確認・復旧作業や、損壊したATM(現金自動払機)の入替作業を行い、入替後のメンテナンス作業を継続的に実施した。								
効果									
事例に関する連絡先									

会社名									355
事例名	「チームおむすび」による料理教室活動への協力								
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	気仙沼、陸前高田							
プログラムの連携先	ソウルオブ東北							
活動の概要	被災地に必要とされる継続的な復興支援を行うために、(一財)日本のこころ Soul of Japan のプロジェクトである「ソウルオブ東北」が立ち上げた「チームおむすび」に賛同し、資金面での支援とともに社員ボランティアが現地での活動に参加している。「チームおむすび」とは料理人たちが、被災地の仮設住宅で皆さんと一緒に簡単においしくできる料理教室を実施し、食を通じてコミュニケーションを充実させていくことを目指している。							
効果	被災地でのコミュニティが確実に回復しており、また、社内のボランティアに対する意識が高まった。							
事例に関する連絡先								

会社名								356
事例名	「宮城県産業復興相談センター」への人材派遣および事業復興支援							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	宮城県内全域							
プログラムの連携先	(公財)みやぎ産業振興機構							
活動の概要	県庁所在地が隣り合った位置関係にある山形県と宮城県は、経済的結びつきを越えて古くからつながりが深く、一方当行においては、宮城県内に12ヵ点を支店するなど地域のお客様より長くご愛顧いただいている。このような背景から行員を派遣して、被災企業の事業再生を積極的に支援し、地域の復興に協力していく。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名								357
事例名	災害廃棄物処理業務							
無償/有償支援	無償・廉価		有償		本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先	建設業者、地元企業など							
活動の概要	被災自治体が公募する震災廃棄物処理業務を受注し、現地での仮置場(自治体指定場所)にて震災廃棄物の選別・破碎処理業務を行っている。							

	処理の方法は、被災者の思い出の品やリサイクルできるもの（木材、コンクリート、土砂、金属など）を選別し、焼却処理や埋立処分するものを減らすことを目的としている。重機及び作業員による選別を行い、更に各種の機械選別プラントにて精選別及び破碎処理を行い最終的には復興資材となる土砂の分級までを行う。 選別処理業務を行う作業員は、当社の社員だけでなく、地元の被災者を雇用している。
効果	震災廃棄物を早期にかつ適切に処理することが、地元被災地の復興に向けた第一歩であると考え、復興支援を行っている。
事例に関する連絡先	

会社名									358
事例名	社員による震災復興ボランティアへの参加								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	大槌町								
プログラムの連携先									
活動の概要	瓦礫の撤去、清掃等に延べ1,100名以上の社員を派遣した。2012年度は7月より再開する。								
効果									
事例に関する連絡先									

会社名									359
事例名	飲料の提供								
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連		本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降
活動分野	コミュニ ティ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他	
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他		
具体的地域	岩手県大槌町、釜石市、陸前高田市。宮城県石巻市、七ヶ浜町、福島県相馬市								
プログラムの連携先	岩手県...遠野まごころネット及び Save Takata、宮城県...石巻災害復興支援協議会、福島県...Bridge For Fukushima								
活動の概要	飲料の提供（年間1,200万円相当）は、要望に基づき提供しており、訪問ボランティアの仮設住宅の戸別訪問の際の物品として活用されたり、復興イベントで活用されたり、ボランティア用の飲料として活用されている。								
効果	提供物品を活用し、地場団体が企画を自ら立案し、実施する環境を醸成する。 物品があることで初めて立案出来る企画も存在するのは事実であり、提案及び飲料提供の依頼があった場合には、公益性を判断した上で可能な限り対応する。								
事例に関する連絡先									

会社名						360					
事例名	お米の品種の提供										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	岩手県陸前高田市										
プログラムの連携先	陸前高田市、SAVE TAKATA										
活動の概要	陸前高田に対し独自品種（稲）の無償譲渡を実施した。品種は岩手県において栽培実験を過去に3年連続で実施しており、岩手県の風土での育成データ有。栽培方法の助言等のノウハウ移転も実施する。既に陸前高田市において栽培がスタートしており、2012年秋には600キロの米が収穫される予定である。今後試食会等を実施し、希望する陸前高田市内の農家に対し、種もみの無償譲渡を実施する。提供品種は、冷害に強く、より少ない農薬で栽培可能。味は秋田こまちと同等。陸前高田のつみに存在する品種として、地域で栽培されることを目指す。										
効果	陸前高田市のみ存在する米を持つことで、地域ブランドとしての育成を実施していくことが可能になる。また、元々寒冷地での栽培特性が良い品種のため、農家がより少ない手間で栽培出来ることが期待される。										
事例に関する連絡先											

会社名						361					
事例名	石巻の観光促進支援										
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない				
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降		
活動分野	コミュニテ ィ支援	産業再生・雇 用創出支援	次世代育 成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組 織への支援	県外避難者 支援	その他			
実施活動地域	岩手県			宮城県			福島県			その他	
具体的地域	宮城県石巻市										
プログラムの連携先	石巻市										
活動の概要	本社ビル一階に石巻観光ボードを設置し、石巻に関する観光関連情報の情報発信を実施する。社員へのアピールのため、石巻焼きそば等の石巻由来のメニューを社員食堂で提供する試みも数度実施し、社内飲食施設の夜営業時間に石巻市内で作られた日本酒や調理品等の提供も開始する。										
効果	石巻の観光業に対する後押し効果が期待される。										
事例に関する連絡先											

会社名						362				
事例名	第3回東北応援隊									
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援	本業に関連	本業に関連しない			
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月		2011年10月～ 2012年3月		2012年4月～ 2013年3月		2013年4月～ 2014年3月		2014年4月以降	

活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	南三陸町長清水地区							
プログラムの連携先	南三陸町ボランティアセンター							
活動の概要	南三陸町ボランティアセンターの指導に基いて、津波によって荒れた土地における、草木の撤去、草木や土砂に埋もれたガレキを撤去した。 参加者：24名（他の団体と共同で実施）							
効果	土地の環境回復							
事例に関する連絡先								

会社名								363
事例名	被災者優先雇用							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域								
プログラムの連携先								
活動の概要	被災された方々の生活支援を目的として、優先的に首都圏の管理物件における住み込み管理員の募集を行い、2物件で採用した。							
効果								
事例に関する連絡先								

会社名								364
事例名	省エネルギー関連技術							
無償 / 有償支援	無償・廉価		有償		本業 / 本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない
実施活動時期	2011年3月～2011年9月		2011年10月～2012年3月		2012年4月～2013年3月		2013年4月～2014年3月	2014年4月以降
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	アクセスのあった全国各地							
プログラムの連携先								
活動の概要	省エネルギーに取り組む国内企業への支援として、当社グループ内で培った省エネルギー技術の一部をWebサイト上で無償公開(*1)するサービスを実施した。 同技術は、当社独自のPLC*2を用いた制御システムにより、製造現場や商業施設等において重要な管理項目である温度を保障しながら空調機・冷凍機の運転台数を最小とする技術*3や、製造装置や機器等から発生した低温域の熱を拾い集めボイラの熱源等に再利用する技術*4などを応用することで、消費エネルギー							

	<p>の極小化や再利用を図る。特に大型空調設備を持つクリーンルームや大型商業施設、データセンターなどで大きな省エネルギー効果が期待できる。</p> <p>*1 本開示内容により、当社が保有する特許（出願中を含む）の利用を、無償で許諾するものではない。</p> <p>*2 PLCとは、Programmable Logic Controllerの略で、シーケンス制御専用のマイクロコンピュータを利用した制御装置のこと。</p> <p>*3 平成20年度(2008年度)および平成21年度(2009年度)「省エネルギー優秀事例全国大会」において、「関東経済産業局長賞」を受賞した。</p> <p>*4 平成15年度(2003年度)「省エネルギー優秀事例全国大会」において、「資源エネルギー庁長官賞」を受賞した。</p>
効果	<p>2011年度は東日本大震災の影響により、関東・東北地方において大幅な電力不足に陥る恐れがあり、各企業においては、生産・操業などへの影響を極力抑えなければならない背景があった。当該技術の中でも、空調の省エネルギー化において直ちに取り組むことができ、即効性が期待できる作業手順について無償公開し、無償公開期間の2011年5月20日から2012年2月29日の間に、アクセス数は3,315件(2,682ユーザー)(*)を数えた。</p> <p>* アクセス数およびユーザー数は、技術の無償公開ページへのログインページで集計した。</p>
事例に関する連絡先	

会社名						365		
事例名	東日本大震災による被災小型船舶の再生支援プロジェクト							
無償/有償支援	無償・廉価	有償	本業/本業以外支援		本業に関連	本業に関連しない		
実施活動時期	2011年3月～ 2011年9月	2011年10月～ 2012年3月	2012年4月～ 2013年3月	2013年4月～ 2014年3月	2014年4月以降			
活動分野	コミュニティ支援	産業再生・雇用創出支援	次世代育成・教育支援	心のケア	弱者支援	中間支援組織への支援	県外避難者支援	その他
実施活動地域	岩手県		宮城県		福島県		その他	
具体的地域	岩手県(宮古、釜石、大船渡) 宮城県(気仙沼、志津川、石巻、東松島)							
プログラムの連携先	日本財団 日本舟艇工業会							
活動の概要	<p>【活動の目的】</p> <p>東日本大震災により、多数の漁船が被災したが、1,000隻程度の和船は、修理することにより活用することが可能であると想定されることから、日本財団の支援を受け仮設修理場を10カ所程度設置し、早急な漁業復興につなげる。</p> <p>【活動概要】</p> <p>日本財団、水産庁、日本舟艇工業会、各メーカーおよび当社販売店などと連携し、修理工場の適地選定及び修理の仕組みづくりを実施するとともに当社販売店の協力を得、現地での修理を実施する。</p>							
効果								
事例に関する連絡先								

以上